わたしの聖書物語の本

なまえ：

わたしの
聖書物語
の本

© 1978, 2004
WATCH TOWER BIBLE AND TRACT SOCIETY
OF PENNSYLVANIA
All Rights Reserved

わたしの聖書物語の本

発行者
ものみの塔聖書冊子協会

この本に引用されている聖句は，子供たちがその意味を理解できるように，やさしいことばで書きかえられています。それぞれの物語の終わりにある聖句を見ると，その物語が，聖書のどこに出ているかがわかります。

2012年印刷版

この出版物は販売を目的としたものではありません。
世界的な聖書教育活動の一環として提供されており，その活動は
自発的な寄付によって支えられています。

My Book of Bible Stories
Japanese (*my*-J)

Made in Japan
日本にて印刷・製本

わたしの聖書物語の本

この本は，ほんとうにあった事が書かれている本です。この本の物語は，世界でいちばんすぐれた本である聖書から取られています。この物語を読むと，神が創造をお始めになった時から今の時代までの世界の歴史がわかります。さらに，神がこれから行なうと約束しておられる事柄もわかります。

この本は，聖書がいったいどんな本かを教えてくれます。聖書に出て来る人々と，その人たちが行なった事柄とが，この本には書かれています。また，楽園の地で永遠に生きられるという，神が人々にあたえておられるすばらしい希望も，示されています。

この本には，116の物語が，八つの部分に分けられて収められています。それぞれの部の最初のページには，その部にどんな事が書かれているかが簡単に説明されています。物語は歴史の中で起きた順序で書かれていますから，ある出来事が他の出来事より先だったか，あとだったかが，よくわかります。

物語はやさしいことばで書かれています。少年少女のみなさんの多くは，自分で読むことができるでしょう。親のみなさんは，もっと小さな子供たちでも，この物語を何度も読んでもらうのを楽しみにすることに気づかれることでしょう。また，お気づきになると思いますが，この本には，子供だけでなくおとなにもたいへん興味深い事柄が書かれています。

それぞれの物語の終わりに聖句が参照されています。物語は聖書のその部分に基づいていますから，それらの聖句も合わせてお読みになることをおすすめします。また，一つの物語を読み終えたら，116話の後ろにのっているその物語の研究用の質問を見て答えを考えてみてください。

もくじ

第１部　創造から大洪水まで

1 神はものを作ることをお始めになる
2 美しい園
3 最初の男女
4 ふたりはなぜ住みかを失ったか
5 苦しい生活が始まる
6 良い息子と悪い息子
7 勇気のある人
8 地上の巨人たち
9 ノアは箱船を造る
10 大洪水

第２部　大洪水からエジプトを出るまで

11 初めてのにじ
12 人々は大きなとうを建てる
13 神の友アブラハム
14 神はアブラハムの信仰をためされる
15 ふり返ったロトの妻
16 イサクは良い妻をむかえる
17 性質のちがったふた子
18 ヤコブはハランへ行く
19 ヤコブは大きな家族を持つ
20 デナは問題におちいる
21 ヨセフは兄弟たちからにくまれる
22 ヨセフはろう屋に入れられる
23 ファラオのゆめ
24 ヨセフは兄たちをためす
25 一家はエジプトへ移る
26 神に忠実なヨブ
27 悪い王がエジプトを支配する
28 赤ちゃんのモーセはこうして救われた
29 モーセはなぜにげたのか
30 燃えるしば
31 モーセとアロンはファラオと会う
32 十の災い
33 紅海をわたる

第３部　エジプトを出てからイスラエルの最初の王まで

34 新しい食べ物
35 エホバは律法をおあたえになる
36 金の子牛
37 崇拝のための天幕

38　12人のスパイ
39　アロンのつえに花がさく
40　モーセは岩を打つ
41　銅のへび
42　ものを言ったろば
43　ヨシュアは指導者になる
44　ラハブはスパイをかくまう
45　ヨルダン川をわたる
46　エリコの城へき
47　イスラエルの中で起きたぬすみ
48　かしこいギベオンの人々
49　太陽が止まる
50　ふたりの勇敢な婦人
51　ルツとナオミ
52　ギデオンと300人の兵士
53　エフタの約束
54　いちばん力のあった人
55　神に仕えた男の子

第４部　イスラエルの最初の王からバビロン捕囚まで

56　イスラエルの最初の王サウル
57　神はダビデを選ばれる
58　ダビデとゴリアテ
59　ダビデがにげなければならなかった理由
60　アビガルとダビデ
61　ダビデは王位につく
62　ダビデの家に起きた問題
63　かしこい王ソロモン
64　ソロモンは神殿を建てる
65　王国の分れつ
66　よこしまな王妃イゼベル
67　エホバによりたのんだエホシャファト
68　生き返ったふたりの少年
69　少女が勇士を助ける
70　ヨナと大きな魚
71　神は楽園を約束される
72　神はヒゼキヤ王を助ける
73　イスラエルの最後の良い王
74　おくすることのない人
75　バビロンに行った四人の若者
76　エルサレムのほろび

第５部　バビロン捕囚からエルサレムの城へきを建て直すまで

77　かれらは身をかがめなかった
78　手でかべに書かれた文字
79　ライオンの穴に入れられたダニエル
80　神の民はバビロンを去る
81　神の助けによりたのむ
82　モルデカイとエステル
83　エルサレムの城へき

第６部　イエスの誕生から死まで

84　み使いがマリアに現われる
85　イエスは家畜小屋で生まれる
86　星に導かれて来た人たち
87　神殿の中の少年イエス
88　ヨハネはイエスにバプテスマをほどこす
89　イエスは神殿を清める
90　井戸のそばで女の人に
91　山の上で教えるイエス
92　イエスは死者を生き返らせる
93　イエスは多くの人に食物をあたえる
94　幼子たちを愛したイエス
95　イエスの教え方
96　イエスは病人を治す
97　イエスは王として来る
98　オリーブ山の上で
99　二階の部屋で
100　園の中のイエス
101　イエスは殺される

第７部　イエスの復活からパウロの投獄まで

102　イエスは生きている
103　かぎのかかった部屋の中へ
104　イエスは天にもどる
105　エルサレムで待つ
106　ろう屋から出されて自由になる
107　ステファノは石打ちにされる
108　ダマスカスへの道で
109　ペテロはコルネリオを訪ねる
110　テモテ―パウロの新しい助け手
111　ねむりこんだ少年
112　難破して島につく
113　ローマにいるパウロ

第８部　聖書が予告していることは実現する

114　すべての悪の終わり
115　地上の新しい楽園
116　どうすれば永遠に生きられますか

「わたしの聖書物語の本」の研究用の質問

116話から後のページには，116の話ごとに設けた質問をまとめて載せてあります。

創造から大洪水まで

天と地はどこから来たのでしょう。太陽や月や星，それに地球の上にあるたくさんのものは，どのようにして，できたのでしょう。聖書には，正しい答えがあたえられていて，それらが神によって創造されたと書かれています。それで，この本は聖書の中の，創造の物語から始まります。

神が最初にお作りになったものは，神ご自身にいくらかにた霊者だったことをわたしたちは学びます。その霊者たちはみ使いでした。でも，地球はわたしたちのような人間のために創造されました。ですから，神はアダムという名前の男の人と，エバという名前の女の人とを作って，ふたりを美しい園に置かれました。ところが，ふたりは神に従わなかったので，生きつづける権利を失いました。

アダムの創造から大洪水までは，全部で1,656年間でした。そのあいだに悪い者がたくさん出ました。天には，目に見えない霊者であるサタンとその悪い使いたちがいました。地上には，カインほか大勢の悪い人がいました。その中には特別に力の強い人々もいました。しかし，良い人もいました。アベル，エノク，ノアといった人たちです。第１部ではそうした人々やいろいろな出来事について書かれています。

神はものを作ることをお始めになる　1

わたしたちが持っている良いものはすべて神からあたえられています。神は太陽を作って，昼の光をあたえてくださいました。また，夜もいくらか明かるいように，月と星を作ってくださいました。そして，神は，わたしたちが住むために地球を作られました。

でも，太陽，月，星，地球は神が最初にお作りになったものではありません。では，最初に何をお作りになったのでしょうか。神は，まず，ご自分に にた者を作られました。わたしたちはそれらの者を見ることができません。それは，わたしたちが神を見ることができないのと同じです。聖書の中でそれらの者はみ使いと呼ばれています。神は，天でご自分とともに住むように，み使いたちを作られました。

神が最初にお作りになったみ使いは特別な方でした。そのみ使いは神の長子で，み父とともに働きました。太陽，月，星，そしてわたしたちの住む地球をふくめ，他のすべてのものを神がお作りになるのを，助けたのです。

そのころ，地球はどんな状態だったでしょうか。初めは，だれも地球に住めませんでした。全地が水ですっかりおおわれていたからです。でも神は，人々を地上に住まわせたいと思っておられました。そこで，神はわたしたちのためにいろいろな準備をお始めになりました。どんなことをされたのでしょうか。

さて，地球にはまず光が必要でした。そこで神は，太陽の光が地球を照らすようにされました。そのようにして，昼と夜があるようにされ，そのあと，おおっていた水の上に陸地が出るようにされました。

最初，陸地には何もなく，この絵のようでした。花もなければ木もなく，動物もいませんでした。海には魚さえいませんでした。地球を動物や人間のためのほんとうにすばらしい住みかにするため，神にはまだまだたくさんの仕事がありました。

エレミヤ 10:12。コロサイ 1:15-17。
創世記 1:1-10。

美しい園

この地球を見てごらんなさい。すべてのものがなんときれいなのでしょう。草や木や花，そしてたくさんの動物を見てごらんなさい。象やライオンがいるのがわかりますか。

この美しい園はどのようにしてできたのでしょう。では，神がわたしたちのために，地球をどのように整えてくださったかを，これから調べてみましょう。

まず，神は陸地をおおう緑の草をお作りになりました。それから，小さな植物，低い木，高い木など，いろいろな植物をお作りになりました。それら地に

はえる物は地球を美しくするのに役立ちます。でも，それだけではありません。多くの植物からはとてもおいしい食べ物も取れるのです。

その後，神は水の中を泳ぐ魚と，空を飛ぶ鳥をお作りになりました。犬，ねこ，馬など，小さな動物や大きな動物もお作りになりました。あなたの家の近くにはどんな動物がいますか。神がわたしたちのためにこうした物すべてを作ってくださったのは，うれしいことですね。

最後に，神は地上の一つの場所を特別な所にして，そこをエデンの園と呼ばれました。そこはまったく申し分のない，すべてのものが美しい園でした。そして神は，地球全体を，ご自分がお作りになったその美しい園のようにしたい，とお考えでした。

でも，ここにある園の絵をもう一度よく見てください。神は，足りないものがある，と思われました。それは何だったでしょうか。いっしょに考えてみましょう。

創世記 1:11-25; 2:8，9。

最初の男女

この絵はどこがちがいますか。そうです，この絵には人間がいますね。このふたりは最初の男と女です。だれがふたりを作ったのでしょう。それは神でした。神のお名前は何というのでしょうか。それはエホバです。そして，男はアダム，女はエバと呼ばれるようになりました。

エホバ神は，次のようにしてアダムをお作りになりました。地からちりを取り，そのちりで，男の完全なからだを作りました。それから，その人の鼻に息を吹き入れました。するとアダムは生きた人になりました。

エホバ神はアダムに仕事をおあたえになりました。あらゆる種類の動物に名前を付けるようにアダムに命令されたのです。動物たち全部にいちばんふさわしい名前を付けるために，アダムは長い時間をかけて動物たちを観察したことでしょう。動物に名前を付けているあいだに，アダムはあることに気づきはじめました。

どの動物もつがいになっていました。お父さん象とお母さん象がいました。お父さんライオンとお母さんライオンがいました。でも，アダムには妻になる人がいませんでした。

そこでエホバは，アダムを深く眠らせました。そしてアダムのわき腹からあばら骨を一本取り，それでアダムのために女をお作りになりました。その女がアダムの妻になったのです。

そのとき，アダムはどんなにかうれしかったことでしょう。そして，そのような美しい園に住むようにされたエバはどれほど幸福だったことでしょう。これからは，ふたりは子供をもうけて，しあわせにくらすことができるはずです。

エホバはアダムとエバが永遠に生きることを望まれました。ふたりが全地をエデンの園のように美しくすることを望まれました。そうすることを考えたとき，アダムとエバはきっととてもうれしかったにちがいありません。あなただったら，地球を美しい園にする仕事を自分もしたいと思ったでしょうか。ところが，アダムとエバの幸福は長つづきしませんでした。ではその理由をいっしょに調べてみましょう。

詩篇 83:18。創世記 1:26-31; 2:7-25。

ふたりはなぜ住みかを失ったか　4

いったいなにごとが起きたのでしょう。アダムとエバが美しいエデンの園から追い出されています。どうしてそうなったのでしょう。

それはふたりがとても悪いことをしたからです。それでエホバはふたりをばっしておられるのです。アダムとエバはどんな悪いことをしたのでしょう。

ふたりは，してはいけないと神から言われたことをしたのです。神はふたりに，園の木から取れる物を食べてよいと言われました。でも，神は，ある一本の木からは取って食べてはいけない，それを食べれば死ぬと言われました。神はその木をご自分のものにしておかれたのです。人のものを取るのはいけないことだということをわたしたちは知っていますね。では，どんなことが起きたのでしょう。

ある日，園の中で，エバがひとりだけでいたときに，一ぴきのへびがエバに話しかけました。なんということでしょう。へびはエバに，神が食べてはいけないと言われた木の実を食べるようにと言うのです。ところで，エホバはへびを，物を言えるようにはお作りになりませんでした。ですから，だれかほかの者がへびに話させたとしか考えられません。それはだれだったでしょう。

それはアダムではありませんでした。ですから，神が地球をお作りになるずっと前に作られた者のひとりだったにちがいありません。それらの者はみ使いですから，わたしたちには見えません。そのひとりのみ使いはたいへん高慢になって，自分が神のように支配者になるべきだと考えはじめました。そして，人々がエホバに従うよりも自分に従うことを願いました。へびに話させたのはそのみ使いでした。

そのみ使いはエバをだますことができました。み使いから，その実を食べれば神のようになると言われたとき，エバはそれを信じました。それで，エバはその実を食べ，アダムも食べました。アダムとエバは神に従いませんでした。そういうわけで，ふたりは美しい園の住まいを失いました。

でも，いつか神は，全地を必ずエデンの園のように美しい所になさいます。あなたもそうすることに加われる，ということをあとで学びます。今は，アダムとエバがどうなったか見てみましょう。

創世記 2:16，17; 3:1-13，24。啓示 12:9。

苦しい生活が始まる

エデンの園の外で，アダムとエバはたいへん苦労しました。食べ物を手に入れるために，いっしょうけんめい働かなければなりませんでした。ふたりのまわりには，実のなる美しい木のかわりに，あざみやいばらがたくさんはえていました。アダムとエバが神に従わないで，神の友だちになるのをやめたときに起きたのはこうしたことです。

でも，もっと悪いことに，アダムとエバは死ぬようになりました。神がふたりに，ある一本の木の実を食べるなら死ぬと警告されたことをおぼえていますね。それで，木の実を食べたその日から，ふたりは死ぬようになったのです。神のおっしゃることを聞かなかったふたりは，なんとおろかだったのでしょう。

アダムとエバの子供たちはみんな，両親を神がエデンの園から追い出されたのちに生まれたので，年老いて死ななければならなくなりました。

アダムとエバがエホバに従ってさえいたなら，かれらとその子供たちは楽しくくらせたことでしょう。みんな地上でいつまでも幸福にくらせたにちがいありません。だれも年老いたり，病気になったり，死んだりしなくてもよかったでしょう。

神は人々がいつまでも幸福にくらすことを望んでおられます。そして，いつの日かそのようになると約束しておられます。全地が美しくなるだけでなく，人々もみな健康になるのです。そして，地上のだれもが，他の人や神と仲良しになります。

でもエバはもはや神の友ではありませんでした。それで，子供を産むのはエバにとってやさしいことではありませんでした。エバは苦しい思いをしました。エホバに従わなかったために，エバにはたしかに悲しいことがたくさん起こりました。あなたもそう思いませんか。

アダムとエバは，たくさんの息子とむすめをもうけました。最初の息子が生まれたとき，ふたりはその子にカインという名前を付けました。二番めの息子はアベルと名付けました。そのふたりはどうなったでしょうか。あなたは知っていますか。

創世記 3:16-23; 4:1, 2。啓示 21:3, 4。

良い息子と悪い息子

さて，カインとアベルを見てください。ふたりとも，もうおとなになっています。カインは農夫になりました。穀物や果物や野菜を作っています。

アベルは羊をかう人になりました。アベルはかわいい子羊の世話をするのが好きです。子羊はすくすく成長して大きな羊になります。そこで，アベルはじきに羊の大きな群れを持つようになり，その番をします。

ある日，カインとアベルは神に供え物を持って来ます。カインは，自分が作った食物を持って来ました。アベルは，自分が持っている羊の中からいちばん良いものを持って来ました。エホバはアベルとその供え物を喜ばれます。でも，カインとその供え物を喜ばれません。なぜかわかりますか。

アベルの供え物がカインの供え物よりも良い，とい

うだけではありません。アベルが良い人だからです。アベルはエホバと自分の兄弟を愛しています。でもカインは悪い人で，自分の兄弟を愛していません。

それで神はカインに，生き方を変えるようにお命じになります。でもカインはそれを聞き入れません。神がアベルのほうに好意をもっておられるので，カインはとてもおこっています。そこでカインはアベルに，『さあ野原に行こう』と言います。野原でふたりだけになったとき，カインは弟のアベルをなぐります。カインはひどくなぐって，アベルを殺してしまいます。カインがしたことはおそろしいことではありませんか。

アベルは死にましたが，神はアベルのことを今でもおぼえていらっしゃいます。アベルは良い人でした。エホバはそのような人を決してお忘れになりません。いつの日か，エホバ神はアベルを生き返らされます。そのとき，アベルはもう二度と死ななくてすみます。この地上でいつまでも生きることができます。アベルのような人たちを知るようになるのはすばらしいことではありませんか。

けれども，神はカインのような人を喜ばれません。それで，カインが弟を殺したあと，神はカインを家族から遠く離して，カインをばっせられました。カインは，別の土地へ移り住むときに，妹のひとりをいっしょに連れて行き，その妹を自分の妻にしました。

やがてカインとその妻は子供をもうけはじめました。アダムとエバの他の息子やむすめも結こんしました。その人々にも子供が生まれました。まもなく地上の人間はたくさんになりました。そのうちの何人かの人について学ぶことにしましょう。

創世記 4:2-26。ヨハネ第一 3:11，12。ヨハネ 11:25。

勇気のある人

地上に人がふえはじめたとき，ほとんどの人はカインのように悪いことをしました。でも，ひとりの人はちがっていました。それは，このエノクという人です。エノクは勇気のある人でした。まわりの人はみなたいへん悪いことを行なっていましたが，それでもエノクは神に仕えつづけました。

その時代の人たちはなぜいろいろな悪いことをしたのでしょう。では，考えてみましょう。アダムとエバを神にそむかせて，食べてはいけないと神から言われていた木の実を食べさせたのはだれでしたか。そうです，それは悪い使いでしたね。聖書はその使いをサタンと呼んでいます。そして，サタンはみんなを悪い人にしてしまおうとしています。

ある日，エホバ神はエノクに，人々が聞きたがらないことを語らせました。それはこのようなことでした。『神が悪人をすべて滅ぼされるときが来る』。人々はそれを聞いてとても腹を立てたことでしょう。エノクを殺そうとさえし

たかもしれません。ですから，エノクは，神がなさろうとしていたことを人々に話すのに，たいへん勇気がいりました。

神は，エノクがそれら悪い人々のあいだで長く生きるようにはなさいませんでした。エノクはほんの365歳まで生きたにすぎません。どうして，“ほんの365歳”と言うのでしょうか。なぜなら，そのころの人たちは今の人たちよりもずっとじょうぶで，もっともっと長く生きたからです。エノクの息子のメトセラは，なんと969年も生きました。

さて，エノクが死んだのち，人々はますます悪くなるばかりでした。聖書にはこう書かれています。『人々が考えていることはいつも悪いことばかりであった。地は暴力であふれるようになった』。

そのころ，地上に困った問題がとても多かったのはなぜでしょうか。その一つの理由は，サタンが，人々に悪いことをさせるために新しい方法を使ったからです。このつぎに，わたしたちはそのことを学びます。

創世記 5:21-24，27; 6:5。
ヘブライ 11:5。ユダ 14，15。

地上の巨人たち

8

もしだれかがあなたのほうに歩いて来て，そのせたけがあなたの家の天じょうくらい高かったら，どう思いますか。そのような人は巨人です。むかし，地上に巨人がほんとうにいたことがありました。聖書には，その巨人たちの父親は天から来たみ使いたちだったと述べられています。それにしても，どうしてそんなことがあったのでしょう。

悪い使いであるサタンはいっしょうけんめいに悪事を働いていたことをおぼえていますか。サタンは神のみ使いたちを悪くならせようとさえしていました。やがて，み使いの中にもサタンに聞き従う者たちが出て来ました。その者たちは，天で行なう，神からあたえられた仕事をしなくなりました。そして地上に降りて来て，自分のからだを人間のからだにしたのです。なぜそのようなことをしたのでしょう。

聖書によると，それは，そのみ使いたちが地上の美しい女たちを見て，その女たちといっしょにくらしたいと思ったからです。それで，そのみ使いたちは地上に来て，美しい女と結こんしました。聖書によるとそれはまちがったことでした。神はみ使いを天に住むように作られたからです。

み使いたちとその妻たちのあいだに子供が生まれたとき，その子供たちはほかの子供とちがっていました。最初はあまりちがわないように見えたかもしれません。ところが，どんどん大きく，どんどん強くなって，とうとう巨人になったのです。

それらの巨人は悪い者たちでした。とても大きくて力が強かったので，人々をよくいじめました。そして無理やり自分たちのように悪いことをさせようとしました。

エノクはすでに死んでいました。でも，そのころ地上にひとりの良い人がいました。それはノアという人でした。ノアはいつも，神が自分に望まれることを行ないました。

ある日，神はノアに，ご自分がすべての悪い人々を滅ぼす時が来る，と言われました。でも神は，ノアとその家族，またたくさんの動物を救おうとしておられました。では神がそれらをどのようにお救いになったかを見てみましょう。

創世記 6:1-8。ユダ 6。

ノアは箱船を造る

ノアには妻と三人の息子がいました。息子たちの名前はセム，ハム，ヤペテでした。息子たちにはそれぞれ妻がいました。ですからノアの家族は八人でした。

さて，神はノアに，大きな箱船を造るという，変わったことをお命じになりました。その箱船は，船のように大きくて，長い箱のような形をしていました。『三階建てにして，中に部屋を作りなさい』と，神は言われました。それは，ノアとその家族の部屋，動物たちの部屋，そして，人間と動物のための食物を入れておく部屋でした。

神はまた，水がしみこまないように箱船を仕上げなさい，とノアにお命じになりました。そしてこう言われました。『わたしは大洪水を起こして，全世界を滅ぼすつもりです。箱船の中にいない者はみな死にます』。

ノアと息子たちはエホバに聞き従って，船を造りはじめましたが，ほかの人たちは笑っているだけでした。そして相変わらず悪いことばかりしていました。神がなさろうとしていることをノアから聞いても，だれひとり信じませんでした。

箱船はとても大きかったので，それを造るために長い時間がかかり，何年もたってからやっと出来上がりました。すると神は，ノアに，動物たちを箱船の中に入れることをお命じになりました。ある種類の動物を，おすとめす二ひきずつ，でも，別のいくつかの種類の動物については，七ひきずつ入れるようにとノアに命令されました。また，いろいろの種類の鳥を入れるようにともおっしゃいました。ノアは神から言われたとおりにしました。

あとで，ノアたちも箱船にはいると，やがて神は箱船の戸を閉じました。箱船の中でノアたちは待ちました。あなたがノアたちといっしょにそこにいて，待っているところを想像してごらんなさい。神がおっしゃったとおり，洪水はほんとうに起きるのでしょうか。

創世記 6:9-22; 7:1-9。

大洪水

箱船の外では，人々はそれまでと同じように生活していました。人々は洪水が来ることを相変わらず信じませんでした。前よりももっとあざ笑ったにちがいありません。でも，人々はまもなく笑うのをやめました。

とつぜん水が降りはじめたのです。水は，まるでバケツをひっくり返したように空から落ちて来ました。ノアはまちがっていませんでした。でも今はほかの人が箱船にはいるにはおそすぎます。戸はエホバによってしっかり閉じられていたからです。

まもなく，低い土地は水ですっかりおおわれてしまいました。水は大きな川のようになり，ごうごうと音をたてて，木や岩を押し流しました。人々はおそろしくて，高い所へ，高い所へと登りました。ノアの言うことを聞いて，戸がまだ開いているうちに箱船にはいっていればよかった，とどんなにか思ったことでしょう。でも，今はもう手おくれでした。

水かさは，どんどん，どんどんふえつづけました。水は40日と40夜空から降り注ぎました。山々はしだいしだいに水の下にしずんでゆきました。そして，まもなく，いちばん高い山までが水でおおわれてしまいました。ですから，神が言われたとおり，箱船の外にいたすべての人間と動物は死んでしまったのです。しかし，箱船の中にいた人はみな無事でした。

ノアとその息子たちの箱船はじょうずに造られていました。水は箱船を持ち上げました。箱船は水の上にうかびました。それから，雨がやみ，ある日太陽が照りはじめました。なんという光景でしょう。見わたすかぎり一面の大海でした。水の上にうかんだ箱船のほかには何も見えませんでした。

もう巨人はいなくなりました。これから巨人が人々をいじめることはないでしょう。巨人は，母親や他の悪い人たちもろとも，ひとり残らず死んでしまいました。でも，巨人の父親はどうなったでしょうか。

巨人の父親たちは，わたしたちのようなほんとうの人間ではありませんでした。

かれらは，地上で人間のようにくらそうとしてやって来たみ使いたちでした。ですから，大洪水が来たとき，巨人の父親たちは，ほかの人々といっしょに死ぬことはありませんでした。それまでのように人間のからだをつけるのをやめ，霊者になって天へもどって行ってしまったのです。でも，それらのみ使いは，神のみ使いの家族の仲間にはもう入れてもらえませんでした。それで，サタンの使いになりました。聖書の中で，それらサタンの使いは，悪霊と呼ばれています。

さて，神は風をおこされました。すると洪水の水は引きはじめました。５か月後に箱船は山の項上に止まりました。さらに何日もたちました。箱船の中の人々は外をながめて山々の項上を見ることができました。水はしだいしだいに引いていきました。

それからノアはわたりがらすという黒い鳥を箱船から飛ばしました。わたりがらすはしばらくのあいだ飛んで行ってはもどって来ました。降りるのにふさわしい陸地が見えなかったからです。わたりがらすはいく度も飛び立ちましたが，そのたびにもどって来て，箱船にとまりました。

ノアは，水が引いて陸地が見えるようになったかどうか知りたいと思いました。それで，こんどは，箱船から一羽のはとを飛ばしました。でも，はとも，とまる場所がなかったのでもどって来ました。ノアはもう一度，はとを飛ばしました。すると，はとはオリーブの葉を口ばしにくわえて帰って来ました。それでノアは水が引いたことを知りました。ノアが三度めにはとを飛ばすと，ついに，はとは住むことのできるかわいた土地を見つけました。

さて，神はノアに話しかけて，こうおっしゃいました。『あなたの家族全員，それに動物たちを連れて箱船から出なさい』。ノアたちは，箱船の中に一年以上もいました。ですから，生きて再び外に出られたことを，みんながどれほど喜んだか，想像できますね。

創世記 7:10-24; 8:1-17。ペテロ第一 3:19，20。

大洪水からエジプトを出るまで

大洪水を生き残ったのは八人だけでした。でも,やがて,人々はふえて大勢になりました。洪水から352年たって，アブラハムが生まれました。わたしたちは，神がアブラハムにイサクという名の息子をさずけて，ご自分の約束を守られたことを学びます。それから，イサクのふたりの息子のうち，ヤコブが神に選ばれました。

ヤコブの家族は大勢で，12人の息子と何人かのむすめがいました。ヤコブの10人の息子は弟のヨセフをにくみ，ヨセフをエジプトへどれいとして売ってしまいました。あとで，ヨセフはエジプトの力のある支配者になりました。ひどいききんになったとき，ヨセフは兄たちをためしました。兄たちが心を入れかえたかどうかを見るためです。とうとう，ヤコブの全家族，つまりイスラエル人はエジプトに移り住みました。それはアブラハムが生まれてから290年後のことでした。

それから215年のあいだ，イスラエル人はエジプトに住みました。ヨセフが死んだのち，イスラエル人はエジプトでどれいにされました。やがて，モーセが生まれました。神は，イスラエル人をエジプトから救い出すのにモーセをお用いになりました。第２部では，全部で857年間の歴史が取り上げられます。

初めてのにじ

ノアとその家族が箱船から出たとき，ノアは最初に何をしたでしょうか。ノアは神にささげ物，つまり，供え物をしました。下の絵はノアがそうしているところです。ノアは，自分の家族を大洪水から救ってくださったことを神に感謝するために，この動物の供え物をささげました。

あなたは，エホバがその供え物を喜ばれたと思いますか。そうです，エホバはお喜びになりました。それで，エホバはノアに，二度と再び世界を洪水で滅ぼさないと約束されました。

まもなく，陸地はすっかりかわきました。ノアとその家族は箱船の外で新しい生活を始めました。神はノアたちを祝福して，こうおっしゃいました。『子供をたくさんもうけなさい。そして，全地にふえ広がっていきなさい』。

でも，あとになって人々が大洪水のことを聞いたとき，そのような洪水がまた起きるかもしれないと心配するかもしれません。そこで神は，二度と再び全世界を洪水で滅ぼすことはしないというご自分の約束を人々に思い出させるために，しるしをおあたえになりました。神はどんなしるしをおあたえになったのでしょうか。それはにじでした。

雨があがって日が差すと，にじが空に現われることがよくあります。にじはいろんな美しい色をしています。あなたはにじを見たことがありますか。この絵の中ににじが見えますか。

神がおっしゃったのはこのようなことでした。『わたしは，すべての人と動物を二度と再び洪水で滅ぼさないことを約束します。わたしは雲のあいだに にじをかけます。にじが現われたなら，わたしはそれを見て，このわたしの約束を思い出しましょう』。

それで，にじを見たらあなたは何を思い出しますか。そうです，世界を大洪水で二度と再び滅ぼさない，という神のお約束です。

創世記 8:18-22; 9:9-17。

人々は大きなとうを建てる　12

それから何年もたちました。ノアの息子たちはたくさんの子供をもうけました。その子供たちが大きくなって，さらにたくさんの子供をもうけました。まもなく，地上の人間はとても大勢になりました。

その中に，ノアのひ孫でニムロデという人がいました。ニムロデは悪い人で，動物や人間のあとを追いかけては殺しました。また，ニムロデは自分で王になって，他の人間を支配しました。それで，神はニムロデが好きではありませんでした。

そのころ，人々はみな一つのことばを話していました。ニムロデは，人々を支配することができるように，みんなをいっしょに集めておきたいと思いました。それで何をしたでしょうか。都市を作って，そこに大きなとうを建てることを人々に命令したのです。下の絵は，人々がれんがを作っている様子を示しています。

エホバ神はそのことを喜ばれませんでした。神は人々が移って行って世界中に住むことを望んでおられました。ところが，人々はこう言いました。『さあ，都市と，天まで届くほど高いとうを建てよう。そうすれば，われわれは有名になれるのだ』。人々は神のほまれではなくて，自分たちのほまれを望んでいたのです。

そこで神は，とうを建てるのをやめさせました。神がどのようにそうなさったか，わかりますか。人々は一つのことばを話していたのですが，とつぜん，いくつかのちがったことばをばらばらに話すようにされたのです。とうを建てていた者たちのあいだで，もはや話が通じなくなってしまいました。ですから，その都市はバベル，もしくはバビロンと呼ばれるようになりました。その名には「混乱」という意味があります。

さて，人々はバベルから引っこして行くようになりました。同じことばを話す人どうしが集まって，地上のほかの土地に移り住んだのです。

創世記 10:1，8-10；11:1-9。

神の友アブラハム

大洪水のあと人々が移り住んだ土地の一つは，ウルという場所でした。ウルは，りっぱな家がいくつかある重要な都市になりましたが，そこの人々は，バベルにいたときと同じように，いつわりの神々を崇拝していました。ウルとバベルの人々は，ノアとその息子とはちがい，エホバに仕えつづけませんでした。

大洪水があってから350年たって，ついに忠実なノアが死にました。この絵の中の人が生まれたのは，それからわずか2年あとのことでした。この人は，神にとって特別な人で，名前をアブラハムと言いました。アブラハムは家族といっしょにウルの町に住んでいました。

ある日，エホバはアブラハムにこうお命じになりました。『親族とウルとをはなれ，わたしがあなたに示す土地に行きなさい』。アブラハムは神のことばに従って，ウルにある，生活を楽しくするものをみなあとにしたでしょうか。はい，そうしました。アブラハムが神の友として知られるようになったのは，いつも神に従ったからです。

ウルを出るとき，アブラハムの家族の，ある人たちは，アブラハムについて行きました。父親のテラはそうしました。おいのロトもそうです。もちろん，アブラハムの妻サラもいっしょでした。やがて，その人たちはみなハランという土地に着きました。テラはそこで死にます。その人たちはウルから遠い所に来ていました。

しばらくしてから，アブラハムとその家の者たちはハランを去ってカナンと呼ばれる土地に来ました。そこでエホバは，『ここはわたしがあなたの子孫にあたえる土地です』と言われました。アブラハムはカナンにとどまって，天幕生活をしました。

神はアブラハムを助けるようになったので，アブラハムは羊の大きな群れやたくさんの家畜を持つようになり，めし使いもふえました。ところが，アブラハムとサラのあいだには子供がありませんでした。

アブラハムが99歳のときに，エホバはこうおっしゃいました。『わたしは，あなたが多くの国民の父となることを約束します』。 でも，アブラハムとサラはずいぶん年を取っていて，子供をもうけることができなかったのに，どのようにしてそういうことになるのでしょうか。

創世記 11:27-32; 12:1-7; 17:1-8, 15-17; 18:9-19。

神はアブラハムの信仰をためされる　14

アブラハムはここで何をしているのでしょう。ナイフを持っています。そして，いまにも息子を殺そうとしています。いったいどうしてそんなことをするのでしょうか。では，まず，アブラハムとサラにどうして息子ができたのかをお話ししましょう。

ふたりに息子が生まれる，と神が約束されたことを思い出してください。でも，アブラハムとサラはたいへん年老いていたので，それはとても起こりそうにないことでした。しかし，アブラハムは，とても起こりそうにないことでも神にはおできになる，と信じていました。それで何が起きましたか。

神が約束されてからまる一年たちました。アブラハムが100歳，サラが90歳のときに，ふたりのあいだに男の子が生まれ，その子はイサクと名付けられました。

ところが，イサクが大きくなったとき，エホバはアブラハムの信仰をためされたのです。エホバは『アブラハムよ』とよび，かれにこう言われました。『あなたの息子，ひとり息子のイサクを連れて，わたしがあなたに示す山へ行きなさい。そこで息子を殺し，犠牲としてささげなさい』。

アブラハムは息子をたいへん愛していましたから，それを聞いてたいそう悲しみました。それに，アブラハムの子孫はカナンの地に住む，と神は約束なさっていたではありませんか。では，イサクが死んだら，どうなるでしょう。アブラハムにはわかりませんでした。それでもアブラハムは神に従いました。

山に着くと，アブラハムはイサクをしばって，自分が築いた祭だんに置きました。それから息子を殺そうとナイフを取り出しました。しかし，ちょうどその時です，神のみ使いが，『アブラハム，アブラハムよ！』と呼んだのです。『はい，ここにおります！』とアブラハムは答えました。

神は言われました。『その若者を傷付けてはいけません。その若者に何もしないように。あなたがわたしに信仰を持っていることはわかりました。あなたは自分の息子を，しかもひとり息子を，わたしに差し出すことをためらわなかったからです』。

アブラハムは神になんと深い信仰を持っていたのでしょう。エホバにできないことは何もない，エホバはイサクを死人の中から生き返らせることさえおできになる，

ということを信じていたのです。でも，アブラハムがイサクを殺すことは神のご意志ではなかったので，神は，羊が近くのしげみにひっかかるようにさせ，息子のかわりにその羊を犠牲にするように，とお命じになりました。　創世記 21:1-7; 22:1-18。

ふり返ったロトの妻

ロトとその家族は，カナンの地でアブラハムといっしょに住んでいました。ある日アブラハムはロトにこう言いました。『この土地は，わたしたちの全部の動物をかうにはせますぎます。どうか，別れてください。わたしは，あなたが行く方向とは反対の方向へ行きます』。

ロトは土地を見わたしました。すると，動物の食べる良い草がたくさん生えていて，水のあるとても良い場所が見えました。それはヨルダンの地域でした。それでロトは家族と動物をそこへ移しました。ロトたちはやがてソドムの町に住み着きました。

ソドムの人々はたいへん悪い人々でしたから，ロトは困ったものだと思いました。ロトは良い人だったからです。神も，困ったことだと思っておられました。とうと

う神は，ソドムとその近くのゴモラの町が悪いのでそこを滅ぼそうとしている，ということをロトに知らせるため，ふたりのみ使いをおつかわしになりました。

み使いたちはロトに，『さあ，あなたの妻とふたりのむすめたちを連れて，ここから急いで出なさい』と言いました。ロトとその家族がぐずぐずしていると，み使いたちは，ロトたちの手をとって町から連れ出しました。それから片方のみ使いはこう言いました。『命がけでにげなさい。後ろをふり返ってはなりません。丘ににげなさい。そうすればあなたがたは殺されません』。

ロトとむすめたちは，そのことばに従ってソドムからにげました。すこしでも立ち止まったり，後ろをふり返ったりしませんでした。しかしロトの妻は聞き従わず，ソドムからしばらく行ったところで，立ち止まって後ろをふり返りました。すると，ロトの妻は塩の柱になってしまいました。塩の柱になったロトの妻が見えますか。

わたしたちはこのことから良い教訓を学べます。つまり，神はご自分に従う人々を救われますが，神に従わない人々は命を失う，ということです。

創世記 13:5-13; 18:20-33; 19:1-29。ルカ 17:28-32。ペテロ第二 2:6-8。

イサクは良い妻をむかえる

あなたはこの絵の中の女の人がだれだかわかりますか。この人の名前はリベカです。そして，リベカが会いに来た相手の男の人はイサクです。リベカはイサクの妻になろうとしているのです。どうしてそういうことになったのでしょうか。

さて，イサクの父親のアブラハムは，息子のために良いよめをむかえたいと思いました。そして，イサクがカナンの女と結こんすることを望みませんでした。カナンの人々はいつわり

の神々を崇拝していたからです。そこでアブラハムはしもべを呼んで，こう言いました。『親せきの人たちが住んでいるハランへもどって行って，息子イサクのよめをもらってきてはくれないか』。

アブラハムのしもべはただちに10頭のラクダを連れて長い旅に出かけました。アブラハムの親せきが住んでいた場所に近づいたとき，井戸のところで止まりました。それは夕方ごろで，町の女たちが井戸に水をくみに来るころでした。それでアブラハムのしもべは次のようにエホバに祈りました。『わたしとラクダのために水をくんでくれる女の人こそ，あなたがイサクの妻にお選びになる人でありますように』。

まもなくリベカが水をくみにやって来ました。しもべがリベカに水を飲ませてほしいと言うと，リベカは水をくれました。それからリベカは，のどのかわいているラクダ全部に飲ませる水をくみに行きました。ラクダはとてもたくさん水を飲みますから，それはたいへんな仕事でした。

リベカがそれを終えると，アブラハムのしもべはリベカに父親の名前をたずねました。また，リベカの家に一晩とめてもらえるかどうかたずねました。リベカは，『わたしの父はベトエルです。わたしの家にはとまっていただけるところがございます』と言いました。アブラハムのしもべは，ベトエルがアブラハムの兄弟のナホルという人の息子だということを知っていました。ですから，しもべはひざまずいて，アブラハムの親せきのところに導いてくださったことをエホバに感謝しました。

その夜，アブラハムのしもべは，ベトエルとリベカの兄弟であるラバンに，自分がやって来たわけを話しました。ふたりは，リベカがそのしもべについて行って，イサクと結こんしてもよいと言いました。リベカは，行くかどうか聞かれたときに，なんと答えたでしょうか。『まいります』と，リベカは答えました。リベカは行くことを望んだのです。そこで，次の日に，しもべとリベカはラクダに乗って，カナンまでの長い旅に出かけました。

ふたりは夕方に着きました。リベカはひとりの男の人が野原を歩いているのを見ました。それはイサクでした。イサクはリベカを見て喜びました。母親のサラは三年前に死に，イサクはまだそれを悲しんでいたのです。でも，イサクはリベカをたいへん愛するようになったので，再び幸福になりました。 創世記 24:1-67。

性質のちがったふた子

ここにいるふたりの男の子はとてもちがっていますね。あなたはこのふたりの名前を知っていますか。かりをしているのはエサウで，羊の世話をしているのはヤコブです。

エサウとヤコブは，イサクとリベカのふた子の息子でした。父親のイサクは，エサウがたいへん好きでした。エサウはかりがじょうずで，家族のために食べ物を取って来たからです。でも，リベカはヤコブをとてもかわいがりました。ヤコブはおとなしくて，おだやかな子供だったからです。

おじいさんのアブラハムはまだ生きていました。アブラハムがエホバについて話すのを，ヤコブがどれほど喜んで聞いたか想像できますね。アブラハムはついに175歳で死にました。そのとき，ふた子は15歳でした。

エサウは40歳になったときに，カナンの地のふたりの女と結こんしました。それはイサクとリベカをたいへん悲しませました。その女たちはエホバを崇拝していなかったからです。

そうしたある日，エサウが弟のヤコブ

に対してたいへん腹を立てることが起きました。イサクが年上の息子に祝福をあたえるべき時が来たのですが，エサウはヤコブより年上だったので，自分がその祝福をもらえるものと思っていました。でも，エサウはそれより以前に，祝福を受ける権利をヤコブに売りわたしていたのです。それに，そのふた子が生まれたとき，神はヤコブが祝福を受けると言われました。そして，そのとおりになったのです。イサクは息子のヤコブに祝福をあたえました。

あとでそのことを知ったエサウは，ヤコブに腹を立てました。たいへんおこって，ヤコブを殺してやるとさえ言いました。それを聞いて，リベカはとても心配しました。それで，リベカは夫のイサクにこう言いました。『もしヤコブもカナンの女と結こんしたら，困ったことになりますわ』。

すると，イサクは息子のヤコブを呼んで次のように言いました。『カナンの女と結こんしてはいけない。ハランにいる，おじいさんのベトエルの家へ行きなさい。そして，ベトエルの息子ラバンのむすめと結こんしなさい』。

ヤコブは父親のことばに従って，親せきのいるハランまでの長い旅にさっそく出かけました。

創世記 25:5-11，20-34；26:34，35；
27:1-46；28:1-5。ヘブライ 12:16，17。

ヤコブはハランへ行く

ヤコブが話しかけているこの人たちはだれでしょうか。いく日も旅行したのち，ヤコブは井戸のそばでこの人たちに会いました。その人たちは羊の番をしていました。『あなたがたはどこから来たのですか』と，ヤコブはたずねました。

『ハランからです』と，その人たちは答えました。

『ラバンを知っていますか』と，ヤコブは聞きました。

男の人たちは答えました。『知っていますよ。ごらんなさい。ラバンのむすめのラケルが羊の群れを連れてやって来ます』。 あなたは，ラケルが向こうからやって来るのが見えますか。

ヤコブは，自分のおじさんであるラバンの羊をラケルが連れているのを見ると，井戸から石をころがしのけて，羊が水を飲めるようにしてやりました。それから，ラケルにあいさつの口づけをして，自分がだれであるかをラケルに告げました。ラケルは，すっかり興奮して，家に帰ると父親のラバンに話しました。

ラバンは喜んでヤコブを家に置きました。ヤコブが，ラケルと結こんさせてほしいとたのむと，ラバンは喜びました。でも，そのためにはわたしの畑で七年間働いてほしい，と言いました。ヤコブはラケルをとても愛していたので，そうしました。ところが，結こんする時になって何が起きたでしょうか。

ラバンはラケルのかわりに年上のむすめのレアをヤコブにあたえました。ヤコブがラバンのためにさらに七年間働いてもよいと言ったとき，ラバンは，ヤコブの妻としてラケルをもあたえました。そのころ，神は男の人が妻をふたり以上持つことを許しておられました。でも今は，聖書に書かれているとおり，人は妻をひとりだけ持つべきです。

創世記 29:1-30。

ヤコブは大きな家族を持つ

19

この大きな家族を見てごらんなさい。これはヤコブの12人の息子です。ヤコブにはむすめたちもいました。あなたはその子供たちのだれかの名前を知っていますか。何人かの子供について学びましょう。

レアはルベン，シメオン，レビ，ユダを産みました。ラケルは自分に子供ができないのを知って，とても悲しみました。それで自分に仕えていたビルハをヤコブにあたえました。ビルハは，ダンとナフタリというふたりの息子を産みました。レアも自分に仕えていたジルパをヤコブにあたえました。ジルパは，ガドとアシェルを産みました。レアは最後に息子をもうふたり産みました。それはイッサカルとゼブルンです。

ついにラケルにも子供が生まれました。ラケルはその子をヨセフと名付けました。ヨセフのことはあとでもっとたくさん学びます。ヨセフはとても重要な人になったからです。この11人は，ヤコブがラケルの父親のラバンといっしょに住んでいた時に生まれた息子たちです。

ヤコブにはむすめたちもいました。でも聖書の中に名前が書かれているのは，そのうちのデナひとりです。

ヤコブがラバンと別れてカナンへもどる決心をする時が来ました。そこでヤコブは，大きな家族と，大きな羊の群れと家畜の群れを集めて，長い旅に出かけました。

ヤコブとその家族がカナンにもどってしばらくしてから，ラケルはもうひとりの息子を産みました。それはヤコブたちがまだ旅をしている途中のことでした。ラケルは苦しい思いをして，お産のあいだにとうとう死んでしまいました。でも男の赤ちゃんはだいじょうぶでした。ヤコブはその子をベニヤミンと名付けました。

イスラエルの全国民はヤコブの12人の息子からできたので，わたしたちはその名前をおぼえたいと思いますね。ほんとうを言うと，イスラエルの12部族の名前は，ヤコブの10人の息子とヨセフのふたりの息子の名前からとられています。イサクはその男の子たちがみな生まれたのち，何年も生きていました。そんなに大勢の孫ができて，イサクはうれしかったにちがいありません。でも，孫むすめのデナにどんなことが起きたか見てみましょう。

創世記 29:32-35; 30:1-26; 35:16-19; 37:35。

デナは問題におちいる

20

デナはだれのところへ行こうとしているのでしょうか。カナンの地に住む女たちに会いに行こうとしているのです。父親のヤコブはそのことを喜ぶでしょうか。その答えを見つけるために，アブラハムとイサクがカナンの女たちをどのように考えていたか，思い出してみましょう。

アブラハムは息子のイサクがカナンの女と結こんするのを望みましたか。いいえ，望みませんでした。イサクとリベカは息子のヤコブがカナン人の女と結こんするのを望みましたか。いいえ，望みませんでした。どうしてだかわかりますか。

それは，カナンの人々がいつわりの神々を崇拝していたからです。その人々は，夫や妻にするのにふさわしい人たちではありませんでした。また，仲の良い友だちにするのにもふさわしい人たちではありませんでした。ですから，ヤコブは，自分のむすめがそうしたカナンの女たちと友だちになっているのを喜ばなかったにちがいありません。

そしてやはり，デナは問題におちいりました。あなたはこの絵で，カナン人の男がデナを見つめているのがわかりますか。これはシケムという人です。ある日，デナがやって来たとき，シケムはデナをとらえて，無理やり自分と寝させました。それは悪いことでした。男の人と女の人がいっしょに寝ることが許されるのは，ふたりが結こんしている場合だけだからです。シケムがデナにそのような悪いことをしたことから，もっとたいへんな問題が起きました。

デナの兄弟たちはその話を聞いてとてもおこりました。シメオンとレビのふたりはすっかり腹を立て，つるぎを取って町へ出かけて行き，男たちにふい打ちをかけたのです。そして，シケムや他のすべての男たちを殺してしまいました。ヤコブは息子たちがそのような悪いことをしたのでおこりました。

この問題は何がもとで始まったのでしょうか。それはデナが，神の律法に従わない人たちと友だちになったからです。わたしたちはそのような友だちを作りたいと思いませんね。

創世記 34:1-31。

ヨセフは兄弟たちからにくまれる　21

この少年はとても悲しそうですね。これはヨセフです。ヨセフの兄弟たちは，エジプトへ行く途中の人々にヨセフを売ったところです。ヨセフはエジプトでどれいにされるのです。ヨセフの異母兄弟たちはどうしてそのような悪いことをしたのでしょうか。かれらがヨセフをねたんでいるからです。

父親のヤコブは，ヨセフをそれはそれはかわいがりました。ヤコブは，かわいいヨセフのためにきれいな長い外とうを作ってやりました。10人の兄たちは，ヤコブがヨセフをたいへんかわいがっているのを見て，ねたましくなり，ヨセフをにくみはじめました。でも，兄たちがヨセフをにくんだことにはもう一つわけがありました。

ヨセフは二つのゆめを見ました。どちらのゆめの中でも，兄たちはヨセフに身をかがめました。ヨセフがそのゆめのことを話すと，兄たちはますますヨセフをにくみました。

さて，ある日，ヨセフの兄たちが父親の羊の世話をしていたとき，ヤコブはヨセフに，兄たちの様子を見に行くようにたのみます。ヨセフがやって来るのが見えたとき，兄たちの中のだれかが，『あいつを殺そう』と言います。いちばん年上のルベンは，『いや，そんなことをしてはいけない』と言います。兄たちはそうするかわりにヨセフを干上った水のあなに投げ入れます。それから座って，ヨセフをどうするか相談します。

そこへ，数人のイシマエル人がやって来ます。ユダは異母兄弟たちに，『あいつ

をイシマエル人に売ろう』と言います。兄弟たちはそれにさんせいして，ヨセフを銀20枚で売ります。それはなんと，意地の悪い，不親切なことだったのでしょう。

兄弟たちは父親になんと言うつもりでしょうか。兄弟たちはやぎを殺して，ヨセフのきれいな外とうをやぎの血に何度もひたします。それから，その外とうを父親のヤコブのところへ持って帰って，次のように言います。『わたしたちはこれを見つけました。ごらんください。これがヨセフの外とうかどうかお調べください』。

ヤコブはそれがヨセフのものだということを認めます。『きっとけものがヨセフを殺したにちがいない』と言って，ヤコブは泣きます。それこそ，ヨセフの兄たちが父親に思い込ませようとしたことです。ヤコブはたいそう悲しみます。そして，何日間も泣きくらします。でも，ヨセフは死んではいませんでした。連れて行かれた土地で，ヨセフがどうなったか見てみましょう。

創世記 37:1-35。

ヨセフはろう屋に入れられる　22

ヨセフは，わずか17歳でエジプトに連れて行かれ，ポテパルという人に売られます。ポテパルは，ファラオと呼ばれるエジプトの王様の家来です。

ヨセフは主人のポテパルのためにいっしょうけんめい働きます。それで，ヨセフがおとなになると，ポテパルはヨセフに自分の家のことを全部任せます。ではどうしてヨセフは，この絵にあるようにろう屋にいるのでしょうか。その原因はポテパルの妻にあります。

ヨセフが美青年になったので，ポテパルの妻は，ヨセフが自分と寝てくれることを望みます。でも，ヨセフはそれが悪いことだと知っていますから，そうしようとしません。ポテパルの妻はたいへんおこって，ポテパルが家に帰ったときに，『あの悪いヨセフがわたしと寝ようとしました』とうそを言います。ポテパルは，妻の言うことを信じてすっかり腹を立て，ヨセフをろう屋へ入れさせます。

ろう屋の長は，ヨセフが良い人だということをすぐに認め，他の囚人すべてをヨセフに任せます。のちにファラオは，酒をつぐ人とパン焼き人を，おこってろう屋に入れます。ある夜，そのふたりはそれぞれ特別なゆめを見ます。でも，ゆめの意味がわかりません。次の日ヨセフは，『あなたがたのゆめを話してください』と言います。ふたりがゆめを話すと，ヨセフは，神の助けでその意味を説明します。

酒をつぐ人にヨセフはこう言います。『あなたは三日のうちにろう屋から出されます。そして再びファラオの，酒をつぐ人になります』。そしてヨセフはさらに，『ここから出たら，わたしのことをファラオに話してください。そして，わたしがここから出られるようにしてください』と言います。ところがヨセフはパン焼き人にはこう言います。『三日のうちにファラオはあなたの首を切らせます』。

三日たって，ヨセフが言ったとおりになります。ファラオはパン焼き人の首を切らせます。いっぽう，酒をつぐ人はろう屋から出されて，再び王に仕えるようになります。ところが，酒をつぐ人はヨセフのことをすっかり忘れてしまい，ヨセフのことをファラオに話しません。それで，ヨセフはろう屋にはいっていなければなりません。

創世記 39:1-23; 40:1-23。

ファラオのゆめ

二年がたちましたが，ヨセフはまだろう屋にいます。酒をつぐ人はヨセフのことを思い出しません。するとある夜，ファラオは二つのたいへん変わったゆめを見ます。ファラオは，そのゆめはどういう意味だろうと考えます。あなたはファラオがそこにねむっているのが見えますか。あくる朝，ファラオは知恵のある者たちを呼び寄せ，ゆめの中で見たことを話します。でも，その人々はゆめの意味を王に告げることができません。

さて，酒をつぐ人は，やっとヨセフのことを思い出します。そして，ファラオにこう言います。『わたしがろう屋におりましたとき，ゆめの意味を説明できる男がいました』。ファラオは，ヨセフをただちにろう屋から連れて来させます。

ファラオは，ヨセフに自分が見たゆめを次のように話します。『わたしは，ふとってみごとな七頭のめ牛を見た。それから，とてもやせて，骨と皮ばかりの七頭のめ牛を見た。すると，やせため牛は，ふとっため牛を食べてしまった。

『二番めのゆめで，わたしは，実のつまって熟した七つの穂が一本の穀物のくきに出て来るのを見た。それから，やせて干からびた七つの穂を見た。やせた穀物の穂は七つの良い穂を飲み込みはじめた』。

ヨセフはファラオにこう言います。『二つのゆめには同じ意味があります。七頭の肥えため牛と実のつまった七つの穂は七年を意味しています。やせた七頭のめ牛とやせた七つの穂はさらに七年を意味しています。エジプトに七年間豊作があります。それから七年間は作物がほとんど実りません』。

それで，ヨセフは，ファラオに次のように言います。『だれか知恵のある人をお選びください。そして，七年の豊作のあいだに食物を集める仕事をその人にお任せください。そうすれば，次の七年間に作物がほとんど実らなくても，人々がうえることはありません』。

ファラオはその考えが気に入ります。そして，食物を集めてたくわえさせるのにヨセフを選びます。ヨセフはエジプトでファラオの次に重要な人になります。

八年後，ききんの最中に，ヨセフは数人の人がやって来るのを見ます。あなたはその人たちがだれかわかりますか。なんと，それはヨセフの10人の兄たちではありませんか。父親のヤコブが兄たちをエジプトにつかわしたのです。故郷のカナンには食物がなくなっていたからです。ヨセフは，それが兄たちであることがわかりました。でも，兄たちはヨセフだとは気づきません。なぜでしょうか。ヨセフがおとなになっていて，ちがった服そうをしているからです。

ヨセフは，子供のときに，兄たちが自分のところに来て身をかがめるゆめを見たことを思い出します。あなたはそのことをおぼえていますか。それでヨセフは，自分をエジプトへ来させたのは神だったこと，そして，それには十分の理由があったことをさとります。ヨセフはどうすると思いますか。いっしょに見てみましょう。

創世記 41:1-57; 42:1-8; 50:20。

ヨセフは兄たちをためす

ヨセフは，10人の兄たちが相変わらず意地悪く，不親切かどうか知りたいと思います。そこでこう言います。『おまえたちはスパイだ。この国の弱い所を探ろうとして来たのだ』。

『いいえ，ちがいます。わたくしたちは正直な人間です。わたくしたちはみな兄弟です。12人兄弟なのですが，ひとりは今はおらず，末の弟は父といっしょに家におります』と，兄たちは言います。

ヨセフは兄たちのことばを信じないふりをします。そしてシメオンという兄をろう屋にとらえておき，他の兄たちに食物を持たせて帰らせます。ただし，ヨセフは，『もどって来るとき，末の弟をいっしょに連れて来るように』と，兄たちに命じます。

兄たちはカナンの家に帰ると，起きた事柄を父親のヤコブにみな話します。ヤコブは悲しんで，『ヨセフは死んでしまっているし，今度はシメオンもいなくなった。おまえたちに末っ子のベニヤミンを連れて行かせることなどとてもできない』と言って泣きます。しかし，食物がなくなってきたので，ヤコブは，食物を得るために，息子たちがベニヤミンをエジプトへ連れて行くのを許すほかはありません。

さて，ヨセフは兄弟たちがやって来るのを見ます。そして，弟のベニヤミンを見てたいへん喜びます。兄弟たちは，その重要な人物がヨセフであることを，もちろん知りません。さて，ヨセフは10人の兄たちをためすためにあることをします。

ヨセフは，兄たちの袋を食物で一杯にするようしもべたちに命じます。そして，自分の大切な銀のさかずきをベニヤミンの袋にそっと入れさせます。兄弟たちがそろって出発して道をしばらく進んだころ，ヨセフはしもべたちにかれらのあとを追わせます。しもべは兄弟たちに追いつくと，こう言います。『なぜおまえたちはご主人様の銀のさかずきをぬすんだのか』。

『わたくしどもはあのかたのさかずきをぬすんだおぼえなどございません。もし，わたくしたちの中でそのさかずきを持っている者がおりましたら，その者を殺してください』と，兄弟たちは口をそろえて言います。

そこで，しもべたちが全部の袋を調べると，この絵のとおり，ベニヤミンの袋の中にさかずきが見つかります。しもべたちは，『みんなは帰ってよいが，ベニヤミンはわたしたちといっしょに来い』と言います。さて，10人の異母兄弟たちはどうしますか。

みんなはベニヤミンといっしょにヨセフの家に帰ります。ヨセフは兄たちに，『おまえたちみんなは帰ってよいが，ベニヤミンはわたしのどれいとしてここに残るのだ』と，言います。

するとユダは声を大きくしてこう言います。『あの子を連れずに家へ帰ったら，あの子をとてもかわいがっている父は死んでしまうでしょう。ですから，どうか，わたしをどれいとしてここに置き，あの子を帰らせてください』。

ヨセフは，兄たちが変化したことを知ります。もう，意地が悪くはなく，不親切でもありません。さて，ヨセフはどうするでしょうか，見てみましょう。

創世記 42:9-38; 43:1-34; 44:1-34。

一家はエジプトへ移る

ヨセフはもうこれ以上気持ちをおさえることができません。しもべたちをみな部屋から出します。自分と兄弟たちだけになると，ヨセフは泣きはじめます。兄弟たちは，ヨセフがなぜ泣いているのか知らなかったのですから，どんなにびっくりしたか想像できますね。とうとうヨセフは口を開いて，『わたしはヨセフです。お父さんはまだ生きておられますか』と言います。

兄弟たちは，おどろきのあまりものも言えません。そして，心配します。ところがヨセフは，『どうかもっと近くに来てください』と言います。兄弟たちが近寄ると，ヨセフはこう言います。『わたしは，あなたがたがエジプトに売った弟のヨセフです』。

ヨセフはさらに続けてやさしくこう言います。『わたしをここへ売ったことで自分を責めないでください。実は，神がわたしをエジプトへつかわして，民の命を救われたのです。ファラオはわたしをエジプト全国の支配者にしました。ですから，急いでお父さんのところへ帰って，このことを知らせてください。そして，お父さんに，エジプトへ来てくらすように話してください』。

それから，ヨセフは兄弟たちをひとりひとりだきしめて口づけします。ヨセフの兄弟が来たことを聞くと，ファラオはヨセフに，『兄さんたちに車をもって行かせ，お父さんや家族をここに連れて来させなさい。わたしはあの人たちにエジプト全土でいちばん良い土地をあたえよう』と，言います。

兄弟たちはそのとおりにします。この絵は，全家族といっしょにエジプトへ来た父親を，ヨセフがむかえているところです。

ヤコブの家族はとても大勢になっていました。エジプトへ移ったとき，ヤコブとヤコブの子供また孫は，全部で70人でした。しかし，妻たちもいましたし，しもべも大勢いたことでしょう。そうした人たち全部がエジプトに住み着きました。その人たちはイスラエルと呼ばれました。なぜなら神がヤコブをイスラエルという名前にお変えになったからです。あとで出て来ますが，イスラエル人は神にとって特別な民になりました。

創世記 45:1-28; 46:1-27。

神に忠実なヨブ

26

あなたはこの病気の人を気の毒に思いますか。この人の名前はヨブで，女の人はヨブの妻です。妻はヨブになんと言っているのでしょう。『神をのろって死になさい』と言っているのです。ヨブの妻はいったいどうしてそんなことを言ったのでしょうか。また，ヨブはなぜそんなに苦しんだのでしょうか。いっしょに調べてみましょう。

ヨブは，カナンの地からほど遠くないウヅの地に住む，エホバに従った，忠実な人でした。エホバはヨブをたいへん愛されました。ところがヨブをにくむ者がいました。それはだれでしょうか。

それは，エホバをにくむあの悪い使い，悪魔サタンでした。サタンはアダムとエバをエホバにそむかせることができたので，ほかのどんな人間をもエホバにそむかせることができると考えました。でもそうすることができたでしょうか。いいえ，できませんでした。これまで学んだ大勢の忠実な男女のことを考えてください。あなたは何人ぐらいおぼえていますか。

ヤコブとヨセフがエジプトで死んだのち，世界中でいちばんエホバに忠実だった人はヨブでした。エホバは，サタンがすべての人を悪くならせることなどできないことをサタンに知らせたい，と思われました。それでこう言われました。『ヨブを見なさい。ヨブがわたしにどれほど忠実かごらんなさい』。

『あなたがヨブを祝福されますし，またヨブは多くの良いものを持っているのであなたに忠実なのです。しかし，もしあなたがそれらを取り去られたら，ヨブはあなたをのろうでしょう』と，サタンは言い張りました。

そこで，エホバはこうおっしゃいました。『ためらわずにそれらのものを取り去りなさい。あなたの気がすむまでヨブをいじめなさい。ヨブがわたしをのろうかどうか見ましょう。ただし，ヨブを殺すことは絶対にしてはなりません』。

そこでまず，サタンはどろぼうにヨブの家畜，羊，ラクダ全部をぬすませ，ヨブの10人の息子とむすめをあらしで殺しました。つぎに，ヨブをこのひどい病気にかからせました。ヨブがたいへん苦しむので，妻はヨブに，『神をのろって死になさい』と言いました。でも，ヨブはそうしませんでした。また，三人のいつわりの友だちが来て，ヨブは良くない生活をしている，と言いました。それでもヨブは忠実でした。

エホバは，それをたいへん喜ばれ，この絵にあるとおり，のちにヨブを祝福されました。そしてヨブの病気をおいやしになりました。ヨブは，さらに10人の美しい子供を得，以前より二倍も多い家畜，羊，そしてラクダを持つようになりました。

あなたは，ヨブのようにいつもエホバに忠実でいますか。もしそうであれば，神はあなたを祝福してくださるでしょう。全地がエデンの園のように美しくなるとき，あなたは永遠に生きられるでしょう。

ヨブ 1:1-22; 2:1-13; 42:10-17。

悪い王がエジプトを支配する

この男たちは人々を無理やり働かせています。労働者のひとりをむちで打っている人を見てごらんなさい。労働者たちはヤコブの子孫で，イスラエル人と呼ばれています。イスラエル人を無理やり働かせているのはエジプト人です。イスラエル人はエジプト人のどれいになってしまいました。どうしてそうなったのでしょう。

ヤコブの大きな家族は長年のあいだエジプトで平和にくらしました。エジプトでファラオに次いで重要な人物だったヨセフは，その人々をよく世話しました。しかし，その後ヨセフは死にました。そして，新しいファラオがエジプトの王になりましたが，その王はイスラエル人が好きではありませんでした。

それで，その悪いファラオは，イスラエル人をどれいにして，意地悪で残こくな男たちをその上に立てたのです。その男たちは,ファラオのための都市を建てるとい

うとてもつらい仕事をイスラエル人に無理やり行なわせました。しかし，それでもイスラエル人は引きつづきふえていきました。しばらくして，エジプト人はイスラエル人があまりにもふえて，強くなり過ぎるのではないかと心配するようになりました。

ファラオはどうしたと思いますか。イスラエル人の母親が子供を産むときに手助けをする女たちに，『男の子が生まれたらひとり残らず殺せ』と言ったのです。しかし，その女たちは良い人たちだったので，赤ちゃんを殺そうとしませんでした。

そこで，ファラオは全国民に次のような命令を出しました。『イスラエル人に赤

んぼうが生まれたら，男の子は取って殺し，女の子だけを生かしておけ』。そんなことを命令するとはおそろしいことではありませんか。しかし，ひとりの男の赤ちゃんがどのように救われたか見ましょう。

出エジプト記 1:6-22。

赤ちゃんのモーセはこうして救われた　28

かわいい赤ちゃんが，女の人の指をつかんで泣いていますね。この赤ちゃんはモーセです。きれいな女の人はだれでしょうか。この人はファラオのむすめ，つまりエジプトの王女です。

モーセの母親は，赤ちゃんをエジプト人に殺されたくなかったので，生まれてから三か月のあいだかくしました。でも，モーセが見つかることはわかっていたので，母親はその子を救うために次のようなことをしました。

かごを持って来て，それに水がしみこまないように工夫しました。それからモーセをその中に入れ，ナイル川の岸べのたけの高い草のあいだに置いたのです。モーセの姉のミリアムは，その近くにいてそれがどうなるかを見とどけるように言いつけられました。

まもなく，ファラオのむすめがナイル川へ水浴びにやって来ました。そしてふと，たけの高い草のあいだにかごを見つけました。それで王女はめし使いを呼び，『あのかごを取ってきておくれ』と言いました。王女がかごをあけると，中にはとても美しい赤ちゃんがいました。かわいい小さなモーセは泣いていました。王女は赤ちゃんがかわいそうになり，その子を殺させたくないと思いました。

するとミリアムがやって来ました。この絵の中にミリアムがいますね。ミリアムはファラオのむすめに，『この赤ちゃんに乳を飲ませるイスラエル人の女を呼んでまいりましょうか』とたずねました。

『お願い，そうしてちょうだい』と，王女は言いました。

そこで，ミリアムはすぐに走って行って母親に知らせました。モーセの母親が王女のもとに来ると，王女は，『お金をあげるから，この子を連れていって，乳を飲ませておくれ』と言います。

こうして，モーセの母親は自分の子供の世話をしました。そして，モーセが大きくなってから，ファラオのむすめのもとへ連れて行きました。王女はモーセを養子にしました。このようにして，モーセはファラオの家で成長するようになったのです。

出エジプト記 2：1-10。

モーセはなぜにげたのか　29

ごらんなさい，モーセがエジプトからにげて行きます。モーセを追いかける者たちが見えますか。その人たちはなぜモーセを殺そうとしているのでしょうか。その理由をさぐってみましょう。

モーセは，エジプトの支配者であるファラオの家で成長しました。モーセはたいへん知恵のあるえらい人になりました。モーセは自分がエジプト人でないこと，自分のほんとうの親はイスラエル人のどれいであることを知っていました。

40歳になっていたモーセは，ある日，自分の民の様子を見に行こうと決心しました。イスラエル人はとてもひどいあつかいを受けていました。そして，エジプト人がひとりのイスラエル人のどれいを打ちたたいているのを見ました。モーセはあたりを見まわして，だれも見ていなかったので，そのエジプト人をなぐりました。すると，そのエジプト人は死んでしまいました。モーセはその死体を砂の中にかくしました。

次の日，モーセは再び自分の民を見に出かけました。イスラエル人がこれ以上どれいのままでいなくてもよいように助けられると思ったのです。そのとき，モーセはふたりのイスラエル人がけんかをしているのを見ました。それで，モーセは，まちがっている悪いほうの人に，『あなたはなぜ自分の兄弟をなぐるのですか』と言いました。

その人は，『だれがおまえをわれわれの支配者，また裁き人としたのか。おまえは，あのエジプト人を殺したように，わたしをも殺すつもりなのか』と言いました。

そこでモーセは心配になりました。自分がエジプト人にしたことに人々が気づい

ていたからです。ファラオでさえそのことを耳にしました。こうして，モーセはエジプトからにげねばならなくなったのです。

モーセはエジプトを去って，遠いミデアンの地へ行きました。そこでエテロの家族に会い，そのむすめのチッポラと結こんしました。モーセは羊かいになって，エテロの羊の世話をしました。そして40年のあいだミデアンの地に住み，いまや80歳になりました。そうしたある日，羊の世話をしていたときに，モーセの一生を変える，あるおどろくべきことが起こりました。つぎにそれが何かを見ましょう。

出エジプト記 2：11-25。使徒 7：22-29。

燃えるしば　30

モーセは，羊に食べさせる草をさがしに，はるばるホレブ山まで行きました。そして，そこで燃えているしばを見ました。ところが，それは燃えつきてしまわないのです。

『これは不思議だ。近くへ行ってよく見よう』とモーセは考えました。モーセが近づくと，しばの中から声がして，こう言いました。『それより近づいてはなりません。サンダルをぬぎなさい。あなたは聖なる所に立っているからです』。モーセは顔をおおいました。神がみ使いによって語っておられたからです。

それから神は，こう言われました。『わたしは，わたしの民がエジプトで苦しんでいるのを見ました。それで，民を解放しようと思います。そして，あなたは，わたしの民をエジプトから導き出すためにわたしがつかわす者です』。エホバはご自分の民を美しいカナンの地へ連れて行こうとしておられました。

しかし，モーセは言いました。『わたしは取るに足りない者で，そのようなことはとてもできません。たとえ行ったとしても，イスラエル人は，「だれがあなたをつかわしたのか」と言うでしょう。そうしたら，わたしは何と言えばよいのでしょう』。

エホバはこうお答えになりました。『あなたはこう言いなさい。「アブラハムの神，イ

サクの神,ヤコブの神**エホバ**がわたしをつかわした」と。これはわたしの永遠の名前です』。

『でも，あなたがわたしをおつかわしになったと言っても，人々が信じなかったらどうしましょうか』とモーセは言いました。

『あなたは手に何を持っていますか』と神はたずねました。

『つえです』とモーセは答えました。

『それを地面に投げなさい』と神は言われました。モーセがそのとおりにすると，つえはへびになりました。それからエホバはモーセに言われました。『手を長い衣の中へ入れなさい』。モーセが，そのとおりにしてから手を取り出すと，手は，雪のように白くて，おそろしいらい病にかかったようになっていました。ついでモーセに，二番めの奇跡を行なう力をおあたえになってから，最後にエホバは，『これらの奇跡を行なうなら，イスラエル人は，わたしがあなたをつかわしたことを信じるでしょう』とおっしゃいました。

そののち，モーセは，家に帰ってエテロに言いました。『どうか，わたしがエジプトにいるわたしの親族の様子を見に行くのをお許しください』。それでエテロはモーセに別れを告げ，モーセはエジプトへ帰って行きました。　出エジプト記 3：1-22；4：1-20。

モーセとアロンはファラオと会う　31

モーセはエジプトへもどって，兄のアロンに奇跡のことをすっかり話しました。モーセとアロンがそれらの奇跡を見せると，すべての人は，エホバがふたりとともにおられることを信じました。

それからモーセとアロンはファラオに会いに行き，ファラオにこう告げました。『イスラエルの神エホバは，「わたしの民を三日のあいだ自由にして，かれらがこう野でわたしを崇拝できるようにしなさい」と言われます』。ところが，ファラオは，『わたしはエホバを信じていない。イスラエルを自由になどするものか』と答えました。

イスラエル人が，エホバを崇拝するために仕事を休みたいと願っていたので，ファラオはおこって，かれらをもっと働かせました。イスラエル人は，自分たちが苦しめられているのをモーセのせいにしました。モーセは悲しくなりました。しかし，エホバはモーセに心配しなくてもよい，とおっしゃり，こう言われました。『わたしは，ファラオがわたしの民を出て行かせるようにします』。

モーセとアロンは再びファラオに会いに行きました。このたびは，ふたりは奇跡を行ないました。アロンがつえを投げると，それは大きなへびになりました。しかし，ファラオのがわの知恵のある者たちもつえを投げると，へびが現われました。ところが，ごらんなさい，アロンのへびは，その知恵のある者のへびを食べているではありませんか。それでもファラオはイスラエル人を行かせようとはしませんでした。

それで，エホバがファラオに教訓をおあたえになる時が来ました。あなたは，エホバがどのようにしてそうなさったと思いますか。エジプトに十の災い，つまり大きななやみをもたらされたのです。

いくつかの災いが起きたあと，ファラオはモーセをめし寄せて，こう言いました。『災いを止めてくれ。そうすれば，わたしはイスラエルを去らせる』。ところが，災いがやむと，ファラオは考えを変え，イスラエル人を行かせようとしませんでした。しかし，ついに，10番めの災いが起きたとき，ファラオはイスラエル人を去らせました。

あなたは十の災いのひとつひとつを知っていますか。次のページを開いてそれを学びましょう。

出エジプト記 4:27-31；5:1-23；6:1-13，26-30；7:1-13。

十の災い

この絵を見てください。それぞれの絵は，エホバがエジプトに下された災いを示しています。最初の絵は，アロンがナイル川をつえで打っているところです。アロンがそのようにすると，川の水は，血に変わってしまいました。魚は死んで，ナイル川はくさくなりはじめました。

つぎに，エホバはナイル川からかえるを上らせました。かえるは，かまど，なべ，人々の寝どこなどありとあらゆる所に上りました。かえるが死んで，エジプト人たちがその死がいを集めたところ，それは山のようになりました。エジプトの国はかえるの死がいのためにくさくなりました。

それからアロンはつえで地面を打ちました。すると，ちりはぶよになりました。ぶよというのは小さな飛ぶ虫で，人をさします。ぶよはエジプトの地の三番めの災いになりました。

残りの災いは，エジプト人だけにのぞんで，イスラエル人にはのぞみませんでした。四番めの災いでは，あぶがすべてのエジプト人の家に群がりました。五番めの災いは動物にのぞみました。エジプト人の家畜，羊，やぎの多くが死にました。

そのつぎに，モーセとアロンは，すすを取って空中に投げました。それは，人間や動物につ

いて，はれものになりました。これは六番めの災いでした。

そのあと，モーセは空にむかって手を上げました。すると，エホバはかみなりを起こし，ひょうを降らせました。それはエジプトでそれまでに降ったひょうのうちでいちばんひどいものでした。

八番めの災いはいなごの大群でした。それ以前にもそれ以後にも，そんなに多くのいなごが出たことはありませんでした。いなごは，ひょうでだめにならなかったものをすっかり食べてしまいました。

九番めの災いは暗やみでした。三日のあいだ，こい暗やみが国をおおいました。でも，イスラエル人たちが住んでいた所には光がありました。

最後に，神はご自分の民に，子やぎか子羊の血を，戸口にある柱にはねかけることをお命じになりました。それから神のみ使いはエジプトを通り過ぎました。み使いは，血を見たなら，その家の人を殺しませんでした。しかし，戸口の柱に血のついていない家は一けんも見のがさないで，人間と動物の初子を殺しました。これが10番めの災いでした。

その最後の災いののち，ファラオはイスラエル人に出て行くように命令しました。神の民は出かける用意をすっかり整えていました。そして，その夜に，イスラエル人はそろってエジプトから出て行きました。　出エジプト記　7章から12章。

紅海をわたる

ごらんなさい，今起きていることを！　紅海の上につえを差しのべているのは，モーセです。モーセといっしょに無事にこちらの岸に来ているのは，イスラエル人です。しかし，ファラオとその全軍は海でおぼれています。では，どうしてこうなったのかを調べてみることにしましょう。

前に学んだように，神がエジプト人に10番めの災いを下されたあと，ファラオは，エジプトを出て行くようイスラエル人に命じました。大勢の女や子供たちのほかに，およそ60万人のイスラエル人の男子が，エジプトを出て行きました。そればかりか，イスラエル人以外の人で，エホバを信じるようになっていた大勢の人々も，イスラエル人といっしょに出かけたのです。その人々はみな，羊や やぎや家畜を連れて行きました。

出かける前に，イスラエル人はエジプト人に衣服とか，金や銀で作ったものを求めました。エジプト人は，最後の災いを受けてたいへんおそれていたので，イスラエル人が求めるものは何でもあたえました。

数日後，イスラエル人たちは紅海にとう着し，そこで休みました。いっぽう，ファラオとその家来たちは，イスラエル人を去らせたことをくやしく思うようになり，『われわれはどれいを去らせてしまった』と言いました。

それで，ファラオはもう一度考えを変えました。ただちに戦車と兵士を用意させたのです。そして，600台の特別な戦車ばかりか，エジプト中のほかの戦車を使ってイスラエル人を追いかけはじめました。

ファラオとその軍隊が追いかけて来るのを見たとき，イスラエル人たちはたいへ

んおそれました。にげる所はどこにもありませんでした。いっぽうは紅海で，べつの方向からはエジプト人がせまってきていました。しかし，エホバはご自分の民とエジプト人のあいだに雲を置かれました。ですからエジプト人はイスラエル人が見えず，こうげきすることができませんでした。

それからエホバはモーセに，つえを紅海の上に差しのべるよう命令されました。モーセがそのとおりにすると，エホバは強い東風を起こさせました。そのため海の水はわけられて，水は両側にとどまりました。

それで，イスラエル人たちは海の底のかわいた所を進みはじめました。何百万もの人々と動物が海のむこう岸まで無事にわたるには，何時間もかかりました。やっと，エジプト人たちは，イスラエル人を再び見ることができました。自分たちのどれいがにげているのです！　エジプト人たちはそのあとを追って海の中へとっ進しました。

すると，神は，エジプト人たちの戦車の車輪がはずれるようになさいました。エジプト人たちはひじょうにおそれて，大声でこうさけびはじめました。『エホバはイスラエル人のためにわたしたちと戦っているのだ。ここから出よう』。しかし，それは手おくれでした。

そのとき，エホバは，絵にあったように，つえを紅海の上に差しのべるようにとモーセにお命じになりました。モーセがそのとおりにすると，水のかべはもとにもどって，エジプト人と戦車をおおいはじめたのです。軍隊全部がイスラエル人のあとを追って海にはいっていました。ですから，ひとりのエジプト人も生き残れませんでした。

神の民たちはみな救われて，どんなにかうれしかったでしょう。男たちは，『エホバはすばらしい勝利をおさめられた。エホバは馬と乗り手たちを海に投げこまれた』という，エホバへの感謝の歌をうたいました。モーセの姉のミリアムはタンバリンを取りました。そして，すべての女たちはタンバリンを持ってミリアムに続きました。男たちと同じように，『エホバはすばらしい勝利をおさめられた。エホバは馬と乗り手たちを海に投げこまれた』とうたいながら，女たちは喜びのあまりおどりました。

出エジプト記 12章から15章。

エジプトを出てから イスラエルの最初の王まで

モーセはエジプトでとらわれの身になっていたイスラエル人を導き出して，シナイ山に連れて行きました。その山で，神はイスラエル人に律法をおあたえになりました。のちにモーセは12人を派けんして，カナンの地をていさつさせました。しかし，そのうちの10人は悪い知らせを持って帰って来ました。それらの者たちは，エジプトへ帰りたいという気持ちを人々に起こさせたのです。人々に信仰が欠けていたので，神はイスラエル人をばっして，40年のあいだ，こう野をさまよわせました。

ついに，ヨシュアが，イスラエル人をカナンの地へ導くために選ばれました。イスラエル人がカナンの地をとるのを助けるために，エホバはいくつかの奇跡を起こされました。ヨルダン川の流れを止めたり，エリコの城へきをくずしたり，太陽を丸一日止めたりなさいました。六年後にイスラエル人はその土地をカナン人からとりました。

イスラエルは，356年のあいだヨシュアから始まる裁き人たちによって支配されました。わたしたちは，バラク，ギデオン，エフタ，サムソン，サムエルなど，大勢の裁き人について学びます。また，ラハブ，デボラ，ヤエル，ルツ，ナオミ，デリラといった女の人たちについても読みます。第３部にはあわせて396年間の歴史がのっています。

新しい食べ物

34

人々は地面から何を拾い集めているのでしょうか。それは，白くて，うすくて，こわれやすい，しものようなものです。でも，しもではありません。それは食べ物なのです。

イスラエル人がエジプトを去ってから，ほんのひと月しかたっていません。イスラエル人はこう野にいました。こう野では食物がほとんど育ちません。それで，人々はこのように不平を言います。『エホバはわたしたちをエジプトで殺してくださったらよかったのに。なんといっても，エジプトには，ほしい食べ物だけはなんでもあった』。

するとエホバは，『食物を空から降らせよう』とおっしゃって，そのようになさいます。あくる朝，降ったこの白いものを見て，イスラエル人たちはたがいに，『これはなんだろう』と言い合います。

モーセは言います。『これは，エホバがあなたがたにおあたえになった食物です』。人々はそれを**マナ**と呼びました。マナは，はちみつを入れて作ったうすいケーキのような味がしました。

『めいめい自分が食べられる分だけ拾いなさい』とモーセは人々に言います。ですから，人々は毎朝マナを拾うのです。日ざしが強くなると，地面に残ったマナはとけてしまいます。

モーセは，また，『マナを次の日までとっておいてはなりません』と言います。ところが，ある人たちはそれに聞き従いませんでした。するとどうなるのでしょうか。次の日には，とっておいたマナは，虫がいっぱいついていて，くさくなっています。

しかし，エホバが人々に，二倍のマナを拾うように命令された日が，一週間のうちに一日だけあります。それは第六日めです。エホバは，七日めには何も降らせないので，マナの一部を次の日まで残しておくようにとおっしゃいます。七日めまでマナをとっておいても，それは少しも虫がつかず，くさくもなりません。これはもう一つの奇跡です。

イスラエル人がこう野にいるあいだ中ずっと，エホバはかれらをマナで養われます。

出エジプト記 16:1-36。民数紀 11:7-9。ヨシュア記 5:10-12。

エホバは律法を おあたえになる 35

エジプトを去って二か月ほどのちに，イスラエル人たちはシナイ山にやって来ました。シナイ山はホレブとも呼ばれます。そこは，エホバが燃えるしばの中からモーセに語られたのと同じ場所です。イスラエル人たちはそこにテントを張って，しばらくのあいだとどまります。

人々を下に待たせて，モーセはシナイ山に登ります。山の頂上で，エホバはモーセに，イスラエル人がご自分に聞き従って，ご自分の特別な民になることを望んでいることを話されます。モーセは山を降りて，エホバがおっしゃったことをイスラエル人に伝えます。人々は，神の民になりたいので，エホバに聞き従うと言います。

そこでエホバは不思議なことを行なわれます。山の頂上から煙を出させ，大きなかみなりを起こされます。そして，人々にこう話されます。『わたしは，あなたがたをエジプトから連れ出した，あなたがたの神エホバです』。それから次のようにお命じになります。『あなたがたは，わたし以外の他のどんな神々をも崇拝してはなりません』。

神はさらに九つのいましめ，つまり律法をイスラエル人におあたえになります。人々はとてもおそれて，モーセにこう言います。『もし，神がわたしたちにお話しになると，わたしたちは死ぬかもしれないので，あなたがわたしたちに話してください』。

のちにエホバはモーセにこう命令されました。『山のわたしのところまで来なさい。わたしはあなたに，民の守るべき律法をわたしがしるした二枚の石の板をあたえよう』。それでモーセは再び山に登って行きます。モーセは山で40日40夜すごします。

神はご自分の民のために，とてもたくさんの律法を考えておられます。モーセは

それらの律法を書きとめます。神はまた，モーセに二枚の石の板をおあたえになります。その上には，すべての民に語られた十の律法が，神ご自身によって書きしるされています。その十の律法のことを十戒と言います。

十戒は大切な律法です。でも，神がイスラエル人におあたえになる，ほかの多くの律法も大切です。それらの律法の一つに，次のような律法があります。『あなたは，心をこめ，思いをこめ，たましいをこめ，そして力をこめて，あなたの神エホバを愛さなければなりません』。もう一つ，このような律法もあります。『あなたは，隣人を自分自身のように愛さなければなりません』。神のみ子であるイエス・キリストは，この二つの律法を，エホバがご自分の民イスラエルにおあたえになった最も重要な律法であるとおっしゃいました。あとで，わたしたちは，神のみ子とその教えについてたくさん学びます。

出エジプト記 19:1-25; 20:1-21; 24:12-18; 31:18。申命記 6:4-6。レビ記 19:18。マタイ 22:36-40。

金の子牛

おや，おや，人々はいま何をしているのでしょう。人々は，子牛に向かって祈っているではありませんか。どうしてそんなことをしているのでしょう。

モーセが長いあいだ山へ行ったきり帰って来ないので，人々は言います。『モーセはどうなってしまったかわからない。だから，この土地からわたしたちを導き出してくれる神を作ろうではないか』。

『よろしい。みなさんの金の耳輪をわたしのところへ持ってきてください』とアロンは言います。そして，人々が持ってきた金の耳輪をとかして，金の子牛を作りま

す。すると，人々は，『これこそ，エジプトから導き出してくださった，わたしたちの神だ！』と言い，大きな集まりを開いて，金の子牛を崇拝します。

エホバはそれをごらんになって，たいへん立腹されます。それでモーセにこう言われます。『いそいで山を降りなさい。民はひじょうに悪いことをしています。民はわたしの律法をわすれて，金の子牛にひれふしているのです』。

モーセはいそいで山を降ります。そして，近くに行ってモーセが見たのはこのような光景です。人々は金の子牛のまわりで歌ったり，おどったりしています。モーセはとてもおこって，律法の書いてある二枚の石の板を地面に投げます。石の板はこなごなにくだけます。それからモーセは金の子牛を取って，とかします。そして，それをひいて粉にします。

人々はほんとうに悪いことをしました。それでモーセはある男たちに，つるぎを取るように命令します。『金の子牛を崇拝した悪い者たちは死ぬのです』とモーセは言います。それで，3,000 人がその男たちに打たれて死にます。このことから，ほかのいつわりの神々ではなく，エホバだけを崇拝するよう気をつけなければならない，ということがわかりますね。

出エジプト記 32：1-35。

崇拝のための天幕

この建物は何でしょう。これは，エホバを崇拝するための特別な天幕で，幕屋とも呼ばれます。イス

ラエル人たちは，エジプトを出てから一年のちにこの天幕を完成しました。これを作ることはだれの考えだったのでしょうか。

それはエホバがお考えになったことでした。モーセがシナイ山の上にいたあいだに，エホバは，天幕をどのように作るかをモーセにお告げになりました。エホバは，すぐにくずしてたためるように作りなさい，とおっしゃいました。ですから，天幕をばらばらにしたものを別の所へ運び，そこで再び組み立てることができました。このように，イスラエル人は，こう野をあちこち移動するときに，この天幕を持ち運びました。

天幕の奥の小さな部屋の中を見ると，ひつ，つまり大きな箱が見えます。それはけい約の箱と呼ばれています。けい約の箱の両はしには，金でできたケルブというみ使いがひとつずつ置かれています。モーセが十戒の書かれた石の板を割ってしまったので，神は再び二枚の石の板に十戒を書きしるされました。その石の板はけい約の箱の中に入れられました。それから，マナのはいったつぼも，その中に入れられました。マナとは何か，おぼえていますか。

モーセの兄のアロンは，エホバによって大祭司に選ばれます。アロンは，人々がエホバを崇拝するのを指導します。アロンの息子たちも祭司です。

さて，天幕の大きいほうの部屋を見てください。この部屋は小さい部屋の二倍の広さがあります。けむりが立ちのぼっている小さな箱が見えますか。それは，祭司たちが，良いかおりのする香というものをたく，祭だんです。それから，七つのともしびがともる，しょく台があります。そして，その部屋にある三番めのものは机です。机の上には12個のパンが置かれています。

幕屋の庭には，水のいっぱいはいった大きなはちのようなたらいがあります。祭司たちは物を洗ったりするのにそれを使います。それから，大きな祭だんもあります。その祭だんで，エホバへのささげ物の動物の死体が焼かれるのです。崇拝のための天幕は宿営のちょうどまん中にあって，イスラエル人たちはそのまわりに天幕を張って住んでいます。

出エジプト記 25：8-40；26：1-37；27：1-8；28：1；30：1-10，17-21；34：1，2。ヘブライ 9：1-5。

12人のスパイ

この人たちがかついでいるくだものを見てください。なんと大きなぶどうのふさでしょう。ふたりの男がぼうでかつがなくてはならないほどです。それに，いちじくやざくろもありますよ。こんなすばらしいくだものをどこから持ってきたのでしょう。カナンの地からです。むかし，カナンにアブラハム，イサク，ヤコブ

が住んでいたことをおぼえているでしょう。でも，そこがききんになったので，ヤコブは家族を連れてエジプトに移りました。それからおよそ216年がすぎて，今モーセはイスラエル人たちをひきいてカナンへもどるところです。そして，こう野のカデシという所にやって来ました。

カナンには，悪い人たちが住んでいます。それで，モーセは12人のスパイをつかわして，こう言います。『どのくらいの数の人が住んでいて，その人たちがどれほど強いかをていさつしてきてください。その土地は作物のよくできるところかどうかを調べてください。そして，そこで実ったくだものをぜひ持って帰ってください』。

スパイたちは，カデシにもどって来ると，『あそこはほんとうにすばらしいところです』とモーセに言います。その証明として，モーセにくだものを見せます。ところが，スパイたちのうちの10人は，『あそこには，大きくて強い人たちが住んでいます。あの土地をとろうとしたら，わたしたちは殺されてしまうでしょう』と言います。

イスラエル人はそれを聞くとこわくなり，こう言います。『エジプトか，このこう野で死んだほうがましだ。われわれは戦場で殺され，妻や子供はほりょになるだろう。モーセのかわりに別の指導者を立てて，エジプトへもどろう』。

しかし，ヨシュアとカレブというふたりのスパイは，エホバを信らいしているので，人々の心を静めようとします。そして，こう言います。『おそれてはなりません。エホバがわたしたちとともにおられます。あの土地をとるのはむずかしいことではありません』。でも，人々は聞き入れず，そのふたりを殺そうとさえします。

そのために，エホバはたいへんおいかりになり，モーセに次のように言われます。『20歳以上の者たちはカナンの地へはいれません。その者たちは，わたしがエジプトとこう野で行なった奇跡を見ましたが，それでもわたしを信らいしません。ですから，最後の人が死ぬまで，40年間こう野をさまようのです。ヨシュアとカレブだけがカナンの地へはいります』。

民数紀 13:1-33; 14:1-38。

アロンのつえに花がさく

このつえには，熟したアーモンドの実と花がついていますね。これはアロンのつえです。アロンのつえは，たったひと晩でこの花をさかせ，この実を結んだのです。では，そのわけを調べてみましょう。

イスラエル人がこう野をさまようようになってからしばらくたちました。ある人たちは，モーセが指導者であることや，アロンが大祭司になっているのがおもしろくありません。コラがそうですし，ダタンとかアビラム，また人々の長である250人もそう思っていました。それらの人たちがみなでモーセのところへやって来て，『あなたは，どういうわけで，わたしたちの上に立つのですか』と言います。

モーセはコラと，コラに従う人々にこう言います。『あすの朝，火ざらを取って，それに香を入れなさい。それからエホバの天幕に来なさい。エホバがだれをお選びになるかわかるでしょう』。

次の日，コラとコラに従う250人は幕屋にやって来ます。ほかの大勢の人たちも，コラたちをおうえんするためにやって来ます。エホバはたいへんおいかりになります。モーセはこう言います。『あの悪い者たちの天幕から離れなさい。かれらのものにさわってはなりません』。人々はそのことばに従って，コラ，ダタン，アビラムの天幕から離れます。

ついでモーセは言います。『これによって，あなたがたは，エホバがだれをお選びになったかわかるでしょう。地面が口を開いて，この悪い者たちをのみこむのです』。

モーセが語りおえるとすぐに，地面が口を開きます。コラの天幕と持ち物，ダタン，アビラム，それらの人といっしょにいた人々はそこに落ち，地面はふさがります。地中に落ちた人々のさけび声を聞くと，人々は大声で，『にげろ！　わたしたちも地にのみこまれるかもしれない』と言います。

コラとコラに従う250人は，まだ幕屋のそばにいます。それで，エホバは，火を送って全員を焼きほろぼしてしまわれます。それから，エホバは，アロンの息子のエレアザルに，焼きほろぼされた者たちの火ざらを集めて，それで祭だんのうすいおおいを作るように命令されます。その祭だんのおおいは，アロンとその息子以外

はだれもエホバの祭司の勤めをしてはならないということを，イスラエル人に警告するものとなります。

さらに，エホバは，アロンとその息子たちこそご自分が祭司に選んだ者であることをはっきりさせたいと思われました。そこで，モーセに次のようにおっしゃいました。『イスラエルの各部族の長に，各自のつえを持って来させなさい。レビの部族からは，アロンにつえを持って来させなさい。そして，それぞれのつえを幕屋のけい約の箱の前に置きなさい。わたしが祭司に選んだ人のつえには花がさきます』。

次の朝，モーセが見てみると，どうでしょう，アロンのつえには，この絵のように，花がさいて，熟したアーモンドの実がなっているではありませんか。エホバがなぜ，アロンのつえに花がさくようになさったか，これでわかったでしょう。

民数紀 16 : 1-49 ; 17 : 1-11 ; 26 : 10。

モーセは岩を打つ

10 年，20年，30年，39年，と長い長い年月がたちました。イスラエル人たちは，まだこう野にいます。しかし，そのあいだずっと，エホバは，民をマナでやしない，昼間は雲の柱，そして夜は火の柱で民を導いて，ご自分の民の世話をしておられます。その長い年月のあいだずっと，人々の服はすり切れず，足が痛くなることもありません。

さて，エジプトを出てから40年めの最初の月になりました。イスラエル人は，再びカデシでテントを張ります。およそ40年前，カナンの地をていさつするために12人のスパイがつかわされたときに，人々がいたのはこのカデシです。モーセの姉のミリアムは，カデシで死にます。そして，以前と同じように，ここでまた問題が起きます。

人々は，水が見つからないので，モーセにこう不平を言います。『死んだほうがましだった。どうして，あなたはわたしたちをエジプトから，何も育たないこのひどい土地へ連れてきたのですか。穀物もなければ，いちじくも，ぶどうも，ざくろもない。飲み水さえありません』。

モーセとアロンが幕屋へ祈りに行くと，エホバはモーセにこのようにおっしゃいます。『民を集めなさい。そしてかれらの前で，あの岩に向かって語りなさい。人々と動物全部が飲めるだけの水がそこから出て来ます』。

それで，モーセは人々を集めて，『聞きなさい，神を信らいしない人たちよ。 あなたがたは，アロンとわたしにこの岩から水を出せと言うのか』と言います。それから，モーセがつえで岩を二度打つと，岩から水がどっとわき出て来ました。すべての人と動物が飲めるだけの水があります。

でも，エホバはモーセとアロンに

対しておいかりになります。どうしてだかわかりますか。なぜなら，モーセとアロンは，自分たちが岩から水を出すと言ったからです。しかし，じっさいにはエホバがそうなさいました。モーセとアロンがそれについてほんとうのことを言わなかったので，エホバはふたりをばっするとお告げになります。そして，『あなたがたがわたしの民をカナンの地へ導き入れることはありません』とおっしゃいます。

まもなく，イスラエル人はカデシを去り，すこししてからホル山にやって来ます。この山の上でアロンは123歳で死にます。イスラエル人たちはとても悲しんで，みな30日のあいだ，アロンのために泣きます。アロンの息子のエレアザルは，イスラエル国民の次の大祭司になります。

民数紀 20：1-13，22-29。申命記 29：5。

銅のへび

柱に巻きついているのは，本物のへびでしょうか。これは本物のへびではなくて，銅でできたへびです。エホバはモーセに，人々がそれを見つめて生きられるように，そのへびを柱につけなさいとお命じになりました。でも，地面にいるほかのへびは本物で，人々はそれにかまれてたおれました。なぜだと思いますか。

それは，イスラエル人が神とモーセにさからって，こう不平を言ったからです。『あなたはどうしてわたしたちをエジプトから連れ出して，このこう野で死なせるんですか。ここには食べ物や水がありません。それに，わたしたちはマナを食べあきました』。

しかし，マナは良い食べ物です。エホバは，奇跡によって人々にマナをあたえてこられました。また，エホバは水をも奇跡によってあたえてこられました。ところが，人々は，神がそのように自分たちの世話をしてくださったことを感謝していないのです。それで，エホバは，イスラエル人をばっするために，このような毒へびを送られます。多くの人はへびにかまれて死にます。

とうとう，人々はモーセにこう言います。『わ

たしたちはエホバとあなたにさからって罪を犯しました。これらのへびを取り去ってくださるよう，エホバに祈ってください』。

そこでモーセは人々のために祈ります。すると，エホバは，モーセにこの銅のへびを作って，それを柱につけるようにとおっしゃいます。また，へびにかまれた人はそれを見つめるようにと言われます。モーセは神がおっしゃったとおりにします。それで，へびにかまれた人は，銅のへびを見つめると，また元気になります。

このことからひとつの教訓が学べます。わたしたちみんなは，ある意味で，へびにかまれたイスラエル人のようです。わたしたちはだれでも死に向かっています。人々は年老いて，病気になって，死んでいきますね。それは，わたしたちすべてが，エホバにそむいた最初の男女であるアダムとエバの子孫だからです。でも，エホバは，わたしたちがいつまでも生きられる道を備えてくださいました。

エホバはみ子イエス・キリストを地につかわされました。イエスは木にかけられました。多くの人はイエスを悪い人だと思ったからです。しかし，エホバは，わたしたちを救うためにイエスをあたえてくださったのです。もし，イエスをあおぎ見て，イエスに従うなら，わたしたちは永遠の命を得ることができます。でも，そのことについては，あとでもっと学びます。

民数紀 21：4-9。ヨハネ 3：14，15。

ものを言ったろば

あなたは，ろばが話すのを聞いたことがありますか。『いいえ。動物は話すことができません』と答えるでしょう。でも，聖書には，ものを言ったろばのことが出ているのです。どうしてそのようなことが起きたのか調べてみましょう。

イスラエル人は，あとすこしでカナンの地へはいるというところまで来ています。モアブの王バラクはイスラエル人をおそれています。そこでバラクは，イスラエル人をのろってもらうために，バラムという，ぬけめのない人を呼びにやります。バラクはバラムに，たくさんのお金をあたえよう，と約束をします。そこでバラムはろばに乗り，バラクに会うために出かけて行きます。

エホバはバラムにご自分の民をのろわせたくないので，長いつるぎを持ったみ使いを送って道に立たせ，バラムが行くのを止めさせます。バラムにはみ使いが見えませんが，ろばには見えます。それで，ろばはしきりにみ使いをよけようとして，ついに道にうずくまってしまいます。バラムはおこって，棒でろばをたたきます。

するとエホバは，ろばが次のように話すのをバラムが聞くよ

うにされます。『わたしは，あなたにたたかれるようなどんなことをしましたか』。

『おまえはわたしをばかにしている。つるぎがあったら，殺してやるんだが』と，バラムは言います。

『わたしが今まであなたにこのようなことをしましたか』と，ろばがたずねます。

『いや，なかった』と，バラムが答えます。

すると，エホバは，つるぎを持って道に立っているみ使いがバラムに見えるようにされます。み使いはこう言います。『あなたは，なぜろばをたたいたのですか。わたしは，あなたの道をふさぐために来ました。あなたはイスラエルをのろいに行くべきではないからです。もし，あなたのろばがわたしをよけなかったなら，わたしはあなたを打って殺し，ろばのほうには何もしなかったでしょう』。

バラムは，『わたしは罪を犯しました。あなたが道に立っておられるのを知りませんでした』と言います。み使いはバラムを行かせます。バラムはバラクに会いに行き，なおもイスラエルをのろおうとします。ところが，エホバは，そのかわりに，バラムがイスラエルを三度祝福するようになさいます。　民数紀 21：21-35；22：1-40；23：1-30；24：1-25。

ヨシュアは指導者になる

モーセはイスラエル人といっしょにカナンへはいりたいと願い，『エホバ，わたしにヨルダン川をわたって良い地を見させてください』と言いました。でも，エホバは，『あなたには，これで十分です。このことを二度と言ってはならない』と言われます。エホバはなぜそうおっしゃったのでしょう。

その理由は，モーセが岩を打ったときのことにあります。モーセとアロンは，エホバがほめたたえられるようにしませんでしたね。ふたりは，岩から水を出しているのはエホバだと人々に言いませんでした。それで，エホバは，ふたりをカナンへはいらせないと言われました。

アロンが死んでから数か月して，エホバはモーセにこう言われました。『ヨシュアを連れて行って，祭司エレアザルと民の前に立たせなさい。そして，みんなの前で，ヨシュアが新しい指導者であると告げなさい』。この絵にあるように，モーセは，エホバがおっしゃるとおりに行ないます。

すると，エホバはヨシュアにこう言われます。『強くあって，おそれてはなりません。あなたはイスラエル人を，わたしが約束したカナンの地へ導くのです。わたしはあなたと共にいます』。

のちに，エホバはモーセに，モアブの地のネボ山の頂上に登るようお命じになります。そこから，モーセはヨルダン川の向こう側の，美しいカナンの地を見わたすことができます。エホバは，次のように言われます。『これは，わたしが，アブラハム，イサク，ヤコブの子孫にあたえると約束した土地です。わたしはその土地をあなたに見せましたが，あなたがそこにはいることはありません』。

そのネボ山の頂上で，モーセは死にます。120歳でした。モーセはまだ元気で，目もよく見えていました。人々は，モーセが死んだので，たいへん悲しんで泣きます。しかし，人々は，ヨシュアという新しい指導者が立てられたので喜びます。

民数紀 27:12-23。
申命記 3:23-29; 31:1-8, 14-23; 32:45-52; 34:1-12。

ラハブはスパイをかくまう

この人たちは危険にさらされています。にげなければ，殺されてしまうのです。ふたりはイスラエルのスパイで，ふたりを助けている女の人はラハブです。ラハブは，エリコの町の城へきの上にある家に住んでいます。このふたりはなぜ危険にさらされているのでしょうか，調べてみましょう。

イスラエル人たちは，ヨルダン川をわたって，カナンの地へはいるばかりになっています。でも，その前に，ヨシュアはふたりのスパイをつかわします。ヨシュアはふたりにこう言います。『あの土地とエリコの町を見て来なさい』。

スパイたちはエリコにはいって，ラハブの家に行きます。ところが，だれかがエリコの王に，『ふたりのイスラエル人が，土地をていさつするためにこんばんここへやって来ました』と告げます。それを聞くと，王は家来たちをラハブのところへつかわします。家来たちはラハブに，『おまえが家にかくまっている者たちを出せ！』と命令します。でも，ラハブはスパイを屋根にかくまっていました。それで，こう言います。『男の人たちがたしかにわたしの家に来ましたが，どこから来たのか，わたしにはわかりません。ふたりは，日暮れに，町の門がしまらないうちに，立ち去りました。お急ぎになれば，追いつけますよ』。家来たちはふたりのあとを追って行きます。

家来たちが立ち去ると，ラハブは急いで屋根に登ります。そしてスパイたちにこう言います。『わたしは，エホバがこの土地をあなたがたにおあたえになることを知っています。あなたがたがエジプトを出るときに，エホバが紅海を干上がらせたことや，あなたがたがシホン王とかオグ王を殺されたことを，わたしたちは聞いています。わたしはあなたがたに親切にしました。ですから，どうか，あなたがたもわたしに親切にすると約束してください。わたしの父と母，兄弟たちと姉妹たちをお助けください』。

スパイはそうすることを約束します。ただし，ラハブにはしなければならないことがありました。スパイたちはこう言います。『この赤いひもを取って，あなたの家の窓に結びなさい。そして，あなたの親族すべてを家に集めなさい。エリコを取るためにもどって来るとき，わたしたちは窓にこのひもが結んであるのを見て，あなたの家にいる人はだれも殺さないようにします』。スパイたちはヨシュアのもとにもどったとき，起きたことをすべてヨシュアに話します。

ヨシュア記 2:1-24。ヘブライ 11:31。

ヨルダン川をわたる

ごらんなさい，イスラエル人はヨルダン川をわたっています。でも水はどこにあるのでしょう。一年のうちで雨がたくさん降る季節なので，ほんのすこし前まで，川には水がたくさんありました。ところが，今，水はすっかりなくなっています。そして，イスラエル人は，ちょうど紅海のときのように，かわいた川底をわたっています。いったいあの水はどこへ行ってしまったのでしょう。それを調べてみましょう。

イスラエル人がヨルダン川をわたる時が来たとき，エホバはヨシュアをとおして人々に次のことを語られました。『祭司たちはけい約の箱をかつぎ，わたしたちの前を行かなければなりません。祭司たちがヨルダン川に足をふみ入れると，水は流れなくなります』。

そこで，祭司たちはけい約の箱を取り上げ，それをかついで人々の前を行きます。ヨルダン川に来たとき，祭司たちは水の中に足をふみ入れます。水は深くて，勢いよく流れています。ところが，祭司の足が水にふれたとたん，水の流れは止まりはじめたのです。これは奇跡です。上流でエホバが川の水をせき止められたのです。それで，まもなく川には水がなくなりました。

けい約の箱をかついだ祭司たちは，かわいた川のまん中へまっすぐに進んで行きます。あなたは，この絵の中に，その祭司たちがいるのがわかりますか。祭司たちが川のまん中に立っているあいだに，すべてのイスラエル人は，ヨルダン川のかわいた地面を歩いてわたります。

すべての人がわたってしまったとき，ヨシュアは，エホバから命令を受けて，12人の強い男たちに次のように言います。『川の中で祭司たちがけい約の箱をかついで立っている所まで行って，石を12個拾ってきなさい。こんばんあなたがたが過ごす場所にそれらの石を積み上げなさい。そして，将来，子供たちからこの石は何ですかとたずねられたら，エホバのけい約の箱がヨルダン川をわたったときに，水が流れなくなった，と話しなさい。あなたがたは，それらの石を見てこの奇跡を思い出すでしょう』。ヨシュアは，また，祭司たちが立っていた川底に12の石を置きます。

ついに，ヨシュアは，けい約の箱をかついでいる祭司たちに次のように言います。『ヨルダン川から上がって来なさい』。祭司たちが川から上がって来ると，たちまち，ヨルダン川の水はまた流れはじめます。

ヨシュア記 3:1-17; 4:1-18。

エリコの城へき

46

このエリコの城へきはどうしてくずれているのでしょう。まるで，大きなばくだんで，くずれているみたいに見えますね。でも，その時代にばくだんはありませんでした。鉄砲さえありませんでした。これも，また，エホバの奇跡なのです。どのようにして起きたのでしょう。

エホバがヨシュアに言われることを聞いてください。『あなたとあなたの兵士た

ちは，町のまわりを行進しなければならない。六日のあいだ，一日に一回，町のまわりを行進しなさい。そのとき，けい約の箱もかついで歩きなさい。七人の祭司がけい約の箱の前を歩き，つのぶえを吹きなさい。

『七日めには，町のまわりを七回行進しなければなりません。それから，つのぶえを長く吹きならしなさい。そして，すべての人に大きなときの声を上げさせなさい。そうすれば城へきはくずれ落ちてしまいます』。

ヨシュアとイスラエルの人々は，エホバが言われるとおりにします。行進をしているとき，みなだまって，だれも声を出しません。聞こえるものといえば，つのぶえの音と，行進する足音だけです。エリコに住む，神の民の敵たちはうす気味悪く思ったにちがいありません。一つの窓から赤いひもがたれさがっているのが見えますか。あれはだれの家の窓でしょう。そうです，ラハブがふたりのスパイから言われたとおりにしているのです。ラハブの家族は全員，ラハブといっしょに家の中で様子を見ています。

ついに七日めになりました。町のまわりを七回行進してから，つのぶえが鳴り，兵士たちがさけぶと，城へきはくずれます。それからヨシュアはこう言います。『町の者たちをひとり残らず殺して，町を焼き払いなさい。何一つ残さずに焼きなさい。ただ，金，銀，銅，鉄はとっておいて，エホバの天幕の宝物倉に入れなさい』。

それからヨシュアは，ふたりのスパイに，『ラハブの家にはいって行き，ラハブとその家族全員を連れ出しなさい』と言います。ラハブとその家族は，スパイの約束どおり，救われます。

ヨシュア記 6:1-25。

イスラエルの中で起きたぬすみ

この男は，自分のテントの中に何をかくしているのでしょう。美しい衣と金の棒と何枚かの銀です。この人はエリコの町からこれらの品を取って来ました。でも，エリコにあった物はどうすべきでしたか。おぼえていますか。

エリコにあった物は破壊されることになっていました。そして金や銀はエホバの幕屋の宝物倉に入れられることになっていました。ですから，この人たちは，神のものをぬすんで，神に聞き従わなかったのです。この男の名前はアカンです。アカンといっしょにいるのは，その家族の者たちです。さて，どんなことになるか見てみましょう。

アカンがこれらの物をぬすんだのち，ヨシュアは，アイの町を打つために兵士を送ります。ところが，兵士たちは戦いに負けて，ある兵士は殺され，残りの兵士は散らされます。ヨシュアはたいへん悲しんで，地面に顔をふせて祈り，『あなたは，なぜわたしたちをこのような目にあわせられるのですか』と言います。

エホバはこうお答えになります。『立ちなさい。イスラエルは罪を犯しました。破壊するか，エホバの幕屋に入れるかしなければならなかった物の一部を取りました。美しい衣をぬすんで，それをかくしました。わたしは，あなたがたがその衣と，それらの品物を取った者とをほろぼ

すまでは，あなたがたを祝福しません』。 エホバは，その悪者がだれかをヨシュアに教えるとおっしゃいます。

そこで，ヨシュアはすべての人を集めます。エホバは悪者がアカンであることを示されます。アカンはこう言います。『わたしは罪を犯しました。わたしは，美しい衣と金の棒と何枚かの銀を見て，それらがとてもほしくなり，取ってしまいました。それらの品は，わたしのテントの下に埋めてあります』。

それらの品が見つかって，持って来られたとき，ヨシュアはアカンにこう言いました。『あなたは，どうしてわたしたちに災いをもたらしたのですか。さあ，エホバはあなたに災いを下されます』。すると，イスラエル人全員がアカンとその家族に石を投げて死なせました。このことから，自分のものでないものをぜったいに取ってはいけないことがわかりますね。

そのあと，イスラエルはもう一度アイと戦うために出かけます。こんどは，エホバがご自分の民を助けられ，イスラエルは戦いに勝ちます。

ヨシュア記 7:1-26; 8:1-29。

かしこいギベオンの人々

48

さて，カナンの多くの町は，イスラエルと戦う用意をします。そして，自分たちは勝てると思っています。でも，近くのギベオンという町の人々はそう考えません。その人たちは，神がイスラエル人を助けておられることを信じているので，神と戦いたいとは思いません。それで，ギベオンの人たちはどうしたと思いますか。

ギベオンの人たちは，自分たちがどこかとても遠くに住んでいる者のように見せかけることにします。数人の男の人たちはぼろぼろの服を着て，すり切れたサンダルをはきます。ろばにはすり切れた袋を乗せ，古くてかわいたパンを持ちます。それからヨシュアのところへ行って，こう言います。『わたしたちはとても遠い土地からまいりました。あなたがたの偉大な神，エホバについて聞いたからです。わたしたちは，エホバがエジプトであなたがたのために行なわれたことを一つ残らず聞きました。それで，わたしたちの指導者は，わたしたちに旅の食物を用意し，みなさんのところへ行ってこう言うように命じました。

「わたしたちはあなたがたのしもべです。どうか，わ

たくしたちとは戦争をしないと約束してください」。ごらんのとおり，長い旅のために，わたしたちの服はすり切れ，パンは古くてかわいております』。

ヨシュアと他の指導者たちは，ギベオンの人々を信じます。そして，戦争をしないという約束をします。しかし，三日後に，ヨシュアたちは，ギベオンの人々がほんとうは近くに住んでいることを知ります。

『あなたがたは，なぜ，遠い土地から来たと言ったのですか』と，ヨシュアはたずねます。

ギベオンの人たちはこう答えます。『あなたがたの神エホバが，このカナンの地全部をあなたがたにあたえると約束なさったということを聞いたので，そういたしました。あなたがたがわたしたちを殺すのではないかと思ったのです』。しかし，イスラエル人は約束を守って，ギベオンの人々を殺しません。そのかわりに，自分たちのしもべにします。

エルサレムの王は，ギベオンの人々がイスラエルと仲良くしたので，おこります。そして，ほかの四人の王に，『ギベオンと戦うのを助けに来てほしい』と，言います。その五人の王たちはギベオンと戦います。ギベオンの人々はイスラエルと仲良くしたために，五人の王からせめられることになりました。それでもギベオンの人々はかしこかったと言えるでしょうか。調べてみましょう。　ヨシュア記 9:1-27; 10:1-5。

太陽が止まる

ヨシュアをごらんなさい。『太陽よ，止まれ』と言っています。すると太陽は止まったではありませんか。空のまん中で一日じゅう止まっています。エホバがそのようにされたのです。それにしても，ヨシュアはなぜ太陽がしずまないよ

うに願っているのか，それを調べてみましょう。

カナンの地の五人の悪い王がギベオンの人々をせめて来たので，ギベオンの人々は人をつかわして，ヨシュアに助けを求めました。『はやく来てください。わたしたちを救ってください。山地の王たちがそろって，あなたがたのしもべをせめて来ました』とその人は言います。

ヨシュアとそのすべての兵士はすぐに出かけて，ひと晩じゅう行軍します。かれらが，ギベオンに着くと，五人の王の兵士たちはおそれて，にげ出します。すると，エホバは空から大きなひょうを降らせます。ヨシュアの兵士によって殺されたよりも大勢の兵士が，ひょうに打たれて死にます。

ヨシュアは，太陽がまもなくしずむことに気づきました。暗くなれば，五人の悪い王の兵士たちがたくさんにげるでしょう。それでヨシュアはエホバに祈り，それから『太陽よ，止まれ』と言います。太陽がしずまないので，イスラエル人は勝つまで戦うことができます。

カナンには，そのほかにも，神の民をにくむ悪い王がたくさんいます。ヨシュアとその軍勢がカナンの31人の王を打ち破るには，六年ほどかかります。それが終わると，ヨシュアは，カナンの地を，まだ土地を必要としている部族に分配します。

長い年月がたち，ヨシュアはついに110歳で死にます。ヨシュアとその仲間が生きているあいだ，人々はエホバに従います。しかし，それらの良い人たちが死ぬと，人々は悪いことを行ないはじめて苦しみます。イスラエルの人たちが神の助けをほんとうに必要としたのは，そのような時です。

ヨシュア記 10:6-15; 12:7-24; 14:1-5。士師記 2:8-13。

ふたりの勇敢な婦人

イスラエル人は，苦しい状態になると，エホバに助けを呼び求めます。エホバは，イスラエル人を助ける勇敢な指導者をあたえることによってそれにお答えになります。聖書はそうした指導者たちのことを，裁き人，と呼んでいます。ヨシュアは最初の裁き人でした。ヨシュアのあと，オテニエル，エホデ，シャムガルといった裁き人が出ました。ところで，イスラエルを助ける人の中に，デボラとヤエルというふたりの婦人がいます。

デボラは女預言者です。エホバは，将来どんなことがあるかをデボラに教え，デボラはエホバが言われることを人々に告げます。デボラは裁き人でもあります。デボラは，山地にある一本のやしの木の下にすわり，人々は問題を解決する助けを得るためにデボラのもとへやってきます。

今のカナンの王はヤビンです。ヤビンは900台の戦車を持っています。ヤビンの軍隊はひじょうに強いので，イスラエル人の多くはヤビンのしもべにされています。ヤビン王の軍隊の長は，シセラという人です。

ある日デボラは裁き人のバラクを呼びにやって，このように告げます。『エホバはこう言われます，「一万人の男を連れてタボル山へ行きなさい。そこで，わたしはシセラをあなたがたのもとに来させます。そして，あなたがたが，シセラとその軍隊に勝つようにします」』。

バラクはデボラに言います。『あなたがわたしといっしょに行ってくださるなら，わたしは行きます』。デボラはいっしょに行きますが，バラクにこう言います。『勝利のてがらはあなたのものとはなりません。エホバはシセラをある婦人の手に渡されるからです』。そして，そのとおりのことが起こります。

バラクはシセラの兵士たちと戦うため，タボル山を降ります。とつぜんエホバは洪水を起こされ，敵の兵士の多くがおぼれます。しかし，シセラは戦車を降りてにげました。

しばらくして，シセラはヤエルのテントへ来ます。ヤエルはシセラをテントの中へ招き入れて，ミルクを飲ませます。それでシセラはねむくなって，ぐっすりねむってしまいます。すると，ヤエルはテントを留めるくいを持って来て，その悪者の頭にくいを打ちこみます。あとで，バラクが来たとき，ヤエルはシセラの死体を見せます。ですから，デボラの言ったことはほんとうになりましたね。

とうとうヤビン王も殺されます。それで，イスラエル人はしばらくのあいだ，また平和に過ごします。

士師記 2:14-22; 4:1-24; 5:1-31。

ルツとナオミ

聖書の中にルツ記という本があります。その本には，イスラエルに裁き人がいた時代の，ある家族の物語が出ています。ルツはモアブの地で生まれた若い女です。ですから，神の民イスラエルの女ではありません。でも，ルツは，真の神エホバについて学んだとき，エホバをとても愛するようになります。ルツがエホバについて学ぶのを助けたのは，ナオミという年配の婦人です。

ナオミはイスラエルの女です。ナオミとナオミの夫とふたりの息子は，イスラエルに食べ物がほとんどなかったときに，モアブの地へひっこしました。そして，ある日ナオミの夫は死にました。その後，ナオミの息子たちは，ルツとオルパというふたりのモアブの女と結こんしました。ところが，10年ほどたってから，ナオミの息子たちも死にました。ナオミとふたりの女はどんなにか悲しかったことでしょう。それで，ナオミはどうするでしょうか。

ある日，ナオミは，長い旅をして自分の民のもとへ帰る決心をしま

す。ルツとオルパはナオミといっしょにいたいので，ナオミについて行きます。でも，道をしばらく進むと，ナオミはルツとオルパにむかって，こう言います。『実家に帰って，あなたがたのお母さんのもとでくらしなさい』。

ナオミはふたりに別れの口づけをします。すると，ふたりは，ナオミがとても好きだったので，泣き出します。そして，『いいえ。わたしたちはあなたの民のところへいっしょにまいります』と言います。でも，ナオミは，『わたしのむすめたち，帰りなさい。家に帰るほうがあなたたちのために良いのですよ』と答えます。それでオルパは家に帰って行きます。でも，ルツは帰りません。

ナオミはルツにむかって，『オルパは行きました。おまえもオルパといっしょに家へ帰りなさい』と言います。でもルツはこう答えます。『どうか，わたしをあなたのもとから帰そうとしないでください。あなたといっしょに行かせてください。あなたが行かれるところへ，わたしも行きます。あなたが住まわれるところで，わたしも住みます。あなたの民は，わたしの民，あなたの神は，わたしの神です。あなたが死なれるところで，わたしも死にます。そこが，わたしの墓になるのです』。ナオミは，ルツのそのことばを聞いて，それ以上ルツを家に帰らせようとしません。

やがて，ふたりはイスラエルに着きます。そして，そこに住みつきます。大麦の刈り入れ時なので，ルツはさっそく畑で働きはじめます。ボアズという人は，ルツが自分の畑で大麦を集めるのを許してくれます。ボアズの母親はだれだと思いますか。それはエリコの町のラハブです。

ある日，ボアズはルツにこう言います。『わたしはあなたのことをすっかり聞きました。あなたはナオミにとても親切でしたね。あなたは，父母と自分の国を捨てて，まったく知らない人々のところで住むために来ました。エホバがあなたになさけ深くあられますように』。

ルツは，『あなたは，わたくしにとてもご親切で，やさしく話してくださいましたので，わたくしはなぐさめられました』と答えます。ボアズはルツがとても好きになりました。それからまもなく，ふたりは結こんします。ふたりが結こんしたので，ナオミはどんなにかうれしかったことでしょう。でも，ルツとボアズに，オベデという最初の男の子が生まれると，ナオミはもっとうれしく思いました。のちにオベデはダビデのおじいさんになります。ダビデのことは，あとでたくさん学びます。　　ルツ記

ギデオンと300人の兵士

これは何をしているところでしょう。この人たちはみな，イスラエルの戦士です。かがんでいる人たちは水を飲んでいます。その人たちのそばに立っているのは，裁き人のギデオンです。

兵士たちがいろいろな方法で水を飲んでいるのをよく見てごらんなさい。いく人かの兵士は水に顔をつけています。でも，ひとりの兵士は手で水をすくって口に運

んでいます。そうすれば，あたりのようすを油断なく見守ることができるからです。それは大切なことです。というのは，エホバはギデオンに，水を飲むあいだも油断しない兵士だけを選ぶようにお命じになったからです。あとの兵士たちは家へ帰すように，と神は言われました。それはどうしてでしょうか。

イスラエル人は再びたいへん苦しい立場に立ちます。それは，かれらがエホバに聞き従わなかったからです。ミデアンの人たちはイスラエル人の上に力をふるって，イスラエル人を苦しめています。ですから，イスラエル人はエホバに助けをさけび求め，エホバはそのさけび声に耳を傾けられます。

エホバはギデオンに軍隊を集めるようにとお命じになります。そこでギデオンは3万2,000人の戦士を集めます。ところが，イスラエルの敵の軍隊は13万5,000人です。それなのに，エホバはギデオンに，『あなたの兵士は多すぎる』とおっしゃいます。エホバはどうしてそのようなことをおっしゃったのでしょう。

それは，イスラエルが戦争に勝ったときに，自分たちの力で勝ったと思うかもしれないからです。いくさに勝つのにエホバの助けはいらなかったと思うかもしれません。それでエホバはギデオンに，『おそれている者たちはひとり残らず家に帰るように言いなさい』とおっしゃいます。ギデオンがそのようにすると，2万2,000人の兵士が家に帰ります。ですから，13万5,000人の兵隊と戦うのに，ギデオンにはわずか1万人の兵士しか残っていません。

ところが，どうでしょう。エホバは，『あなたの兵士はまだ多すぎる』とおっしゃるのです。そして，兵士にこの川で水を飲ませて，顔を水につけて飲んだ者はみな家へ帰しなさい，とギデオンにお命じになり，こう約束なさいます。『水を飲むあいだもあたりを油断なく見守った300人の兵士で，わたしはあなたに勝利を得させます』。

戦いの時が来ます。ギデオンは300人の兵士を三つのグループに分けます。そして，ひとりひとりにつのぶえと，たいまつを入れたつぼをあたえます。真夜中ごろになって，ギデオンの一隊は，敵兵の陣営を取り囲みます。そして，全軍がいっせいに，つのぶえを吹いてつぼを割り，『エホバのつるぎ！ ギデオンのつるぎ！』とさけびます。目をさました敵の兵士たちは，混乱におちいり，たいへんおそれます。そしてみんなにげ出します。こうしてイスラエル人は戦いに勝ちます。

士師記 6章から8章

エフタの約束

あなたは，ある約束をして，あとでそれを守るのをむずかしく感じたことがありますか。この絵の人の場合はそうでした。それでこの人はとても悲しそうな顔をしているのです。この人は，エフタという，イスラエルの勇敢な裁き人です。

エフタは，イスラエル人がもはやエホバを崇拝しなくなっていた時代の人です。イスラエル人は再び悪いことを行なっています。それで，エホバはアンモンの人々がイスラエル人を苦しめるのを許されます。そのために，イスラエル人は，『わたしたちはあなたに罪を犯しました。どうか，わたしたちを助けてください』とエホバにさけび求めます。

人々は，自分たちが悪いことをしたのをこうかいします。そして，再びエホバを崇拝することによって，こうかいしていることを示します。そこでエホバはもう一度イスラエル人を救われます。

人々は，悪いアンモン人と戦う人としてエフタを選びます。エフタは，戦いの時に助けてください，とエホバにいっしょうけんめいお願いします。そして，エホバに次のような約束をします。『もし，あなたがアンモン人に対して勝利を得させてくださったら，わたしが戦いに勝って家に帰ったときに，最初に家から出て来てわたしをむかえる者をあなたにささげます』。

エホバはエフタの約束を聞き入れて，エフタが戦いに勝てるように助けます。エフタが家に帰るとき，だれが最初に出て来てむかえるでしょうか。それはエフタのむすめです。エフタのたったひとり

の子供です。『ああ，むすめよ。おまえはなんとわたしを悲しませるのだ。だが，わたしはエホバに約束した以上，それを取り消すわけにはいかない』と言ってエフタは泣きます。

エフタのむすめは，父親の約束のことを聞いたとき，やはり悲しみます。なぜなら，お父さんや友だちと別れなければならないからです。でも，シロにあるエホバの幕屋で一生のあいだエホバに奉仕するのです。それで，むすめは父親にこう言います。『エホバに約束なさったのでしたら，それをお守りにならなければいけませんわ』。

こうしてエフタのむすめはシロに行き，一生のあいだ幕屋でエホバに奉仕します。イスラエルの女たちは年に四日，幕屋にいるそのむすめを訪問して，いっしょに楽しく過ごします。エフタのむすめは，エホバのとても良いしもべなので，人々から愛されます。

士師記 10:6-18; 11:1-40。

いちばん力のあった人

今までに生まれてきた人の中で，いちばん力持ちだった人の名前を知っていますか。それはサムソンという裁き人です。サムソンはエホバから力をあたえられています。サムソンが生まれる前に，エホバはサムソンの母親にこうおっしゃいました。『もうじき，あなたに息子が産まれます。その息子は，先に立ってイスラエルをペリシテ人から救うでしょう』。

ペリシテ人はカナンに住む悪い人々です。ペリシテ人は多くの兵隊を持っていて，じっさいにイスラエル人を苦しめています。あるとき，サムソンは，ペリシテ人の住んでいる場所へ行く途中で，大きなライオンがほえながらむかって来るのに出会います。でもサムソンはまったくの素手でライオンを殺します。また，サムソンは悪いペリシテ人を大勢殺します。

のちにサムソンは，デリラという名前の女が好きになります。ペリシテ人はデリラに，サムソンがどうしてそんなに強いのか教えてくれたら1,100枚の銀貨をやろう，と約束します。デリラはそのお金をそっくりほしくなります。デリラはサムソンのほんとうの友だちでもなければ，神の民のほんとうの友だちでもありません。それでデリラは，サムソンがどうしてそんなに強いのかしつこくたずねます。

とうとうサムソンはデリラに負けて，自分の力の強い秘密を打ち明けます。サムソンはこう言います。『神はわたしをナザレ人という特別なしもべにお選びになったので，わたしは生まれたときから髪の毛を切ったことがありません。もし髪を切ると，わたしの力はなくなります』。

さて，デリラはそれを聞くと，サムソンを自分のひざの上でねむらせます。それからひとりの男を呼んでサムソンの髪の毛を切らせます。サムソンが目をさますと，力がなくなっています。そのとき，ペリシテ人たちがはいって来てサムソンをつかまえ，両方の目をくりぬいて，サムソンをどれいにします。

ある日，ペリシテ人はダゴンの神を崇拝するために大きな集まりを開きます。そして，サムソンをろう屋から連れ出して，からかおうとします。いっぽう，サムソンの髪の毛は再び長くなっていました。サムソンは自分の手を引いている少年に，『この建物をささえている柱にさわらせてほしい』と言います。それから，力があたえられるようエホバに祈り求めて，柱をつかみます。そして，『ペリシテ人といっしょに死なせてください』とさけびます。その集まりには3,000人のペリシテ人が来ています。サムソンが柱をおしてかがむと，建物がくずれ，そこにいた悪い人たちはひとり残らず死んでしまいます。

士師記 13章から16章

קדשיל

とてもかわいい男の子だと思いませんか。この子の名前はサムエルです。サムエルの頭に手を置いているのは，イスラエルの大祭司のエリです。サムエルをエリのところに連れて来たのは，父親のエルカナと母親のハンナです。

サムエルはまだ四つか五つです。でもサムエルはこれからエホバの幕屋でエリやほかの祭司たちといっしょにくらすのです。なぜエルカナとハンナは，サムエルのように幼い子供を，幕屋でエホバに仕えさせるのでしょう。

ハンナがとても悲しんでいたのは，それよりわずか数年前のことでした。ハンナは子供がとてもほしかったのですが，産まれなかったからです。それで，ある日，ハンナはエホバの幕屋へ行ったときに，こう祈りました。『ああ，エホバ，どうかわたくしをお忘れにならないでください。もしわたくしに男の子をお授けくださるなら，一生あなたにお仕えするよう，その子をあなたにさしあげることを約束いたします』。

エホバはハンナの祈りにお答えになり，何か月かしてハンナはサムエルを産みました。ハンナはその子をとてもかわいがって，その子がまだとても小さいときに，エホバのことを教えはじめました。ハンナは夫に言いました。『サムエルに乳を飲ませなくてもよくなったら，わたしはさっそくあの子を幕屋に連れて行って，エホバに仕えさせます』。

それで，この絵はハンナとエルカナがサムエルを幕屋に連れて来たところです。サムエルは，両親にとてもよく教えられていたので，エホバの天幕でエホバに仕えられることを喜んでいます。毎年ハンナとエルカナはこの特別な天幕で崇拝するために，また，自分たちの幼い子供に会うためにやって来ます。毎年ハンナはサムエルのために新しいそでなしの上着を作って持って来ます。

来る年も来る年も，サムエルはずっとエホバの幕屋で仕えつづけます。そして，エホバからも人々からもかわいがられます。ところが，大祭司エリの息子のホフニとピネハスは良い人ではありません。いろいろと悪いことをして，他の人をもエホバにそむかせます。エリは息子たちに祭司をやめさせるべきですが，そうしません。

幕屋で悪いことが行なわれていても，そのために幼いサムエルがエホバに仕えるのをやめる，ということはありません。でも，エホバをほんとうに愛する人がほとんどいなかったので，エホバは長いあいだだれにもお話しになっていません。サムエルが少し大きくなったときに，こんなことが起きます。

幕屋でねていたサムエルは，ある声に起こされます。サムエルは，『わたしはここにおります』と答え，起き上がってエリのところへ走って行きます。そして，『わたしをお呼びになりましたね。わたしはここにおります』と言います。

でも，エリは，『わたしは呼ばない。もどってねなさい』と言います。それでサムエルはもどってねます。

すると，また，『サムエル！』という声がします。サムエルは起きて，またエリのところへ走って行きます。『わたしをお呼びになりましたね。わたしはここにおります』と，サムエルは言います。でもエリは，『わが子よ，わたしは呼ばなかった。もどってねなさい』と答えます。それでサムエルはまたもどってねます。

『サムエル！』と，三度めの声がします。サムエルはエリのところへ走って行って，『わたしはここにおります。こんどこそ，あなたはわたしをお呼びになったにちがいありません』と，言います。エリは，呼んでおられるのがまちがいなくエホバであることがわかったので，サムエルにこう言います。『もう一度ねなさい。そしてまた呼ばれたら，「エホバよ，お話しください。しもべは聞いております」と言いなさい』。

エホバがまたお呼びになったとき，サムエルはそのとおりにします。エホバはそのときサムエルに，ご自分がエリとその息子たちにばつをあたえるつもりであることをお話しになります。のちに，ホフニとピネハスはペリシテ人との戦いで死にます。そのことを聞いたとき，エリはあおむけにたおれ，首を折って死にます。こうして，エホバの言われたことがそのとおりになりました。

サムエルはおとなになって，イスラエルの最後の裁き人になります。サムエルが年老いたとき，人々は，『わたしたちを治めてくれる王を選んでください』と，たのみます。サムエルはそうしたくありません。ほんとうはエホバがイスラエルの王だからです。でも，エホバはサムエルに，人々の言うことを聞き入れるようにとおっしゃいます。

サムエル前 1:1-28; 2:11-36; 4:16-18; 8:4-9。

イスラエルの最初の王から バビロン捕囚まで

サウルはイスラエルの最初の王になりました。しかし，エホバはサウルを退け，そのかわりにダビデを王にお選びになりました。ダビデについてはたくさんの話があります。少年のとき，巨人ゴリアテと戦いました。のちに，しっと深いサウル王からにげました。それから，美しいアビガルはダビデがおろかなことをするのを止めました。

また，ダビデの息子のソロモンについてたくさん学びます。ソロモンはダビデのあとをついで，イスラエルの王になった人です。イスラエルの最初の三人の王はそれぞれ40年間治めました。ソロモンが死んだのち，イスラエルは北と南の二つの王国に分れつしました。

北の10部族の王国は，アッシリアにほろぼされるまで257年間続きました。それから133年たって，南の二部族の王国もほろぼされました。そのとき，イスラエル人たちはバビロンへとらわれて行きました。こうして，第４部では510年間の歴史があつかわれています。そして，その時代の感動的な出来事がたくさん出て来ます。

イスラエルの最初の王サウル　56

サムエルが男の人の頭に油を注いでいますね。昔は，王に選ばれた人に，そのしるしとしてこのように油が注がれたのです。エホバは，サムエルに，サウルの頭に油を注ぐことをお命じになります。その油は，良いかおりのする特別な油です。

自分は王になるのにふさわしくない，とサウルは思いました。『わたしは，イスラエルの中で最も小さい，ベニヤミン族の者です。どうして，わたしが王になるとおっしゃるのですか』と，サウルはサムエルに言います。エホバはサウルがたかぶっていないので，サウルを好ましく思われます。それでエホバはサウルを王に選ばれたのです。

でも，サウルは貧しくて，小さな人ではありません。サウルは裕福な家に生まれ，背が高くてとても顔立ちの良い人です。サウルはイスラエルでほかのだれよりも30センチぐらい背が高いのです。それに，サウルは走るのがとても速くて，たいへん力のある人です。人々は，エホバがサウルを王に選ばれたので喜んでいます。人々はみな，『王様，ばんざい！』とさけびはじめました。

イスラエルの敵は，あいかわらず強くて，引きつづきイスラエル人を大いになやませています。サウルが王に選ばれてからまもなく，アンモン人はイスラエルにせめ寄せて来ます。しかし，サウルは大軍を集めて，アンモン人との戦いに勝ちます。ですから，人々はサウルが王であることを喜びます。

時がたつうちに，サウルはイスラエルをひきいて何度も勝利を収めます。サウルにはヨナタンという勇敢な息子もいます。ヨナタンは多くの戦いでイスラエルが勝つのを助けました。イスラエル人のいちばんの敵は，やはりペリシテ人です。ある日，大勢のペリシテ人がイスラエルにせめ寄せて来ます。

サムエルはサウルに，犠牲，つまり供え物をエホバにささげにそちらへ行くまで待つように，と言います。でもサムエルはなかなか来ません。サウルは，ペリシテ人が戦いを始めるのではないかと心配して，自分でさっさと犠牲をささげます。つ

いにサムエルはやって来て，サウルに，あなたは不従順だったと言います。そして，『エホバは別の人をイスラエルの王に選ばれるでしょう』と言います。

のちにサウルは，再び不従順なことをします。それでサムエルはサウルにこう言います。『いちばん上等の羊の供え物をエホバにささげるよりも，エホバに従うほうがよいのです。あなたはエホバに従わなかったので，エホバはあなたをいつまでもイスラエルの王にしておかれないでしょう』。

わたしたちはこのことから良い教訓を学べます。いつもエホバに従うことがどんなに大切かがわかります。また，サウルのように，良い人でも悪い人に変わることがある，ということもわかります。わたしたちは，どんなことがあっても悪い人になりたくありませんね。

サムエル前 9章から11章；
13:5-14；14:47-52；15:1-35。
サムエル後 1:23。

神はダビデを選ばれる

あなたはこの絵を見て，どんなことがあったかわかりますか。少年はこの子羊をくまから救ったのです。くまが来て子羊を取って行き，食べようとしました。でも，少年はそのあとを追いかけて，くまの口から子羊を助けました。くまが立ち上がったとき，少年はそのくまをつかんで打ち殺したのです。また，ある時は，一ぴきの羊をライオンから救いました。この少年は勇敢ですね。これはだれでしょうか。

これは少年ダビデです。ダビデはベツレヘムの町に住んでいます。ダビデのおじいさんは，ボアズとルツの息子のオベデです。その人たちのことをおぼえていますか。ダビデの父親はエッサイです。ダビデは父親の羊の世話をしています。エホバがサウルを選んで王とされた時から10年のちにダビデは生まれました。

やがて，エホバはサムエルに次のようにおっしゃいます。『特別な油を取って，ベツレヘムのエッサイの家に行きなさい。わたしはエッサイの息子のひとりを王に選びました』。サムエルは，エッサイのいちばん年上の息子のエリアブを見て，『エホバがお選びになったのはこの者にちがいない』とひとりごとを言います。でも，エホバはサムエルに，『背の高さや顔立ちの良さを見てはなりません。わたしはこの者を王に選ばなかった』とおっしゃいます。

そこでエッサイは，息子のアビナダブを呼んでサムエルのところに来させます。しかし，サムエルは，『いや，エホバはこの者もお選びになっていない』と，言います。つぎに，エッサイは息子のシャンマを来させます。『いや，かれもエホバに選ばれた者ではない』と，サムエルは言います。エッサイはサムエルのところへ七人の息子を来させましたが，エホバはそのうちのだれをも選ばれませんでした。『息子さんはこれで全部ですか』とサムエルがたずねます。

『まだ，末の息子がいますが，外で羊の世話をしております』とエッサイは言います。連れて来られたダビデは，美少年でした。『この者がそれです。かれに油を注ぎなさい』とエホバは言われます。サムエルはそのとおりにします。やがて，ダビデはイスラエルの王になります。

サムエル前 17:34，35; 16:1-13。

ダビデとゴリアテ

ペリシテ人は再びイスラエルにせめて来ます。ダビデの兄たちの上から三人は，すでにサウルの軍隊にはいっています。それで，ある日，エッサイはダビデに，『穀物とパンをお兄さんたちのところへ持って行きなさい。そしてお兄さんたちがどんな様子か見てきなさい』と言います。

ダビデは，陣営に着くと，兄たちをさがすために，戦列へ向かって走ります。すると，ペリシテ人の巨人ゴリアテが出て来て，イスラエル人をばかにします。ゴリアテは40日のあいだ毎朝毎晩そうしているのです。ゴリアテはこうわめきます。『おまえたちの中からひとりを選んで，わしと戦わせろ。そいつがわしを殺して勝ったら，われわれはおまえたちのどれいになる。だが，わしがそいつを殺して勝ったら，おまえたちがわれわれのどれいになるのだ。さあ，わしと戦う者を出せるものなら出してみろ』。

ダビデは数人の兵士に，『あのペリシテ人を殺して，イスラエルからこのようなはずかしめを取り除いた人には，どんなほうびがあるのですか』とたずねます。

『サウルはその者にたくさんの富をあたえ，また自分のむすめを妻としてあたえるんだよ』と兵士が答えます。

でも，ゴリアテはとても大きいので，イスラエル人はみなゴリアテをおそれています。ゴリアテは背たけが３メートルほどもあって，もうひとりの兵士がかれのためにたてを持っています。

何人かの兵士がサウル王のところへ行って，ダビデがゴリアテと戦うことを望んでいると知らせます。しかし，サウルはダビデに，『あなたがあの者と戦うことはできない。あなたはほんの少年にすぎないが，あのペリシテ人は若い時から兵士

なのだから』と言います。ダビデはこう答えます。『わたしは，父の羊をうばって行ったくまとライオンを殺しました。ですから，あのペリシテ人も殺せると思います。エホバがわたしを助けてくださいます』。そこで，サウルは，『行きなさい。エホバがあなたとともにおられるように』と言います。

ダビデは川のそばに下りて行き，五つのなめらかな石を拾って，袋に入れます。それから石投げ器を取ると，巨人に立ち向かうために出て行きます。ゴリアテはダビデを見て，自分の目を疑い，ダビデを殺すのはいともかんたんだ，と考えます。

『さあ，来い。おまえのからだを鳥やけものに食べさせてやる』と，ゴリアテは言います。ところがダビデはこう言います。『あなたはつるぎと，やりと投げやりを持って来ますが，わたしはエホバのお名前を持ってあなたに向かって行きます。きょう，エホバはあなたをわたしの手にわたされるでしょう。わたしはあなたを打ちたおします』。

そう言うと，ダビデはゴリアテに向かって走り，袋から石を一つ取り出して石投げ器に入れ，力いっぱい投げました。石はゴリアテの頭に命中し，ゴリアテはたおれて死んでしまいました。ペリシテ人たちはそれを見て，みんな背を向けてにげます。イスラエル人はそのあとを追い，戦いに勝ちました。

サムエル前 17:1-54。

ダビデがにげなければならなかった理由

ダビデがゴリアテを殺したあと，イスラエルの軍の総指揮官であるアブネルは，ダビデをサウルのもとへ連れて行きます。サウルはダビデがたいへん気に入り，ダビデを軍の隊長にして，王の家に住まわせます。

のちに，軍隊がペリシテ人との戦いから帰って来たとき，女たちは，『サウルは何千人も殺したが，ダビデは何万人も殺した』と歌います。それを聞いてサウルはしっとします。ダビデのほうがサウルよりもほまれを受けているからです。ところが，サウルの息子のヨナタンは，しっと深くありません。ヨナタンはダビデをとても愛します。ダビデもヨナタンを愛します。それで，ふたりはいつまでも友だちでいるという約束をかわします。

ダビデは，たてごとを引くのが，たいへんじょうずで，サウルはダビデが演奏する音楽が好きです。ところが，ある日，サウルはしっとにかられておそろしいことをします。ダビデがたてごとを演奏しているときに，サウルはやりを取って，『ダビデをかべにつきさしてやる』と言いながらそれを投げつけます。ダビデはからだをかわし，やりははずれました。その後，サウルは再びダビデにやりを投げつけて失敗します。それでダビデは，じゅうぶん用心しなければならないことに気がつきます。

あなたは，サウルが，ゴリアテを殺した者に，自

分のむすめを妻としてあたえると約束したのをおぼえているでしょう。サウルはついにダビデに向かって，むすめのミカルをあたえるけれども，その前に敵のペリシテ人を100人殺しなさい，と言います。なんということでしょう。ほんとうのことを言うと，サウルはダビデがペリシテ人に殺されるのを願っているのです。しかし，ダビデは殺されません。それでサウルはむすめをダビデに妻としてあたえます。

ある日，サウルはヨナタンや自分のすべての家来に，ダビデを殺したいと思っていると告げます。しかし，ヨナタンは父親にこう言います。『ダビデを傷つけてはいけません。ダビデはあなたに悪いことをしたことなど一度もないではありませんか。ダビデがしたことはどれも，あなたのためにたいへん助けになりました。あなたはダビデが命がけでゴリアテを殺したのをごらんになって，喜ばれたではありませんか』。

サウルは息子のことばを聞き入れ，ダビデを傷つけない，と約束します。ダビデは連れもどされ，以前と同じように，王の家でサウルに仕えます。ところが，ある日，ダビデが音楽を演奏しているときに，サウルは再びダビデにやりを投げつけます。ダビデは身をかわしたので，やりはかべに当たります。これで三度めです。ダビデは，もうにげなければだめだ，と思います。

その晩，ダビデが自分の家に帰ると，サウルはダビデを殺すために人をつかわします。ミカルは父親のたくらみを知っているので，夫に『今夜，おにげにならなければ，あなたはあしたは殺されています』と言います。その夜，ミカルはダビデが窓からにげるのを助けます。およそ七年のあいだ，ダビデは，サウルの目をのがれて，あちらこちらと，かくれてにげなければなりません。

サムエル前 18:1-30; 19:1-18。

アビガルとダビデ

ダビデに会いにやって来た，この美しい人はだれでしょう。この人の名前はアビガルです。アビガルは分別のある人で，ダビデに，悪いことをするのを思いとどまらせました。でも，そのことをお話しする前に，ダビデがどうなっていたかを見てみましょう。

ダビデはサウルからにげたあと，ほら穴にかくれます。ダビデの兄弟たちや家族のほかの人たちもダビデのもとに集まっています。全部でおよそ400人がダビデのもとに

来ました。ダビデはその指導者になります。それからダビデはモアブの王のところへ行って，こう言います。『わたしがどうなるかわかるまで，どうか父と母をあなたのところに置いてください』。それからダビデとその家来たちは丘のあいだにかくれます。

ダビデがアビガルに会うのは，このことがあってからです。アビガルの夫のナバルは裕福な地主で，3,000頭の羊と1,000頭のやぎを持っています。ナバルは意地悪な人です。でも，妻のアビガルはとても美しい人です。そして，アビガルは正しいことをどのように行なうかを知っています。あるとき，アビガルは家族を救うことさえします。どのようにしてでしょうか。

ダビデとその家来たちはナバルに親切でした。ナバルの羊を守るのを助けました。それで，ある日，ダビデはナバルに願いを聞いてもらうために家来をつかわします。ダビデの家来がナバルのところへ行くと，ナバルと手伝いの人々は羊の毛をかっていました。その日は祝いの日で，ナバルの家にはおいしい食べ物がたくさんあります。それで，ダビデの家来はこう言います。『わたしたちはあなたに親切にして来ました。わたしたちはあなたの羊をぬすんだことがありません。むしろ，その世話をするのを助けました。それで，どうか，食べ物をいくらかいただけませんか』。

『おまえたちのような者に食べ物はやらない』と，ナバルは言います。ナバルはとても意地の悪い言い方をし，ダビデのことを悪く言います。帰って来た家来からそのことを聞くと，ダビデはたいへんおこりました。そして，『刀を取りなさい』と，家来たちに命令します。ダビデたちは，ナバルとその家の者を殺すために出かけます。

ナバルの家の者のひとりは，ナバルが意地悪なことを言うのを聞いて，起きたことをアビガルに知らせます。アビガルはただちに食べ物を用意させ，それをろばに乗せて出かけます。そしてダビデに会うと，ろばから降りて，次のように言います。『わが主よ，どうぞ，夫のナバルのことを気にかけないでください。ナバルはおろか者で，全くおろかなことをいたします。ここにおくり物がございます。どうかこれをお持ちになってください。そして，いままでのことはお許しください』。

ダビデは答えます。『あなたはかしこい人です。意地の悪いナバルにしかえしをするために，ナバルを殺そうとしていたわたしを思いとどまらせてくれました。さあ，安心して家に帰りなさい』。のちに，ナバルが死ぬと，アビガルはダビデの妻のひとりになります。

サムエル前 22:1-4; 25:1-43。

ダビデは王位につく

サウルは再びダビデをつかまえようとします。そのために，すぐれた兵士3,000人をひきいて，ダビデをさがしに出かけます。そのことを知ると，ダビデは，サウルとその家来たちが夜どこに野営しているかをさぐるために，スパイを送ります。それからダビデはふたりの人に，『あなたがたのどちらが，わたしといっしょにサウルの野営地へ行くか』とたずねます。

『わたしがおともします』と，アビシャイが答えます。アビシャイはダビデの姉のゼルヤの息子です。サウルと兵士たちがねているあいだに，ダビデとアビシャイはそっと野営地にしのびこみます。ふたりは，サウルのまくらもとにあるやりと水さしを取ります。サウルも兵士もぐっすりねむっているので，ふたりに気づきません。

さて，ダビデとアビシャイを見てください。ふたりは丘の上の安全なところへにげて来ました。ダビデはイスラエル軍の総指揮官に向かって大声でこう言います。『アブネル，あなたは主人である王を守っていないのですか。見なさい。王のやりと水さしはどこにありますか』。

サウルは目をさます。そして，ダビデの声だと気がついて，『ダビデよ，これはおまえの声か』と，たずねます。下のほうにサウルとアブネルのいるのがわかりますか。

『はい，そのとおりです。わたしの主であられる王よ』と，ダビデはサウルに答えます。それからダビデはこうたずねます。『あなたはなぜわたしをつかまえようとなさるのですか。わたしはどんな悪いことをしたのでしょうか。王よ，ここにあなたのやりがあります。だれかにこれを取りに来させてください』。

『わたしはまちがったことをした。わたしはおろかだった』と，サウルは言います。それを聞いて，ダビデは立ち去り，サウルは家へ帰ります。ダビデは心の中で言います。『サウルはいつかわたしを殺すだろう。ペリシテ人の地へにげるほかに道はない』。ダビデはそのようにします。ダビデはペリシテ人をだまして，自分がペリシテ人の味方だということを信じこませることができます。

しばらくして，ペリシテ人はイスラエルをせめます。その戦いで，サウルもヨナタンも殺されます。ダビデはそのことをたいへん悲しみ，美しい詩を作ります。その中で，ダビデはこう歌いました。『わたしの兄弟ヨナタンよ，わたしはあなたのために悲しむ。あなたはわたしにとってどれほどかけがえのない人だったことか』。

そのあと，ダビデはイスラエルのヘブロンの町へもどります。そこで，サウルの息子のイシボセテを王にしようとする人々と，ダビデを王にしようとする人々が戦います。しかし，ついに，ダビデの側の人々が勝ちます。王位についたとき，ダビデは30歳でした。ダビデは七年半のあいだヘブロンで治めます。そこの町で，ダビデにアムノン，アブサロム，アドニヤという息子が生まれます。

やがて，ダビデとその家来は，エルサレムという美しい町をせめ取るために出かけます。ダビデの姉ゼルヤのもうひとりの息子であるヨアブは，先頭に立って戦います。それでダビデはほうびとして，ヨアブを軍隊の総指揮官にします。こうして，ダビデはエルサレムの町から治めるようになります。

サムエル前 26:1-25; 27:1-7; 31:1-6。
サムエル後 1:26; 3:1-21; 5:1-10。
歴代志上 11:1-9。

ダビデの家に起きた問題　62

ダビデがエルサレムで支配を始めてから，エホバはダビデの軍隊に何度も勝利をおあたえになります。エホバはカナンの地をイスラエル人にあたえることを約束しておられましたが，いまや，エホバの助けにより，約束されていた土地のすべてがついにイスラエル人のものになりました。

ダビデは，エホバを愛する良い支配者なので，エルサレムをせめ取ると，さっそくエホバのけい約の箱をエルサレムに持って来ることも行ないました。そのうえ，ダビデは，けい約の箱を置いておく神殿を建てたいという願いをいだきます。

ダビデは，年配になってから，ひどいあやまちを犯します。ダビデは，ほかの人のものを取るのは悪いことだということを知っています。ところが，ある晩，宮殿の屋根の上にいたダビデは，下を見おろして，バテシバという，たいへん美しい女の人を見ます。バテシバの夫は，ダビデの兵士で，ウリヤという人です。

ダビデはバテシバがとてもほしくなって，バテシバを宮殿に連れて来させます。バテシバの夫は戦いに出かけていて，るすです。ダビデはバテシバに言い寄ります。それで，のちに，バテシバは子供を身ごもったことを知ります。ダビデはひじょうに心配します。そして，軍隊の総指揮官であるヨアブに命令を送って，ウリヤを戦いのいちばん激しいところに行かせます。それはウリヤを戦死させるためです。ウリヤが死ぬと，ダビデはバテシバと結こんします。

エホバは，ダビデに対してたいへんおいかりになります。そこで，ダビデにその罪をさとらせるために，ご自分のしもべナタンをおつかわしになります。ここで，ダビデに話しているのがナタンです。ダビデは自分のしたことを，たいへんこうかいします。それで，エホバはダビデを殺すことはされません。しかし，エホバはこう言われます。『あなたはこうした悪いことを行なったので，あなたの家にはたくさんの問題が起きます』。たしかにダビデは多くの問題をかかえこみます。

まず，バテシバの産んだ子が死にます。つぎに，ダビデの長男のアムノンは，妹のタマルをひとりにならせ，自分と無理やり関係を持たせます。ダビデの息子のアブサロムはそれにたいへん腹を立て，アムノンを殺します。のちに，アブサロムは

人々の人気を得て，自ら王になります。けっきょく，ダビデはアブサロムと戦って勝ち，アブサロムは殺されます。そうです，ダビデには多くの問題が起きました。

そうしたことが起きているあいだに，バテシバはソロモンという男の子を産みます。ダビデが年老いて病気になると，息子のアドニヤは自分が王になろうとします。それでダビデは，ソロモンが王になることを示すため，ザドクという祭司に命じて，ソロモンの頭に油を注がせます。それからまもなく，ダビデは70歳で死にます。ダビデは40年間支配しました。でも，今はソロモンがイスラエルの王です。

サムエル後 6:1-15; 11:1-27。列王紀上 1:1-48。

かしこい王ソロモン

ソロモンは十代で王になります。ソロモンはエホバを愛し，父親ダビデからあたえられた良い助言に従っています。エホバはソロモンのことを喜ばれます。ある夜，エホバはゆめの中でソロモンにこうおっしゃいます。『ソロモンよ，あなたは何がほしいですか』。

するとソロモンはこう答えます。『わたしの神エホバよ，わたしはほんの若者で，支配の仕方がわかりません。ですから，あなたの民を正しく治める知恵をおあたえください』。

エホバは，ソロモンの願いを喜ばれて，こう言われます。『あなたは長生きすることや富を得ることを求めないで，知恵を求めたので，わたしはあなたに，今までのだれよりもすぐれた知恵をあたえます。また，あなたが求めなかった，富とほまれとをあたえます』。

それからまもなく，ふたりの女がむずかしい問題を持ってソロモンのもとにやって来ます。いっぽうの女はこう説明します。『この人とわたしは同じ家に住んでいます。わたしは男の子を産みました。二日してから，この人も男の赤んぼうを産みました。ある夜，この人の赤んぼうは死にました。ところが，わたしがぐっすりねむっているあいだに，この人は自分の死んだ子供をわたしのそばに置き，わたしの子供を取りました。目がさめて，死んだ子をよく見ると，その子はわたしの子ではないのです』。

すると，もういっぽうの女は，『いいえ，生きているのがわたしの子で，死んでいるのがあなたの子です』と言います。先の女が言います。『いいえ，死んでいるのがあなたの子で，生きているのがわたしの子です』。こうして，ふたりの女は言い合います。ソロモンはどうするでしょうか。

ソロモンはつるぎを取りにやります。そして，それが持って来られると，『生きている子供をふたつに切って，それをふたりに分けなさい』と言いました。

『いいえ。どうか子供を殺さないでください。その子をあの人にあげてください』と，ほんとうの母親はさけびます。しかし，もういっぽうの女は，『その子をわたしたちのどちらにもわたさないで，断ち切ってください』と言います。

ついに，ソロモンは言います。『その子供を殺してはならない。その子を最初の女にあたえなさい。その者がほんとうの母親だ』。ソロモンにはそのことがわかりました。なぜなら，ほんとうの母親は子供を深く愛しているので，子供を殺すまいとして，いっぽうの女に子供をあたえようとしたからです。人々は，ソロモンがどのように問題を解決したかを聞いて，そのようにかしこい王を持っていることを喜びます。

ソロモンの治世中に，神は，小麦，大麦，ぶどう，いちじく，その他の食物を地から豊かにみのらせて，人々を祝福なさいます。人々は上等の服を着て，良い家に住んでいます。すべての人にあらゆる良いものがありあまるほどあります。

列王紀上 3:3-28; 4:29-34。

ソロモンは神殿を建てる

ダビデは，死ぬ前に，神からあたえられたエホバの神殿の建築計画をソロモンにさずけました。ソロモンは，その支配の四年めに神殿を建てはじめます。それを完成するのに七年半かかります。とても大勢の人がその仕事をしました。また，建築の費用はたいへん多くかかりました。神殿に金と銀がとてもたくさん使われたからです。

幕屋と同じように，神殿には二つのおもな部屋があります。でも，その大きさは，幕屋の場合より二倍も広くなっています。ソロモンは，けい約の箱

を神殿の奥の部屋に入れさせ，幕屋にあったほかの物をもう一つの部屋に入れさせます。

神殿が完成すると，大きな祝いが行なわれます。この絵にあるように，ソロモンは神殿の前でひざまずいてこう祈ります。『天全体でさえあなたをお入れすることはできません。ですから，この神殿などなおさらです。しかし，わたしの神よ，あなたの民がここに向かって祈るとき，どうかそれに耳をかたむけてください』。

ソロモンが祈り終えると，火が天から降って来て，ささげられていた動物の犠牲を焼きつくしてしまいます。そして，エホバから来る明るい光が神殿に満ちます。それは，エホバが聞いておられること，また，神殿と，ソロモンの祈りを喜んでおられることのしるしです。これからは，人々が来て崇拝を行なう場所は，幕屋でなくて神殿です。

ソロモンは長いあいだ良い支配を行ない，人々は幸福でした。ところが，ソロモンは，エホバを崇拝しないたくさんの外国の女たちと結こんします。この絵では，そのひとりがぐう像を崇拝していますね。ついに，妻たちはソロモンにもほかの神々を崇拝させます。ソロモンがそうするようになると，どんなことが起きたと思いますか。ソロモンは残こくになって，もはや人々を親切にあつかわなくなります。ですから，人人は不幸になります。

そのために，エホバはソロモンをおいかりになり，こうおっしゃいます。『わたしはあなたから王国を取り去り，それをほかの人にあたえます。あなたの生がい中にはしませんが，あなたの息子が治めているあいだにそのことをします。しかし，わたしは王国の人々すべてをあなたの息子から取り去るわけではありません』。では，どんなことが起きたのか，見てみましょう。

歴代志上 28:9-21; 29:1-9。列王紀上 5:1-18。
歴代志下 6:12-42; 7:1-5。列王紀上 11:9-13。

王国の分れつ

なぜ，この人は自分の衣をずたずたに引きさいているのでしょうか。エホバから，そうするように言われたのです。この人は神の預言者アヒヤです。預言者とは，これから起ころうとすることを前もって神から知らされる人のことです。

今，アヒヤはヤラベアムに話しかけています。ヤラベアムは，ソロモンが建築工事の一部を任せた人です。アヒヤは，道でヤラベアムに会うと，きみょうなことをします。着ていた新しい衣をぬいで，12切れに引きさいたのです。そして，ヤラベアムに，『自分のために10切れを取りなさい』と言うのです。なぜアヒヤがヤラベアムに10切れをあたえるのでしょうか。

アヒヤは，エホバがソロモンから王国を取り去ろうとしておられることを説明します。そして，エホバはヤラベアムに10部族をあたえようとしておられると告げます。ですから，ソロモンの息子のレハベアムが支配するのは，残りの二部族だけになります。

アヒヤがヤラベアムに話した事柄を聞いて，ソロモンはたいへん腹を立てます。そして，ヤラベアムを殺そうとします。しかし，ヤラベアムはエジプトへにげます。しばらくして，ソロモンは死にます。ソロモンは40年のあいだ王でした。でも，今は息子のレハベアムが王位につきます。エジプトにいたヤラベアムは，ソロモンが死んだことを聞き，イスラエルにもどって来ます。

レハベアムは良い王ではありません。父親のソロモンよりも，もっと人々に意地悪くあたります。ヤラベアムや他のおもだった人々がレハベアム王のもとに行って，人々にもっとやさしくするようにたのみましたが，レハベアムは聞き入れません。じっさい，レハベアムは以前よりもっと意地悪くなります。それで，人々はヤラベアムを10部族の王にします。しかし，ベニヤミン族とユダ族の二つは，引きつづきレハベアムを王としてかれに仕えます。

ヤラベアムは，自分の国民が，エホバの神殿で崇拝するためにエルサレムへ行くのを望みません。それで，二つの金の子牛を作り，10部族の国の人々にそれを崇拝させます。まもなく，その国は，犯罪や暴力で満ちるようになります。

二部族の国にも問題があります。レハベアムが王になってから五年もたたないうちに，エジプトの王がエルサレムをせめて来たのです。エジプトの王はエホバの神殿からたくさんの宝物を持ち去ります。ですから，神殿が，建てられた時のままだったのは，ほんのわずかな期間でした。

列王紀上 11:26-43; 12:1-33; 14:21-31。

よこしまな王妃イゼベル　66

ヤラベアムが死んだあと，北の10部族のイスラエル王国を支配したのは，悪い王ばかりです。中でもいちばん悪いのはアハブ王です。どうしてそんなに悪いのでしょう。それはおもにアハブの妻で，よこしまな王妃イゼベルのせいでした。

イゼベルはイスラエル人ではありません。シドンの王のむすめです。イゼベルはバアルといういつわりの神を崇拝していて，アハブや多くのイスラエル人にもバアルを崇拝させます。イゼベルはエホバがきらいなので，エホバの預言者をたくさん殺します。そのため，殺されないように，ほら穴にかくれる人々もあります。イゼベルは，何かほしいものがあると，人を殺してでもそれを手に入れるような女です。

ある日，アハブ王はたいへん悲しんでいました。それでイゼベルはアハブに，『きょうはどうしてごきげんが悪いのですか』とたずねました。

『ナボテが気にくわないことを言ったからだ。わたしはかれのぶどう畑を買いたいと思ったが，ナボテは，それをわたしにゆずらないと言った』と，アハブは答えます。

『だいじょうぶ。わたしがその畑を手に入れてあげます』とイゼベルは言います。

こうしてイゼベルは，ナボテという人の住んでいる町のおも立った人々に手紙を書きます。それにはこう書かれています。『ならず者たちに，ナボテは神と王をのろったと言わせなさい。それからナボテを町から連れ出し，石打ちにして殺しなさい』。

イゼベルは，ナボテが死んだことを聞くとすぐに，『さあ，ぶどう畑を取りに行きなさい』とアハブに言います。イゼベルは，このようにおそろしいことをしたのですから，ばつを受けるべきだ，とあなたも思いませんか。

ですから，エホバはやがて，イゼベルをばっするために，エヒウという人をつかわします。エヒウが来ることを聞くと，イゼベルは目を化しょうし，美しく見えるようにおしゃれをします。しかし，やって来たエヒウは，窓にイゼベルが見えたので，宮殿に仕えている人々に向かって，『その女を投げ落とせ』と言いました。宮殿の人たちは，この絵にあるように，その命令に従ってイゼベルを投げ落とします。イゼベルは死にました。これがよこしまな王妃イゼベルの最期です。

列王紀上 16:29-33; 18:1-4; 21:1-16。列王紀下 9:30-37。

エホバによりたのんだエホシャファト

この人々は，どういう人々で，何をしているのでしょうか。この人たちは戦いに出かけるところです。前の方にいる人たちは歌をうたっています。でも，『歌をうたっている人たちは，なぜ戦いのつるぎややりを持っていないのですか』と，たずねる人もいるでしょう。では，そのことをお話ししましょう。

エホシャファトは，イスラエルの二部族の国の王で，北の10部族の国のアハブ王やイゼベルと同じ時代の人です。でも，エホシャファトは良い王です。その父親のアサも立派な王でした。ですから，南の二部族の国の人々は長いあいだ幸福にくらしています。

ところが，人々を不安にさせることが起きました。使者たちがエホシャファトにこう知らせたのです。『モアブ，アンモン，セイル山の国々から大軍があなたにせめよせて来ます』。大勢のイスラエル人は，エルサレムに集まって神殿へ行き，エホバの助けを求めます。エホシャファトはそこでこう祈ります。『ああ，わたくし

たちの神エホバよ。わたくしたちはどうしたらよいかわかりません。わたくしたちには，このような大軍に立ち向かう力がありません。わたくしたちはあなたに助けをあおぎます』。

エホバはその祈りを聞かれ，しもべのひとりを通して人々にこうおっしゃいます。『この戦いはあなたがたの戦いではなく，神の戦いである。あなたがたは戦わなくてもよい。どのようにしてエホバがあなたがたをお救いになるかを，ただ見守りなさい』。

それで，翌朝，エホシャファトは人々に，『エホバによりたのみなさい』と言います。それから，歌い手たちを兵士の先頭に置きます。歌い手たちは，行進しながら，エホバへの賛美の歌をうたいます。一隊が戦場に近づいたとき，何が起きたと思いますか。エホバは，敵の兵士たちが同士討ちをするようにしむけたのです。ですから，イスラエル人たちが着いたときには，敵の兵士はみな死んでいました。

エホシャファトがエホバによりたのんだのはかしこいことでしたね。わたしたちも，エホバにたよるなら，かしこくなれます。 列王紀上 22:41-53。歴代志下 20:1-30。

生き返ったふたりの少年

もし，あなたが死んでいて，生き返らされたとしたら，あなたのお母さんはどんな気持ちがするでしょうか。とてもうれしいでしょうね。でも，死んだ人が生き返ることがあるでしょうか。今までに，そういうことがあったでしょうか。

この男の人と，女の人と，少年をごらんなさい。男の人は預言者エリヤです。女の人はザレパテの町のやもめで，少年はその息子です。さて，ある日，少年は病気にかかって，どんどん悪くなり，とうとう死んでしまいます。エリヤはそのとき女の人に，『子供をわたしによこしなさい』と言います。

エリヤは死んだ子供を屋上の部屋に連れて上り，その子を寝台に横たえます。それから，『エホバよ，この子供を生き返らせてください』と祈ります。すると，男の子は息をしはじめます！ エリヤはその子を下に連れて行って，母親に『あなたの息子は生きています』と言います。それで母親はこんなに喜んでいるのです。

エホバのもうひとりの重要な預言者は，エリシャという人で，エリヤを手伝う人として奉仕します。しかし，やがてエホバは奇跡を行なうためにエリシャをもお用いになります。ある日エリシャはシュネムの町へ行きます。その町のある女はとても親切にしてくれます。のちにその人は男の子を産みます。

大きくなってから，その子はある朝，畑で働いている父親のところに出かけます。そしてとつぜん，『頭が痛い』とさけびます。家に連れもどされてから，その子は死にます。母親はどんなに悲しいでしょうね。それですぐにエリシャを呼びに行きます。

エリシャはその家に着くと，死んだ子供のいる部屋へはいって行きます。そして，エホバに祈ってから，子供のからだの上に身をふせます。すると，まもなく，からだは暖かくなり，七回くしゃみをします。母親は，部屋にはいって子供が生きているのを知って，どんなにうれしかったことでしょう。

これまで数えきれないほど多くの人が死にました。死んだ人の家族や友だちはとても悲しい思いをしました。わたしたちに，死んだ人を生き返らせる力はありませんが，エホバにはあります。あとで，わたしたちはエホバが大勢の人を生き返らせてくださることを学びましょう。

列王紀上 17:8-24。列王紀下 4:8-37。

少女が勇士を助ける

この少女は何を話しているのでしょうか。少女は女主人にエホバの預言者エリシャのことや，エリシャがエホバの助けによって行なったふしぎなことを話しています。その女主人は，イスラエル人ではないので，エホバのことを知りません。それにしても，どうして少女はその人の家にいるのでしょう。

女主人はシリア人です。この人の夫は，シリアの将軍であるナアマンです。シリア軍はこのイスラエル人の少女をつかまえ，ナアマンの妻の下女にしました。

ナアマンは，らい病というひどい病気にかかっています。その病気になると，からだの肉がくずれることさえあります。それで少女はナアマンの妻にこう話しているのです。『ご主人様が，イスラエルにいるエホバの預言者のところへ行かれるとよいのですが。あの方はご主人様のらい病を治されることでしょう』。あとで女主人は，少女が言ったことを夫に話します。

ナアマンはぜひ治してもらいたいと思い，イスラエルへ行くことにします。ナアマンはイスラエルに着くと，エリシャの家へ行きます。エリシャはしもべをつかわして，ヨルダン川で七回からだを洗うように，とナアマンに伝えさせます。それを聞いたナアマンはとても腹を立て，こう言います。『わたしの国の川のほうが，イスラエルのどんな川よりも勝っている』。そう言ってから，ナアマンは立ち去ります。

でも，ナアマンのしもべのひとりはこう言います。『ご主人様，もしエリシャが，何かむずかしいことをするように言ったら，それをなさるのではありませんか。では，エリシャの言ったように，ただからだを洗うくらいのことはなさってはいかがですか』。ナアマンはしもべのことばを聞き入れ，出かけて行ってヨルダン川に七回つかります。すると，ナアマンの肉は固まって，元どおりになります。

ナアマンはとても喜んで，エリシャのところへもどると，こう言います。『イスラエルの神は，全地でただおひとりのまことの神であることが，今たしかにわかりました。それで，どうか，このおくり物を受け取ってください』。でも，エリシャは，『いいえ，それはけっこうです』と答えます。ナアマンの病気はエホバがいやされたので，そのおくり物を受け取るのはよくないことを，エリシャは知っていました。ところが，エリシャのしもべのゲハジは，そのおくり物がほしくなります。

それで，ゲハジはじっさいにそれを得ようとします。ナアマンが立ち去ってから，そのあとを追いかけて，『エリシャはやって来た友だちのためにおくり物をすこしいただけないか，と申しています』と言います。それは，もちろん，うそです。でも，ナアマンは，それとは知らずに，ゲハジに品物をわたします。

ゲハジが家にもどったとき，エリシャはゲハジのしたことを知っていました。エホバがエリシャに告げられたのです。それで，エリシャはこう言います。『このような悪いことをしたのだから，ナアマンのらい病があなたに取り付くように』。すると，たちまちゲハジはらい病になります。

この話から何が学べるでしょうか。まず，その少女のように，エホバのことを話さなければならないということです。そうすることには大きな益があります。二番めに，最初ナアマンがそうだったようにほこり高ぶらないで，神のしもべに従うべきですね。三番めには，ゲハジのように，うそをついてはいけないということがわかりますね。聖書を読むといろいろなことが学べますね。

列王紀下 5:1–27。

ヨナと大きな魚

水の中にいる人を見てごらんなさい。これはたいへんなことですね。あの魚が，男の人をいまにも飲みこもうとしているではありませんか。この人はだれでしょうか。これはヨナという人です。ではヨナがどうしてこんなたいへんな目にあったのか，調べてみましょう。

ヨナはエホバの預言者です。預言者エリシャが死んでまもなく，エホバはヨナにこうおっしゃいました。『大きな町ニネベに行きなさい。ニネベの人々の悪はたいへんなものです。人々にそのことを話してもらいたいのです』。

しかし，ヨナは行きたくありません。それで，ニネベとは反対の方向へ行く船に乗ります。エホバは，ヨナがにげたことを喜ばれません。それで，エホバは大きなあらしを起こされました。とてもひどいあらしなので，船はしずみそうです。水夫たちはたいへんおそれて，神々に大声で助けを求めます。

とうとうヨナは水夫たちにこう言います。『わたしは，天と地を作られた神，エホバを崇拝しています。ですが，わたしは，エホバから命じられたことをしたくないので，にげているのです』。すると，水夫たちは，『あらしを静めるためには，あなたをどうすればいいのですか』と聞きます。

『わたしを海に投げこんでください。そうすれば海は再び静かになります』と，ヨナは答えます。水夫たちはそうしたくありませんでしたが，あらしがどんどんひどくなるので，ついにヨナを船から投げ落しました。すぐに，あらしはやんで，海は再び静かになります。

ヨナは，海の中にしずんでいって，大きな魚に飲みこまれてしまいます。でも，ヨナは死にません。ヨナは，三日三晩，その魚のおなかの中にいます。ヨナは，エホバに従わないで，ニネベに行かなかったことをたいへんこうかいします。それで，ヨナはどうしたでしょうか。

エホバに助けを祈り求めたのです。すると，エホバは，魚がヨナをかわいた陸地にはき出すようにされます。その後，ヨナはニネベに行きます。この話から，エホバがおっしゃることはなんでも行なうことがどれほどたいせつかわかりますね。　ヨナ書

神は楽園を約束される

これは楽園（パラダイス）の絵です。神が預言者イザヤに示されたのはこういう光景だったかもしれません。イザヤはヨナよりすこしあとの時代の人です。

パラダイスとは，「庭園」とか「公園」という意味です。この絵を見ると，これまでにこの本で見た絵を思い出しませんか。エホバ神がアダムとエバのために作られた美しい庭園によくにていますね。でも全地がパラダイスになるのでしょうか。

エホバはイザヤに，将来おとずれる，神の民のための新しい楽園について書くことをお命じになって，こう言われました。『おおかみと羊は，ともに仲良くくらしま

す。牛の子とライオンの子は，いっしょに草を食べ，小さな子供たちがその世話をします。赤ちゃんでさえ，毒へびのそばで遊んでも，かみつかれません』。

多くの人は，『そんなことはあるはずがない。地上にはいつも問題があったし，これからもあるだろう』と言うことでしょう。でも，考えてみてください，神はアダムとエバにどんな住みかをおあたえになりましたか。

神はアダムとエバを楽園に置かれました。ふたりが美しい住みかを失い，年老いて死んだのは，ふたりが神に従わなかったからにすぎません。神は，ご自分を愛する人々に，アダムとエバが失ったものをそっくりあたえると約束しておられます。

やがて来る新しい楽園では，傷つけたり，こわしたりするものは何もありません。すべての人が健康で幸福です。そこは，神が初めに望まれたとおりのところになります。でも，神がどのようにこのような楽園をもたらされるかは，あとで学びます。

イザヤ 11:6-9。啓示 21:3，4。

神はヒゼキヤ王を助ける

この人は，なぜ神に祈っているのでしょうか。なぜ，神の祭だんの前に手紙を置いているのでしょうか。この人はヒゼキヤで，イスラエルの南の二部族の王です。ヒゼキヤはたいへん困っています。どうしてでしょうね。

それは，アッシリアの大軍が北の10部族をすでにほろぼしてしまったからです。エホバは，その人たちがあまりにも悪かったので，アッシリアにほろぼされるようになさったのです。今，アッシリアの軍隊は，二部族の王国と戦うために来ています。

そして，アッシリアの王からヒゼキヤ王に手紙が

とどいたところです。ヒゼキヤが神の前に置いているのがその手紙です。それは，エホバをあざけり，ヒゼキヤにこうさんすることを命じています。それで，ヒゼキヤはこう祈っているのです。『エホバよ，わたくしたちをアッシリアの王から救ってください。そうすれば，すべての国はあなただけが神であることを知るでしょう』。エホバはヒゼキヤの祈りを聞かれるでしょうか。

ヒゼキヤは良い王です。ヒゼキヤは，イスラエルの10部族の王国の悪い王たちや，父親である悪いアハズ王とはちがいます。ヒゼキヤは，エホバのすべての律法に注意深く従ってきました。それで，ヒゼキヤが祈り終えたあと，預言者イザヤはエホバからの次のような音信をヒゼキヤに送ります。『アッシリアの王はエルサレムにはいって来ません。その兵士はだれひとりエルサレムに近づきません。エルサレムの町に向かって一本の矢もはなちません』。

このページの絵を見てください。死んでいるのはどこの兵士でしょう。これはアッシリアの兵士たちです。エホバはみ使いをつかわされ，そのみ使いはひと晩で18万5,000人のアッシリア兵を殺したのです。ですから，アッシリアの王はこうさんして，帰って行きます。

二部族の王国は救われ，人々はしばらくのあいだ平和でした。でも，ヒゼキヤが死んだあと，その息子のマナセが王になります。マナセと，そのあとをついだ息子のアモンはふたりともたいへん悪い王です。ですから，国は再び犯罪と暴力で満ちます。アモン王が自分の家来に殺されると，その息子のヨシアが二部族の王国の王位につけられます。

列王紀下 18:1-36; 19:1-37; 21:1-25。

イスラエルの最後の良い王

イスラエルの南の二部族の王になったとき，ヨシアはわずか八歳でした。王になるには小さすぎますから，最初のあいだは，ヨシアが国を治めるのをおとなの人たちが助けます。

ヨシアは，王になって七年後に，エホバを求めるようになります。そして，ダビデ，エホシャファト，ヒゼキヤなどの良い王の手本にならいます。それで，まだ十代のときに，ヨシアは勇敢なことをします。

長いあいだ，ほとんどのイスラエル人はとても悪くなっていました。人々は，いつわりの神々を崇拝しています。また，ぐう像に身をかがめています。それで，ヨシアは家来たちを連れて出かけて行き，国からいつわりの崇拝を取り除きはじめます。とても大勢の人がいつわりの神々を崇拝しているので，それはたいへんな仕事です。この絵は，ヨシアと家来たちがぐう像をこわしているところです。

そのあと，ヨシアは三人の人にエホバの神殿を修理する仕事を任せます。人々からお金を集め，その三人にお金をわたして，修理の費用を払わせます。三人が神殿で仕事をしているときに，大祭司のヒルキヤは神殿でとても大切なものを見つけます。なんと，それは，ずっとむかしにエホバがモーセにお書かせになった律法の書です。それは長いあいだ失われていたのです。

その律法の書はヨシアのところへ持って行かれます。ヨシアは，それを読んで聞かせてほしい，と言います。聞いているうちに，ヨシアは，人々がエホバの律法を守ってこなかったことに気づきます。ヨシアは，そのことをたいへん悲しんで，この絵のように服を引きさきます。そして，こう言います。『わたしたちの先祖がこの書に書かれていることを守らなかったので，エホバはわたしたちをおいかりになっている』。

ヨシアは大祭司ヒルキヤに，エホバが自分たちをどうしようとしておられるかを確かめるよう命じます。ヒルキヤは女預言者フルダのところへ行き，そのことをたずねます。フルダは，ヒルキヤに，ヨシアに伝える次のようなエホバからの音信を告げます。『エルサレムとすべての人々は，いつわりの神々を崇拝し，国に悪を満たしたので，ばつを受けます。しかし，あなた，ヨシアは良いことを行なったので，あなたが死ぬまでははばっせられることはありません』。 歴代志下 34:1-28。

おくすることのない人

74

見てください。人々はこの若者をからかっています。この人はだれでしょう。これはエレミヤです。エレミヤはとても重要な神の預言者です。

ヨシア王が国からぐう像をほろぼしはじめてまもなく，エホバはエレミヤに，ご自分の預言者になるようお命じになります。しかし，エレミヤは，預言者になるのに自分は若すぎると考えます。でも，エホバは，わたしがあなたを助ける，とおっしゃいます。

エレミヤは，『国々の民が崇拝しているのはいつわりの神です』と言って，イスラエル人に悪いことをするのをやめるように告げます。しかし，多くのイスラエル人は，真の神エホバを崇拝するよりはぐう像を崇拝するほうがよいと考えます。エレミヤが人々に，あなたがたは悪いことをしているので神からばつを受けると言っても，人々はエレミヤを笑っているだけです。

いく年かたちました。ヨシアは死にます。三か月後にヨシアの息子のエホヤキムが王になります。エレミヤは人々に，『あなたがたが悪い道を変えなければ，エルサレムは滅ぼされます』と言いつづけます。祭司たちはエレミヤをつかんで，『そのようなことを言うやつは殺してやる』とさけびます。そして，イスラエルの君たちに，『われわれの町のことを悪く言ったのだから，エレミヤを死刑にすべきです』と言います。

さて，エレミヤはどうするでしょうか。エレミヤはおそれません。そして，すべての人々にこう告げます。『エホバは，あなたがたにこうした事柄を話させるためにわたしをおつかわしになりました。もしあなたがたが悪い生き方を改めないなら，エホバはエルサレムをほろぼされるでしょう。しかし，わたしを殺せば，あなたがたは何も悪いことをしていない人間を殺すのだということを，はっきり知っていてください』。

君たちはエレミヤを生かしておきます。でも，イスラエル人たちは悪い道を改めません。のちに，バビロンの王のネブカデネザルがやって来て，エルサレムと戦います。ついにネブカデネザルはイスラエル人を自分のしもべにします。そして，大勢のイスラエル人をバビロンへ連れ去ります。見知らない人があなたの家へ来て，あなたを知らない土地へ連れて行ってしまったなら，どんな気持ちがするでしょう。

エレミヤ 1:1-8; 10:1-5; 26:1-16。列王紀下 24:1-17。

バビロンに行った四人の若者

ネブカデネザル王は，いちばん高い教育を受けたイスラエル人をみなバビロンへ連れて行きました。のちに王は，その中から顔かたちが最も美しくてかしこい若者たちを選びます。この絵の若者たちはそのうちの四人です。ひとりはダニエルで，ほかの三人はバビロニア人からシャデラク，メシャク，アベデネゴと呼ばれています。

ネブカデネザルはその若者たちを訓練して，宮殿で仕えさせるつもりです。三年のあいだ訓練してから，王は，自分の問題を解決するのを手伝わせる特にかしこい若者だけを選ぶ考えです。王は，若者たちが訓練を受けているあいだ，強くて健康であってほしいと思います。それで，王と王の家族が食べているのと同じごちそうとぶどう酒をそれらの若者すべてにあたえなさい，としもべたちに命じます。

若いダニエルを見てください。ダニエルは，ネブカデネザルのしもべの長であるアシペナズに何を話しているのでしょう。ダニエルは，王の食たくから運ばれるごちそうを食べたくないと言っているのです。しかし，アシペナズは心配して，『王があなたがたの食べ物と飲み物とを定めているのです。ですから，もしあなたがたがほかの若者たちほどに元気でないのを見たら，王はわたしを殺すかもしれません』。

それでダニエルは，アシペナズが自分と他の三人の友だちにつけた世話係のところへ行きます。そして，『どうかわたしたちを十日のあいだためしてください。野菜と飲み水だけを持って来てください。それから，王の食物を食べているほかの若者たちとわたしたちをくらべて，どちらが元気に見えるか調べてください』と，ダニエルは言います。

世話係はそれを聞き入れます。十日が終わったとき，ダニエルと三人の友だちは，ほかのすべての若者よりも元気に見えます。それで，世話係は，四人が王からあてがわれた食べ物のかわりにずっと野菜を食べることを許します。

三年たつと，すべての若者は，ネブカデネザルのところへ連れて行かれました。王は，若者たち全部と話し終えてから，ダニエルと三人の友だちが特にかしこいと思います。そこで，王は，自分の手助けをさせるために四人を宮殿にとどまらせます。王がダニエル，シャデラク，メシャク，そしてアベデネゴに質問したり，むずかしい問題を出すとき，四人は，必ず，王のどんな祭司や知恵のある者よりも10倍も多くのことを知っていました。

ダニエル 1:1-21。

エルサレムのほろび

ネブカデネザル王が，最高の教育を受けたイスラエル人すべてをバビロンへ連れ去ってから10年以上たちました。ところで，これはまたどうしたことでしょう。エルサレムが焼き払われています。そして，殺されなかったイスラエル人は，バビロンへほりょとして連れて行かれています。

これこそ，人々が悪い道を改めないなら起きる，とエホバの預言者たちが警告していたことです。しかし，イスラエル人は預言者たちに耳をかさないで，エホバのかわりにいつわりの神々をずっと崇拝しつづけたのです。ですから，人々がばつを受けるのは当然です。神の預言者エゼキエルは，イスラエル人がどんな悪いことを行なっていたかをしるしていますが，それを読むとそのことがわかります。

エゼキエルとはだれでしょう。エゼキエルは，エルサレムがこのようにひどくほろぼされる10年あまり前に，ネブカデネザル王によってバビロンへ連れて行かれた若者たちのひとりです。そのとき，ダニエルとその三人の友だちのシャデラク，メシャク，アベデネゴもバビロンへ連れて行かれました。

エゼキエルがまだバビロンにいたとき，エホバは，故郷のエルサレムの神殿で起きている良くない事柄を，エゼキエルにお見せになります。エホバは奇跡によってそれをなさいます。エゼキエルはじっさいにまだバビロンにいるのですが，エホバはエルサレムの神殿で起きている事柄を一つ残らずエゼキエルにお見せになります。そして，エゼキエルが見るものは，まったくおどろくようなことです。

エホバはエゼキエルにこうおっしゃいます。『人々が神殿で行なっているにくむべき事柄を見なさい。かべは，へびやそのほかの絵でうまっています。見なさい，イスラエル人たちはそれらを崇拝しています』。エゼキエルはそれを見ることができます。それで，起きていることを書きしるします。

『イスラエル人の指導者たちがひそかに行なっていることが見えますか』と，エホバはエゼキエルにおっしゃいます。たしかに，エゼキエルにもそれが見えます。70人がいて，その人たち全部が，『エホバはわたしたちを見ていない。エホバはこの地を捨てられた』と言って，いつわりの神々を崇拝しています。

それからエホバはエゼキエルに，神殿の北の門にいる女たちをお見せになります。その女たちはそこにすわって，いつわりの神であるタンムズを崇拝しています。それから，エホバの神殿の入口にいるあの男たちはどうでしょう。25人ぐらいいます。エゼキエルが見ると，その男たちは東の方を向いて太陽を拝んでいるではありませんか。

『この者たちはわたしをうやまっていません。悪いことを行なっているだけではなくて，わたしの神殿にまで来て悪いことをしているのです』と，エホバは言われます。そこで，こうおっしゃいます。『あの者たちは，わたしがどれほどいかりに燃えているかを必ず思い知るでしょう。あの者たちがほろぼされるとき，わたしはかわいそうに思いません』。

エホバがこうした事柄をエゼキエルにお見せになってからわずか三年ほどのちのこと，イスラエル人はネブカデネザル王に反逆しました。それで，ネブカデネザルはイスラエル人をせめて行きます。一年半ののち，バビロニア人はエルサレムの城へきを破り，町を焼きつくします。たいていの人は殺されたり，バビロンへほりょとして連れて行かれたりします。

エホバはなぜ，このようなひどいほろびがイスラエル人に臨むのをお許しになったのでしょうか。そうです，イスラエル人はエホバに聞き従わず，その律法に従わなかったからです。このことから，神のおっしゃることをいつも行なうことが，どんなに大切かわかりますね。

最初，わずかな人々はイスラエルの地にとどまることが許されます。ネブカデネザル王は，ゲダリヤという名前のユダヤ人にその民を監督させます。ところが，その後，あるイスラエル人たちはゲダリヤを殺したのです。そのような悪いことが起きたので，バビロニア人が来て自分たちをみなほろぼすのではないか，と人々はおそれます。それで，エレミヤを無理やり連れて，エジプトへにげます。

そのために，イスラエルの土地には人がだれもいなくなります。70年のあいだ，そこにはだれも住まず，人けがまったく絶えてしまいます。でも，エホバは，70年後にご自分の民をその土地に連れもどすことを約束なさいます。いっぽう，バビロンの地へ連れ去られた神の民はどうなっているでしょうか。それを見てみましょう。

列王紀下 25:1-26。エレミヤ 29:10。エゼキエル 1:1-3; 8:1-18。

バビロン捕囚から エルサレムの城へきを建て直すまで

バビロンにとらわれているあいだ，イスラエル人は信仰の試みを何度も受けました。シャデラク，メシャク，アベデネゴは火の燃える熱い炉の中に投げこまれましたが，神は三人を生きたままそこから引き出されました。のちに，バビロンがメディアとペルシャに負けたあと，ダニエルはライオンの穴に入れられました。しかし，神はやはり，ライオンの口をふうじてダニエルを守られました。

ついに，ペルシャの王クロスはイスラエル人を自由にしました。イスラエル人は，バビロンにほりょとして連れ去られてからちょうど70年たってから故郷へ帰りました。エルサレムにもどって最初にしたことは，エホバの神殿を建てはじめることでした。ところが，まもなく，その工事は敵のためにやめさせられてしまいました。そのため，イスラエル人がついに神殿を完成したのは，エルサレムへもどってからおよそ22年後のことでした。

つぎに，エズラが神殿を美しくするためにエルサレムへもどったことについて学びます。それは，神殿が完成してから47年ほどのちのことでした。そして，エズラがエルサレムに帰ってから13年後に，ネヘミヤは，エルサレムのくずれた城へきを建て直すのを助けました。第５部では，その時までの152年間の歴史が取り上げられています。

かれらは身をかがめなかった　77

この三人の若者のことをおぼえていますか。そうです，自分たちにとって良くない物を食べません，と言ったダニエルの三人の友だちです。バビロニア人はこの三人をシャデラク，メシャク，アベデネゴと呼びました。ところで，三人を見てください。若者たちは，ほかの人たちのように，なぜこの大きな像に身をかがめないのでしょうか。それを調べてみましょう。

あなたは，エホバご自身がお書きになった，十戒という律法をおぼえていますか。その最初のいましめは，『あなたは，わたしのほかに他のどんな神も崇拝してはならない』というものです。この律法に従うのがむずかしくなっているのに，三人の若者はそれに従っているのです。

バビロンの王，ネブカデネザルは，自分が立てたこの像を拝ませるために，国のおもだった人々を大勢呼びました。そして，すべての人々に次のように言い終えたところです。『ラッパ，たてごと，そのほかの楽器の音を聞いたら，おまえたちは身をかがめてこの金の像を拝まなければならない。身をかがめて拝まない者は，ただちに，火の燃えている熱い炉に投げこまれるのだ』。

シャデラク，メシャク，アベデネゴが身をかがめなかったということを聞いて，ネブカデネザルはたいへんおこります。そして，三人を自分のところへ連れて来させ，もう一度身をかがめる機会をあたえます。しかし，若者たちはエホバによりたのみます。そして，三人はネブカデネザルに言います。『わたしたちが仕えている神は，わたしたちを救うことがおできになります。しかし，たとえ神がわたしたちを救ってくださらなくても，わたしたちはあなたの金の像に身をかがめません』。

それを聞くと，ネブカデネザルはいっそう腹を立てます。すぐそばに炉があります。ネブカデネザルは，『炉をいつもよりも七倍熱くせよ』と命令します。それから，軍隊の中で最も力の強い男たちに，シャデラク，メシャク，アベデネゴをしばって炉に投げ入れさせます。炉はとても熱いので，その力の強い男たちはほのおで焼け死にました。でも，投げ入れられた三人の若者たちはどうなったでしょう。

王は炉の中を見て，とてもおそろしくなりました。『三人の男をしばって，その火の燃える熱い炉に投げ入れたのではなかったか』と，王はたずねます。

『はい，そのとおりでございます』と，王のしもべたちが答えます。

『だが，わたしには，四人が炉の中を歩いているのが見える。しばられてもいなければ，焼けてもいない。しかも四番めの者は神のようだ』と，王は言います。王は炉の入口に近づいて，『シャデラク，メシャク，アベデネゴ！至高の神のしもべたちよ，出て来なさい』と，さけびます。

出て来た三人がすこしの害も身に受けていないことは，だれの目にも明らかです。すると，王はこう言います。『シャデラク，メシャク，アベデネゴの神がほめたたえられるように。その神は，三人が自分以外の神に身をかがめて崇拝しなかったので，み使いをつかわして三人を救われたのだ』。

これは，わたしたちがみならうことのできる，エホバに対する忠実さのりっぱな手本ではありませんか。

出エジプト記 20:3。ダニエル 3:1-30。

手でかべに書かれた文字

これはいったい何事でしょう。人々は大えん会のまっ最中です。バビロンの王はおもだった人々一千人を招きました。人々は，エルサレムのエホバの神殿からうばった，金や銀のさかずき，また，はちを使っています。ところが，とつぜん，人の手が空中に現われて，その指がかべに文字を書きはじめたので，みんなはぞっとします。

今の王は，ネブカデネザルの孫のベルシャザルです。ベルシャザルは大声でさけんで，知恵者たちを連れて来させます。『だれでもよい，この文字を読んで，その意味をわたしに説明できる者には，多くのほうびをあたえ，この国で三番めに重要な支配者にしよう』と，王は言います。しかし，知恵者たちの中に，かべの文字を読んで説明できる者はひとりもいません。

王の母親はさわぎを聞きつけて，えん会の大広間にやって来ます。そして，王に次のように言います。『どうか，そんなにおどろかないでください。この国には聖な

る神々を知っているひとりの人がいます。あなたのおじい様ネブカデネザルが王であったとき，おじい様はその人をすべての知恵者の長になさいました。その人はダニエルです。ダニエルをお呼びなさい。この意味をことごとく説明するでしょう』。

そこで，さっそくダニエルがめされます。ダニエルは，ほうびをもらうのを断わってから，エホバがなぜベルシャザルのおじいさんのネブカデネザルを，王座から退けられたかを話しはじめます。『ネブカデネザルはたいへん高ぶっていました。それでエホバにばっせられたのです』と，ダニエルは言います。

そして，ベルシャザルにこう言います。『しかし，あなたは，そのことをことごとくご存じですのに，あなたも，ネブカデネザルのように高ぶっておられます。あなたはエホバの神殿からさかずきやはちを持って来て，それで酒を飲みました。あなたは，木や石で作った神々をたたえて，偉大な創造者をうやまいませんでした。それで神はその手を用いてこの文字を書かせられたのです。

『こう書かれています。**メネ，メネ，テケル，ウ　パルシン**』と，ダニエルは説明します。

『**メネ**とは，神があなたの王国の日数を数えて，それを終わらせたという意味です。**テケル**とは，あなたがはかりにかけられて，不足していることがわかったという意味です。**ウ　パルシン**とは，あなたの王国がメディアとペルシャにあたえられるという意味です』。

ダニエルが話しているあいだに，メディア人とペルシャ人がバビロンにせめて来ました。そしてバビロンの都を取って，ベルシャザルを殺します。かべに書かれた事柄は，その夜のうちにほんとうになったのです。ところで，イスラエル人はどうなるのでしょう。そのことはもうじきわかりますが，まず，ダニエルがどうなったか見てみましょう。

ダニエル 5:1-31。

ライオンの穴に入れられたダニエル

おや，ダニエルはとても困っている様子ですね。でも，ライオンはダニエルに害を加えてはいません。どうしてなのでしょう。だれがダニエルをこのようなライオンのいる穴へ入れたのでしょうか。では，調べてみましょう。

今，バビロンの王になっているのはダリヨスという人です。ダリヨスはダニエルがたいへん気に入っています。ダニエルがとても親切でかしこいからです。ダリヨスはダニエルを自分の国の高官に選びます。そのために，バビロンのほかの人たちはダニエルをねたんで，こんなことをするのです。

その人たちはダリヨスのところへ行き，こう言います。『王よ，わたしたちは，30日のあいだ王であられるあなた以外にどんな神や人間にも祈ってはならないという法律を王に作っていただこう，という点で意見がいっちしました。それに従わない者がいるなら，その者をライオンのいるところへ投げこむのです』。ダリヨスは，その

人たちがなぜそういう法律を作らせたいのか知りません。でも，ダリヨスはそれは良い考えだと思います。それでその法律を書きしるさせます。もう，その法律を変えることはできません。

ダニエルはその法律のことを聞きますが，家に帰ると，いつものとおり祈ります。悪い人々はダニエルがエホバに祈るのをやめないことを知っていました。ダニエルを追いはらう計略がうまくいきそうなので，その人たちは喜びます。

かれらがその法律を作ろうとした理由を知ったとき，ダリヨス王はたいへんこうかいします。でも，いまさら法律を変えるわけにはいきません。それで，ダニエルをライオンの穴に投げこむように命じます。しかし，王はダニエルに，『あなたが仕えている神があなたを救ってくださいますように』と，言います。

その夜，ダリヨスは心がさわいでねむれず，朝になると，ライオンの穴に走って行きます。上の方にダリヨス王がいますね。王は，『生ける神のしもべ，ダニエルよ。あなたの神は，あなたをライオンからお救いになったか』とさけびます。

『神はみ使いを送られました。そして，ライオンの口をふさいで，わたしに害を加えないようになさいました』と，ダニエルは答えます。

王はたいへん喜んで，ダニエルを穴から引き上げるよう命じます。それから，ダニエルを殺そうとした悪者たちをライオンの穴に投げこませます。悪者たちは，穴の底まで着かないうちに，ライオンにおそわれ，骨までかみくだかれてしまいます。

ついで，ダリヨス王は国民すべてにこう書き送ります。『すべての人に，ダニエルの神をうやまうことを命じる。その神は偉大な奇跡を行なわれる。その方は，ライオンに食べられないようにダニエルをお救いになった』。

ダニエル 6:1-28。

神の民はバビロンを去る

80

バビロンがメディア人とペルシャ人の手におちいってから，二年ほどたちました。そして，今どんなことが起きているか見てください。そうです，イスラエル人がバビロンを去るところです。どのようにして自由になったのでしょうか。だれがイスラエル人を自由にしたのでしょうか。

それはペルシャの王，クロスでした。クロスが生まれるずっと前に，エホバは預言者イザヤにクロスのことを次のようにしるさせました。『あなたは，わたしが望むとおりのことを行なうのです。あなたがその都をうばい取れるように，門は開かれているでしょう』。クロスは先頭に立って，バビロンをうばい取りました。メディア人とペルシャ人は，夜，あいていた門を通って都にはいりました。

しかし，エホバの預言者イザヤは，クロスが，エルサレムとその神殿を建てなおせという命令を出すことをも，預言しました。クロスはそのような命令を出しましたか。たしかに，そうしました。クロスはイスラエル人に次のように告げたのです。『さあ，エルサレムへ行って，あなたがたの神エホバの神殿を建てなさい』。そして，この絵のイスラエル人たちはそのために出かけて行くところなのです。

でも，バビロンにいたすべてのイスラエル人がエルサレムへもどる長い旅に出かけられるわけではありません。エルサレムまでは800キロの長い長い旅ですから，年老いていたり，病気だったりして，そんなに旅のできない人も

大勢います。また，ほかの理由で行かない人々もいます。でも，クロスは，行かない人々に，『エルサレムとその神殿を建てるために帰る人々に，金や銀や他の物をおくりなさい』と，命じます。

それで，エルサレムへ出かけるこの人たちに，たくさんの品物がおくられました。さらに，クロスは，ネブカデネザル王がエルサレムをほろぼしたときにエホバの神殿からうばったはちやさかずきをイスラエル人にわたします。人々には，持って行く物がたくさんありますね。

四か月ほど旅をして，イスラエル人は，すこしも時をたがえずにエルサレムにもどります。エルサレムの都がほろぼされ，その土地に人が全くいなくなってから，ちょうど70年たったのです。でも，イスラエル人は自分の国へもどって来ましたが，次に学ぶように，いろいろと苦しい目にあうのです。 イザヤ 44:28; 45:1-4。エズラ 1:1-11。

ほぼ五万人が，バビロンからエルサレムまでの長い旅をしました。でも，たどり着いてみると，エルサレムは全く荒れはてていて，そこにはだれも住んでいません。イスラエル人は，なにもかも，もう一度はじめから作らなければなりません。

その人たちが最初に作った物のひとつに，祭だんがあります。祭だんは，エホバに動物のささげ物，つまり，供え物をする所です。数か月後には，神殿が建てはじめられます。ところが，その土地に住んでいる敵たちは，イスラエル人が神殿を建てるのがおもしろくありません。それで，イスラエル人をおどしてやめさせようとします。とうとう，それらの敵たちは，ペルシャの新しい王に，建築工事をやめさせる法律を作らせます。

いく年も過ぎ，イスラエル人がバビロンからもどって17年たちました。エホバは預言者のハガイとゼカリヤをつかわして，建築を再び始めるように人々にお命じになります。人々は神の助けによりたのみ，預言者たちに従います。法律では禁じられていましたが，再び建てはじめたのです。

そこでタテナイというペルシャの役人が来て，どんな権利があって神殿を建てるのか，とイスラエル人にたずねます。イスラエル人は，自分たちがバビロンにいたときに，クロス王が『さあ，エルサレムへ行って，あなたがたの神エホバの神殿を建てなさい』と命令したことをタテナイに話します。

タテナイはバビロンへ手紙を送り，今は死んでいるクロスがたしかにそのようなことを命じたかどうか問い合わせます。まもなく，ペルシャの新しい王から手紙がとどきました。それには，クロスがたしかにそう言ったと書かれています。そして王は，『イスラエル人にその神殿を建てさせなさい。イスラエル人を助けるよう，あなたに命じる』と書いています。およそ四年で神殿は完成し，イスラエル人はとても喜びます。

さらに何年もたちました。神殿が完成してから，かれこれ48年になります。人々は貧しくて，エルサレムの町も神殿もあまりりっぱには見えません。バビロンにい

たイスラエル人のエズラは，神殿を修理する必要があることを知ります。それで，エズラはどうしたと思いますか。

エズラは，ペルシャの王アルタシャスタに会いに行きます。アルタシャスタは良い王様で，エルサレムへ持っていくたくさんのおくり物をエズラにあたえます。エズラはバビロンにいたイスラエル人に，それらのおくり物をエルサレムへ運ぶのを手伝ってほしいとたのみます。およそ6,000人が，いっしょに行く，と申し出ます。運んでいく物には，金や銀など高価な物がたくさんあります。

道の途中には悪者がいるので，エズラは心配になりました。かれらは金や銀をうばって，エズラたちを殺すかもしれません。それで，エズラは，このように，人々を集めて，エルサレムへの長い旅のあいだ，エホバの保護があることを祈ります。

エホバはたしかにエズラの一行を保護されます。一行は四か月の旅ののち，無事にエルサレムに着きます。このことから，エホバはご自分によりたのんで助けを求める人々を保護してくださることがわかりますね。

エズラ　2章から8章。

モルデカイとエステル

エズラがエルサレムへ行く，数年前にもどりましょう。モルデカイとエステルは，ペルシャの国でもっとも地位の高いイスラエル人です。エステルは王妃ですし，そのいとこのモルデカイは王の次の位にあります。どうしてそうなったか調べましょう。

エステルの両親は，エステルが幼い時に死にました。それで，モルデカイがエステルを育てました。ペルシャの王，アハシュエロスはシュシャンの都に宮殿を持っています。モルデカイは王のしもべのひとりです。

さて，ある日のこと，王妃ワシテは，王にさからうふるまいをします。そこで王は新しい妻を選んで王妃にします。だれが王妃に選ばれたと思いますか。そうです，若くて美しいエステルです。

人々におじぎをさせている高ぶった男がこの絵の中にいますが，わかりますか。それはハマンです。ハマンはペルシャでとても高い位にいる人です。ハマンは，すわっているモルデカイにも，自分におじぎをさせたいのです。ところがモルデカイはそうしようとしません。モルデカイは，そのような悪人におじぎをするのを正しいことと思わないのです。ハマンはそのことをたいへんおこります。それで，次のようなことをします。

ハマンはイスラエル人について王にうそを言います。『あの者たちは，あなたの法律に従わない悪い者たちです。あの者たちは死刑にすべきです』と，ハマンは言います。アハシュエロス王は，妻のエステルがイスラエル人だということを知りま

せん。それで，王はハマンのことばを聞き入れて，決められた日にすべてのイスラエル人を殺せという法律を作らせます。

モルデカイはそれを聞いて，たいへん心をさわがせ，『わたしたちを救ってくださるようぜひ王にたのんでください』と，エステルにことづけます。招かれないのに王に会いに行くことは，ペルシャの法律に反することです。でも，エステルは招かれずに王のところへ行きます。王はエステルに金のしゃくを差しのべます。王がそのようにすれば，エステルは殺されません。エステルは王とハマンをえん会に招待します。えん会で王はエステルに何か望みがあるかたずねます。エステルは王に，あすもハマンといっしょにえん会においでいただければ，と言います。

翌日のえん会のとき，エステルは王に，『わたしの民とわたしは殺されようとしています』と告げます。王はいかって，『いったいだれがそんなことをしようとするのか』とたずねます。

『その敵，その男はこの悪いハマンです』と，エステルは言います。

さて，王はすっかり腹を立て，ハマンを殺せ，と命じます。そのあと，王はモルデカイを自分の次の位につけます。それで，モルデカイは，新しい法律が作られるように取りはからって，イスラエル人が，殺されることになっていたその日に自分たちの命を守るために戦えるようにします。モルデカイがそのように位の高い人になったので，多くの人はイスラエル人を助けます。こうして，イスラエル人は敵から救われます。

エステル書

エルサレムの城へき

この作業の様子をごらんなさい。イスラエル人たちはいっしょうけんめいに城へきを築いていますね。152年前にネブカデネザル王がエルサレムをほろぼしたとき，城へきと町の門はくずされて焼かれました。バビロンから初めて帰ったとき，イスラエル人たちは城へきを建てなおしませんでした。

これまで城へきがないままエルサレムに住んでいた人々はどんな気持ちがしたでしょうね。敵はたやすくせめこんで来ると思うと，人々は不安でした。でも，この絵にあるように，今ネヘミヤという人は，人々が城へきを建てなおすのを助けています。あなたは，ネヘミヤがどんな人か知っていますか。

ネヘミヤは，モルデカイとエステルが住んで

いるシュシャンの都から来たイスラエル人です。ネヘミヤは王の宮殿で働いていましたから，モルデカイや王妃エステルと親しかったことでしょう。でも，聖書には，ネヘミヤがエステルの夫であるアハシュエロス王に仕えたとはしるされていません。ネヘミヤは，その次の王である，アルタシャスタ王に仕えました。

おぼえていますね。アルタシャスタは，エホバの神殿を修理するための，あのように多くのお金をエズラにあたえて，エルサレムへ持って行かせた良い王です。でも，エズラはエルサレムのくずれた城へきを建てなおしませんでした。では，ネヘミヤがどうしてその仕事をするようになったかをお話ししましょう。

アルタシャスタ王が神殿を修理するお金をエズラにあたえてから，13年たちました。ネヘミヤは，アルタシャスタ王に酒をつぐ人のかしらとなっています。つまり，ネヘミヤは，王に酒をついだり，その中に毒がはいっていないかどうかをたしかめたりする，とてもたいせつな仕事をしているのです。

さて，ある日，イスラエルから，ネヘミヤの兄弟のハナニとほかの人々がネヘミヤに会いに来ました。その人たちは，イスラエル人が困っていることや，エルサレムの城へきがまだくずれたままであることをネヘミヤに話します。それを聞いて，ネヘミヤはとても悲しみ，そのことについてエホバに祈ります。

ある日，王は，ネヘミヤが悲しそうなので，『どうしてそんなに悲しそうな顔をしているのか』とたずねます。ネヘミヤは，エルサレムの事情が良くないため，また，城へきがくずれているためです，と告げます。すると，王は，『あなたが願い求めているものは何か』とたずねます。

『城へきを建てなおすために，わたしをエルサレムへ行かせてください』と，ネヘミヤは言います。アルタシャスタ王はたいへん親切な王で，ネヘミヤが行くことを許します。また，ネヘミヤが建築の材木を手に入れるのを助けてくれます。ネヘミヤは，エルサレムに着いてまもなく，自分の計画を人々に話します。人々はその考えに賛成して，『さあ，建てはじめましょう』と言います。

イスラエル人の敵たちは，城へきができあがっていくのを見て，『せめて行って，あの者たちを殺し，建築をやめさせよう』と言います。しかし，ネヘミヤはそれを聞くと，作業をしている人たちにつるぎとやりを持たせます。そして，『敵をおそれてはなりません。あなたがたの兄弟，子供たち，妻や家を守るために戦いなさい』と言います。

人々はとても勇敢です。昼も夜も武器を用意して，作業を続けます。こうして，わずか52日間で城へきが完成します。これで人々は，エルサレムにいても安心です。ネヘミヤとエズラは人々に神の律法を教え，人々は喜びます。

しかし，イスラエル人がほりょとしてバビロンに連れて行かれる前と，事情は異なっています。イスラエル人はペルシャの王の支配を受けているので，その王に仕えなければなりません。でも，エホバは，新しい王をつかわしてくださること，そして，その王は人々に平和をもたらす方であることを約束しておられます。その王とはだれでしょう。どのようにして地上に平和がもたらされるのでしょうか。そのことについて，もっとくわしくわかるようになったのは，それから450年ほどたってからのことです。そのとき，ひとりの赤ちゃんが生まれましたが，それはとても重要な出来事でした。でも，そのことは，あらためてお話ししましょう。

ネヘミヤ 1章から6章。

イエスの誕生から死まで

み使いガブリエルは，マリアという美しいおとめのところにつかわされました。そしてマリアに，あなたは子供を産みます，その子供は王となって永遠に支配します，と告げました。その子供イエスは，家畜小屋の中で生まれました。羊かいたちが，イエスを見に家畜小屋に来ました。すこしたって，東の地方の人々が，一つの星に導かれて幼子のところに来ます。だれがその人々にその星を見させたのか，そして，殺されそうになったイエスが，どのように救われたかを，わたしたちは学びます。

つぎにわたしたちは，12歳のイエスが，神殿の中で，教師たちと話しておられるところを見ます。それから18年後にイエスはバプテスマを受け，そのときから，王国を宣べ伝えまた教える仕事をお始めになりました。神はイエスをそのために地におつかわしになったのです。この仕事を手伝う者として，イエスは12人を選び，ご自分の使徒とされました。

イエスはまた多くの奇跡を行なわれました。わずかの小魚とわずかのパンしかなかったのに，それで何千人もの人たちの空腹を満たされました。病人をいやし，死んでいた人を生き返らせることさえなさいました。終わりにわたしたちは，イエスの生がいの最後の日に，イエスの身に起きた多くの事柄について，またイエスがどのようにして殺されたかについて学びます。イエスは約三年半のあいだ教えを広められました。ですから，第６部には，34年とすこしの期間のことが書かれています。

み使いがマリアに現われる　84

このきれいな女の人はマリアです。マリアはイスラエル人で，ナザレという町に住んでいます。神は，マリアがとてもりっぱな人であることをよくご存じです。だから，み使いガブリエルをつかわして，話をおさせになったのです。ガブリエルはマリアに何を言いに来たのでしょうか。ではそれを調べてみましょう。

「大いに恵まれた者よ。エホバはあなたとともにいます」と，ガブリエルは言います。マリアはこの人を一度も見たことがなく，またなぜそう言うのかわからないので心配になります。でも，ガブリエルは，マリアの心配をすぐに静めてくれます。

『こわがることはありません，マリア。エホバはあなたのことをとても喜んでおられます。だから，あなたのためにすばらしい事をなさるのです。あなたはまもなく子供を産み，その子供をイエスと呼びます』と，ガブリエルは言います。

そして説明を続けます。『この子供は偉大な者となり，至高の神の子，と呼ばれます。エホバはその子を，ダビデが王であったように，王となさいます。でも，イエスは永遠の王になります。そして，その王国は終わることがありません！』

そこでマリアはたずねます。『どうしてそんなことがあるのでしょうか。わたくしは結こんさえしていませんのに。男の人とくらしたことがないのに，どうして子供を持てるのでしょうか』。

『神の力があなたに臨むのです。ですからその子は神の子と呼ばれます』と，ガブリエルは答え，つぎにこう言います。『あなたの親族エリサベツのことを思い出してください。年を取りすぎているから子供は産まれない，と人々は言っていました。でも，もうすぐ子を産みます。神にできないことは一つもないのです』。

マリアはすぐに言います。『わたくしはエホバのどれい女です。おっしゃったとおりのことが，わたくしの身に起きますように』。するとみ使いは去ります。

マリアは急いでエリサベツのところに行きます。エリサベツがマリアの声を聞くと，エリサベツのおなかの中の子は，喜んでおどります。エリサベツは神の霊に満たされ，マリアに言います。『あなたは女のうちで，特別に祝福された人です』。マリアは三月ほどエリサベツとともに過ごし，それからナザレの家にもどります。

マリアは，ヨセフという人とまもなく結こんするところです。でもヨセフは，マリアに子供が産まれると知って，自分はマリアと結こんすべきではない，と考えます。そこで神のみ使いはヨセフに言います。『マリアを妻にすることをおそれてはなりません。マリアに子をさずけたのは神です』。そこでマリアとヨセフは結こんし，イエスが生まれるのを待ちます。

ルカ 1:26-56。マタイ 1:18-25。

イエスは家畜小屋で生まれる

このかわいい赤ちゃんはだれでしょう。そうです，イエスです。家畜小屋で生まれたのです。家畜小屋というのは，動物を入れておくところです。マリアは今イエスをかい葉おけにねかせようとしています。かい葉おけは，ろばやほかの動物のえさを入れるものです。でも，なぜマリアとヨセフは動物といっしょにここにいるのでしょう。ここは，赤ちゃんが生まれるような場所ではありませんね。

そうです。でも，ふたりは次のようなわけがあって，ここにいるのです。ローマの

支配者カエサル・アウグスッスは，一つの法律をつくりました。それは，みんな自分の生まれた町へもどって，名前を帳ぼに書きこんでもらわねばならない，という法律でした。ヨセフはここベツレヘムで生まれました。しかし，ヨセフとマリアが町に着いたときには，ふたりがとまれるところはなかったので，動物のいるこの場所へ来なければならなかったのです。そして，ちょうどその日に，マリアはイエスを産んだのです！　でも，このとおりイエスは無事です。

羊かいたちがイエスを見にやって来ます。かれらは夜，野原で羊の世話をしていました。すると，明るい光がまわりを照らしました。それはみ使いでした。羊かいたちはとてもおそれましたが，み使いは言いました。『おそれることはありません。わたしは良いたよりを知らせに来たのです。きょうベツレヘムで，主キリストがお生まれになった。キリストは民を救われるのです！　あなたがたは，キリストが布にくるまって，かい葉おけの中でねておられるのを見ます』。すると，とつぜん多くのみ使いが現われて，神を賛美しはじめました。そこで羊かいたちはすぐに，大急ぎで，イエスをさがしに行き，今さがしあてたのです。

イエスはなぜ特別な方なのでしょう。ほんとうはどんな方ですか。第１話で，神の長子のお話をしましたね。その方は，天や地やその他すべてのものを作るときに，エホバとともに働かれました。その方がこのイエスなのです！

エホバはみ子の命を天からマリアのおなかに移されました。マリアのおなかの中ですぐに赤ちゃんが成長しはじめました。ほかの赤ちゃんがお母さんのおなかの中で大きくなるのと同じでした。しかし，この赤ちゃんは神のみ子でした。ついにイエスは，ベツレヘムのある家畜小屋で生まれました。そのことを人々に知らせることができて，み使いたちが喜んだわけが，これでわかりましたね。　ルカ 2:1-20。

星に導かれて来た人たち

86

ひとりの人が指差している明るい星が見えますか。かれらがエルサレムを去ると，その星が現われました。この人々は，東の地方から来た，星を調べる人々です。この新しい星は，自分たちをある重要な人のところへ導いている，と考えています。

エルサレムに来たときにこの人々は，『ユダヤ人の王となるみ子はどこにおられますか』と，たずねました。「ユダヤ人」というのは，イスラエル人の別の名です。『わたくしたちは東方にいたとき，初めてそのみ子の星を見たので，その方を拝みにまいりました』と，その人たちは言いました。

エルサレムにいた王ヘロデはこれを聞いて，心がおだやかでなくなりました。ほかの王に，自分の地位を取られたくなかったのです。そこで，ヘロデは祭司長たちを呼んで，『約束の王はどこでお生まれになるのか』と，たずねました。『聖書によ

りますと，ベツレヘムです』と，祭司長たちは答えました。

そこでヘロデは，東方から来た人々を呼び寄せ，『行って幼子をさがし，見つかったなら，わたしに知らせてください。わたしも行って拝みたいから』と言いました。しかし，実際には，ヘロデはその子供を見つけ出して殺そうと思っていたのです。

それから例の星がかれらの先にたって進み，幼子のいる所の上まで来て止まりました。その人々が家の中にはいると，そこにはマリアと幼いイエスがいました。かれらは贈り物を出してイエスにささげました。ところが，のちほどエホバは，かれらに夢の中で，ヘロデのところへもどるな，とおっしゃいました。それでかれらは別の道を通って，自分の国へ帰って行きました。

東方から来た者たちが帰って行ったと知ると，ヘロデはたいへん腹を立てました。そして，ベツレヘムに住む二歳以下の男の子をみな殺せ，という命令を出しました。しかし，エホバは前もってヨセフに夢で警告をおあたえになったので，ヨセフは家族を連れてエジプトに立ちのきます。のちほど，ヨセフはヘロデが死んだことを知り，マリアとイエスを連れてナザレにもどります。このナザレでイエスは成長されるのです。

例の新しい星を輝かせたのはだれだと思いますか。あの人々が，星を見たあとまずエルサレムに行ったのを思い出してください。悪魔サタンは神のみ子を殺そうとしていました。そしてまた，エルサレムのヘロデ王も神のみ子を殺そうとすることを知っていました。ですから，あの星を輝かせたのは，サタンにちがいありません。

マタイ 2:1-23。ミカ 5:2。

神殿の中の少年イエス

この年長者たちに話をしている少年をごらんなさい。年長者たちは，エルサレムの神殿にいる教師たちです。そして，少年はイエスです。かなり大きくなっておられますね。今12歳です。

イエスが，神のことや聖書に書かれている事柄をよく知っているので，教師たちはたいへんおどろいています。それにしても，ヨセフとマリアがここにいないのは，どういうわけでしょう。ふたりはどこにいるのでしょうか。さがしてみましょう。

過ぎ越しという特別の祝いをするために，ヨセフは毎年，家族をエルサレムに連れて行きます。ナザレからエルサレムまでは長い旅です。自動車を持っている人などひとりもなく，汽車もありません。当時，そのようなものはなかったのです。ほとんどの人が歩きます。ですからエルサレムまで行くには三日ほどかかります。

今では，ヨセフの家族も大勢で，イエスの下に，まだ手のかかる弟や妹たちがいます。さて，ことしもヨセフとマリアは子供たちを連れて，ナザレまでの遠い道を帰って行きます。イエスは連れの中にいるものと，ふたりは思っています。しかし，一日が終わって足を止めたとき，イエスの姿が見えません。親族や知人の中をさがしましたがいません。それでまたエルサレムまで，イエスをさがしにもどります。

そしてついに，教師たちといっしょにここにいるイエスを見つけます。イエスは教師たちの話を聞いたり，質問をしたりしています。人々はイエスのかしこさにおどろいています。でもマリアは，『まあ，あなたはどうしてこんなことをしてくれたのです。お父さまもわたしも，心配してさがしていたのですよ』と言います。

『なぜわたしをさがさなければならなかったのですか。わたしが自分の父の家にいるはずであるのを知らなかったのですか』と，イエスはお答えになりました。

イエスは神のことを学べる所にいるのが好きなのです。わたしたちも，そのように考えるべきではないでしょうか。ナザレではイエスは毎週，崇拝のための集会に行かれるのです。いつもよく注意を払って聞かれるので，聖書からたくさんのことを学ばれました。わたしたちもイエスのようにし，イエスを模範にしましょう。

ルカ 2:41-52。マタイ 13:53-56。

ヨハネはイエスにバプテスマをほどこす

この男の人の頭の上に，はとがまい降りていますね。この人はイエスです。今30歳くらいです。イエスのそばにいるのはヨハネです。ヨハネのことはもういくらか学びました。マリアが親族のエリサベツを訪ねたとき，エリサベツのおなかの中の赤ちゃんが，喜んでおどりましたね。まだ生まれていなかったその赤ちゃんが，ヨハネだったのです。ところで，ヨハネとイエスは今何をしているのでしょう。

ヨハネは今イエスを，ヨルダン川の水にひたしたところです。人はこのようにしてバプテスマを受けるのです。まず水中に入れられ，それから引き上げられるのです。ヨハネは人々にバプテスマをほどこすので，バプテストのヨハネ，と呼ばれています。しかし，なぜヨハネはイエスにバプテスマをほどこしたのでしょうか。

それはイエスがヨハネのところに来て，バプテスマを受けさせてほしい，と言われたからです。ヨハネは，悪いことをしたのをこうかいしていることを表わしたいと思っている人々に，バプテスマをほどこします。でもイエスは，こうかいするような悪いことを一度でもなさったことがあるでしょうか。いいえ，イエスは天から来られた，神ご自身のみ子ですから，そういうことは決してありませんでした。ですからイエスは，別の理由があって，ご自分にバプテスマをほどこすことを，ヨハネにおたのみになったのです。では，その理由が何であったか，調べてみましょう。

ヨハネのところに来る前，イエスは大工でした。大工というのは，材木で，机やいすやベンチなどを作る人のことです。マリアの夫ヨセフは大工なので，イエスも大工になれるように，仕事を教えました。しかし，エホバはみ子を大工にするために地上につかわしたのではありません。エホバはイエスに特別の仕事をおさせになるのです。そして，イエスがそれをお始めになる時は来ました。それでイエスは，今ご自分が父のご意志を行なうために来たことを示す目的で，ご自分にバプテスマをほどこすよう，ヨハネに求められます。このことを神は喜んでおられるでしょうか。

たしかに喜んでおられます。なぜかというと，イエスが水から上がられたとき，『これはわたしの子，わたしの喜ぶ者です』と言う声が，天から聞こえてきたからです。また，天が開けて，このはとがイエスの上に下って来たようです。でもそれは，ほんとうのはとではありません。はとのように見えるだけで，実は神の聖霊なのです。

今イエスには考えることがたくさんあります。それでイエスは，さびしい場所へ行って，40日のあいだそこにおられます。そのイエスのところへサタンがやって来ます。サタンは三度も，神の律法に反することを，イエスにさせようとします。でもイエスはそれを行なおうとはされません。

そのあと，イエスはもどって来られますが，そのときに会ったある人たちは，イエスの最初の追随者，つまり弟子になります。その中に，アンデレ，ペテロ（シモンとも呼ばれる），フィリポ，ナタナエル（バルトロマイとも呼ばれる）といった人たちがいます。イエスとこの新しい弟子たちは，ガリラヤ地方に向かって出発します。ガリラヤで一行は，ナタナエルの生まれ故郷カナにたい在します。ここでイエスは盛大なこんえんに行かれ，最初の奇跡を行なわれます。イエスは水をぶどう酒に変えられるのです。　マタイ 3:13-17; 4:1-11; 13:55。マルコ 6:3。ヨハネ 1:29-51; 2:1-12。

イエスは神殿を清める

ここではイエスは，ほんとうにおこっていらっしゃるようですね。なぜこんなにおこっていらっしゃるのかわかりますか。それは，神殿にいるこの人たち

が，とても欲深いからです。この人たちは，神を崇拝するためにここに来た人々から，お金をたくさんもうけようとしているのです。

若い雄牛や羊やはとなどがいるのが見えますか。男たちは，これらの動物を，場所もあろうにこの神殿で売っているのです。なぜそんなことをするのでしょうか。それは，イスラエル人が，神に犠牲としてささげる動物や鳥を必要としているからです。

神の律法によると，イスラエル人はまちがいをしたとき，神にささげ物をしなければなりませんでした。また，イスラエル人がささげ物をしなければならない時がほかにもありました。しかし，イスラエル人は，神にささげる鳥や動物を，どこで手に入れることができたでしょうか。

あるイスラエル人は，鳥や動物をかっていましたから，それをささげることができました。けれども，多くのイスラエル人は，自分では動物も鳥もかっていませんでした。また，エルサレムから遠く離れた所に住んでいた人々は，自分のかっている動物の中から一ぴきを取って，神殿まで連れてくるわけにはいきませんでした。それで人々はここへ来て，自分に必要な動物や鳥を買いました。ところがこの男たちは，人々に高い値段をふっかけていました。人々をだましていました。そればかりではありません。かれらは，神殿内のこの場所で，ものを売ることなどすべきではないのです。

イエスはそのことをおこっておられるのです。それでイエスは，お金を持っている人たちの机をたおし，硬貨をまき散らされます。またなわでむちを作り，動物を全部，神殿から追い出されます。そして，はとを売っている者たちに，『そのはとを連れてここから出て行きなさい！　わたしの父の家を金もうけの場所にしてはいけない』とお命じになります。

イエスの弟子がいく人か，イエスといっしょに，エルサレムの神殿にいます。かれらはイエスがなさることを見ておどろいています。そして，神のみ子について，『神の家に対する愛が，かれのうちで火のようにもえる』と，聖書に書かれているのを思い出します。

イエスは，ここエルサレムにいて過ぎ越しの祭りに出席しておられるあいだに，多くの奇跡を行なわれます。そのあと，イエスはユダを去り，ガリラヤにもどって行かれます。しかし，その途中，イエスはサマリアの地方を通られます。そこではどんなことが起きるでしょうか。

ヨハネ 2:13-25; 4:3, 4。

井戸のそばで女の人に

90

イエスは，サマリアのある井戸のそばで足を止めて，休んでおられます。弟子たちは食物を買いに，町へ出かけています。イエスが話しかけている女は，ここに水をくみに来ました。イエスは女に，『水を飲ませてください』とおっしゃいました。

これを聞いて女は非常におどろきました。なぜでしょうか。イエスはユダヤ人で，女はサマリア人だからです。ほとんどのユダヤ人は，サマリア人がきらいです。ユダヤ人はサマリア人に話しかけようとさえしません。しかし，イエスはあらゆる種類の人を愛しておられます。そこでこう言われます。『水を飲ませてください，とあなたにたのんでいる者がだれであるかを，もしあなたが知っていたなら，あなたはその人に求めたでしょう。そしてその人はあなたに命をあたえる水をあたえたことでしょう』。

『でも，だんな様，この井戸は深いのです。それにあなたは手おけさえ持っていらっしゃいません。どこでその命をあたえる水を，手にお入れになるのですか』と，女は言います。

『この井戸の水を飲めば，あなたはまたのどがかわくでしょう。しかし，わたしがあたえる水は，人を永遠に生かすのです』と，イエスは説明されます。

『だんな様，その水をわたくしにください。そうすれば，わたくしはもうかわくことはありません。そして，もうここまで水をくみに来なくてもすみます』と，女は言います。

女は，イエスがほんとうの水のことを言っておられるのだ，と考えています。しかし，イエスは神とその王国に関する真理について話しておられるのです。この真理は，命をあたえる水のようです。人に永遠の命をあたえることができます。

さて，イエスは女に言われます。『行って，あなたの夫を呼んできなさい』。

『わたくしには夫はありません』と，女は答えます。

『あなたの答えは正しい。あなたには夫が五人あったが，今あなたがいっしょに住んでいる男は，あなたの夫ではないからです』と，イエスは言われます。

女はおどろきます。それは全部ほんとうのことだからです。なぜイエスはこうしたことをご存じなのでしょう。なぜなら，イエスは神がおつかわしになった約束の方であり，神がこういう情報をおあたえになるからです。このとき，弟子たちがも

どって来ます。そして，イエスがサマリアの女と話しておられるので，おどろきます。

以上のことから，わたしたちは何を学ぶでしょうか。イエスは，あらゆる人種の人々に親切であることがわかります。ですからわたしたちも，そうでなければなりません。ある人々のことを，特定の人種であるというだけの理由で，あの人たちは悪い，と考えるべきではありません。イエスは，すべての人が，永遠の命に導く真理を知ることを願っておられます。ですからわたしたちも，人々が真理を学ぶのを助けたいと思わなければなりません。

ヨハネ 4:5-43; 17:3。

山の上で教えるイエス

イエスは，ここで，腰をおろしていらっしゃいますね。ガリラヤのある山の上で，この大勢の人々に教えを説いておられるところです。イエスのすぐ近くにすわっているのは弟子たちです。イエスは12人の弟子を選んで，使徒とされました。十二使徒は，イエスの特別の弟子です。あなたは十二使徒の名前を知っていますか。

シモン・ペテロとその兄弟アンデレがいます。それからヤコブとヨハネ，このふたりも兄弟です。ヤコブという名前の使徒はもうひとりいます。そしてシモンと呼ばれる使徒ももうひとりいます。また，ユダという名前の使徒がふたりいます。ひとりはユダ・イスカリオテで，もうひとりのユダはタダイとも呼ばれます。それからフィリポとナタナエル（バルトロマイとも呼ばれる），そしてマタイとトマスです。

サマリアからもどられたあと，イエスは，『天の王国は近づいた』と言って，伝道を開始されました。その王国とは何でしょうか。それは，神の実際の政府のこと

です。イエスはその王国の王です。イエスは天から治めて，地に平和をもたらされます。神の王国は，地球全体を美しい楽園に変えるのです。

イエスはここで，その王国について教えておられます。『あなたがたはこのように祈らねばなりません。「天にいますわたしたちの父よ，あなたのお名前が，あがめられますように。あなたの王国が来ますように。あなたのご意志が天で行なわれるように，地上でも行なわれますように」』。多くの人はこれを『主の祈り』と呼びます。『主とう文』と呼ぶ人たちもいます。あなたはこの祈りを全部言えますか。

イエスはまた，人はおたがいにどのように接しなければならないかを，教えておられます。『自分にしてほしいと思うことを，ほかの人にもしなさい』と，イエスは言われます。人に親切にされるとうれしいですね。ですから，わたしたちはほかの人々に親切な態度で接しなければならない，とイエスはおっしゃっているのです。みんながそうするようになる地上の楽園は，ほんとうにすばらしいでしょうね。

マタイ　5章から7章；10:1-4。

イエスは死者を生き返らせる

この少女は12歳です。イエスは少女の手をお持ちになり，母親と父親はそばに立っています。どうしてみんなうれしそうな顔をしているのでしょう。では調べてみましょう。

少女の父親はヤイロといって，高い地位にある人です。ある日，この人のむすめは病気になり，床につきます。しかし，すこしもよくなりません。病気は重くなるばかりです。かわいいむすめが死にそうな様子なので，ヤイロとその妻はひどく心

配します。少女はひとりむすめなのです。ヤイロはイエスをさがしに行きます。イエスが奇跡を行なっておられることを聞いたからです。

ヤイロがイエスを見つけたとき，イエスのまわりには大勢の群衆がいました。それでもヤイロは群衆の中を通り抜け，イエスの足下にひれふします。『わたくしのむすめがひどく病んでおります。どうか，おいでくださって，むすめを治してやってください』と，ヤイロは熱心にたのみます。イエスは，行きましょう，とおっしゃいます。

ふたりが歩いて行くと，群衆が絶えずおしせまって来ます。イエスは急に立ち止まり，『わたしにさわったのはだれですか』と言われます。ご自分から力が出て行くのをお感じになったので，だれかがさわったことをご存じなのです。しかし，だれでしょう。それは，12年間ひどい病気に苦しんでいたある女の人でした。その人がイエスに近寄って，イエスの着物にさわりました。すると病気がいやされたのです！

このことがあって，ヤイロはすこし気持ちが楽になりました。イエスが人の病気をどんなにたやすく治されるかが，わかったからです。しかし，そのとき使いの者がやって来て，『もうイエスをわずらわすことはありません。あなたのむすめさんはなくなりました』と，ヤイロに伝えました。これを耳にされてイエスは，『心配することはありません。むすめはよくなります』と，ヤイロに言われます。

かれらがようやくヤイロの家についたとき，人々は悲しみに打ちひしがれて，泣いていました。でもイエスは，『泣かないでください。子供は死んだのではありません。眠っているだけです』と言われます。しかし人々は，むすめが死んだことを知っているので，笑ってイエスをからかいます。

するとイエスは，少女の父親と母親，それにご自分の三人の使徒を連れて，子供がねかされている部屋におはいりになりました。そして，少女の手を取り，『起きなさい』と言われました。すると少女は，この絵にあるように，生き返ります。そして立ち上がって歩きまわるではありませんか。それで母親と父親はたいへん喜んでいるのです。

イエスが生き返らせたのは，この少女が最初ではありません。聖書に書かれているその最初の人は，ナインの町に住むあるやもめの息子です。のちほどイエスは，マリアとマルタの兄弟ラザロもよみがえらされます。イエスが神の王国の王として治めるときには，死んでいる人々をたくさん生き返らされるのです。それはとてもうれしいことではありませんか。

ルカ 8:40-56; 7:11-17。ヨハネ 11:17-44。

イエスは多くの人に食物をあたえる　93

ひどいことが起きました。ちょうど今，バプテストのヨハネが殺されたのです。王の妻ヘロデアは，バプテストのヨハネをきらっていました。ヘロデアは，王にヨハネの首を切らせることができたのです。

イエスはそのことを聞いて，たいそう悲しまれ，ひとりでさびしい所へ行かれます。でも人々はついて来ます。イエスは群衆をごらんになって，かわいそうに思い，神の王国のことを話して聞かせ，また，かれらの中の病人をいやされます。

夕方になって，弟子たちはイエスのところへ来て言います。『時刻もだいぶおそいですし，ここはさびしい所です。人々を解散させて，近くの村でそれぞれ自分の食べる物を買うようにさせてください』。

『かれらが行く必要はありません。あなたがたがこの人たちに何か食べる物をあたえなさい』と，イエスは言われます。イエスはフィリポのほうを向いて，『これだけの人々に食べさせる食物を，わたしたちはどこで買いましょうか』と，問われます。

『みんなにほんのすこしずつゆきわたるだけの量を買うにも，それはそれはたくさんのお金がいるでしょう』と，フィリポは答えます。するとアンデレが言います。『この少年は，わたしたちの食物を運んでいる者で，五つのパンと二ひきの魚を持っています。でも，こんなに大勢ではとても足りません』。

『人々を草の上にすわらせなさい』と，イエスは言われます。それから神に感謝をささげ，食物をさきはじめられます。つぎに，弟子たちがパンと魚を全部の人に配ります。5,000人の男と，それにまだ女や子供が何千人もいます。みんな，満腹するまで食べ，弟子たちが残ったものを集めると，12のかごがいっぱいになりました。

さて，弟子たちはイエスに言われて舟に乗りこみます。ガリラヤの海をわたるためです。すると夜のあいだに大あらしが起こり，舟は波で大ゆれにゆれます。弟子たちはひどくおそれます。ところが，真夜中になって弟子たちは，だれかが水の上を歩いて自分たちのほうへやってくるのを見ます。それが何だかわからないので，弟子たちはおそろしくなってさけび声を上げます。

『こわがることはありません。わたしです！』と，イエスは言われます。それでも

弟子たちは信じられません。そこでペテロが言います。『主よ，もしほんとうにあなたでしたら，水をわたってここまで来い，とおっしゃってください』。イエスはそれに答えて，『来なさい』と言われます。そこでペテロは舟から出て水の上を歩きます。しかし，こわくなり，しずみかけたので，イエスはペテロを救われます。

のちほど，イエスはまた何千人もの人々に食物をおあたえになります。こんどは七つのパンと何びきかの小魚でこれをなさいます。こんどもやはり，みんなのために十分ありました。イエスが人々の世話をなさる方法は，すばらしいではありませんか。イエスが神の王として治められるとき，わたしたちが心配しなければならないことは，全くなくなってしまうのです！　マタイ 14:1-32; 15:29-38。ヨハネ 6:1-21。

幼子たちを愛したイエス

ここではイエスは小さな男の子をうでにだいておられますね。イエスが，子供たちのことをほんとうに心にかけておられることが，よくわかるでしょう。じっと見ているのはイエスの使徒たちです。イエスは使徒たちに何を言っておられるのでしょうか。では調べてみましょう。

イエスと使徒たちは，長い旅からもどったばかりのところです。使徒たちは帰る道々，何か言い合っていました。それで旅が終わってから，イエスはかれらにお聞きになります。『あなたがたは途中で，何を言い合っていたのですか』。ほんとうは何について言い合っていたか，イエスは，ご存じなのです。しかし，使徒たちがそれをイエスに告げるかどうかを見るために，イエスは質問しておられるのです。

使徒たちは答えません。自分たちの中でだれがいちばんえらいかについて，議論していたからです。ある使徒は，ほかの使徒よりも上になりたい，と考えているのです。そういう考えは正しくないことを，イエスはどのように話されるでしょうか。

イエスは小さな男の子を弟子たちの前に立たせ，こうおっしゃいます。『このことをあなたがたにしっかりと知ってもらいたい。あなたがたは心を変えて，幼子のようにならなければ，神の王国にはいれません。王国の中でいちばんえらいのは，この子供のようになる人です』。イエスはなぜそのように言われたのでしょう。

小さな子供は，ほかの人よりえらくなるとか，上になることなど考えません。ですから，使徒たちもこの点で子供のようになることを学び，えらいとか，上であるとかいうことについて，口論などすべきではないのです。

イエスはほかの時にも，小さな子供たちのことをどれだけ深く心にかけているかを，いく度か示されます。何か月かたって，ある人々が子供たちをイエスのところへ連れてきます。使徒たちは子供たちを近づかせまいとしますが，イエスは，『子供たちをわたしのところへ来させなさい。止めてはいけません。天の王国は，このような者たちのものなのです』と言われます。それから子供たちをだき寄せて祝福されます。イエスが小さな子供たちを愛してくださるということを知るのは，うれしいことではありませんか。

マタイ 18:1-4; 19:13-15。マルコ 9:33-37; 10:13-16。

イエスの教え方

ある日のこと，イエスは，ひとりの男に，あなたの隣人を愛さなければならない，と言われます。『わたしの隣人とはだれのことですか』と，その人はたずねます。イエスは，この人が何を考えているかご存じです。この人は，自分と同じ人種と宗教の人々だけが，自分の隣人である，と考えているのです。ではイエスはこの人に何と言われるか，見てみましょう。

イエスは時々，物語をして人々を教えます。ここでもそれをなさいます。ひとりのユダヤ人とひとりのサマリア人についての物語です。ほとんどのユダヤ人がサマリア人をきらっていることは，すでに学びましたね。さて，イエスはこういうお話をされます。

ある日，エリコへ向かって山道を下るひとりのユダヤ人がいました。ところが，強盗どもがその人をおそい，お金を取り上げ，打ちのめして，半殺しにしました。

しばらくして，ユダヤ人の祭司がひとり，その道をやって来ました。そしてその打ちのめされた人を見ました。その祭司はどうしたと思いますか。なんと，道の反対側にわたって，通りすぎて行きました。つぎにまたひとり，とても信心深い人がやってきました。その人はレビ人でした。この人は足を止めたでしょうか。いいえ，この人も，足を止めてその打ちのめされた人を助けようとはしませんでした。その祭司とレビ人が道を下って行くところが，遠くに見えますね。

しかし，この打ちのめされた人のそばにいるのはだれでしょうか。この人はサマリア人です。しかもこのユダヤ人を助けています。傷に薬をぬっています。この人はあとでこのユダヤ人を，休んで元気になれる場所まで連れて行きます。

話し終えるとイエスは，ご自分に質問した男におたずねになりま

す。『この三人の中でだれが，この打ちのめされた人の隣人のような行ないをしたと思いますか。祭司ですか。レビ人ですか。それともサマリア人ですか』。

その男はこう答えます。『サマリア人の男です。その人は打ちのめされた人に親切でした』。

『そのとおりです。ですから，あなたも行って，他の人々に対し，サマリア人と同じようにしなさい』と，イエスは言われます。

イエスの教え方はとてもいいと思いませんか。イエスが聖書の中で言われていることをよく聞くなら，大切なことがとてもたくさん学べますね。　ルカ 10:25-37。

イエスは病人を治す

イエスは国中をまわりながら，病人を治されます。この奇跡のうわさは，いたるところの村々，町々に伝わっています。ですから人々は，手足の不自由な人，盲人，耳の聞こえない人など，多くの病人をイエスのところに連れて来ます。そして，イエスはそういう人々を全部治されます。

ヨハネがイエスにバプテスマをほどこしてから，三年以上たちました。イエスは，まもなくご自分がエルサレムに上り，そこで殺され，それから復活することを，使徒たちにお話しになります。それまで，イエスは引き続き病人を治されます。

あるときイエスは，安息日に教えを説いておられました。安息日というのはユダヤ人の休日です。ここにいる女の人はひどい病気にかかっていました。18年ものあいだ，腰が曲がったままで，まっすぐに立つことができませんでした。それでイエスはその人に手を置かれます。するとその人は立ちはじめます。病気が治ったのです！

それで宗教指導者たちはおこり，『働く日は六日ある。治してもらうのはそれらの日にするがよい。安息日にはだめだ』と，ひとりが群衆に向かってさけびます。

でもイエスは，『悪い人たち。あなたがたはみな，安息日にろばを解いて，水を飲ませに連れて出るではありませんか。それなら，18年間病気だったこの気の毒な女を，安息日に治してやるべきでしょう』と言われます。悪い人たちは恥じ入ります。

のちほど，イエスと使徒たちは，エルサレムへ向けて旅をします。かれらがエリコの町を出たばかりのとき，盲目のこじきがふたり，イエスが近くを通っておられると聞き，『イエス様，わたしたちをお助けください！』とさけびます。

イエスはその盲人たちを呼んで，『わたしに何がしてほしいのですか』と，言われます。『主よ，目をあけていただきたいのです』と，かれらは言います。イエスがかれらの目にさわると，かれらはすぐに見えるようになります。イエスはなぜこうしたすばらしい奇跡をたくさん行なわれるのでしょうか。それは，イエスが人々を愛しておられ，人々がイエスを信じることを願っておられるからです。ですからわたしたちは，イエスが王として治めるとき，地上には，病気の人がひとりもいなくなる，ということを確信できるのです。

マタイ 15:30，31。ルカ 13:10-17。マタイ 20:29-34。

イエスは王として来る

ふたりの盲目のこじきの目を治してからすこしたって，イエスはベタニヤの小さな村に来られます。そしてふたりの弟子におっしゃいます。『村にはいっていきなさい。そうすると子ろばが見つかります。それをほどいて，わたしのところへ連れて来なさい。

ろばが連れて来られると，イエスはそれにお乗りになります。そして，そこからあまり遠くないエルサレムへ向かわれます。町の近くまで来られると，大勢の人がイエスをむかえに出ます。ほとんどの人が自分たちの上着をぬいで道にしきます。やしの枝を切り取る人たちもいます。人々はそれらも道にしいて，『エホバの名によって来られる王に，神のお恵みがありますように！』とさけびます。

ずっとむかし，イスラエルでは，新しい王は子ろばに乗ってエルサレムにはいり，自分を人々に見せたものです。イエスが今しておられるのはそのことです。そして，

この人々は，イエスが自分たちの王であってほしい，という気持ちを示しているのです。しかし，全部の人がイエスを望んでいるわけではありません。そのことは，イエスが神殿に行かれるときに起きる事からわかります。

神殿でイエスは，盲人や足の不自由な人たちを治されます。子供たちはこれを見て，大きな声でイエスをほめたたえます。しかし，祭司たちはこれに腹を立て，イエスに向かって，『子供たちの言っていることが聞こえるか』と言います。

『はい，聞こえます。あなたがたは，「神は小さな子供たちの口から賛美をもたらされる」と聖書にあるのを，読んだことがないのですか』と，イエスは言われます。それで子供たちは，神の王をたたえつづけます。

わたしたちも，この子供たちのようでありたいですね。ある人々は，神の王国のことを話すのをやめさせようとするかもしれません。しかし，わたしたちはイエスが人々のために行なわれるすばらしい事柄について，他の人々に語りつづけます。

イエスが王として支配をお始めになるのは，地上におられたときではありませんでした。その時はいつでしょうか。イエスの弟子はそれを知りたいと思っています。このことについては，次のお話を読みましょう。　マタイ 21:1-17。ヨハネ 12:12-16。

オリーブ山の上で

これはオリーブ山の上におられるイエスです。イエスといっしょにいる四人の男の人は，イエスの使徒たちです。兄弟のアンデレとペテロ，そしてやはり兄弟のヤコブとヨハネです。遠くの方に見えるのは，エルサレムにある神殿です。

イエスが子ろばに乗ってエルサレムにはいられてから二日たちました。火曜日です。朝のうち，イエスは神殿におられました。祭司たちは，イエスをとらえて殺すつもりでそこにいました。しかし，人々がイエスを好ましく思っているので，祭司たちはそうすることをおそれました。

『へびよ，まむしの子らよ！』と，イエスは宗教指導者たちを呼ばれ，あなたがたが行なったすべての悪事のゆえに，神はあなたがたにばつを加えられる，とイエスは言われました。そのあと，イエスはオリーブ山に登られますがそのとき，この四人の使徒が質問しはじめました。かれらはイエスに何をたずねているのでしょうか。

使徒たちは将来のことについてたずねているのです。かれらは，イエスが地上の悪をすべてなくされることを知っています。でもそれがいつなされるかを知りたいと思っています。イエスは，王として治めるためにいつまた来られるのでしょうか。

イエスがもう一度来られるとき，地上の弟子たちはイエスを見ることができないということを，イエスはご存じです。なぜできないかというと，イエスは天にいらっしゃるからです。ですから，弟子たちはそこにいらっしゃるイエスを見ることはできないのです。そこでイエスは，ご自分が天で治めているときに地上で起きる事柄をいくつか，使徒たちに話されます。それはどんなことでしょうか。

イエスが言われるには，いくつもの大きな戦争があります。多くの人が病気になったり，うえたりします。犯罪がひどくなります。また大きな地震があるでしょう。イエスはまた，地球上のあらゆる場所で，神の王国についての良いたよりが宣べ伝えられるでしょう，ともおっしゃいます。わたしたちは，このような事がわたしたちの時代に起きるのを見てきたでしょうか。そうです，見てきたのです！　ですから，イエスが今天で治めておられるという確信が持てるのです。イエスはまもなく地上の悪をすべてなくされるでしょう。

マタイ 21:46; 23:1-39; 24:1-14。マルコ 13:3-10。

二階の部屋で

二日後の木曜日の夜です。イエスと十二使徒は，過ぎ越しの食事をするために，この二階の大広間に来ています。部屋を出て行くのはユダ・イスカリオテです。ユダは，イエスをとらえる方法を，祭司たちに教えるつもりです。

前の日にユダは祭司たちのところへ行って，『イエスをとらえるのを手伝ったら，何をくれますか』とたずねました。祭司たちは，『銀貨30枚』と答えました。それでユダは，祭司たちを手引きするために行くところです。ひどいことをしますね。

過ぎ越しの食事は終わります。しかし，イエスはつぎにもう一つ特別の食事をお始めになります。イエスはパンを使徒たちにわたして，『これを食べなさい。これは，あなたがたのためにあたえるわたしのからだを意味するからです』と言われます。つぎにぶどう酒のはいったさかずきをわたし，『これを飲みなさい。これはあ

なたがたのために注ぎ出すわたしの血を意味するからです』と言われます。聖書はこれを，『主の夕食』または『主の晩さん』と呼んでいます。

イスラエル人は，エジプトで神の使いが自分たちの家を『過ぎ越し』て，エジプト人の家の初子を殺したときのことを思い出すために，過ぎ越しの食事をしました。しかし今イエスは，弟子たちがご自分のことを，そしてかれらのためにご自分が命をあたえたことを，おぼえているように望んでおられます。それで，この特別の食事を毎年祝うように，弟子たちにおっしゃいます。

主の夕食のあと，イエスは使徒たちに，勇気を出し，強い信仰を持ちなさい，と言われます。最後にかれらは賛美の歌をうたい，出かけます。時刻はおそく，たぶん真夜中を過ぎています。どこへ行くのでしょう。

マタイ 26:14-30。ルカ 22:1-39。ヨハネ 13章から17章。コリント第一 11:20。

園の中のイエス

二階の部屋を出てから，イエスと使徒たちはゲッセマネの園に行きます。かれらは以前ここに何度も来たことがありました。さて，イエスは使徒たちに，目をさまして祈っていなさい，と言われます。そしてご自分はすこしはなれたところへ行き，地にひれふして祈られます。

すこしたって，イエスは使徒たちのところにもどられます。使徒たちは何をしているでしょうか。ねむっています！ 目をさましていなさい，とイエスは三度もおっしゃいますが，もどられるたびに，かれらはねむっています。それで最後におもどりになったときに，イエスはおっしゃいます。『このような時に，あなたがたはどうしてねむれるのですか。わたしが敵の手にわたされる時が来たのです』。

ちょうどそのとき，群衆のざわめきが聞こえてきます。ほら，見てごらんなさい！男たちが，つるぎや棒を手にしてこちらへやって来ます。かれらは道を照らすたいまつをかかげています。群衆が近くまで来ると，その中からある男が進み出て，まっすぐにイエスのところへ来ます。そして絵にあるように，イエスに口づけします。その男はユダ・イスカリオテです。ユダはなぜイエスに口づけするのでしょう。

『ユダよ，あなたは口づけをしてわたしを裏切るのか』と，イエスは言われます。そうです，口づけは合図なのです。ユダが連れて来た者たちは，その口づけでどれが自分たちのねらっているイエスであるかを知り，ふみこんでイエスをとらえます。しかしペテロは，イエスをむざむざと敵の手にわたすつもりはありません。持って来たつるぎを抜いて，近くにいた男にうってかかります。つるぎは頭をはずれて右の耳を切り落しますが，イエスは手をその男の耳にあてていやされます。

イエスはペテロにおっしゃいます。『つるぎをもとに納めなさい。わたしを救う何千ものみ使いをつかわしてくださるよう，わたしが父にお願いできないとでも思っているのですか』。たしかにイエスはそうなさることができます。しかし，敵にとらえられる時が来たことをご存じなので，それをなさいません。敵に引かれるままになっておられます。こんどはどんなことがイエスの身に起こるのでしょうか，見てみましょう。

マタイ 26:36-56。ルカ 22:39-53。ヨハネ 18:1-12。

イエスは殺される

ごらんなさい，このひどいことを！　イエスは殺されようとしています。敵はイエスをくいにかけたのです。イエスの手と足はくぎづけにされています。なぜイエスをこのような目にあわせるのでしょう。

ある者たちが，イエスをにくんでいるからです。それはだれでしょうか。ひとりは，悪い使い，悪魔サタンです。アダムとエバをエホバにそむかせたのは，このサタンです。イエスの敵にこのひどい罪を犯させたのもサタンです。

イエスがくいにくぎづけされる前にも，敵はイエスに意地の悪いことをします。かれらがどのようにしてゲッセマネの園に来て，イエスを連れ去ったか，おぼえていますか。その敵はだれだったでしょうか。そうです，宗教指導者でした。さて，つぎにどんなことが起こるでしょうか。

イエスが宗教指導者たちに連れていかれるとき，使徒たちはにげてしまいます。おそろしくなって，イエスをひとり敵のところに置き去りにします。でも使徒のペテロとヨハネは，あまり遠くへは行きません。イエスがどうなるか見ようとして，うしろからついていきます。

祭司たちは,イエスを,以前の大祭司でアンナスという老人のところに連れていきます。群衆はここにはそれほど長くいません。かれらはつぎにイエスをカヤファの家に引いていきます。カヤファは今の大祭司です。カヤファの家には，多くの宗教指導者が集まっています。

かれらはこのカヤファの家で裁判を行ないます。イエスについてうそを言う人々が連れて来られます。宗教指導者たちは口をそろえて，『イエスは死刑にすべきだ』と言い，イエスの顔につばをはきかけたり，こぶしでなぐったりします。

こうしたことが行なわれているあいだ，ペテロは外の中庭にいます。寒い夜なので，人々は火をおこします。そして火のまわりでからだを暖めているときに，ひとりの下女が，ペテロの方を見て，『この人もイエスといっしょにいました』と言います。

『いや，ちがいます！』と，ペテロは答えます。

人々はペテロに三度も，あなたはイエスといっしょにいた，と言います。でもペ

テロはそのたびに，いや，それはちがう，と言います。ペテロが三度めにそれを言ったとき，イエスはふり向いてペテロをごらんになります。ペテロは，そのようにうそを言ったことをとてもこうかいし，そこから出て行ってはげしく泣きます。

金曜日の朝，ぼつぼつ太陽が昇りかけるころ，祭司たちはイエスをかれらの大きな集会所，サンヘドリン広間に連れていきます。ここで祭司たちは，イエスをどうするかについて相談します。そして，ユダヤ地区の支配者ポンテオ・ピラトのところに連れて行きます。

『この男は悪い男です。殺すべきです』と，祭司たちはピラトに告げます。ピラトはイエスをじん問したあと，『この人は，悪いことは何ひとつしていない』と言います。そして，イエスをヘロデ・アンテパスのもとに送ります。ヘロデはガリラヤの支配者ですが，エルサレムに来ています。しかしヘロデも，イエスに罪を見つけることができません。そこでイエスをピラトのところへ送り返します。

ピラトはイエスを釈放したいと思います。しかしイエスの敵は，イエスではなくて別の囚人が釈放されることを望みます。それはバラバという強盗です。ピラトがイエスを外に引き出したのは正午ごろです。ピラトは人々に向かって，『見なさい！あなたがたの王だ！』と言います。しかし祭司長たちは，『連れて行け！　殺せ！殺せ！』とさけびます。それでピラトはバラバを自由にします。そして祭司長たちは，イエスを殺すために連れ去ります。

金曜日の午後はやく，イエスはくいにくぎづけされます。絵にはありませんが，イエスの両側には犯罪者がいて，そのふたりもくいの上で殺されようとしています。イエスが死なれるすこし前に，片方の犯罪者が，『あなたがご自分の王国におはいりになるときに，わたしを思い出してください』と言います。イエスは，『約束します。あなたはわたしとともにパラダイスにいるでしょう』とお答えになります。

それはすばらしい約束ではありませんか。あなたは，イエスがどのパラダイスのことを言っておられるか，わかりますか。いちばん初めに神がお作りになったパラダイスは，どこにあったでしょうか。そうです，地上にありました。ですからイエスは，天で王として治めるとき，この人をよみがえらせて，地上の新しいパラダイスを楽しませるのです。それはほんとうにうれしいことではありませんか。

マタイ 26:57-75; 27:1-50。ルカ 22:54-71; 23:1-49。ヨハネ 18:12-40; 19:1-30。

イエスの復活から パウロの投獄まで

イエスは，死後三日めに復活されました。その日イエスは，時をかえて五回，弟子たちに姿を現わされました。イエスは40日のあいだ，引きつづき弟子たちに姿を現わされました。そして，いく人かの弟子たちが見守る中を，天に昇られました。それから十日後，神は，エルサレムで待っていたイエスの弟子たちに，聖霊を注がれました。

その後しばらくして，神の敵は使徒たちをろう屋に入れますが，ひとりのみ使いがかれらを自由にします。弟子のステファノは，反対者たちの石打ちにあって，死にます。しかしわたしたちは，イエスがこの反対者たちのひとりを選んで，ご自分の特別のしもべになさることを学びます。その人は使徒パウロになりました。そして，イエスがなくなられてから三年半後に，神は使徒ペテロを，ユダヤ人でないコルネリオとその家族のところへ，教えを伝えさせるためにおつかわしになります。

それからおよそ13年後に，パウロは最初の伝道旅行に出ます。二回めの旅行には，テモテがパウロといっしょに行きました。神への奉仕において，パウロとその旅行仲間が，手にあせをにぎるような経験をたくさんすることを，わたしたちは学びます。ついにパウロはローマで投獄されました。二年後にパウロは自由の身になりますが，その後また投獄され，殺されました。第７部で取り上げられているのは，32年ほどの期間に起きた出来事です。

イエスは生きている

この女の人とふたりの男の人はだれでしょう。女の人はマリア・マグダレネで，イエスの友だちです。白い衣を着ているのはみ使いです。マリアが中をのぞ

いているせまい部屋は，イエスの遺体が置かれていた所，つまり墓です。でも今その遺体はありません。だれが持ち去ったのでしょう。では調べてみましょう。

イエスの死後，祭司たちはピラトに言います。『イエスは生きていたとき，三日めによみがえる，と言っておりました。それで墓を見張るようお命じください。そうすれば，弟子たちがイエスのからだを盗み出して，イエスはよみがえった，とは言えません』。ピラトは，墓に番兵を送りなさい，と祭司たちに言います。

しかし，イエスの死から三日めの朝早く，エホバの使いがとつぜんやって来て，墓の石をわきへころがします。番兵たちはおそろしくて動けず，ようやく墓をのぞいたときには，イエスのからだはありません！　番兵は町へ行って，そのことを祭司たちに告げます。祭司たちはどんな悪いことをするでしょうか。番兵にお金をあたえてうそを言わせるのです。『夜，わたしたちがねているあいだに，弟子たちが来てイエスのからだを盗んだ，と言いなさい』と，祭司たちは言いつけます。

いっぽう，イエスの友だちだったいく人かの婦人も墓に行き，墓がからになっているのを見て，たいへんおどろきます。そのときとつぜん，光りかがやく衣を着たふたりのみ使いが現われ，『あなたがたはなぜここでイエスをさがしているのですか。イエスはよみがえらされました。急いで行って，弟子たちに知らせなさい』と言います。婦人たちの走り方の速いことといったらありません！　でも途中で，ある人に呼び止められます。それはだれでしょうか。イエスです！　『行って，わたしの弟子たちに知らせなさい』と，イエスはおっしゃいます。

弟子たちは，婦人たちから，イエスは生きておられ，わたしたちはイエスにお会いした，と言われても信じられません。ペテロとヨハネは，自分で見てこようと思って墓に走って行きますが，墓はからです。ふたりは去り，マリア・マグダレネはあとに残ります。マリアが墓をのぞいて，ふたりのみ使いを見るのは，そのときです。

イエスのからだはどうなったのでしょう。神は，それが消えてなくなるようにされたのです。神はイエスを，死なれたときのような肉体を持つ者によみがえらせたのではありません。神はイエスに，天のみ使いたちが持っているような新しい霊のからだをおあたえになったのです。でもイエスは，ご自分が生きていることを弟子たちに示すために，人々の目に見えるからだをつけることができるのです。そのことは，またあとで学びます。　マタイ 27:62-66; 28:1-15。ルカ 24:1-12。ヨハネ 20:1-12。

かぎのかかった部屋の中へ　103

ペテロとヨハネが，イエスの遺体の置かれていた墓を去ると，マリアはひとりになり，泣きだします。そして，前の絵にあるように，かがんで墓の中をのぞき，ふたりのみ使いを見ます。『なぜ泣いていますか』と，み使いは聞きます。

マリアは，『だれかがわたしの主を取っていきました。どこに置いたかわからないのです』と答えます。そして，ふり返ると，ひとりの男の人が目にとまります。『だれをさがしているのですか』と，その人はたずねます。

マリアは，その人が園丁で，イエスのからだを取り去ったのかもしれないと考え，『もしあなたが主を取り去ったのでしたら，どこに置いたか教えてください』と言います。しかし，実はこの人がイエスで，マリアがイエスと気づかないからだをつけているのです。でも，イエスがマリアの名前をお呼びになると，マリアはそれがイエスとわかり，走って行って，『主を見ました！』と，弟子たちに告げます。

その日の午後，ふたりの弟子がエマオという村に向かって歩いていると，ひとりの人が来てかれらといっしょに歩き出します。その弟子たちは，イエスが殺されたので，ひどく悲しんでいます。しかしその人は，道を歩きながら，弟子たちの気持ちを明るくする，聖書にある事柄を，たくさん説明してくれます。そして，食事をするために足を止めたときに，弟子たちは，この人がイエスであることについに気づきます。するとイエスは見えなくなります。そこでそのふたりの弟子は，イエスのことを使徒たちに知らせるために，エルサレムまでわざわざ引き返します。

そのあいだに，イエスはペテロにも姿を現わされます。他の人々はそのことを聞いて興奮します。そのときこのふたりの弟子がエルサレムに行き，使徒たちを見つけます。そして，イエスが自分たちにも，路上で姿を現わされたことを話します。ちょうどかれらがそのことを話しているときに，おどろくべきことが起こるのですが，それはどんなことでしょう。

この絵を見てください。戸にかんぬきがしてあるのに，イエスは部屋の中におられます。弟子たちは喜んでいますね。なんと感動に満ちた日でしょう。今までに，イエスが弟子たちに何度姿を現わされたか，数えられますか。それは五回ですね。

イエスが姿を現わされたときに使徒のトマスはいなかったので，弟子たちはトマスに，『わたしたちは主を見た！』と言います。しかしトマスは，イエスを見なければ信じられない，と言います。それから八日後，弟子たちはまた，かぎのかかった部屋に集まります。こんどはトマスもいます。すると，とつぜんイエスが姿を現わされます。それでトマスは信じます。

ヨハネ 20:11-29。ルカ 24:13-43。

イエスは天にもどる

日がたつにつれ，イエスは弟子たちにいく度も姿を現わされます。あるときなど，500人の弟子がイエスを見ました。弟子たちに姿を現わされるとき，イエスはどんなことを弟子たちにお話しになるのでしょう。それは神の王国です。神の王国について教えるよう，エホバはイエスを地におつかわしになったのです。イエスは，死人の中からよみがえらされたあとも，そのことを続けて行なわれます。

神の王国とは何か，おぼえていますか。そうです，その王国は，天にある神のほんとうの政府です。そして，神が王としてお選びになるのがイエスです。今まで学んできたように，イエスは，おなかのすいている人々に食べ物をあたえ，病人を治し，死んでいる人まで生き返らせて，ご自分がどんなにすばらしい王になるかを示されました。

イエスが天で1,000年間王として支配されるとき，この地上はどのようになるのでしょうか。地球は全体が，美しい楽園に変えられるのです。戦争も，犯罪も，病気も，死さえもなくなります。わたしたちはほんとうにそうなることを知っています。なぜなら，神はこの地球を，人々が楽しめる楽園にするために，お作りになったからです。神が最初にエデンの園を作られたのは，そのためです。そしてイエスは，神ののぞんでおられることが最後にはなしとげられるようにされるのです。

今やイエスが天にもどられる時が来ました。40日のあいだ，イエスはご自分を弟子たちに示してこられました。ですから弟子たちは，イエスがまた生きておられることを確信しています。しかし，イエスは去る前に，『聖霊を受けるまで，エルサレムにとどまりなさい』と，弟子たちに言われます。聖霊とは，吹いている風のような，神の活動力のことで，神のご意志を行なうように，弟子たちを助けるのです。最後にイエスは，『あなたがたは，地の最も遠い所にまで，わたしのことを宣べ伝えなければなりません』とおっしゃいます。

イエスがそうおっしゃったあと，おどろくべきことが起こります。イエスは，この絵にあるように，天に昇りはじめられるのです。それから雲がイエスをかくして見えなくなります。それで弟子たちは二度とイエスを見ることはありません。イエスは天に行かれ，天から地上の弟子たちを支配なさるようになるのです。

コリント第一 15:3-8。啓示 21:3，4。使徒 1:1-11。

エルサレムで待つ

ここにいる人々はイエスの弟子たちです。かれらはイエスのことばに従って，エルサレムにとどまっていました。そしてみんながいっしょに待っているときに，大きな音が家全体にひびきわたります。それは強い風が吹きつける音ににています。そしてそのとき，火の舌のようなものが，弟子たちひとりひとりの頭の上に現われはじめます。みんなの頭の上にある火のようなものが見えますか。これはいったいどういうことなのでしょう。

奇跡が行なわれているのです！ イエスが天の父のところへもどっておられて，弟子たちに神の聖霊を注いでいらっしゃるのです。この霊は弟子たちにどんなことをさせるでしょうか。弟子たちはみな，いろいろな国のことばで話しはじめるのです。

エルサレムにいる多くの人々は，強い風のような音を聞きます。そして，何事が起きたのか，見に来ます。その人々の中には，イスラエル人の祝祭であるペンテコステを祝うためにここに来ている，他国の人たちもいます。その訪問者たちは，たいへんおどろきます！ 弟子たちが，神の行なわれたすばらしい事柄を，自分たちの国のことばで話しているからです。

『この人たちはみなガリラヤの人です。それなのに，わたしたちめいめいの国の，ちがうことばが話せるとは，いったいどういうわけでしょう』と，訪問者たちは言います。

そこでペテロがそれを説明するために立ち上がります。かれは声を上げて，イエスが殺され，エホバがイエスをよみがえらされたことについて，人々に語ります。『今イエスは天で神の右におられます。そして約束の聖霊を注がれました。あなたがたがこれらの奇跡を見聞きしているのは，そのためです』と，ペテロは言います。

すると，多くの人は，イエスに対してなされたことを，非常に残念に思い，『わたしたちはどうしたらよいでしょうか』とたずねます。『あなたがたは生き方を変えて，バプテスマを受ける必要があります』と，ペテロは言います。それで，その日におよそ3,000人がバプテスマを受けて，イエスの弟子になります。 使徒 2:1-47。

ろう屋から出されて自由になる　106

ここでは，み使いがろう屋のとびらを開けて持っていますね。み使いに助け出されているのは，イエスの使徒たちです。では使徒たちがどうしてろう屋に入れられることになったのか，調べてみましょう。

イエスの弟子たちに聖霊が注がれてからほんのすこしたって，こういうことが起きます。ある日の午後，ペテロとヨハネが，エルサレムの神殿にはいって行きます。すると，生まれつき足のわるい男が，とびらの近くにいます。神殿にはいって行く人々にお金をこうことができるように，人々はこの男を毎日この場所に運んできます。ペテロとヨハネを見ると，その男は，何かください，とたのみます。使徒たちはどうするでしょうか。

ふたりは立ち止まって，その気の毒な男を見ます。『お金はわたしにはないが，わたしにあるものをあげます。イエスの名により，起き上がって歩きなさい！』と，ペテロ

は言います。そして男の右手を取ると，男はおどり上がって立ち，歩きはじめます。人々はこれを見ておどろき，すばらしい奇跡が行なわれたことを，とても喜びます。

『わたしたちは，キリストを死人の中からよみがえらせた神の力によって，この奇跡を行ないました』と，ペテロは言います。ペテロとヨハネが話しているあいだに，宗教指導者たちが何人かやってきます。イエスがよみがえらされたことについてペテロとヨハネが人々に話しているので，宗教指導者たちはおこります。そしてかれらをとらえてろう屋に入れます。

翌日，宗教指導者たちは大きな会合を開きます。ペテロとヨハネ，そしてふたりにいやされた男がいっしょに連れて来られます。『あなたがたはどんな権威によって，この奇跡を行なったか』と，宗教指導者たちはたずねます。

イエスをよみがえらせた神の権威による，とペテロはかれらに言います。祭司たちは，このすばらしい奇跡がほんとうに起きているのを否定することはできないので，どうしてよいやらわかりません。それで，これ以上イエスのことを話してはいけない，と命じて，かれらを釈放します。

使徒たちは，引き続きイエスのことを宣べ伝え，また病人を治して，日を過ごします。これらの奇跡のうわさは広まります。それで，エルサレムのまわりの町々の人までが大勢，使徒たちに治してもらおうとして病人を連れて来ます。そのことに宗教指導者たちはねたみを起こし，使徒たちをつかまえてろう屋に入れます。しかし，かれらは長くそこにいません。

この絵にあるように，神のみ使いが，夜のあいだにろう屋のとびらを開きます。み使いは，『行って神殿の中に立ち，人々に語りつづけなさい』と言います。次の朝，宗教指導者たちは，使徒たちを連れて来させるために，ろう屋に人をやりますが，かれらはもはやそこにいません。しかしのちほど，かれらが神殿の中で教えているのを見つけて，サンヘドリン広間に連れて来ます。

『イエスのことはこれ以上教えてはならない，と厳重に命じておいたのに，あなたがたは，あなたがたの教えをエルサレムに満たした』と，宗教指導者たちは言います。すると使徒たちは答えます。『わたしたちは，自分たちの支配者として人間より神に従わねばなりません』。そのとおり，かれらは「良いたより」を教えつづけます。それは，わたしたちが従うべきりっぱな手本ではありませんか。　使徒 3 章から 5 章まで。

ステファノは石打ちにされる　107

このひざまずいている人は，ステファノです。ステファノはイエスの忠実な弟子です。しかし，今かれの身に起きていることを見てごらんなさい。男たちが大きな石をステファノに投げつけています。こんなひどいことをするほど，ステファノをにくんでいるのはなぜでしょうか。ではそれを考えてみましょう。

神は，ステファノにすばらしい奇跡を行なわせてこられました。この男たちはそれが気にくわないので，ステファノが人々に真理を教えることについて，かれと議論を始めます。神はステファノに深い知恵をあたえられるので，ステファノは，この人々がいつわりを教えてきたことを示します。そのためにかれらはますます腹を立て，ステファノをとらえ，人々を呼んできて，ステファノについてうそを言わせます。

大祭司はステファノに，『そのとおりか』とたずねます。ステファノは，聖書にふれながらりっぱな話をして，それに答えます。そして話の終わりに，むかし悪い人々がエホバの預言者たちをにくんだことを語り，『あなたがたはその人々のようです。あなたがたは神のしもべイエスを殺害し，神の律法を守らない』と言います。

これを聞いて宗教指導者たちはたいへんおこり，歯ぎしりします。しかし，ステファノは頭を上げて言います。『ごらんなさい！　イエスが天で神の右に立っておられるのが見えます』。これを聞くとこの人々は手を耳にあて，ステファノにおそいかかります。そしてステファノをつかんで町の外にひきずり出します。

かれらは自分の上着をぬいで，サウロという若者にあずけます。サウロが見えますね。それから何人かがステファノめがけて石を投げつけます。ステファノは，絵にあるようにひざまずいて，『エホバよ，この悪事に対するばつをかれらにあたえないでください』と，神に祈ります。ステファノは，ある人々が，宗教指導者たちにだまされていることを知っているのです。そう言ってから，ステファノは死にます。

だれかから悪いことをされると，あなたはしかえしをしますか。あるいはその人を傷つけてくださるように，神にお願いしますか。それはステファノやイエスのしたことではありません。ふたりとも，自分に不親切な人たちにさえ，親切でした。ですから，わたしたちもその手本にならいましょう。

使徒 6:8-15; 7:1-60。

ダマスカスへの道で

地面にたおれているのはだれでしょう。これはサウロです。サウロというのは，ステファノを石打ちにした者たちの上着の番をしていた人でしたね。このかがやく光を見てごらんなさい！　何事が起きているのでしょう。

ステファノが殺されたあと，サウロは先にたってイエスの弟子たちをさがしまわり，かれらに害を加えます。つぎつぎと家にふみこんではかれらを引きずり出してろう屋に投げこみます。それで弟子の多くは他の町々ににげ，そこで「良いたより」をふれ告げるようになります。しかしサウロは，それらの町にもイエスの弟子たちをさがしに出かけます。今サウロはダマスカスへ行こうとしています。ところが，その途中，次のようなおどろくべきことが起きます。

とつぜん，空から光が出てサウロのまわりにかがやきます。それでサウロは,この絵にあるように,地面にたおれます。すると，『サウロ，サウロ，なぜわたしに危害を加えるのですか』と言う声が聞こえます。サウロといっしょにいた者たちは，光を見，声のひびきは聞きますが，言われていることはわかりません。

『主よ，あなたはどなたですか』と，サウロはたずねます。

『わたしはイエス，あなたが危害を加えている

者です』と，声は言います。イエスがそう言われるのは，サウロがイエスの弟子たちを害するとき，イエスはご自分がそれをされているようにお感じになるからです。

サウロは，『主よ，わたしはどうしたらよいのでしょう』とたずねます。

『起きてダマスカスに行きなさい。なすべきことはそこで教えられます』と，イエスは言われます。サウロは起き上がって目をあけますが，何も見えません。めくらになったのです！ それで人々は，サウロの手を引いてダマスカスに連れて行きます。

さてイエスは，ダマスカスにいる弟子のひとりにおっしゃいます。『アナニアよ，立ちなさい。そして“まっすぐ”という通りに行きなさい。ユダの家にサウロという名の者をたずねなさい。わたしはその人を，わたしの特別のしもべに選びました』。

アナニアはそのことばに従います。かれはサウロに会うと，その手をサウロの上に置いて，『あなたの目がまた見えるように，そしてあなたが聖霊で満たされるように，主はわたしをあなたのところにおつかわしになりました』と言います。すると直ちにサウロの目からうろこのようなものが落ち，再び見えるようになります。

サウロは，多くの国の人々に宣べ伝えるために，強力に用いられます。そして，使徒パウロとして知られるようになります。このパウロについては，わたしたちはこれからまだ多くのことを学びます。しかしその前に，神がペテロをつかわして何をおさせになるか，見てみましょう。

使徒 8:1-4; 9:1-20; 22:6-16; 26:8-20。

ペテロはコルネリオを訪ねる

ここに立っているのは使徒ペテロで，うしろにいるのはペテロの友だちです。でもどうしてこの人はペテロに向かってひざまずいているのでしょう。そんなことをすべきでしょうか。あなたはこの人がだれかわかりますか。

この人はコルネリオです。コルネリオはローマの軍隊の士官です。ペテロを知っているわけではありませんが，かれを家に招くように言われたのです。ではそのわけを調べてみましょう。

イエスの最初の弟子たちはユダヤ人でしたが，コルネリオはユダヤ人ではありません。でも神を愛し，神に祈ります。また人々にたいへん親切です。ある日の午後，ひとりのみ使いがコルネリオに現われ，『神はあなたのことを喜んでおられるので，

あなたの祈りを聞かれます。使いをやって，ペテロという人を呼びなさい。その人はヨッパの町のシモンの家にいます。シモンは海べに住んでいます』と言います。

コルネリオは，すぐにペテロをさがしに使いをやります。翌日，かれらがヨッパの近くまで来たころ，ペテロはシモンの家の平らな屋根の上におり，神はペテロに，大きな布が天からおりて来るのを見ている，と思わせます。布の中には，いろいろな動物がいます。神の律法によると，それらはけがれた，食べてはいけない動物です。しかし，『ペテロよ，立ってこれを殺して食べなさい』という声がします。

『いいえ，わたしは食べません。わたしは今まで清くないものを食べたことはありません』と，ペテロは言います。しかしその声は，『神が今清いとおっしゃっているものを，清くない，と言うのはやめなさい』と言います。こうしたことが三度もあります。これはいったいどういう意味だろう，と思っているそのときに，コルネリオの使いの者たちがその家に着き，ペテロに会わせてほしい，と言います。

ペテロは階下に降りて行って，『わたしが，あなたがたのさがしておられるペテロです。どういうわけで，ここへおいでになったのですか』とたずねます。ひとりのみ使いがコルネリオに，ペテロを自分の家に招くようにと言ったことを，使いの者たちが説明したので，ペテロはかれらといっしょに行くことにします。翌日，ペテロと友だちは，カエサレアにいるコルネリオをたずねるために出発します。

コルネリオは，親族や親しい友だちを呼び集めていました。ペテロが着くと，出て来てむかえ，絵にあるように，ペテロの足元にひれふします。でもペテロは，『お立ちください。わたしもただの人間です』と言います。そうです。人をおがむのは正しくないと聖書は教えています。わたしたちはエホバだけを崇拝すべきです。

さて，ペテロは集まっている人々に話します。『わたしは，神に仕えたい人々を神はみな受け入れてくださることがわかります』と，ペテロは言います。ペテロが話しているあいだに，神は聖霊を送られ，人々は，いろいろのちがった国のことばで話しはじめます。ペテロといっしょに来ていたヘブライ人の弟子たちはおどろきます。神はユダヤ人だけに恵みをおあたえになる，と考えていたからです。神はどの人種の人々をも，他の人種の人々よりすぐれているとか，重要であるという見方はされないことを，かれらはこのことから教えられます。それは，わたしたちみんなが，おぼえておくとよいことではありませんか。　使徒 10:1-48; 11:1-18。啓示 19:10。

テモテ—パウロの新しい助け手　110

パウロといっしょにいるこの青年はテモテです。テモテは家族といっしょにルステラに住んでいます。母親の名はユニケ，祖母の名はロイスです。

パウロがルステラに来たのは，これで三度めです。一年ほど前，パウロとバルナバは伝道旅行で初めてここに来ました。そして，今また友だちのシラスとともにもどって来ました。

パウロはテモテに何と言っているのでしょう。『シラスやわたしといっしょに行きませんか。遠い国の人々に伝道するのに，あなたの助けはとても役立つと思います』と，パウロは言っているのです。

『はい，わたしも行きたいと思います』と，テモテは答えます。その後まもなく，テモテは家族のもとを離れ，パウロやシラスとともに出かけます。しかし，三人の旅行のことを取り上げる前に，今までパウロにどんなことがあったのか調べてみましょう。ダマスカスへ行く途中でイエスがパウロに現われてから，約17年たちました。

イエスの弟子たちに危害を加えようとして，パウロがダマスカスへ行ったのを，おぼえていますね。でも，今はパウロ自身がイエスの弟子になっています。のちになって一部の敵は，パウロがイエスについて教えている事柄をきらって，パウロを殺す計画を立てます。しかし，弟子たちはパウロをかごに入れ，町の城へきの外へつり降ろしてにがします。

その後，パウロはアンティオキアへ伝道に行きます。イエスの弟子たちが，初めてクリスチャンと呼ばれるようになったのはここです。それからパウロとバルナバが，アンティオキアから遠

く離れた国々に，伝道旅行に送り出されます。ふたりが訪問する町の一つは，テモテの郷里，ルステラです。

さて，一年ほどして，パウロは二回めの旅行でルステラにもどります。こんどテモテが，パウロやシラスといっしょに出かけるところはどこでしょうか。では地図を見て，いくつかの場所をたどってみましょう。

まず，かれらは近くのイコニオムに行きます。つぎに二番めの都市アンティオキアに行きます。そのあと北の方のトロアスに向かって旅をし，さらにフィリピ，テサロニケ，そしてベレアへ行きます。地図の中のアテネがわかりますか。パウロはここで伝道します。そのあとかれらはコリントで，一年半を伝道に費やします。最後にエフェソスでほんのしばらくとどまり，それから船でカエサレアにもどり，北のアンティオキアまで行き，パウロはそこにとどまります。

ですからテモテは，何百キロもの旅をして，パウロが「良いたより」を宣べ伝え，多くのクリスチャン会衆をつくるのを，手伝いました。あなたも大きくなったら，テモテのような忠実な神のしもべになりますか。使徒 9:19-30; 11:19-26; 13章から17章; 18:1-22。

ねむりこんだ少年

おや！　これはどうしたことでしょう。地面にたおれている少年は，ひどいけがをしたのでしょうか。ごらんなさい！　家の中から出て来た人たちの中にパウロがいます。テモテもいますね。少年は窓から落ちたのでしょうか。

そうです，そのとおりなのです。パウロは，ここトロアスで，弟子たちに話をしていました。次の日に船出しなければならなかったので，弟子たちとは長いあいだ会えないことを，パウロは知っていました。それで真夜中まで話しつづけました。

さて，このユテコという少年は，窓のところに腰をかけていましたが，ねむりこんでしまい，その三階の窓から地面に落ちてしまったのです。それで，みんな心配そうな顔をしているのです。人々が少年をだき起こしてみると，心配していたとおりです。少年は死んでいます！

パウロは，少年が死んでいるのを見ると，その上に身をふせて少年をだきかかえ，『心配することはありません。だいじょうぶです！』と言います。ほんとうです！奇跡です！　パウロは少年を生き返らせたのです！　集まっていた大勢の人々のあいだに，大きな喜びがわき起こります。

かれらはまた階上にもどり，食事をします。そしてパウロは明け方まで話しつづけます。でも，ユテコはもうねむりこんだりはしません。それから，パウロとテモテ，そしてかれらといっしょに旅をしている人々は，船に乗りこみます。かれらはどこへ行くのでしょう。

パウロは，三回めの伝道旅行を終えるところで，今帰る途中です。今回の旅行では，パウロはエフェソスの町にだけでも，三年たい在しました。ですから，こんどの方が，二回めの伝道旅行よりも長い旅です。

トロアスをたってから，船はしばらくミレトスに寄ります。エフェソスはそこから数キロしか離れていないので，パウロは会衆の年長者たちと最後に話したいと思い，ミレトスまで来るよう，かれらに使いをやります。そのあと，船が出る時になって，年長者たちは，とてもさびしい思いでパウロを見送ります。

船はついにカエサレアにもどります。パウロが，弟子フィリポの家にとまっているときに，預言者アガボが，エルサレムへ行くとあなたはとらえられる，とパウロに警告します。まさしくそのとおりになります。それから，カエサレアで二年のあいだろう屋に入れられていたあと，パウロはローマに送られます。ローマの支配者カエサルの前に立って，裁判を受けるためです。では，ローマまでの旅の途中でどんなことが起きるか，見てみましょう。　使徒 19章から26章まで。

難破して島につく

ごらんなさい！ 船が難破して，ばらばらにこわれかけています。海の中に飛びこんだ人々が見えますか。もう岸に上がって来ている人たちもいます。あれはパウロでしょうか。では，パウロの身にどんなことが起きたのか，調べてみましょう。

パウロがカエサレアで二年間ろう屋に入れられていたことは，おぼえていますね。そのあとパウロと他のいく人かの囚人は船に乗せられ，ローマに向けて出発します。しかし，クレタという島の近くを通るときに，船ははげしいあらしにあいます。風がとても強くて，船のかじを取ることができません。それに，昼間は太陽が見えず，

夜は夜で星も見えません。そうした日がいく日もすぎて，船に乗っていた人々は，もう助かる見こみはないとあきらめてしまいます。

そのときパウロが立ち上がって言います。『あなたがたのうち，だれも死ぬ人はありません。船だけが失われます。ゆうべ，神のみ使いがわたしに現われて，「おそれることはありません，パウロ。あなたはローマの支配者カエサルの前に立たねばなりません。ですから神は，あなたといっしょに航海している人々を，みなお救いになります」と言ったからです』。

あらしが始まってから14日めの真夜中ごろ，水夫たちは，海がだんだん浅くなってきたことに気づきます。それで船が岩礁に乗り上げるのをおそれて，いかりをおろします。夜が明けると，入り江が見えたので，水夫たちはその浜に船を乗り入れることにします。

しかし，岸に近づいたとき，船は浅瀬に乗り上げて，動かなくなってしまいます。船はあら波に打たれてばらばらにこわれはじめます。責任者の士官は，泳げる者はみな海に飛びこんで，岸に向かって泳ぎなさい。泳げない者はかれらのあとから飛びこんで，船の板切れにつかまっていなさい』と言います。それでかれらは言われたとおりにします。こうして，み使いが約束したように，船に乗っていた276人は全員，無事に岸に着きました。

その島はマルタと呼ばれています。人々はとても親切で，船から来た人たちの世話をしてくれます。天気がよくなってから，パウロは別の船に乗せられ，ローマに連れて行かれます。 使徒 27:1-44; 28:1-14。

パウロは手をくさりでつながれていますね。そしてローマの兵士がパウロを監視しています。ローマにいるパウロは，囚人の身です。パウロは，ローマのカエサルがパウロをどうするか決めるまで，待っているのです。パウロは囚人なのですが，人々はパウロのところに来ることを許されています。

ローマに着いてから三日たって，パウロはユダヤ人のおもだった人たちに，会いに来るようにと，人を通して伝えます。その結果，ローマにいるユダヤ人がたくさんやって来ます。パウロはその人たちに，イエスと神の王国について話します。ある人々は信じてクリスチャンになりますが，他の人々は信じません

パウロはまた，見張りの兵士にも伝道します。囚人としてここにいる二年のあいだ，パウロはできるかぎりすべての人に伝道します。その結果，カエサルの家の者までが王国の良いたよりを聞き，そのうちのいく人かがクリスチャンになります。

しかし，机に向かって書き物をしている訪問者はだれでしょう。あててごらんなさい。そうです，テモテです。テモテも，王国のことを伝道したという理由で，ろう屋に入れられていたのですが，また自由の身になり，パウロの手伝いをするためにここに来ました。テモテは何を書いているのでしょう。では調べてみましょう。

第110話に出てくるフィリピとエフェソスの町をおぼえていますか。パウロはそれらの町に，クリスチャン会衆をつくることを助けました。そしてろう屋に入れられている今，それらのクリスチャンに手紙を書いているのです。その手紙は聖書の中におさめられていて，エフェソス人への手紙，フィリピ人への手紙と呼ばれています。パウロは今，フィリピにいるクリスチャンの友だちに書く事柄を，テモテに告げているところです。

フィリピの人々はパウロにとても親切でした。ろう屋の中のパウロに，物を送り届けてくれました。それでパウロは，感謝のことばを述べているのです。その贈り物を持って来たのは，エパフロデトです。ところがかれは重い病気にかかり，今にも死ぬほどでした。でもまた元気になり，帰る用意をしています。エパフロデトは，フィリピにもどるときに，パウロとテモテからのこの手紙を持って行くのです。

パウロはろう屋にいるあいだに，もう二通の手紙を書きます。それも聖書にのせられています。一通は，コロサイの町のクリスチャンたちにあてたものです。それはなんと呼ばれているでしょうか。コロサイ人への手紙です。もう一通は，やはりコロサイに住んでいる，フィレモンという親しい友だちにあてた，個人的な手紙です。その手紙には，フィレモンのしもべオネシモのことが書かれています。

オネシモは，フィレモンのところからにげてローマに来ました。そしてパウロがろう屋に入れられていることを知って，たずねて来ます。パウロはオネシモに伝道し，やがてオネシモもクリスチャンになります。今では，にげたことをこうかいしています。パウロは，このフィレモンあての手紙に，どんなことを書くでしょうか。

パウロは，オネシモを許すように，フィレモンにたのみます。『わたしはかれを，あなたのもとに送り返します。しかし今かれはあなたのしもべであるだけではありません。りっぱなクリスチャンの兄弟でもあるのです』と書きます。オネシモはコロサイへもどるときに，この二通の手紙を持って行き，一通をコロサイの人々へ，もう一通をフィレモンにわたします。自分のしもべがクリスチャンになったことを知るとき，フィレモンがどんなに喜ぶか，想像できますね。

パウロは，フィリピの人々とフィレモンに手紙を書くときに，良い知らせを持っています。『わたしはあなたがたのもとにテモテを行かせます』，『しかし，わたしもまもなく，あなたがたのところへ行きます』と，フィリピの人々に伝え，フィレモンには，『そちらに，わたしのとまるところを用意してください』と書きます。

パウロは，釈放されると，多くの場所のクリスチャンの兄弟姉妹を訪問しますが，のちにまたローマで投ごくされます。こんどは殺されることをパウロは知っています。それでテモテに急いで来るよう手紙でたのみます。『わたしは神に忠実でした。ですから神は報いてくださいます』と，パウロは書きます。パウロの処けいから数年後に，エルサレムは再び破壊されます。こんどはローマ人が破壊します。

でも，聖書はこれで終わるのではありません。エホバ神は使徒ヨハネに，聖書の終わりの部分を書かせます。その中に啓示の書があります。聖書のこの本は，将来のことを告げています。では，将来はどのようになるのでしょうか，調べてみましょう。

使徒 28:16-31。フィリピ 1:13; 2:1, 12-14; 2:19-30; 4:18-23。ヘブライ 13:23。
フィレモン 1-25。コロサイ 4:7-9。テモテ第二 4:7-9。

聖書が予告していることは実現する

聖書は，むかし起きたことをそのまま伝えているだけでなく，将来に起きることも告げています。人間は将来のことを告げることはできないので，わたしたちは，聖書が神からのものであるとわかるのです。聖書は，将来についてなんと言っているでしょうか。

聖書には，神の行なわれる大きな戦争のことが書いてあります。この戦争で，神は悪い事と悪い人々を全部取り除いて，地球をきれいにされます。しかし，神に仕える人々は守られます。神の王イエス・キリストは，神のしもべたちが平和と幸福を楽しむように，また病気にかかったり，死んだりすることが決してないようにしてくださいます。

神が地上に新しい楽園を作ってくださるのは，ほんとうにうれしいことではありませんか。しかし，その楽園に住みたいなら，わたしたちにもしなければならないことがあります。この本の最後の部分では，神に仕える人々のために神が用意していてくださるものにあずかるために，わたしたちは何をすべきかを学びます。それで，第８部を読んで，聖書が将来をどのように予告しているかを，調べてください。

すべての悪の終わり

これは何の絵でしょうか。そうです，白い馬に乗った軍隊です。しかし，これがどこから来ているかを，よく見てください。これらの馬は，雲に乗って天からはせ下っていますね。でもほんとうに天に馬がいるのでしょうか。

いいえ，これらはほんとうの馬ではありません。なぜそれがわかるかというと，馬は雲に乗って走ることなどできないからです。しかし，聖書はたしかに天の馬について述べています。なぜでしょうか。

それは，むかし馬が戦争によく使われたからです。それで聖書は，神が地上の人々と戦争を行なわれることを示すために，馬に乗って天から下る者のことを述べているのです。この戦いの場所がなんと呼ばれているか，知っていますか。ハルマゲドンと呼ばれています。この戦争は，地上にある悪いものを全部ほろぼしてしまうのです。

このハルマゲドンでの戦いで先頭に立つのは，イエスです。エホバがご自分の政府の王としてお選びになったのがイエスであることは，おぼえていますね。それで，イエスは王冠をつけておられるのです。つるぎは，イエスが神の敵をみな殺しにされることを示しています。神が悪い人々をひとり残らずほろぼされることを聞いてびっくりすべきですか。

第10話をもう一度見てごらんなさい。それはどういう場面ですか。そうです，悪い人々をほろぼした大洪水です。この大洪水を起こしたのはだれですか。エホバ神です。つぎに第15話を見てください。そこでは何が起きていますか。ソドムとゴモラが，エホバの降らせた火でほろぼされています。

第33話を開いてください。エジプト人の馬と戦車はどうなっていますか。かれらの上に水が押し寄せるようにしたのはだれですか。エホバです。ご自分の民を保護するために，そうなさったのです。第76話では，エホバがご自分の民のイスラエル人をさえ，その悪のゆえにほろぼされたことがわかるでしょう。

ですから，地上の悪い事を全部なくすために，エホバが天の軍勢を送られることを，わたしたちはおどろいてはならないのです。しかし，それが何を意味するかを考えてごらんなさい！ では次のページを開いてみましょう。　　啓示 16:16; 19:11-16。

地上の新しい楽園

この大きな木やきれいな花，そして高い山々を見てごらんなさい。ここはたいへん美しいところですね。しかが，小さな男の子の手からえさを食べています。ライオンや，向こうの牧場に立っている馬をごらんなさい。こんな場所にある家に住んでみたいとは思いませんか。

神は，あなたが地上の楽園で永遠に住むこと，またあなたが，今日人々を苦しめているどんな痛みや苦しみにもあわないことを，望んでいらっしゃいます。聖書は，新しい楽園に住む人々に，『神がかれらとともにおられます。死も，さけびも，痛みも，もはやありません。古いものはすぎ去ったのです』と約束しています。

イエスは，このすばらしい変化が，必ず起こるようにされます。それはいつのことでしょうか。それは，悪い事や悪い人々を全部取り除いて，地球をきれいになさっ

てからです。イエスは地上におられたとき，あらゆる種類の病人を治し，死んでいる人々をよみがえらせることまでなさいましたね。イエスは，ご自分が神の王国の王になるときに，全世界でどんなことを行なうかを示して，それらのことを行なわれたのです。

地上の新しい楽園がどんなにすばらしいか，考えてごらんなさい。イエスは，ご自分がお選びになった人々とともに，天で支配なさるのです。これらの支配者は，地上に住むすべての人の世話をし，かれらが幸福にすごすように見守るのです。では，神の新しい楽園の中で，神から永遠の命をたしかにいただけるようになるには，何をしなければならないかを調べましょう。

啓示 21:3，4；5:9，10；14:1-3。

わたしの
聖書物語
の本
聖書

どうすれば永遠に生きられますか 116

この少女は友だちと何を読んでいるのでしょう。そうです，あなたが読んでいるこの本—「わたしの聖書物語の本」— です。そして，今あなたが読んでいるところ，「どうすれば永遠に生きられますか」のところを読んでいるのです。

子供たちは，どんなことを学んでいるでしょうか。まず，永遠に生きたいなら，エホバと，エホバのみ子イエスを知らねばならない，ということです。聖書にはこのように書かれています。『これが永遠に生きるための道です。ゆいいつのまことの神，そして神が地につかわされたみ子イエス・キリストについて学びなさい』。

では，どうすれば，エホバ神とそのみ子イエスについて学べるでしょうか。ひとつの方法は，「わたしの聖書物語の本」を，初めから終わりまで読むことです。この本は，エホバとイエスについて，たくさんのことを教えていますね。また，おふたりがなさった事，これからなさろうとしている事柄についても，たくさん述べています。でも，この本を読むだけでなく，それ以上のことをしなければなりません。

床の上にもう一冊の本があるのが見えるでしょう。それは聖書です。この本の物語のもとになっている聖書の部分を，だれかに読んでもらったことがありますか。聖書は，わたしたちがみな正しい仕方でエホバに仕え，永遠の命をいただけるように，わたしたちに必要な知識を全部あたえてくれます。ですから，わたしたちは，いつも聖書を勉強する習慣を身につけなければなりません。

といっても，エホバ神とイエス・キリストのことを学ぶだけでよい，というわけではありません。わたしたちはエホバとイエスについて，またおふたりの教えについて，もっとたくさん勉強することができますが，それでも永遠の命は得られません。このほかに何が必要なのでしょうか。

学ぶ事柄に一致した生き方をすることも必要です。ユダ・イスカリオテのことをおぼえていますか。ユダは，イエスが使徒としてお選びになった12人の中のひとりでした。そして，エホバとイエスについてたくさんのことを知っていました。でも，ユダはどうなりましたか。しばらくすると利己的になり，銀貨30枚でイエスを敵に売りました。ですから，ユダは永遠の命を受けられません。

第69話で学んだゲハジのことをおぼえていますか。ゲハジは，自分のものでもない着物とお金を手に入れたいと思いました。そこでそれを手に入れるために，うそを言いました。でも，エホバはゲハジにばつを加えられました。もしわたしたちがエホバのおきてにしたがわないなら，エホバはわたしたちにもばつを加えられます。

しかし，いつもエホバに忠実に仕える，良い人たちもたくさんいます。わたしたちも，そういう人たちのようになりたいものですね。小さなサムエルは良い手本です。第55話で見たように，エホバの幕屋でエホバに仕えはじめたとき，サムエルはたった四歳か五歳であったことを，思い出してください。ですから，あなたがどんなに若くても，エホバに仕えるのに若すぎる，ということはないのです。

もちろん，わたしたちみんなが手本としなければならないのは，イエス・キリストです。第87話にあるように，イエスは少年のときでも，神殿の中にいて，ご自分の天の父について，他の人々に話しておられました。わたしたちも，イエスの模範にならいましょう。わたしたちのすばらしい神エホバとそのみ子について，できるだけ多くの人に話しましょう。そうすれば，わたしたちは神の新しい地上の楽園で永遠に生きることができるでしょう。

ヨハネ 17:3。詩 145:1-21。

「わたしの聖書物語の本」の研究用の質問

第1話

神はものを作ることをお始めになる

1. すべての良いものはどこから来ていますか。どんな例がありますか。
2. 神は最初に何を創造されましたか。
3. 最初のみ使いはなぜ特別な方でしたか。
4. 地球は最初どんな状態だったか説明してください。
5. 神は動物や人間のために地球を整えることをどのようにお始めになりましたか。

付加的な質問:

1. ***エレミヤ 10:12を読んでください。***
創造物を通して，神のどんな特質が示されていますか。（イザ 40:26。ロマ 11:33）
2. ***コロサイ 1:15-17を読んでください。***
イエスは創造の時にどんな役割を果たしましたか。それで，わたしたちはイエスをどう見るべきですか。（コロ 1:15-17）
3. ***創世記 1:1-10を読んでください。***
（イ）地球にはどんな起源がありますか。（創 1:1）
（ロ）創造の一日目にはどんなことが起きましたか。（創 1:3-5）
（ハ）創造の二日目にはどんなことが起きましたか。（創 1:7, 8）

第2話

美しい園

1. 神は人間の住みかとなるよう地球をどのように整えてくださいましたか。
2. 神がお作りになったさまざまな種類の動物について説明してください。（さし絵を見てください。）
3. エデンの園が特別な所だったのはなぜですか。
4. 神は地球全体をどのような所にしたいと思っておられましたか。

付加的な質問:

1. ***創世記 1:11-25を読んでください。***
（イ）神は創造の三日目に何を創造なさいましたか。（創 1:12）
（ロ）創造の四日目には何が起きましたか。（創 1:16）
（ハ）神は五日目と六日目にどんな種類の動物をお作りになりましたか。（創 1:20, 21, 25）
2. ***創世記 2:8, 9を読んでください。***
神は園にどんな2本の特別な木を生えさせましたか。それらの木は何を象徴していましたか。

第3話

最初の男女

1. 第3話の絵と第2話の絵はどこがちがいますか。
2. 最初の男を作ったのはだれですか。その男の人は何という名前でしたか。
3. 神はアダムにどんな仕事をおあたえになりましたか。
4. 神がアダムを深く眠らせたのはなぜですか。
5. アダムとエバにはどれほど長く生きる見こみがありましたか。エホバはふたりにどんな仕事をさせたいと思われましたか。

付加的な質問:

1. ***詩編 83:18を読んでください。***
神の名前は何といいますか。神は地に対してどんな比類のない立場を占めていますか。（エレ 16:21。ダニ 4:17）
2. ***創世記 1:26-31を読んでください。***
（イ）神は六日目に，創造の最高潮となる何を造られましたか。その創造物は動物とどこが違っていましたか。（創 1:26）
（ロ）エホバは人間と動物の食物としてどんなものをお与えになりましたか。（創 1:30）
3. ***創世記 2:7-25を読んでください。***
（イ）アダムに与えられた，動物に名前を付けるという仕事はどのように行なわれましたか。（創 2:19）
（ロ）創世記 2章24節は，結婚や別居や離婚に対するエホバの見方を理解するのにどのように役立ちますか。（マタ 19:4-6, 9）

第4話

ふたりはなぜ住みかを失ったか

1. このさし絵は，アダムとエバがどうされているところですか。
2. エホバがふたりをばっしたのはなぜですか。
3. へびはエバに何と言いましたか。
4. へびがエバに話しかけるようにさせたのはだれですか。
5. アダムとエバが楽園の住みかを失ったのはなぜですか。

付加的な質問:

1. ***創世記 2:16, 17; 3:1-13, 24を読んでください。***
（イ）へびがエバにした質問は，どんな点でエホバを誤り伝えていましたか。（創 3:1-5。ヨハ一 5:3）
（ロ）エバはわたしたちにとってどんな警告の例となりますか。（フィリ 4:8。ヤコ 1:14, 15。ヨハ一 2:16）

(ハ) アダムとエバは，どのようにして，自分の行動の言い訳をしましたか。(創 3:12, 13)

(ニ) エデンの園の東に配置されたケルブたちはどのようにエホバの主権を守りましたか。(創 3:24)

2. *啓示 12:9を読んでください。*

サタンは，人類を神の支配権に逆らわせることにどれほど成功していますか。(ヨハ一 5:19)

第5話

苦しい生活が始まる

1. エデンの園の外で，アダムとエバはどんな生活を送るようになりましたか。

2. アダムとエバにどんなことが生じはじめましたか。なぜですか。

3. アダムとエバの子供たちが年老いて死ぬのはなぜですか。

4. アダムとエバがエホバに従っていたら，ふたりとその子供たちの生活はどのようなものになっていたでしょうか。

5. エバは不従順だったため，どんな苦しい思いをしましたか。

6. アダムとエバがもうけた最初のふたりの息子は何という名前でしたか。

7. さし絵の中のほかの子供たちはだれですか。

付加的な質問：

1. *創世記 3:16-23; 4:1, 2を読んでください。*

(イ) 地面がのろわれたために，アダムの生活はどんな影響を受けましたか。(創 3:17-19。ロマ 8:20, 22)

(ロ)「生ける者」を意味するエバという名前が適切だったのはなぜですか。(創 3:20)

(ハ) アダムとエバが罪を犯したあとでさえ，エホバは二人に対してどのように配慮をお示しになりましたか。(創 3:7, 21)

2. *啓示 21:3, 4を読んでください。*

あなたは，どんな「以前のもの」が取り除かれるのを見たいと願っていますか。

第6話

良い息子と悪い息子

1. カインとアベルはどんな仕事をするようになりますか。

2. カインとアベルはエホバにどんな供え物を持って来ますか。

3. エホバがアベルの供え物を喜ばれ，カインの供え物を喜ばれないのはなぜですか。

4. カインはどんな人ですか。エホバはどのようにカインを正そうとなさいますか。

5. カインは野原で弟とふたりだけになった時，何をしますか。

6. 弟を殺したあと，カインがどうなったか説明してください。

付加的な質問：

1. *創世記 4:2-26を読んでください。*

(イ) エホバはカインが危険な立場にいることについて，どのように説明されましたか。(創 4:7)

(ロ) カインはどんな心の態度を示しましたか。(創 4:9)

(ハ) エホバは罪のない血を流すことをどうご覧になりますか。(創 4:10。イザ 26:21)

2. *ヨハネ第一 3:11, 12を読んでください。*

(イ) カインが怒りに燃えたのはなぜですか。このことは今日のわたしたちに対するどんな警告となりますか。(創 4:4, 5。箴 14:30; 28:22)

(ロ) 家族が皆エホバに反対していても，忠誠を保てるということを聖書はどのように示していますか。(詩 27:10。マタ 10:21, 22)

3. *ヨハネ 11:25を読んでください。*

義のために死ぬ人すべてについて，エホバはどんなことを保証しておられますか。(ヨハ 5:24)

第7話

勇気のある人

1. エノクはどんな点でまわりの人とちがっていましたか。

2. エノクの時代の人々が悪いことをたくさんしたのはなぜですか。

3. 人々はどんな悪いことをしていましたか。(さし絵を見てください。)

4. エノクにとって勇気が必要だったのはなぜですか。

5. そのころの人々はどれほど長く生きましたか。しかし，エノクはどれだけ生きましたか。

6. エノクが死んだあと，人々はどうなりましたか。

付加的な質問：

1. *創世記 5:21-24, 27を読んでください。*

(イ) エノクはエホバとどんな関係にありましたか。(創 5:24)

(ロ) 聖書によると，これまでいちばん長生きした人はだれですか。その人は何歳で死にましたか。(創 5:27)

2. *創世記 6:5を読んでください。*

エノクが死んだあと，地上の状態はどれほど悪くなりましたか。それは今の時代とどのように似ていますか。(テモ二 3:13)

3. *ヘブライ 11:5を読んでください。*

エノクのどんな特質は「神を十分に喜ばせ」ましたか。どんな結果になりましたか。(創 5:22)

4. *ユダ 14, 15を読んでください。*

今日のクリスチャンは，来たるべきハルマゲドンの戦いについて人々に警告するとき，どのようにエノクの勇気に見倣えますか。(テモ二 4:2。ヘブ 13:6)

第8話

地上の巨人たち

1. 神のみ使いの中のある者たちがサタンに聞き従った時，どんなことが起きましたか。

2. み使いのある者たちが，天での仕事をやめて地上に降りて来たのはなぜですか。

3. み使いたちが地上に降りて来て，自分のからだを人間のからだにしたのはなぜまちがったことでしたか。

4. み使いの子供たちはほかの人とどこがちがっていましたか。

5. さし絵を見ると分かるとおり，み使いの子供たちは巨人になって，何をしましたか。

6. エノクのあと，地上に住んでいた良い人はだれですか。神がその人に好意を持たれたのはなぜですか。

付加的な質問：

1. ***創世記 6:1-8を読んでください。***

わたしたちの行ないがエホバの感情に与える影響について，創世記6章6節から何が分かりますか。（詩 78:40, 41。箴 27:11）

2. ***ユダ 6を読んでください。***

ノアの時代にみ使いたちが『自分本来の立場を保たなかった』ことは，今日のわたしたちにとってどんな論しになりますか。（コリ一 3:5-9。ペテ二 2:4, 9, 10）

第9話

ノアは箱船を造る

1. ノアの家族は何人でしたか。三人の息子の名前は何といいましたか。

2. 神はノアにどんな変わったことを行なうようお命じになりましたか。なぜですか。

3. ノアが箱船について話した時，まわりの人たちはどんな反応を示しましたか。

4. 神は，動物をどうするようノアにお命じになりましたか。

5. 神が箱船の戸を閉じたあと，ノアとその家族はどうする必要がありましたか。

付加的な質問：

1. ***創世記 6:9-22を読んでください。***

（イ）ノアがまことの神の崇拝者として際立っていたのはなぜですか。（創 6:9, 22）

（ロ）エホバは暴力についてどうお感じになりますか。そのことはわたしたちの娯楽の選択にどう影響するはずですか。（創 6:11,12。詩 11:5）

（ハ）エホバの組織を通して指示を受けた時，どのようにノアに見倣えますか。（創 6:22。ヨハ一 5:3）

2. ***創世記 7:1-9を読んでください。***

エホバが不完全なノアを義なる者とみなされたということは，今日のわたしたちにとってどんな励みとなりますか。（創 7:1。箴 10:16。イザ 26:7）

第10話

大洪水

1. 雨が降りはじめたあとは，だれも箱船にはいれなかったのはなぜですか。

2. エホバはいく日いく夜，雨を降らせましたか。水はどれほど深くなりましたか。

3. 水が陸地をおおいはじめると，箱船はどうなりましたか。

4. 巨人たちは大洪水を生き残りましたか。巨人の父親たちはどうなりましたか。

5. 箱船は5か月後に，どうなりましたか。

6. ノアがからすを箱船から飛ばしたのはなぜですか。

7. ノアは陸地の水が引いたことをどうして知りましたか。

8. ノアとその家族が箱船にはいってから一年以上たった時，神はノアに何とおっしゃいましたか。

付加的な質問：

1. ***創世記 7:10-24を読んでください。***

（イ）地上の生き物にもたらされた滅びはどれほど徹底的なものでしたか。（創 7:23）

（ロ）洪水の水が引くのにどれほど時間がかかりましたか。（創 7:24）

2. ***創世記 8:1-17を読んでください。***

創世記 8章17節は，地に対するエホバの当初の目的が変わっていないことをどのように示していますか。（創 1:22）

3. ***ペテロ第一 3:19, 20を読んでください。***

（イ）反逆したみ使いたちは，天に戻ってからどんな裁きを受けましたか。（ユダ 6）

（ロ）ノアとその家族の記録を読むと，ご自分の民を救出するエホバの能力について，どのように確信が強められますか。（ペテ二 2:9,10）

第11話

初めてのにじ

1. さし絵にあるように，ノアは箱船から出た時，最初に何をしましたか。

2. 神は大洪水のあとノアとその家族にどんな命令をおあたえになりましたか。

3. 神はどんな約束をなさいましたか。

4. にじを見たら何を思い出す必要がありますか。

付加的な質問：

1. ***創世記 8:18-22を読んでください。***

（イ）今日どうすればエホバに「安らぎの香り」をささげられますか。（創 8:21。ヘブ 13:15, 16）

（ロ）エホバは人間の心の状態について何とおっしゃいましたか。その言葉からすると，わたしたちはどんなことに用心する必要がありますか。（創 8:21。マタ 15:18, 19）

2. ***創世記 9:9-17を読んでください。***

（イ）エホバは地のすべての生き物とどんな契約を結ばれましたか。（創 9:10, 11）

（ロ）虹の契約はどれほどの期間有効ですか。（創 9:16）

第12話

人々は大きなとうを建てる

1. ニムロデとはどういう人でしたか。神はニムロデをどう思っておられましたか。

2. さし絵の中の人々は，なぜれんがを作っているのですか。

3. エホバがその建設工事を喜ばれなかったのはなぜですか。

4. 神はとうを建てることをどのようにやめさせましたか。

5. その都市は何と呼ばれましたか。その名にはどのような意味がありますか。
6. 神によってことばが乱された後，人々はどうなりましたか。

付加的な質問：

1. ***創世記 10:1, 8-10を読んでください。***
ニムロデはどんな特質を示しましたか。このことはわたしたちにとってどんな警告になりますか。（箴 3:31）
2. ***創世記 11:1-9を読んでください。***
塔の建設はどんな動機で行なわれましたか。その計画が失敗に終わることになっていたのはなぜですか。（創 11:4。箴 16:18。ヨハ 5:44）

第13話

神の友アブラハム

1. ウルという都市にはどんな人々が住んでいましたか。
2. さし絵の中の人はだれですか。この人はいつ生まれ，どこに住んでいましたか。
3. 神はアブラハムに何をするようお命じになりましたか。
4. アブラハムが神の友と呼ばれたのはなぜですか。
5. アブラハムがウルを出る時，だれがついて行きましたか。
6. アブラハムがカナンの地に着くと，神はアブラハムに何とおっしゃいましたか。
7. アブラハムが99歳の時，神はどんな約束をなさいましたか。

付加的な質問：

1. ***創世記 11:27-32を読んでください。***
（イ）アブラハムとロトはどんな関係にありましたか。（創 11:27）
（ロ）テラが家族を連れてカナンに引っ越したことになっていますが，実際にはアブラハムが先頭に立ってこの引っ越しを行なったと言えるのはどうしてですか。アブラハムがそうしたのはなぜですか。（創 11:31。使徒 7:2-4）
2. ***創世記 12:1-7を読んでください。***
アブラハムがカナンの地に着いた後，エホバはアブラハム契約をどのように詳述されましたか。（創 12:7）
3. ***創世記 17:1-8, 15-17を読んでください。***
（イ）アブラムは99歳の時，何という名前に変えられましたか。なぜでしたか。（創 17:5）
（ロ）エホバはサラに将来どんな祝福を与えると約束なさいましたか。（創 17:15, 16）
4. ***創世記 18:9-19を読んでください。***
（イ）創世記 18章19節には，父親が果たすべきどんな責任が述べられていますか。（申 6:6, 7。エフェ 6:4）
（ロ）エホバに隠し事はできないということはサラのどんな経験から分かりますか。（創 18:12, 15。詩 44:21）

第14話

神はアブラハムの信仰をためされる

1. 神はアブラハムにどんな約束をなさいましたか。その約束をどのように守られましたか。
2. さし絵にあるように，神はアブラハムの信仰をどのようにためされましたか。
3. アブラハムは，神がお命じになったことの理由がわからなかったのに，何をしましたか。
4. アブラハムがナイフを取り出して息子を殺そうとした時，どんなことが起きましたか。
5. 神に対するアブラハムの信仰はどれほど強いものでしたか。
6. 神はアブラハムが犠牲に用いるよう，どんなものをおあたえになりましたか。どのようにしてですか。

付加的な質問：

1. ***創世記 21:1-7を読んでください。***
アブラハムが，生まれて八日目の息子に割礼を施したのはなぜですか。（創 17:10-12; 21:4）
2. ***創世記 22:1-18を読んでください。***
イサクは父親アブラハムへの服従をどのように示しましたか。そのことはさらに重要な将来の出来事をどのように予表していましたか。（創 22:7-9。コリ一 5:7。フィリ 2:8, 9）

第15話

ふり返ったロトの妻

1. アブラハムとロトが別れたのはなぜですか。
2. ロトがソドムに住むことを選んだのはなぜですか。
3. ソドムの人たちはどんな人々でしたか。
4. ふたりのみ使いはロトにどんな警告をあたえましたか。
5. ロトの妻が塩の柱になったのはなぜですか。
6. ロトの妻の例からどんな教訓を学べますか。

付加的な質問：

1. ***創世記 13:5-13を読んでください。***
個人間の問題を解決する点で，アブラハムからどんな教訓を学べますか。（創 13:8, 9。ロマ 12:10。フィリ 2:3, 4）
2. ***創世記 18:20-33を読んでください。***
アブラハムに対するエホバの扱いから，エホバとイエスは義にかなった裁きを行なわれるという確信が得られます。どうしてそう言えますか。（創 18:25, 26。マタ 25:31-33）
3. ***創世記 19:1-29を読んでください。***
（イ）同性愛に対する神の見方について，この聖書の記録から何が分かりますか。（創 19:5, 13。レビ 20:13）
（ロ）ロトとアブラハムは神の指示に対してどのように異なる反応を示しましたか。このことからどんな教訓を学べますか。（創 19:15, 16, 19, 20; 22:3）
4. ***ルカ 17:28-32を読んでください。***
物質に対するロトの妻の心の傾向はどのようなものでしたか。そのことはわたしたちにとってどのような警告となりますか。（ルカ 12:15; 17:31, 32。マタ 6:19-21, 25）
5. ***ペテロ第二 2:6-8を読んでください。***
ロトに見倣い，周囲の不敬虔な世に対してどんな態度を取るべきですか。（エゼ 9:4。ヨハ一 2:15-17）

第16話

イサクは良い妻をむかえる

1. さし絵の中の男の人と女の人はだれですか。

2. アブラハムは，息子のためによめをむかえようとして，どんなことをしましたか。なぜですか。

3. アブラハムのしもべの祈りはどのように聞かれましたか。

4. リベカは，イサクと結こんする気持ちがあるかどうか聞かれた時，何と答えましたか。

5. イサクが再び幸福になったのはなぜですか。

付加的な質問:

1. *創世記 24:1-67を読んでください。*

(イ) リベカは井戸のところでアブラハムの僕に会った時，どんな優れた特質を示しましたか。(創 24:17-20。箴 31:17, 31)

(ロ) アブラハムがイサクのために手はずを整えたことは，今日のクリスチャンにとってどんな良い模範となりますか。(創 24:37, 38。コリ一 7:39。コリ二 6:14)

(ハ) イサクのように，黙想の時間を見いだす必要があるのはなぜですか。(創 24:63。詩 77:12。フィリ 4:8)

第17話

性質のちがったふた子

1. エサウとヤコブはどういう人でしたか。ふたりはどのようにちがっていましたか。

2. エサウとヤコブは，おじいさんのアブラハムが死んだとき，何歳でしたか。

3. エサウは父親と母親をたいへん悲しませるどんなことをしましたか。

4. エサウが弟のヤコブに対してたいへん腹を立てたのはなぜですか。

5. イサクは息子のヤコブにどんな指示をあたえましたか。

付加的な質問:

1. *創世記 25:5-11, 20-34を読んでください。*

(イ) リベカの二人の息子についてエホバはどんなことを預言なさいましたか。(創 25:23)

(ロ) ヤコブとエサウは長子の権に対してどんな対照的な態度を示しましたか。(創 25:31-34)

2. *創世記 26:34, 35; 27:1-46; 28:1-5を読んでください。*

(イ) エサウは霊的な物事に対する認識を欠いていたと，何から分かりますか。(創 26:34, 35; 27:46)

(ロ) ヤコブが神の祝福を受けられるように，イサクはヤコブにどうすることを命じましたか。(創 28:1-4)

3. *ヘブライ 12:16, 17を読んでください。*

神聖な物事を軽んじる人の結末について，エサウの例はどんなことを示していますか。

第18話

ヤコブはハランへ行く

1. さし絵の中の若い女の人はだれですか。ヤコブはその人のために何をしてあげましたか。

2. ヤコブはラケルと結こんするために快く何をしましたか。

3. ヤコブがラケルと結こんする時になって，ラバンはどうしましたか。

4. ヤコブはラケルを妻にむかえるために，何をしてもよいと言いましたか。

付加的な質問:

1. *創世記 29:1-30を読んでください。*

(イ) ヤコブはラバンにだまされた時も，尊敬できるりっぱな人であることをどのように証明しましたか。そのことから何が学べますか。(創 25:27; 29:26-28。マタ 5:37)

(ロ) ヤコブの例は，愛と盲目的な恋との違いをどのように示していますか。(創 29:18, 20, 30。歌 8:6)

(ハ) ヤコブの家族になって，ヤコブに息子を産んだ四人の女性とはだれですか。(創 29:23, 24, 28, 29)

第19話

ヤコブは大きな家族を持つ

1. ヤコブが最初の妻レアによってもうけた六人の息子は何という名前ですか。

2. レアに仕えていたジルパは，何というふたりの息子をヤコブに産みましたか。

3. ラケルに仕えていたビルハがヤコブに産んだふたりの息子は何という名前ですか。

4. ラケルは何というふたりの息子を産みましたか。ふたりめの子供を産んだ時，どうなりましたか。

5. さし絵によると，ヤコブには息子が何人いましたか。その息子たちから何ができましたか。

付加的な質問:

1. *創世記 29:32-35; 30:1-26; 35:16-19を読んでください。*

ヤコブの12人の息子の例からも分かるように，昔のヘブライ人の男の子はふつう，どのように命名されましたか。

2. *創世記 37:35を読んでください。*

聖書の中に名前が挙がっているのはディナ(デナ)* だけですが，ヤコブに娘がもっといたことはどうして分かりますか。(創 37:34, 35)

第20話

デナは問題におちいる

1. なぜ，アブラハムとイサクは子供たちがカナンの地の人々と結こんすることを望みませんでしたか。

---

* 以下，かっこ内は文語訳。

2. ヤコブはむすめがカナンの女たちと友だちになることを認めていましたか。

3. さし絵の中で，ディナ(デナ)を見ている男の人はだれですか。この人はどんな悪いことをしましたか。

4. ディナの兄弟のシメオンとレビは，起きたことについて聞いたとき，どうしましたか。

5. ヤコブはシメオンとレビがしたことを良いと思いましたか。

6. この家族の問題は何がもとで始まりましたか。

付加的な質問：

1. *創世記 34:1-31を読んでください。*

(イ) ディナがカナンの地の娘たちと交わったのは1回だけでしたか。説明してください。(創 34:1)

(ロ) ディナが処女を失った責任は，ある程度ディナにもあったとなぜ言えますか。(ガラ 6:7)

(ハ) 今日の若者は，警告となるディナの例を心に留めていることをどのように示せますか。(箴 13:20。コリ一 15:33。ヨハ一 5:19)

第21話
ヨセフは兄弟たちからにくまれる

1. ヨセフの兄弟たちがヨセフをねたんだのはなぜですか。ヨセフをどう思うようになりましたか。

2. ヨセフの兄弟たちはヨセフに何をするつもりですか。しかし，ルベンは何と言いますか。

3. イシュマエル(イシマエル)人の商人がやって来た時，どんなことが行なわれますか。

4. ヨセフの兄弟たちは，ヨセフは死んだと父親に思いこませるため，どうしますか。

付加的な質問：

1. *創世記 37:1-35を読んでください。*

(イ) クリスチャンは，会衆内の悪行を報告する点で，どのようにヨセフの模範に倣えますか。(創 37:2。レビ 5:1。コリ一 1:11)

(ロ) ヨセフの兄弟たちは，どんなことからヨセフに不実な行ないをするようになりましたか。(創 37:11, 18。箴 27:4。ヤコ 3:14-16)

(ハ) ヤコブは正常なこととして深い悲しみをどのように表わしましたか。(創 37:35)

第22話
ヨセフはろう屋に入れられる

1. ヨセフは何歳の時に，エジプトに連れて行かれますか。エジプトに着いてから，どうなりましたか。

2. ヨセフがろう屋にはいることになったのはなぜですか。

3. ヨセフはろう屋で，どんな責任をあたえられますか。

4. ヨセフはろう屋で，ファラオの酒をつぐ人とパン焼き人のために何をしてあげますか。

5. 酒をつぐ人がろう屋から出された後，どんなことが起こりますか。

付加的な質問：

1. *創世記 39:1-23を読んでください。*

ヨセフの時代には，姦淫を非とする，神から与えられた成文法がなかったのに，ヨセフがポテパルの妻から逃げ出したのはなぜですか。(創 2:24; 20:3; 39:9)

2. *創世記 40:1-23を読んでください。*

(イ) 献酌人の見た夢とエホバがヨセフにお与えになった説き明かしを手短に説明してください。(創 40:9-13)

(ロ) パン焼き人はどんな夢を見ましたか。その夢にはどんな意味がありましたか。(創 40:16-19)

(ハ) 今日の忠実で思慮深い奴隷級はヨセフの態度をどのように見倣ってきましたか。(創 40:8。詩 36:9。ヨハ 17:17。使徒 17:2, 3)

(ニ) 創世記 40章20節は，誕生日の祝いに対するクリスチャンの見方を理解するうえで，どのように役立ちますか。(伝 7:1。マル 6:21-28)

第23話
ファラオのゆめ

1. ある夜，ファラオにどんなことが起きますか。

2. 酒をつぐ人が，ついにヨセフのことを思い出したのはなぜですか。

3. さし絵にあるように，ファラオはどんなふたつのゆめを見ますか。

4. ヨセフはふたつのゆめにどんな意味があると言いますか。

5. ヨセフがエジプトでファラオの次に重要な人になったのはどうしてですか。

6. ヨセフの兄たちがエジプトにやって来たのはなぜですか。ヨセフを見てもわからなかったのはなぜですか。

7. ヨセフはどんなゆめを思い出しますか。それによって，どんなことをさとりますか。

付加的な質問：

1. *創世記 41:1-57を読んでください。*

(イ) ヨセフはどのように人々の注意をエホバに向けましたか。今日のクリスチャンはその模範にどのように見倣えますか。(創 41:16, 25, 28。マタ 5:16。ペテ一 2:12)

(ロ) エジプトで生じた数年間の豊作とそれに続く数年間の飢きんは，今日のエホバの民とキリスト教世界の霊的状態に，どのように正確に対応しますか。(創 41:29, 30。アモ 8:11, 12)

2. *創世記 42:1-8; 50:20を読んでください。*

ある人の前に身をかがめて，その人の地位に対する敬意を表わすことが土地の習慣になっている場合，エホバの崇拝者がそうすることは間違っていますか。(創 42:6)

第24話
ヨセフは兄たちをためす

1. ヨセフが兄たちをスパイだと言うのはなぜですか。

2. ヤコブが末の息子のベニヤミンをエジプトへ行かせるのはなぜですか。

3. ヨセフの銀のさかずきがベニヤミンの袋にはいっていたのはどうしてですか。

4. ユダはベニヤミンを解放してもらうために何をすることを申し出ますか。
5. ヨセフの兄たちはどのように変化しましたか。

付加的な質問:

1. ***創世記 42:9-38を読んでください。***
創世記 42章18節のヨセフの言葉が, 今日エホバの組織の中で責任を持っている人々にとって優れた諭しであると言えるのはなぜですか。(ネヘ 5:15。コリ二 7:1, 2)
2. ***創世記 43:1-34を読んでください。***
(イ) ルベンが長子だったにもかかわらず, ユダが兄弟たちの代弁者になったことは, どんな点から明らかですか。(創 43:3, 8, 9; 44:14, 18。代一 5:2)
(ロ) ヨセフはどのように兄たちを試したと思われますか。そうしたのはなぜですか。(創 43:33, 34)
3. ***創世記 44:1-34を読んでください。***
(イ) ヨセフは, 自分がだれであるかを兄たちに悟られないようにするため, どんな者のふりをしましたか。(創 44: 5, 15。レビ 19: 26)
(ロ) ヨセフの兄たちは, 弟に対してかつて抱いていたねたみの気持ちが消え去ったことをどのように示しましたか。(創 44:13, 33, 34)

第25話
一家はエジプトへ移る

1. ヨセフが自分はだれであるかを兄たちに告げると, どんなことが起きますか。
2. ヨセフは親切に何と言って兄たちに説明しますか。
3. ファラオはヨセフの兄たちのことを聞いて, 何と言いますか。
4. ヤコブの家族はエジプトへ移ったとき, どれほど大きくなっていましたか。
5. ヤコブの家族は何と呼ばれることになりましたか。なぜですか。

付加的な質問:

1. ***創世記 45:1-28を読んでください。***
エホバは, ご自分の僕に危害を加えるたくらみでも良い結果になるようにすることができますが, ヨセフに関する聖書の記述はそのことをどのように示していますか。(創 45:5-8。イザ 8:10。フィリ 1:12-14)
2. ***創世記 46:1-27を読んでください。***
エホバは, エジプトへ行く途中のヤコブを何と言って元気づけましたか。(創 46:1-4, 脚注)

第26話
神に忠実なヨブ

1. ヨブはどんな人でしたか。
2. サタンは何をしようとしましたか。それは成功しましたか。
3. エホバは何をすることをサタンにお許しになりましたか。なぜですか。
4. ヨブの妻が,「神をのろって死になさい」とヨブに言ったのはなぜですか。(さし絵を見てください。)
5. 二つのさし絵を見るとわかるように, エホバはヨブをどのように祝福なさいましたか。なぜですか。
6. わたしたちもヨブのようにエホバに忠実であれば, どんな祝福を受けるでしょうか。

付加的な質問:

1. ***ヨブ 1:1-22を読んでください。***
今日のクリスチャンはどのようにヨブに見倣えますか。(ヨブ 1:1。フィリ 2:15。ペテ二 3:14)
2. ***ヨブ 2:1-13を読んでください。***
ヨブとヨブの妻は, サタンの迫害に対してどのように対照的な反応を示しましたか。(ヨブ 2:9, 10。箴 19:3。ミカ 7:7。マラ 3:14)
3. ***ヨブ 42:10-17を読んでください。***
(イ) 忠実な生涯を送ったためにヨブが受けた報いとイエスが受けた報いにはどんな類似点がありますか。(ヨブ 42:12。フィリ 2:9-11)
(ロ) ヨブが神への忠誠を保ったゆえに祝福を受けたことは, わたしたちにとってどんな励ましになりますか。(ヨブ 42:10, 12。ヘブ 6:10。ヤコ 1:2-4, 12; 5:11)

第27話
悪い王がエジプトを支配する

1. さし絵の中でむちを持っているのはだれですか。この人はだれを打っていますか。
2. ヨセフが死んだあと, イスラエル人はどうなりましたか。
3. エジプト人がイスラエル人について心配するようになったのはなぜですか。
4. イスラエル人の女の人が子供を産むのを手助けする女たちに, ファラオはどんな命令をあたえましたか。

付加的な質問:

1. ***出エジプト記 1:6-22を読んでください。***
(イ) エホバはアブラハムにお与えになった約束をどのように果たし始めましたか。(出 1:7。創 12:2。使徒 7:17)
(ロ) ヘブライ人の産婆たちは命の神聖さに対する敬意をどのように示しましたか。(出 1:17。創 9:6)
(ハ) その産婆たちは, エホバへの忠実さゆえに, どのような報いを受けましたか。(出 1:20, 21。箴 19:17)
(ニ) サタンは, 約束のアブラハムの胤に関するエホバの目的をどのようにしてくじこうとしましたか。(出 1:22。マタ 2:16)

第28話
赤ちゃんのモーセはこうして救われた

1. さし絵の中の赤ちゃんはだれですか。赤ちゃんはだれの指をつかんでいますか。
2. モーセの母親はモーセが殺されないよう, どうしましたか。
3. さし絵の中の少女はだれですか。何をしましたか。
4. ファラオのむすめが赤ちゃんを見つけた時, ミリアムは何を提案しましたか。
5. 王女はモーセの母親に何と言いましたか。

付加的な質問:

1. ***出エジプト記 2:1-10を読んでください。***

モーセが幼い間，母親はどんな機会にモーセをしつけたり教えたりできましたか。このことは，どんな点で今日の親の模範ですか。（出 2:9, 10。申 6:6-9。箴 22:6。エフェ 6:4。テモ二 3:15）

第29話

モーセはなぜにげたのか

1. モーセはどこで成長しましたか。しかし，自分の親についてどんなことを知っていましたか。

2. モーセは40歳の時に何をしましたか。

3. モーセはけんかをしているイスラエル人に何と言いましたか。その男の人はどのように答えましたか。

4. モーセがエジプトからにげたのはなぜですか。

5. モーセはどこへにげて行きましたか。そこでだれに会いましたか。

6. モーセはエジプトからにげた後，40年のあいだ何をしましたか。

付加的な質問:

1. ***出エジプト記 2:11-25を読んでください。***

モーセは，何年にもおよぶ教育によってエジプト人の知恵を授けられたにもかかわらず，エホバとその民に対する忠節をどのように示しましたか。（出 2:11, 12。ヘブ 11:24）

2. ***使徒 7:22-29を読んでください。***

モーセが自分でエジプトの束縛からイスラエルを救い出そうとしたことから，どんな教訓を学べますか。（使徒 7:23-25。ペテ一 5:6,10）

第30話

燃えるしば

1. さし絵にある山の名前は何といいますか。

2. 羊を連れて山に行ったモーセがどんな不思議なものを見たか説明してください。

3. 燃えるいばらのしげみ（しば）から声がして何と言いましたか。それはだれの声でしたか。

4. 神の民をエジプトから導き出すようにと神から言われた時，モーセは何と答えましたか。

5. 神は，だれがモーセをつかわしたのかと人々から聞かれたなら何と答えるようにとモーセにおっしゃいましたか。

6. モーセは，神からつかわされたことをどのように証明できますか。

付加的な質問:

1. ***出エジプト記 3:1-22を読んでください。***

モーセが経験したことを考えると，自分には神権的な割り当てを果たす資格が無いと感じる時でもエホバが支えてくださることをどのように確信できますか。（出 3:11, 13。コリ二 3:5, 6）

2. ***出エジプト記 4:1-20を読んでください。***

(イ) ミディアン（ミデアン）で過ごした40年間にモーセの態度はどのように変化しましたか。会衆内での特権をとらえようと努めている人たちはそのことからどんな教訓を学べますか。（出 2:11, 12; 4:10, 13。ミカ 6:8。テモ一 3:1, 6, 10）

(ロ) 神の組織を通してエホバから懲らしめられる場合でも，モーセの例により，どんな確信を抱けますか。（出 4:12-14。詩 103:14。ヘブ 12:4-11）

第31話

モーセとアロンはファラオと会う

1. モーセとアロンが行なった奇跡はイスラエル人にどんなえいきょうをあたえましたか。

2. モーセとアロンはファラオに何を告げましたか。ファラオは何と答えましたか。

3. さし絵にあるように，アロンがつえを投げると，どんなことが起こりましたか。

4. エホバはファラオにどんな方法で教訓をおあたえになりましたか。ファラオはどう反応しましたか。

5. 10番めの災厄（災い）のあと，どんなことが起きましたか。

付加的な質問:

1. ***出エジプト記 4:27-31; 5:1-23を読んでください。***

ファラオはどういう意味で，「わたしはエホバなど知らない」と言いましたか。（出 5:2。サム一 2:12。ロマ 1:21）

2. ***出エジプト記 6:1-13, 26-30を読んでください。***

(イ) エホバがアブラハム，イサク，ヤコブに自分を知らせなかった，とはどういう意味ですか。（出 3:13, 14; 6:3。創 12:8）

(ロ) モーセ自身は命じられた仕事をする資格が無いと思っていたのに，エホバがモーセをお用いになったということを知って，どう感じますか。（出 6:12, 30。ルカ 21:13-15）

3. ***出エジプト記 7:1-13を読んでください。***

(イ) モーセとアロンが勇気をもってエホバの裁きをファラオに言い渡したことは，今日の神の僕にとってどんな模範となっていますか。（出 7:2, 3, 6。使徒 4:29-31）

(ロ) エホバはエジプトの神々に対する至上性をどのようにお示しになりましたか。（出 7:12。代一 29:12）

第32話

十の災い

1. ここにあるさし絵を使って，エホバがエジプトに下された最初の三つの災厄（災い）を説明してください。

2. 最初の三つの災厄と残りの災厄には，どんなちがいがありましたか。

3. 四番め，五番め，六番めの災厄は何でしたか。

4. 七番め，八番め，九番めの災厄を説明してください。

5. エホバは，10番めの災厄を下す前に，イスラエル人に何をするようお命じになりましたか。

6. 10番めの災厄は何でしたか。そののち，どんなことが起きましたか。

付加的な質問:

1. ***出エジプト記 7:19-8:23を読んでください。***

(イ) エジプトの魔術を行なう祭司たちは，エホバによる最初の二つの災厄をまねて同じことを行なえましたが，三番目の災厄の後は何を認めざるを得ませんでしたか。(出 8:18, 19。マタ 12:24-28)

(ロ) 四番目の災厄は，エホバがご自分の民を保護する力を持っておられることをどのように示しましたか。そのことを知っていると，神の民は，予告された「大患難」に直面した時どのように感じますか。(出 8:22, 23。啓 7:13, 14。代二 16:9)

2. ***出エジプト記 8:24; 9:3, 6, 10, 11, 14, 16, 23-25; 10:13-15, 21-23を読んでください。***

(イ) 十の災厄によって，どんな二つのグループが明らかになりましたか。そのことは，今日，それらのグループに対するわたしたちの見方にどう影響しますか。(出 8:10, 18, 19; 9:14)

(ロ) エホバがサタンの存在を今まで許してこられた理由を理解するうえで，出エジプト記 9章16節はどのように役立ちますか。(ロマ 9: 21, 22)

3. ***出エジプト記 12:21-32を読んでください。***

過ぎ越しによって多くの人の救いが可能となったのはどうしてですか。過ぎ越しは何を指し示していましたか。(出 12:21-23。ヨハ 1:29。ロマ 5:18, 19, 21。コリ一 5:7)

第33話
紅海をわたる

1. イスラエルの女や子供たちのほかに，何人の男子がエジプトを出て行きましたか。いっしょに，だれが出て行きましたか。

2. ファラオはイスラエル人を去らせたあと，どんな気持ちになりましたか。それで，どうしましたか。

3. エホバは，ご自分の民に対するエジプト人のこうげきを止めるために何をなさいましたか。

4. モーセがつえを紅海の上に差しのべると，どんなことが起きましたか。イスラエル人はどうしましたか。

5. エジプト人がイスラエル人のあとを追って海の中へとっ進したとき，何が起きましたか。

6. イスラエル人は救われた喜びとエホバへの感謝の気持ちをどのように示しましたか。

付加的な質問:

1. ***出エジプト記 12:33-36を読んでください。***

エホバは，ご自分の民がエジプト人の奴隷となっていた期間の代償が得られるよう，どのように取り計らわれましたか。(出 3:21, 22; 12:35, 36)

2. ***出エジプト記 14:1-31を読んでください。***

出エジプト記 14章13, 14節のモーセの言葉は，今日のエホバの僕たちが来たるべきハルマゲドンにおける戦争に直面した時，どんな影響を及ぼしますか。(代二 20:17。詩 91:8)

3. ***出エジプト記 15:1-8, 20, 21を読んでください。***

(イ) エホバの僕がエホバに向かって賛美を歌うべきなのはなぜですか。(出 15:1, 2。詩 105:2, 3。啓 15:3, 4)

(ロ) ミリアムと女たちが紅海においてエホバを賛美したことは，今日のクリスチャンの女性にとって，どんな模範となっていますか。(出 15:20, 21。詩 68:11)

第34話
新しい食べ物

1. さし絵の中で人々は地面から何を拾い集めていますか。それは何と呼ばれていますか。

2. モーセは，マナを拾い集めることについて人々にどんな指示をあたえますか。

3. エホバは，六日めには何をするよう人々に命じますか。なぜですか。

4. マナが七日めまでとって置かれる場合，エホバはどんな奇跡を行なわれますか。

5. エホバはどれほどの期間，人々をマナで養いますか。

付加的な質問:

1. ***出エジプト記 16:1-36, 民数記 11:7-9を読んでください。***

(イ) クリスチャン会衆内の神権的な任命に敬意を払う必要性について出エジプト記 16章8節は何を示していますか。(ヘブ 13:17)

(ロ) イスラエル人は荒野において，エホバに依存していることを日々のように思い起こさせられましたか。(出 16:14-16, 35。申 8:2, 3)

(ハ) イエスによれば，マナにはどんな象徴的な意味がありますか。わたしたちは，どのように，この「天からのパン」の益にあずかれますか。(ヨハ 6:31-35, 40)

2. ***ヨシュア 5:10-12を読んでください。***

イスラエル人は何年間マナを食べましたか。そのことにより，イスラエル人はどのように試みられましたか。その記述から何を学べますか。(出 16:35。民 11:4-6。コリ一 10:10, 11)

第35話
エホバは律法をおあたえになる

1. イスラエル人は，エジプトを去ってから2か月ほどして，どこにテントを張りますか。

2. エホバは，ご自分がイスラエルの人々にどんなことを望んでいるとお話しになりますか。人々はどのように答えますか。

3. エホバがモーセに二枚の石の板をおあたえになったのはなぜですか。

4. エホバは十戒のほかにどんな律法をイスラエル人におあたえになりましたか。

5. イエス・キリストはどんな二つの律法が最も重要であると言っておられますか。

付加的な質問:

1. ***出エジプト記 19:1-25; 20:1-21; 24:12-18; 31:18を読んでください。***

クリスチャンの献身とはどういうことかを理解するうえで，出エジプ

ト記 19章8節に記されている言葉はどのように役立ちますか。(マタ 16:24。ペテ一 4:1-3)

2. *申命記 6:4-6; レビ記 19:18; マタイ 22:36-40を読んでください。*
クリスチャンは神と隣人への愛をどのように実証しますか。(マル 6:34。使徒 4:20。ロマ 15:2)

第36話
金の子牛

1. さし絵の中の人々は何をしていますか。なぜですか。

2. エホバが立腹しておられるのはなぜですか。モーセは人々が行なっていることを見て何をしますか。

3. モーセはある男たちに何をするよう命じますか。

4. この物語からどんな教訓を学ぶべきですか。

付加的な質問:

1. *出エジプト記 32:1-35を読んでください。*
(イ) この記述には, 偽りの宗教と真の崇拝の混合に対するエホバのお考えが, どのように示されていますか。(出 32:4-6, 10。コリ一 10:7, 11)
(ロ) 歌やダンスなどの娯楽を選ぶ際, クリスチャンはどんなことに用心する必要がありますか。(出 32:18, 19。エフェ 5:15, 16。ヨハ一 2:15-17)
(ハ) 義を擁護する点で, レビの部族はどんなりっぱな手本を残しましたか。(出 32:25-28。詩 18:25)

第37話
崇拝のための天幕

1. さし絵にある建物は何と呼ばれていますか。何に使われますか。

2. エホバがモーセに, すぐにくずしてためるような天幕を作るようお命じになったのはなぜですか。

3. 天幕の奥の小さな部屋にある箱は何ですか。その箱には何がはいっていますか。

4. エホバはだれを大祭司に選びますか。大祭司は何を行ないますか。

5. 天幕の大きいほうの部屋にある三つのものを挙げてください。

6. 幕屋の中庭にはどんな二つのものがありますか。それは何に使うものですか。

付加的な質問:

1. *出エジプト記 25:8-40; 26:1-37; 27:1-8; 28:1を読んでください。*
「証の箱」の上にあるケルブは何を表わしていましたか。(出 25:20, 22。民 7:89。王二 19:15)

2. *出エジプト記 30:1-10, 17-21; 34:1, 2, ヘブライ 9:1-5を読んでください。*
(イ) エホバが幕屋で奉仕する祭司たちに, 身体的清さを保つことの大切さを強調なさったのはなぜですか。そのことは今日のわたしたちにどう影響しますか。(出 30:18-21; 40:30, 31。ヘブ 10:22)
(ロ) 使徒パウロは, ヘブライ人のクリスチャンたちに手紙を書き送った時点で幕屋と律法契約は廃れたものとなっていたことを, どのように示していますか。(ヘブ 9:1, 9; 10:1)

第38話
12人のスパイ

1. さし絵にあるぶどうのふさを見て, どんな点に気づきましたか。このぶどうはどこで実ったものですか。

2. モーセが12人のスパイをカナンの地につかわしたのはなぜですか。

3. 10人のスパイは, 帰って来てモーセにどんな報告をしますか。

4. ふたりのスパイはエホバへの信らいをどのように示しますか。ふたりの名前は何といいますか。

5. エホバがお怒りになったのはなぜですか。モーセに何とおっしゃいますか。

付加的な質問:

1. *民数記 13:1-33を読んでください。*
(イ) カナンの地を探るよう遣はされたのはだれでしたか。その人たちにはどんなすばらしい機会がありましたか。(民 13:2, 3, 18-20)
(ロ) ヨシュアとカレブがほかのスパイと異なる見方をしていたのはなぜですか。そのことから何を学べますか。(民 13:28-30。マタ 17:20。コリ二 5:7)

2. *民数記 14:1-38を読んでください。*
(イ) エホバの地上の代表者に対してつぶやくことに関し, どんな警告に留意する必要がありますか。(民 14:2, 3, 27。マタ 25:40, 45。コリ一 10:10)
(ロ) エホバがご自分の僕ひとりひとりに個人的な関心を払っておられることは, 民数記 14章24節にどのように示されていますか。(王一 19:18。箴 15:3)

第39話
アロンのつえに花がさく

1. モーセとアロンの権威に逆らっているのはだれですか。その人たちはモーセに何と言いますか。

2. モーセはコラとコラに従う250人の人に対し, 何をするようにと言いますか。

3. モーセは人々に何と言いますか。モーセが語りおえるとすぐに, どんなことが起きますか。

4. コラとコラに従う250人はどうなりますか。

5. アロンの息子のエレアザルは, 死んだ人々の火取り皿(火ざら)をどうしますか。なぜですか。

6. エホバがアロンのつえに花をさかせたのはなぜですか。(さし絵を見てください。)

付加的な質問:

1. *民数記 16:1-49を読んでください。*
(イ) コラとコラに従った人たちは何をしましたか。それがエホバに対する反逆行為だったのはなぜですか。(民 16:9, 10, 18。レビ 10:1, 2。箴 11:2)

(ロ) コラと「集会の長たる者たち」250人はどんな間違った見方を培いましたか。(民 16:1-3。箴 15:33。イザ 49:7)

2. ***民数記 17:1-11; 26:10を読んでください。***

(イ) アロンの杖が芽を吹いたことは何を示していましたか。それを契約の箱に保存するようエホバがお命じになったのはなぜですか。(民 17:5, 8, 10)

(ロ) アロンの杖のしるしから, どんな大切な教訓を学べますか。(民 17:10。使徒 20:28。フィリ 2:14。ヘブ 13:17)

第40話

モーセは岩を打つ

1. エホバは, イスラエル人がこう野にいる間, どのように彼らをかえりみられますか。

2. イスラエル人はカデシュでテントを張ったとき, どんな不平を言いましたか。

3. エホバはどのようにして民と動物に水をおあたえになりましたか。

4. さし絵の中で, 自分を指さしている男の人はだれですか。どうしてそうしているのでしょうか。

5. エホバがモーセとアロンに対して怒っておられるのはなぜですか。ふたりはどのようにばっせられますか。

6. ホル山でどんなことがありますか。だれがイスラエルの大祭司になりますか。

付加的な質問:

1. ***民数記 20:1-13, 22-29, 申命記 29:5を読んでください。***

(イ) 荒野にいたイスラエル人に対するエホバの世話の仕方から何を学べますか。(申 29:5。マタ 6:31。ヘブ 13:5。ヤコ 1:17)

(ロ) モーセとアロンがイスラエルの前でエホバを神聖なものとしなかったことを, エホバはどうご覧になりましたか。(民 20:12。コリ一 10:12。啓 4:11)

(ハ) エホバの懲らしめに対するモーセの反応から何を学べますか。(民 12:3; 20:12, 27, 28。申 32:4。ヘブ 12:7-11)

第41話

銅のへび

1. さし絵の中で, 柱に巻きついているのは何ですか。エホバがモーセに, それを柱につけるようお命じになったのはなぜですか。

2. 人々は神がしてくださった事柄に感謝していないことを, どのように示しましたか。

3. エホバが人々をばっするために毒へびを送った後, 人々はモーセに何をしてくれるようたのみますか。

4. エホバがモーセに, 銅のへびを作るようお命じになったのはなぜですか。

5. この物語からどんな教訓を得ることができますか。

付加的な質問:

1. ***民数記 21:4-9を読んでください。***

(イ) エホバの備えに対してイスラエルが不平を言ったことは, わたしたちにとってどんな警告となりますか。(民 21:5, 6。ロマ 2:4)

(ロ) 何世紀か経って, イスラエル人は銅の蛇をどのように用いましたか。ヒゼキヤ王はどんな行動を取りましたか。(民 21:9。王二 18:1-4)

2. ***ヨハネ 3:14, 15を読んでください。***

旗ざおの上に取り付けられた銅の蛇は, どうして杭につけられたイエス・キリストを適確に表わしていたと言えますか。(ガラ 3:13。ペテ一 2:24)

第42話

ものを言ったろば

1. バラクはどんな人ですか。なぜバラムを呼びにやりますか。

2. バラムのろばが道にうずくまってしまったのはなぜですか。

3. バラムはろばが何と言うのを聞きますか。

4. み使いはバラムに何と言いますか。

5. バラムがイスラエルをのろおうとすると, どうなりますか。

付加的な質問:

1. ***民数記 21:21-35を読んでください。***

イスラエルがアモリ人のシホン王とバシャンのオグ王を撃ち破ったのはなぜですか。(民 21:21, 23, 33, 34)

2. ***民数記 22:1-40を読んでください。***

バラムはどんな動機でイスラエルをのろおうとしましたか。そのことからどんな教訓が得られますか。(民 22:16, 17。箴 6:16, 18。ペテ二 2:15。ユダ 11)

3. ***民数記 23:1-30を読んでください。***

バラムはエホバの崇拝者であるかのように話しましたが, 実際はそうでないことを, どのように行動で示しましたか。(民 23:3, 11-14。サム一 15:22)

4. ***民数記 24:1-25を読んでください。***

この聖書の記述を読むと, エホバの目的の成就に対するわたしたちの信仰はどのように強められますか。(民 24:10。イザ 54:17)

第43話

ヨシュアは指導者になる

1. さし絵の中でモーセといっしょに立っているふたりの男の人はだれですか。

2. エホバはヨシュアに何とおっしゃいますか。

3. モーセはなぜネボ山の頂上に登りますか。エホバはモーセに何とおっしゃいますか。

4. モーセは何歳で死にましたか。

5. 人々が悲しんでいるのはなぜですか。しかし, なぜ喜ぶことができますか。

付加的な質問:

1. ***民数記 27:12-23を読んでください。***

ヨシュアはエホバからどんな重要な割り当てを与えられましたか。エホバがご自分の民を顧みておられることは今日どのように示されていますか。(民 27:15-19。使徒 20:28。ヘブ 13:7)

2. ***申命記 3:23-29を読んでください。***

モーセとアロンが約束の地に渡って行くことをエホバがお許しにならなかったのはなぜですか。このことからどんな教訓が得られますか。(申 3:25-27。民 20:12, 13)

3. ***申命記 31:1-8, 14-23を読んでください。***

イスラエルに対するモーセの別れの言葉は，モーセがエホバの懲らしめを謙虚に受け入れたことをどのように示していますか。(申 31:6-8, 23)

4. ***申命記 32:45-52を読んでください。***

神の言葉はわたしたちの生活にどのような影響を及ぼすはずですか。(申 32:47。レビ 18:5。ヘブ 4:12)

5. ***申命記 34:1-12を読んでください。***

モーセはエホバご自身を実際に見たことはありませんでしたが，申命記 34章10節によると，エホバとどんな関係にあったことが分かりますか。(出 33:11, 20。民 12:8)

第44話

ラハブはスパイをかくまう

1. ラハブはどこに住んでいますか。

2. さし絵の中のふたりの男の人はだれですか。この人たちはなぜエリコにいるのでしょうか。

3. エリコの王は，何をするようラハブに命令しますか。ラハブは何と答えますか。

4. ラハブはどんな方法でふたりを助けますか。どんなことをたのみますか。

5. ふたりのスパイはラハブにどんなことを約束しますか。

付加的な質問:

1. ***ヨシュア 2:1-24を読んでください。***

出エジプト記 23章28節に記録されているエホバの約束は，イスラエル人がエリコを攻撃した時，どのように果たされましたか。(ヨシュ 2:9-11)

2. ***ヘブライ 11:31を読んでください。***

ラハブの例は，どのように信仰の大切さを強調していますか。(ロマ 1:17。ヘブ 10:39。ヤコ 2:25)

第45話

ヨルダン川をわたる

1. エホバは，イスラエル人がヨルダン川をわたれるように，どんな奇跡を行なわれますか。

2. イスラエル人は，ヨルダン川をわたるため，どんな信仰の行ないをしなければなりませんか。

3. エホバがヨシュアに，川底から大きな石を12個集めるようお命じになったのはなぜですか。

4. 祭司たちがヨルダン川から上がると，たちまちどんなことが起きますか。

付加的な質問:

1. ***ヨシュア 3:1-17を読んでください。***

(イ) この記述が示している通り，エホバの助けと祝福を得るには何をする必要がありますか。(ヨシュ 3:13, 15。箴 3:5。ヤコ 2:22, 26)

(ロ) イスラエル人は約束の地に入る時，どんな状態のヨルダン川を渡りましたか。それによって，エホバのみ名はどのように大いなるものとされましたか。(ヨシュ 3:15; 4:18。詩 66:5-7)

2. ***ヨシュア 4:1-18を読んでください。***

ヨルダン川から拾い集められてギルガルに置かれた12個の石にはどんな目的がありましたか。(ヨシュ 4:4-7)

第46話

エリコの城へぎ

1. エホバは兵士と祭司たちに六日のあいだ何をするようお命じになりますか。

2. その人たちは七日めに何をすることになっていますか。

3. さし絵から分かりますが，エリコの城へきはどうなっていますか。

4. 窓から赤いひもがたれさがっているのはなぜですか。

5. ヨシュアは，エリコの人々と町そのものをどうするよう兵士たちに命じますか。しかし，金，銀，銅，鉄についてはどうするようにと言いますか。

6. ふたりのスパイはどんなことを命じられますか。

付加的な質問:

1. ***ヨシュア 6:1-25を読んでください。***

(イ) イスラエル人が七日目にエリコの周りを行進したことと，この終わりの日におけるエホバの証人の伝道活動とは，どんな点で似ていますか。(ヨシュ 6:15, 16。イザ 60:22。マタ 24:14。コリ一 9:16)

(ロ) ヨシュア 6章26節に記録されている預言は500年ほど後になって，どのように成就しましたか。そのことからエホバの言葉について何を学べますか。(王一 16:34。イザ 55:11)

第47話

イスラエルの中で起きたぬすみ

1. さし絵の中で，エリコから取って来た高価な物をかくしている男の人はだれですか。それを手伝っているのはだれですか。

2. アカンとその家族はたいへんなことを行なったとなぜ言えますか。

3. ヨシュアから，イスラエル人がアイで戦いに負けた理由をたずねられて，エホバは何とおっしゃいますか。

4. アカンとその家族は，ヨシュアのもとに連れて来られてから，どうなりますか。

5. アカンに対する裁きから，どんな大切な教訓が得られますか。

付加的な質問:

1. ***ヨシュア 7:1-26を読んでください。***

(イ) ヨシュアの祈りは，ヨシュアと創造者との関係についてどんなことを明らかにしていますか。(ヨシュ 7:7-9。詩 119:145。ヨハ一 5:14)

(ロ) アカンの例から何が分かりますか。そのことはわたしたちにとってどんな警告となりますか。(ヨシュ 7:11, 14, 15。箴 15:3。テモ一 5:24。ヘブ 4:13)

2. *ヨシュア 8:1-29を読んでください。*
今日，わたしたちは個人として，クリスチャン会衆に対してどんな責任を負っていますか。（ヨシュ 7:13。レビ 5:1。箴 28:13）

第48話

かしこいギベオンの人々

1. ギベオンの人々は近くの町のカナン人とどのように異なっていますか。
2. さし絵に示されているように，ギベオン人は何をしますか。なぜですか。
3. ヨシュアとイスラエル人の指導者たちは，ギベオン人に何を約束しますか。しかし，三日後に，どんなことを知りますか。
4. ギベオン人がイスラエルと仲良くしたということをほかの町の王たちが聞くと，どんなことが起こりますか。

付加的な質問:

1. *ヨシュア 9:1-27を読んでください。*
（イ）エホバが，イスラエル国民に，『この地に住むすべての民を滅ぼし尽くす』よう指示しておられたのに，ギベオン人の命を助けたということから，エホバのどんな特質が明らかになりましたか。（ヨシュ 9:22, 24。マタ 9:13。使徒 10:34, 35。ペテ二 3:9）
（ロ）ギベオン人との契約を固く守ったヨシュアは，どのように今日のクリスチャンの立派な手本となっていますか。（ヨシュ 9:18, 19。マタ 5:37。エフェ 4:25）
2. *ヨシュア 10:1-5を読んでください。*
今日，大群衆はどのようにギベオン人を見倣っていますか。そのために，何の標的になっていますか。（ヨシュ 10:4。ゼカ 8:23。マタ 25:35-40。啓 12:17）

第49話

太陽が止まる

1. さし絵の中でヨシュアは何と言っていますか。なぜですか。
2. エホバはヨシュアとその兵士たちをどのように助けますか。
3. ヨシュアは敵の王を何人打ち負かしますか。それにはどれほどの期間が必要でしたか。
4. ヨシュアがカナンの地を分配するのはなぜですか。
5. ヨシュアは何歳で死にますか。そのあと，民はどうなりますか。

付加的な質問:

1. *ヨシュア 10:6-15を読んでください。*
わたしたちは，エホバがイスラエルのために太陽と月を静止させたことを知っているので，今日どんなことを確信していますか。（ヨシュ 10:8, 10, 12, 13。詩 18:3。箴 18:10）
2. *ヨシュア 12:7-24を読んでください。*
カナンの31人の王を打ち負かしたのは実際にはだれでしたか。そのことは今日のわたしたちにとってなぜ重要ですか。（ヨシュ 12:7; 24:11-13。申 31:8。ルカ 21:9, 25-28）
3. *ヨシュア 14:1-5を読んでください。*
カナンの地はどのようにイスラエルの様々な部族に分配されましたか。そのことから，楽園の相続地に関して何が分かりますか。（ヨシュ 14:2。イザ 65:21。エゼ 47:21-23。コリ一 14:33）
4. *裁き人 2:8-13を読んでください。*
今日，イスラエルのヨシュアのように，背教に対する抑制力となっているのはだれですか。（裁 2:8, 10, 11。マタ 24:45-47。テサ二 2:3-6。テト 1:7-9。啓 1:1; 2:1, 2）

第50話

ふたりの勇敢な婦人

1. 裁き人とはどういう人たちですか。裁き人の中には何という名前の人たちがいましたか。
2. デボラはどんな特別な役割をあたえられていましたか。それにはどんなことがふくまれていますか。
3. イスラエルがヤビン王とその軍隊の長シセラにおびやかされた時，デボラは裁き人のバラクにエホバからのどんな音信を告げますか。また，だれのてがらになると告げますか。
4. ヤエルは勇敢な女性であることをどのように示しますか。
5. ヤビン王が死んだあと，どうなりますか。

付加的な質問:

1. *裁き人 2:14-22を読んでください。*
イスラエル人がエホバの怒りを招いたのはなぜですか。そのことからどんな教訓が得られますか。（裁 2:20。箴 3:1,2。エゼ 18:21-23）
2. *裁き人 4:1-24を読んでください。*
今日，クリスチャンの女性は，信仰と勇気に関して，デボラとヤエルの例からどんな教訓を学べますか。（裁 4:4, 8, 9, 14, 21, 22。箴 31:30。コリ一 16:13）
3. *裁き人 5:1-31を読んでください。*
バラクとデボラの勝利の歌が，来たるべきハルマゲドンにおける戦争に関する祈りともなるのはどうしてですか。（裁 5:3,31。代一 16:8-10。啓 7:9, 10; 16:16; 19:19-21）

第51話

ルツとナオミ

1. ナオミはどうしてモアブの地へ来ることになりましたか。
2. ルツとはどんな人ですか。また，オルパとはどんな人ですか。
3. ルツとオルパは，自分の民のもとへ帰るようにとナオミから言われた時，それぞれどう反応しますか。
4. ボアズとはどんな人ですか。ルツとナオミをどのようにして助けますか。
5. ボアズとルツに生まれた子供は何という名前ですか。その子供のことをおぼえておくとよいのはなぜですか。

付加的な質問:

1. *ルツ 1:1-17を読んでください。*
（イ）ルツは忠節な愛をどのようなすばらしい言葉で言い表わしましたか。（ルツ 1:16, 17）

(ロ) ルツの精神の意向は，今日，地上の油そそがれた者に対する「ほかの羊」の態度を，どのように的確に表わしていますか。(ヨハ 10:16。ゼカ 8:23)

2. ***ルツ 2:1-23を読んでください。***

ルツはどんな点で，今日の若い女性のりっぱな手本となっていますか。(ルツ 2:17, 18。箴 23:22; 31:15)

3. ***ルツ 3:5-13を読んでください。***

(イ) ボアズは，ルツが若い男性と結婚しないで，自分との結婚を進んで受け入れたことをどう思いましたか。

(ロ) ルツの態度は忠節な愛についてどんなことを教えてくれますか。(ルツ 3:10。コリ一 13:4, 5)

4. ***ルツ 4:7-17を読んでください。***

今日のクリスチャンの男子は，どんな点でボアズに倣えますか。(ルツ 4:9, 10。テモ一 3:1, 12, 13; 5:8)

第52話

ギデオンと300人の兵士

1. イスラエル人はどのように，またなぜ，たいへん苦しい立場に立たされていますか。

2. エホバがギデオンに，あなたの軍隊の兵士は多すぎるとおっしゃったのはなぜですか。

3. ギデオンが，こわいと思う者は家に帰るようにと言ったあと，残ったのは何人ですか。

4. エホバがどのようにギデオンの兵士をわずか300人にまで減らしたか，さし絵から説明してください。

5. ギデオンは300人の兵士をどのように組み分けしますか。イスラエルはどんな方法で戦いに勝ちますか。

付加的な質問:

1. ***裁き人 6:36-40を読んでください。***

(イ) ギデオンはどのようにエホバのご意志を確かめましたか。

(ロ) 今日，どうすればエホバのご意志が分かりますか。(箴 2:3-6。マタ 7:7-11。テモ二 3:16, 17)

2. ***裁き人 7:1-25を読んでください。***

(イ) 不注意であることを示した人々とは対照的に警戒を怠らなかった300人の兵士から，どんな教訓を学べますか。(裁 7:3, 6。ロマ 13:11, 12。エフェ 5:15-17)

(ロ) 300人の兵士がギデオンを見て学んだように，わたしたちも大いなるギデオンであるイエス・キリストを見て学べます。どうすれば，そうできますか。(裁 7:17。マタ 11:29, 30; 28:19, 20。ペテ一 2:21)

(ハ) 裁き人 7章21節は，エホバの組織内のどこに割り当てられても満足して奉仕するうえで，どのように助けになりますか。(コリ一 4:2; 12:14-18。ヤコ 4:10)

3. ***裁き人 8:1-3を読んでください。***

ギデオンがエフライム人とのもめごとを解決した方法から，兄弟姉妹との間で生じた不和の扱いについて，どんなことを学べますか。(箴 15:1。マタ 5:23, 24。ルカ 9:48)

第53話

エフタの約束

1. エフタとはどんな人ですか。どの時代の人ですか。

2. エフタはエホバにどんな約束をしますか。

3. エフタがアンモン人に勝って家に帰った時に悲しくなったのはなぜですか。

4. エフタのむすめは，父親の約束のことを聞いて，何と言いますか。

5. エフタのむすめが人々から愛されたのはなぜですか。

付加的な質問:

1. ***裁き人 10:6-18を読んでください。***

エホバに対するイスラエルの不忠実さの記録からすれば，わたしたちはどんな警告に留意すべきですか。(裁 10:6, 15, 16。ロマ 15:4。啓 2:10)

2. ***裁き人 11:1-11, 29-40を読んでください。***

(イ) エフタが娘を「焼燔の捧げ物」としたのは，火で焼いて人身供犠にしたという意味ではないと，どうして分かりますか。(裁 11:31。レビ 16:24。申 18:10-12)

(ロ) エフタはどのように娘を犠牲としてささげましたか。

(ハ) エホバへの誓約に対するエフタの態度から何を学べますか。(裁 11:35, 39。伝 5:4, 5。マタ 16:24)

(ニ) エフタの娘は，どうして，全時間奉仕という仕事を追い求める若いクリスチャンの優れた模範だと言えますか。(裁 11:36。マタ 6:33。フィリ 3:8)

第54話

いちばん力のあった人

1. 今までに生まれた人の中でいちばん力持ちだったのはだれですか。その人に力をあたえたのはどなたですか。

2. さし絵を見てわかるとおり，サムソンはある時，大きなライオンをどうしましたか。

3. さし絵の中で，サムソンはデリラにどんな秘密を打ち明けていますか。そのためにどんなことが生じて，サムソンはフィリスティア(ペリシテ)人につかまってしまいますか。

4. サムソンは死ぬ時に敵であるフィリスティア人3,000人をどんな方法で殺しましたか。

付加的な質問:

1. ***裁き人 13:1-14を読んでください。***

子供を育てている親にとって，マノアとその妻はどんな点で良い模範ですか。(裁 13:8。詩 127:3。エフェ 6:4)

2. ***裁き人 14:5-9; 15:9-16を読んでください。***

(イ) サムソンがライオンを殺し，体を縛っていた新しい縄を断ち切り，雄ろばのあご骨で一千人を殺したという記述から，エホバの聖霊の働きについてどんなことが分かりますか。

(ロ) 聖霊は今日，どのようにわたしたちの助けになりますか。(裁 14:6; 15:14。ゼカ 4:6。使徒 4:31)

3. ***裁き人 16:18-31を読んでください。***

サムソンは悪い交わりからどんな影響を受けましたか。そのことから何を学べますか。(裁 16:18, 19。コリ一 15:33)

第55話
神に仕えた男の子

1. さし絵の男の子の名前は何といいますか。その子のほかにどんな人たちがいますか。

2. ハンナは，ある日，エホバの幕屋へ行ったときに，どんなことを祈りますか。エホバはどのようにお答えになりますか。

3. サムエルがエホバの天幕に連れて行かれて奉仕するようになったのは何歳の時ですか。サムエルの母親は毎年サムエルのために何をしますか。

4. エリの息子たちは何という名前ですか。どんな人たちですか。

5. エホバはどんな方法でサムエルをお呼びになりますか。どんなことをサムエルに知らせますか。

6. サムエルはおとなになって，どんな人になりますか。年老いてから，どんなことがありますか。

付加的な質問:

1. ***サムエル第一 1:1-28を読んでください。***

(イ) エルカナは，真の崇拝において率先する点で，家族の頭のためのどんな優れた模範となっていますか。(サム一 1:3, 21。マタ 6:33。フィリ 1:10)

(ロ) 難問題に対処する点で，ハンナの例からどんな教訓を学べますか。(サム一 1:10, 11。詩 55:22。ロマ 12:12)

2. ***サムエル第一 2:11-36を読んでください。***

エリはどのように，エホバより息子たちのほうを尊びましたか。それはわたしたちにとってどのような警告となりますか。(サム一 2:22-24, 27, 29。申 21:18-21。マタ 10:36, 37)

3. ***サムエル第一 4:16-18を読んでください。***

どんな四つの悲報が戦列からもたらされますか。それを聞いたエリはどうなりますか。

4. ***サムエル第一 8:4-9を読んでください。***

イスラエルが大いにエホバの怒りを買ったのはどうしてですか。今日，どのようにしてエホバの王国を忠節に支持できますか。(サム一 8:5, 7。ヨハ 17:16。ヤコ 4:4)

第56話
イスラエルの最初の王サウル

1. さし絵の中で，サムエルは何をしていますか。なぜですか。

2. エホバがサウルを好ましく思われたのはなぜですか。サウルはどんな人ですか。

3. サウルの息子は何という名前ですか。その人はどんなことをしますか。

4. サウルがサムエルを待たず，自分で犠牲をささげてしまったのはなぜですか。

5. サウルに関する話からどんな教訓を学べますか。

付加的な質問:

1. ***サムエル第一 9:15-21; 10:17-27を読んでください。***

サウルの慎み深い態度は，一部の人から不敬なことを言われた時に無分別な行動を避けるうえで，どのように助けになりましたか。(サム一 9:21; 10:21, 22, 27。箴 17:27)

2. ***サムエル第一 13:5-14を読んでください。***

サウルはギルガルでどんな罪を犯しましたか。(サム一 10:8; 13:8, 9, 13)

3. ***サムエル第一 15:1-35を読んでください。***

(イ) サウルはアマレクの王アガグに関してどんな重大な罪を犯しましたか。(サム一 15:2, 3, 8, 9, 22)

(ロ) サウルはどのように自分の行為の正当化と責任転嫁を図りましたか。(サム一 15:24)

(ハ) わたしたちは今日，助言が与えられた時，どんな警告に留意すべきですか。(サム一 15:19-21。詩 141:5。箴 9:8, 9; 11:2)

第57話
神はダビデを選ばれる

1. さし絵の中の少年の名前は何といいますか。この少年が勇敢なことはどうしてわかりますか。

2. ダビデはどこに住んでいますか。ダビデの父親と祖父の名前は何といいますか。

3. エホバがサムエルに，ベツレヘムのエッサイの家に行くようお命じになったのはなぜですか。

4. エッサイは息子のうちの七人をサムエルのところへ来させますが，結局どうなりましたか。

5. ダビデが連れて来られると，エホバはサムエルに何とおっしゃいますか。

付加的な質問:

1. ***サムエル第一 17:34, 35を読んでください。***

ここに記された出来事には，ダビデの勇気とエホバへの信頼がはっきり表われているとどうして言えますか。(サム一 17:37)

2. ***サムエル第一 16:1-14を読んでください。***

(イ) サムエル第一 16章7節のエホバの言葉は，不公平を避け，見かけだけで先入観を持ったりしないようにするうえで，どのように役立ちますか。(使徒 10:34, 35。テモ一 2:4)

(ロ) サウルの例は，エホバがだれかから聖霊を除かれると，その代わりに悪い霊が入る，つまり間違ったことをしたいという内的な衝動に駆られることを，どのように示していますか。(サム一 16:14。マタ 12:43-45。ガラ 5:16)

第58話
ダビデとゴリアテ

1. ゴリアテはどのようにイスラエルの軍隊に挑戦しますか。

2. ゴリアテはどれほど大きな人ですか。サウル王は，ゴリアテを殺した人にどんなほうびをあたえると約束しますか。

3. サウルがダビデに，あなたはほんの少年にすぎないからゴリアテと戦えないと言うと，ダビデはどう答えますか。

4. ダビデは，ゴリアテに対する返答の中で，エホバへの信らいをどのように表わしますか。

5. さし絵にあるように，ダビデは何を使ってゴリアテをたおしますか。その後，フィリスティア(ペリシテ)人はどうなりますか。

付加的な質問：

1. ***サムエル第一 17:1-54を読んでください。***

(イ) ダビデが，恐れを知らない態度を保てた秘けつは何ですか。ダビデの勇気にどのように見倣えますか。(サム一 17:37, 45。エフェ 6:10, 11)

(ロ) クリスチャンはゲームやレクリエーションの際に，なぜゴリアテのような競争心を持たないようにするべきですか。(サム一 17:8。ガラ 5:26。テモ一 4:8)

(ハ) ダビデの言葉は，ダビデが神の後ろ盾を信じていたことをどのように示していますか。(サム一 17:45-47。代二 20:15)

(ニ) この記述は，敵対する二つの軍隊の戦いを描いたものというより，実際には偽りの神々とまことの神エホバとの戦いを示しています。どうしてそう言えますか。(サム一 17:43, 46, 47)

(ホ) 油そそがれた残りの者は，エホバを信頼する点でダビデの模範にどのように倣っていますか。(サム一 17:37。エレ 1:17-19。啓 12:17)

第59話
ダビデがにげなければならなかった理由

1. サウルがダビデにしっとしたのはなぜですか。しかし，サウルの息子のヨナタンはどのようにちがっていますか。

2. ある日，ダビデがサウルのためにたてごとを演奏していると，どんなことが起きますか。

3. サウルはダビデに，むすめのミカルを妻とする前に何をしなければならないと言いますか。サウルがそう言ったのはなぜですか。

4. さし絵にあるように，ダビデがサウルのためにたてごとを演奏している時，以前にも二度あったどんなことが起きますか。

5. ミカルはどのようにしてダビデの命を助けますか。ダビデはそれから七年のあいだ，どうしなければなりませんでしたか。

付加的な質問：

1. ***サムエル第一 18:1-30を読んでください。***

(イ) ダビデに対するヨナタンの破れることのない愛は，「ほかの羊」と「小さな群れ」の互いに対する愛をどのように予表していましたか。(サム一 18:1。ヨハ 10:16。ルカ 12:32。ゼカ 8:23)

(ロ) 普通ならヨナタンがサウルの後継者になるはずだったことを考えると，王として選ばれたダビデに対するヨナタンの服従は注目に値します。サムエル第一 18章4節はそのことをどのように示していますか。

(ハ) サウルの例は，しっとにかられると重大な罪を犯しかねないことをどのように示していますか。そのことはわたしたちにとってどんな警告になりますか。(サム一 18:7-9, 25。ヤコ 3:14-16)

2. ***サムエル第一 19:1-17を読んでください。***

ヨナタンは，サウルと会って話した時，自らの命を危うくしていたとなぜ言えますか。(サム一 19:1, 4-6。箴 16:14)

第60話
アビガルとダビデ

1. さし絵の中の，ダビデに会いにやって来た女の人は何という名前ですか。どんな人ですか。

2. ナバルはどんな人ですか。

3. ダビデがナバルに願いを聞いてもらうために家来をつかわしたのはなぜですか。

4. ナバルはダビデの家来に何と言いますか。それでダビデはどうしますか。

5. アビガイル(アビガル)はかしこい女性であることをどのように示しますか。

付加的な質問：

1. ***サムエル第一 22:1-4を読んでください。***

クリスチャンの兄弟たちはどのように支え合うべきかについて，ダビデの家族はどんな立派な模範を残しましたか。(箴 17:17。テサ一 5:14)

2. ***サムエル第一 25:1-43を読んでください。***

(イ) ナバルについて，非常にさげすまれた言い方がされているのはなぜですか。(サム一 25:2-5, 10, 14, 21, 25)

(ロ) 今日，妻の立場にあるクリスチャンはアビガイルの手本から何を学べますか。(サム一 25:32, 33。箴 31:26。エフェ 5:24)

(ハ) アビガイルはダビデにどんな二つの悪行を思いとどまらせましたか。(サム一 25:31, 33。ロマ 12:19。エフェ 4:26)

(ニ) アビガイルの言葉に対するダビデの反応は，今日の男性が，女性に対してエホバのような見方をするうえで，どのように助けになりますか。(使徒 21:8, 9。ロマ 2:11。ペテ一 3:7)

第61話
ダビデは王位につく

1. ダビデとアビシャイはサウルが陣営つまり野営地でねむっているあいだに，どんなことをしますか。

2. ダビデはサウルにどんな質問をしますか。

3. ダビデはサウルと別れたあと，どこへ行きますか。

4. ダビデがたいへん悲しみ，美しい詩を作ったのはなぜですか。

5. ダビデはヘブロンで王位についた時，何歳でしたか。ダビデには何という名前の息子たちがいますか。

6. ダビデは王として後にどこで治めますか。

付加的な質問:

1. ***サムエル第一 26:1-25を読んでください。***

(イ) サムエル第一 26章11節に記録されているダビデの言葉には，神権的な秩序に対するどんな態度が表われていますか。(詩 37:7。ロマ 13:2)

(ロ) 愛ある親切を示そうと真剣に努力しても感謝のない反応が返ってくる時に正しい見方を保つうえで，サムエル第一 26章23節のダビデの言葉はどのように役立ちますか。(王一 8:32。詩 18:20)

2. ***サムエル第二 1:26を読んでください。***

今日のクリスチャンは，どうすればダビデとヨナタンが抱いていたような『互いに対する熱烈な愛』を培えますか。(ペテ一 4:8。コロ 3:14。ヨハ一 4:12)

3. ***サムエル第二 5:1-10を読んでください。***

(イ) ダビデは王として何年間，支配しましたか。その期間はどのように区分されていますか。(サム二 5:4, 5)

(ロ) ダビデが大いなる者となったのは何によりますか。そのことは今日のわたしたちに対するどんな論しとなっていますか。(サム二 5:10。サム一 16:13。コリ一 1:31。フィリ 4:13)

第62話

ダビデの家に起きた問題

1. カナンの地は，エホバの助けにより，ついにどうなりますか。

2. ある晩，ダビデが宮殿の屋上にいた時，どんなことが起きますか。

3. エホバがダビデに対してたいへんおいかりになったのはなぜですか。

4. さし絵にあるように，エホバはダビデに罪をさとらせるためにだれをおつかわしになりますか。その人はダビデにどんなことが起きると告げますか。

5. ダビデはどんな問題をかかえこみますか。

6. ダビデの次にイスラエルの王になったのはだれですか。

付加的な質問:

1. ***サムエル第二 11:1-27を読んでください。***

(イ) エホバへの奉仕に忙しく携わることが身の守りになるのはどうしてですか。

(ロ) ダビデはどのように罪に引きずり込まれましたか。そのことは今日のエホバの僕にとってどんな警告となりますか。(サム二 11:2。マタ 5:27-29。コリ一 10:12。ヤコ 1:14, 15)

2. ***サムエル第二 12:1-18を読んでください。***

(イ) 長老や親の立場にある人たちは，ダビデに助言を与えたときのナタンの方法から，どんな教訓を学べますか。(サム二 12:1-4。箴 12:18。マタ 13:34)

(ロ) エホバがダビデに対して憐れみ深く行動されたのはなぜですか。(サム二 12:13。詩 32:5。コリ二 7:9, 10)

第63話

かしこい王ソロモン

1. エホバはソロモンにどんなことをおたずねになりますか。ソロモンはどのように答えますか。

2. エホバはソロモンの願いを喜び，何をあたえると約束なさいますか。

3. ふたりの女の人はソロモンにどんなむずかしい問題を持ち出しますか。

4. さし絵からわかるとおり，ソロモンはその問題をどのように解決しますか。

5. ソロモンの治世はどのようなものですか。なぜですか。

付加的な質問:

1. ***列王第一 3:3-28を読んでください。***

(イ) 今日，神の組織の中で責任をゆだねられている人々は，ソロモンが心から語った列王第一 3章7節の言葉から何を学べますか。(詩 119:105。箴 3:5, 6)

(ロ) ソロモンの願いが，祈り求めるのにふさわしい事柄の良い実例と言えるのはなぜですか。(王一 3:9, 11。箴 30:8, 9。ヨハ一 5:14)

(ハ) ソロモンがふたりの女性の争いを上手に扱ったことから，大いなるソロモンであるイエス・キリストの将来の支配について何を確信できますか。(王一 3:28。イザ 9:6, 7; 11:2-4)

2. ***列王第一 4:29-34を読んでください。***

(イ) エホバは，従順な心を求めるソロモンの願いをどのように聞き届けられましたか。(王一 4:29)

(ロ) ソロモンの知恵を聞くために人々が払った努力のことを考えると，神の言葉の研究に対してどんな態度を示すべきですか。(王一 4:29, 34。ヨハ 17:3。テモ二 3:16)

第64話

ソロモンは神殿を建てる

1. ソロモンがエホバの神殿を完成させるのにどれほどの期間がかかりますか。費用が多くかかったのはなぜですか。

2. 神殿にはおもな部屋がいくつありますか。奥の部屋には何が置いてありますか。

3. ソロモンは神殿が完成した時，どんなことを祈りますか。

4. エホバはソロモンの祈りを喜んでおられることをどのようにお示しになりますか。

5. ソロモンの妻たちはソロモンに何をさせますか。そのためソロモンはどうなりますか。

6. エホバがソロモンのことをおいかりになったのはなぜですか。エホバはソロモンに何とおっしゃいますか。

付加的な質問:

1. ***歴代第一 28:9, 10を読んでください。***

歴代第一 28章9, 10節に記録されているダビデの言葉を考えると，毎日の生活において何をするよう努力する必要がありますか。(詩 19:14。フィリ 4:8, 9)

2. ***歴代第二 6:12-21, 32-42を読んでください。***

(イ) ソロモンは，人間が造った建物で至高の神を入れることのできるものは一つもないということをどのように示しましたか。(代二 6:18。使徒 17:24, 25)

(ロ) 歴代第二 6章32, 33節にあるソロモンの言葉を読むと, エホバについてどんなことが分かりますか。(使徒 10:34, 35。ガラ 2:6)

3. *歴代第二 7:1-5を読んでください。*

イスラエルの子らがエホバの栄光を見た時, エホバへの賛美を言い表わすよう動かされたように, わたしたちも今日, エホバがご自分の民に注いでおられる祝福を思いめぐらす時, どのような影響を受けるはずですか。(代二 7:3。詩 22:22; 34:1; 96:2)

4. *列王第一 11:9-13を読んでください。*

ソロモンの生涯は終わりまで忠実を保つことの大切さをどのように示していますか。(王一 11:4, 9。マタ 10:22。啓 2:10)

第65話

王国の分れつ

1. さし絵にえがかれたこのふたりは何という名前ですか。どういう人たちですか。

2. アヒヤは着ていた衣をどうしますか。そのことは何を意味していますか。

3. ソロモンはヤラベアムに何をしようとしますか。

4. 人々がヤラベアムを10部族の王にしたのはなぜですか。

5. ヤラベアムが二つの金の子牛を作ったのはなぜですか。それから間もなく, ヤラベアムの国はどうなりますか。

6. 二部族の国とエルサレムのエホバの神殿はどうなりますか。

付加的な質問:

1. *列王第一 11:26-43を読んでください。*

ヤラベアムはどんな人でしたか。エホバはヤラベアムに, 神の律法を守るならどんなことをすると約束なさいましたか。(王一 11:28,38)

2. *列王第一 12:1-33を読んでください。*

(イ) 親や長老は, 権威の乱用について, レハベアムの悪い例から何を学べますか。(王一 12:13。伝 7:7。ペテ一 5:2, 3)

(ロ) 今日, 若者たちは, 人生における重大な決定を下す際, 信頼できる導きをだれに求めるべきですか。(王一 12:6, 7。箴 1:8, 9。テモ二 3:16, 17。ヘブ 13:7)

(ハ) ヤラベアムが子牛崇拝の中心地を2か所設けたのはどうしてですか。そのことはどのように, エホバに対する信仰の著しい欠如を示すものでしたか。(王一 11:37; 12:26-28)

(ニ) 真の崇拝に反逆するよう十部族王国の人々を導いたのはだれですか。(王一 12:32, 33)

第66話

よこしまな王妃イゼベル

1. イゼベルはどんな人ですか。

2. ある日, どんなことがあってアハブ王は悲しんでいましたか。

3. イゼベルは夫のアハブのためにナボテのぶどう園(ぶどう畑)を手に入れようとして, どんなことをしますか。

4. エホバはイゼベルをばっするためにだれをつかわしますか。

5. さし絵にあるように, エヒウがイゼベルの宮殿に着いた時, どんなことが起きますか。

付加的な質問:

1. *列王第一 16:29-33; 18:3, 4を読んでください。*

アハブ王の時代のイスラエルはどれほど悪い状態でしたか。(王一 16:33)

2. *列王第一 21:1-16を読んでください。*

(イ) ナボテは勇気とエホバに対する忠節をどのように示しましたか。(王一 21:1-3。レビ 25:23-28)

(ロ) 失意に対処する点で, アハブの例から何を学べますか。(王一 21:4。ロマ 5:3-5)

3. *列王第二 9:30-37を読んでください。*

エホバのご意志を行なう点でエヒウが示した熱意から何を学べますか。(王二 9:4-10。コリ二 9:1, 2。テモ二 4:2)

第67話

エホバによりたのんだエホシャファト

1. エホシャファトはどんな人ですか。どの時代の人ですか。

2. イスラエル人が不安になったのはなぜですか。それで, 多くの人はどうしますか。

3. エホバはエホシャファトの祈りに対して何とお答えになりますか。

4. エホバは戦いの前にどんなことが起きるようにしむけますか。

5. エホシャファトからどんな教訓を学べますか。

付加的な質問:

1. *歴代第二 20:1-30を読んでください。*

(イ) エホシャファトの例から分かるように, 神の忠実な僕は危険な状況に面した場合どうすべきですか。(代二 20:12。詩 25:15; 62:1)

(ロ) エホバはご自分の民と交渉を持つ際, 常に伝達の経路を用いてこられましたが, 今日ではどんな経路を用いておられますか。(代二 20:14, 15。マタ 24:45-47。ヨハ 15:15)

(ハ) 神が「全能者なる神の大いなる日の戦争」を開始される時, わたしたちはエホシャファトの場合と同じようなどんな状況に置かれますか。(代二 20:15, 17; 32:8。啓 16:14, 16)

(ニ) 今日, 開拓者や宣教者たちはレビ人に見倣って, 世界的な伝道活動にどんな貢献をしていますか。(代二 20:19, 21。ロマ 10:13-15。テモ二 4:2)

第68話

生き返ったふたりの少年

1. さし絵の中の三人はだれですか。少年にどんなことがありましたか。

2. エリヤは少年のためにどんな祈りをしますか。すると, どんなことが起きますか。

3. エリヤを手伝っていたのは何という人ですか。

4. エリシャがシュネムの女の家に呼ばれたのはなぜですか。

5. エリシャはどんなことをしますか。すると, 死んでいた子供はどうなりますか。

6. エリヤとエリシャによって示されたとおり，エホバはどんな力を持っておられますか。

付加的な質問：

1. ***列王第一 17:8-24を読んでください。***

（イ）エリヤの従順と信仰はどのように試みられましたか。（王一 17:9；19:1-4，10）

（ロ）ザレパテのやもめの信仰はなぜ際立っていたと言えますか。（王一 17:12-16。ルカ 4:25，26）

（ハ）ザレパテのやもめの経験は，マタイ 10章41，42節にあるイエスの言葉の真実さをどのように裏付けていますか。（王一 17:10-12，17，23，24）

2. ***列王第二 4:8-37を読んでください。***

（イ）シュネムの女から，人をもてなすことについて何を学べますか。（王二 4:8。ルカ 6:38。ロマ 12:13。ヨハ一 3:17）

（ロ）今日，神の僕に対してどのように親切を示せますか。（使徒 20:35；28:1，2。ガラ 6:9，10。ヘブ 6:10）

第69話
少女が勇士を助ける

1. さし絵の中の少女は女主人に何と言っていますか。

2. さし絵の中の女主人はどんな人ですか。少女はこの人の家で何をしていますか。

3. エリシャはナアマンに何と言うよう，しもべに指示しますか。ナアマンが腹を立てたのはなぜですか。

4. ナアマンがしもべの言葉を聞き入れたので，どんなことが起きますか。

5. エリシャがナアマンのおくり物を受け取ろうとしないのはなぜですか。しかし，ゲハジはどうしますか。

6. ゲハジはどうなりますか。そのことから何を学べますか。

付加的な質問：

1. ***列王第二 5:1-27を読んでください。***

（イ）イスラエル人の少女が示した手本は今日の若い人たちにとってどんな励みとなりますか。（王二 5:3。詩 8:2；148:12，13）

（ロ）聖書から助言が与えられたとき，ナアマンの例に留意するとよいのはなぜですか。（王二 5:15。ヘブ 12:5，6。ヤコ 4:6）

（ハ）エリシャとゲハジを比較することによって，どんな教訓が得られますか。（王二 5:9，10，14-16，20。マタ 10:8。使徒 5:1-5。コリ二 2:17）

第70話
ヨナと大きな魚

1. ヨナはどんな人ですか。エホバはヨナに何をするようお命じになりますか。

2. ヨナはエホバから言われた場所へ行きたくないので，どうしますか。

3. ヨナは，あらしを静めるために何をするよう水夫たちに言いますか。

4. さし絵にあるように，ヨナは海の中にしずんでいって，どうなりますか。

5. ヨナは大きな魚のおなかの中にどのくらいの間いましたか。そこで何をしましたか。

6. ヨナは大きな魚から出たあと，どこへ行きますか。そのことから何を学べますか。

付加的な質問：

1. ***ヨナ 1:1-17を読んでください。***

ヨナはニネベの人々に伝道するという割り当てをどう感じていたようですか。（ヨナ 1:2，3。箴 3:7。伝 8:12）

2. ***ヨナ 2:1，2，10を読んでください。***

ヨナの経験した事柄から，エホバが祈りを聞き届けてくださるということをどのように確信できますか。（詩 22:24；34:6。ヨハ一 5:14）

3. ***ヨナ 3:1-10を読んでください。***

（イ）エホバが，最初は割り当てを果たさなかったヨナをその後もお用いになったことから，どんな励みを得られますか。（詩 103:14。ペテ一 5:10）

（ロ）先入観を持って区域の人々を見ることについて，ニネベの人々に関するヨナの経験から何を学べますか。（ヨナ 3:6-9。伝 11:6。使徒 13:48）

第71話
神は楽園を約束される

1. イザヤはどんな人ですか。どの時代の人ですか。エホバはイザヤに何を示されましたか。

2.「パラダイス」ということばにはどんな意味がありますか。そのことから，何を思い出しますか。

3. エホバは新しい楽園についてどんなことを書くようイザヤにお命じになりましたか。

4. アダムとエバが美しい住みかを失ったのはなぜですか。

5. エホバはご自分を愛する人々に何を約束しておられますか。

付加的な質問：

1. ***イザヤ 11:6-9を読んでください。***

（イ）神の言葉は新しい世で動物と人間の間に見られる平和な関係をどのように描いていますか。（詩 148:10，13。イザ 65:25。エゼ 34:25）

（ロ）イザヤの言葉は今日，エホバの民の間でどのように霊的成就を見ていますか。（ロマ 12:2。エフェ 4:23，24）

（ハ）現在および新しい世における人々の人格上の変化に関し，誉れを受けるべきなのはだれですか。（イザ 48:17，18。ガラ 5:22，23。フィリ 4:7）

2. ***啓示 21:3，4を読んでください。***

（イ）神が人間と共に住むということは，神が文字通り地上におられるという意味ではなく，比喩的な意味であることを，聖句はどのように示していますか。（レビ 26:11，12。代二 6:18。イザ 66:1。啓 21:2，3，22-24）

(ロ) どんな涙と痛みが取り除かれますか。(ルカ 8:49-52。ロマ 8:21, 22。啓 21:4)

第72話
神はヒゼキヤ王を助ける

1. さし絵の人はだれですか。この人がたいへん困っているのはなぜですか。

2. ヒゼキヤはどんな手紙を神の前に置いていますか。何を祈っていますか。

3. ヒゼキヤはどんな王ですか。エホバは預言者イザヤを通してヒゼキヤにどんな音信を送りますか。

4. さし絵にあるように，エホバのみ使いはアッシリア人をどうしましたか。

5. 二部族の王国はしばらくのあいだ平和でしたが，ヒゼキヤが死んだあと，どうなりますか。

付加的な質問:

1. ***列王第二 18:1-36を読んでください。***

(イ) アッシリアの代弁者ラブシャケはどのようにイスラエル人の信仰を弱めようとしましたか。(王二 18:19, 21。出 5:2。詩 64:3)
(ロ) エホバの証人は，反対者を扱う際，ヒゼキヤの模範をどのように心に留めますか。(王二 18:36。詩 39:1。箴 26:4。テモ二 2:24, 25)

2. ***列王第二 19:1-37を読んでください。***

(イ) 今日のエホバの民は，苦難のとき，どのようにヒゼキヤに見倣いますか。(王二 19:1, 2。箴 3:5, 6。ヘブ 10:24, 25。ヤコ 5:14, 15)
(ロ) セナケリブ王はどんな三度の敗北を経験しましたか。セナケリブ王は預言的にだれを表わしていますか。(王二 19:32, 35, 37。啓 20:2, 3)

3. ***列王第二 21:1-6, 16を読んでください。***

エルサレムで支配した王たちの中でマナセが特に邪悪だったと言えるのはなぜですか。(代二 33:4-6, 9)

第73話
イスラエルの最後の良い王

1. ヨシヤ(ヨシア)が王になったのは何歳の時ですか。王になって七年後に何をするようになりますか。

2. 最初のさし絵は，ヨシヤが何をしているところですか。

3. 大祭司は人々が神殿の修理をしている時に何を見つけますか。

4. ヨシヤが服を引きさいたのはなぜですか。

5. 女預言者のフルダはエホバからのどんな音信をヨシヤに告げますか。

付加的な質問:

1. ***歴代第二 34:1-28を読んでください。***

(イ) 大変な子ども時代を過ごさざるを得なかった人たちはヨシヤのどんな点を見倣えますか。(代二 33:21-25; 34:1, 2。詩 27:10)
(ロ) ヨシヤは，真の崇拝を促進するため，統治の第8年，第12年，第18年にどんな重要な手段を講じましたか。(代二 34:3, 8)
(ハ) 崇拝の場所の維持・管理に関して，ヨシヤ王と大祭司ヒルキヤからどんな教訓を学べますか。(代二 34:9-13。箴 11:14。コリ一 10:31)

第74話
おくすることのない人

1. さし絵の中の若者はだれですか。

2. エレミヤは自分が預言者になることをどう思っていますか。しかし，エホバはエレミヤに何とおっしゃいますか。

3. エレミヤは人々にどんな音信を伝え続けますか。

4. 祭司たちはどんなことをしてエレミヤをだまらせようとしますか。しかし，エレミヤは，おくする者でないことをどのように示しますか。

5. イスラエル人が悪い生き方を改めなければ，どんな結果になりますか。

付加的な質問:

1. ***エレミヤ 1:1-8を読んでください。***

(イ) エレミヤの模範に示されている通り，エホバに奉仕する資格は，どのようにして得られますか。(コリ二 3:5, 6)
(ロ) エレミヤの模範は今日のクリスチャンの若者にとってどんな励ましになりますか。(伝 12:1。テモ一 4:12)

2. ***エレミヤ 10:1-5を読んでください。***

エレミヤは，偶像に依り頼むことのむなしさを示すために，どんな強力な例えを用いますか。(エレ 10:5。イザ 46:7。ハバ 2:19)

3. ***エレミヤ 26:1-16を読んでください。***

(イ) 油そそがれた残りの者たちは今日，警告の音信を鳴り響かせる際，エホバがエレミヤにお与えになった「一言も取り去ってはならない」という命令にどのように留意してきましたか。(エレ 26:2。申 4:2。使徒 20:27)
(ロ) エレミヤは，エホバの警告を諸国民に宣明する今日のエホバの証人にとって，どんな立派な手本ですか。(エレ 26:8, 12, 14, 15。テモ二 4:1-5)

4. ***列王第二 24:1-17を読んでください。***

エホバに対するユダの不忠実さはどんな悲惨な結果をもたらしましたか。(王二 24:2-4, 14)

第75話
バビロンに行った四人の若者

1. さし絵の四人の若者はだれですか。この人たちがバビロンにいるのはなぜですか。

2. ネブカドネザル(ネブカデネザル)は四人の若者をどうするつもりですか。それで，しもべたちに何を命じますか。

3. ダニエルは自分と三人の友だちのために食べ物と飲み物についてどんなことを願みますか。

4. ダニエルと三人の友だちは，十日のあいだ野菜を食べたあと，ほかの若者とくらべてどのように違っていましたか。

5. ダニエルと三人の友だちはどうして王の宮殿にとどまるようになりましたか。四人はどんな点で祭司や知恵のある者よりすぐれていますか。

付加的な質問:

1. ***ダニエル 1:1-21を読んでください。***

(イ) 誘惑に抵抗し，弱さを克服したいなら，どんな努力が必要ですか。(ダニ 1:8。創 39:7, 10。ガラ 6:9)

(ロ) 今日の若者たちは，どのように，いわゆる「美食」に熱中させようとする誘惑や圧力にさらされることがありますか。(ダニ 1:8。箴 20:1。コリ二 6:17-7:1)

(ハ) ヘブライ人の四人の若者に関する聖書の記述は，世俗の知識を取り入れることについて何を認識するのに役立ちますか。(ダニ 1:20。イザ 54:13。コリ一 3:18-20)

第76話

エルサレムのほろび

1. この絵にあるとおり，エルサレムとイスラエル人には何が起きていますか。

2. エゼキエルはどんな人ですか。エホバはエゼキエルにどんなおどろくべきことをお見せになりますか。

3. イスラエル人はエホバをうやまわないのでどうなる，とエホバはおっしゃいますか。

4. イスラエル人がネブカドネザル(ネブカデネザル)王に反逆した後，王はどうしますか。

5. イスラエル人がこのようなひどいほろびを経験するのをエホバがお許しになったのはなぜですか。

6. どのようなことがあって，イスラエルの土地には人がだれもいなくなりますか。それはどれほどの期間続きますか。

付加的な質問:

1. ***列王第二 25:1-26を読んでください。***

(イ) ゼデキヤはどんな人ですか。その人はどうなりましたか。それは，どんな聖書預言の成就でしたか。(王二 25:5-7。エゼ 12:13-15)

(ロ) エホバは，イスラエルのあらゆる不忠実な行為の責任をだれに問われましたか。(王二 25:9, 11, 12, 18, 19。代二 36:14, 17)

2. ***エゼキエル 8:1-18を読んでください。***

キリスト教世界は背教したイスラエル人の太陽崇拝者にどのように倣ってきましたか。(エゼ 8:16。イザ 5:20, 21。ヨハ 3:19-21。テモ二 4:3)

第77話

かれらは身をかがめなかった

1. バビロンの王ネブカドネザル(ネブカデネザル)はどんな命令を出しましたか。

2. ダニエルの三人の友だちが金の像に身をかがめていないのはなぜですか。

3. 三人のヘブライ人は，王から身をかがめる機会をもう一度あたえられた時，エホバによりたのんでいることをどのように示しますか。

4. 王は，シャデラクとメシャクとアベデネゴをどうするよう家来たちに命令しますか。

5. ネブカドネザル王が炉の中をのぞくと，何が見えますか。

6. 王がシャデラクとメシャクとアベデネゴの神をほめたたえたのはなぜですか。その三人の若者はわたしたちにとってどんな手本ですか。

付加的な質問:

1. ***ダニエル 3:1-30を読んでください。***

(イ) 神の僕はみな，忠誠の試みに直面したとき，三人の若いヘブライ人が示したどんな態度に見倣うべきですか。(ダニ 3:17, 18。マタ 10:28。ロマ 14:7, 8)

(ロ) エホバ神はネブカドネザルにどんな大切な教訓を学ばせましたか。(ダニ 3:28, 29; 4:34, 35)

第78話

手でかべに書かれた文字

1. バビロンの王が大えん会を開き，エルサレムのエホバの神殿からうばったさかずきやはちを使ったとき，どんなことが生じますか。

2. ベルシャザルは知恵者たちに何と言いますか。しかし，知恵者たちに何をする力はありませんでしたか。

3. 王の母親はどうするようにと王に言いますか。

4. ダニエルが王に語った言葉からすると，神が手を用いてかべに文字を書かせたのはなぜですか。

5. ダニエルはかべの文字の意味をどう説明しますか。

6. ダニエルがまだ話しているあいだに，どんなことが起きますか。

付加的な質問:

1. ***ダニエル 5:1-31を読んでください。***

(イ) 敬虔な恐れは，ベルシャザルが壁に書かれた文字を見たときに感じた恐れとどう違いますか。(ダニ 5:6, 7。詩 19:9。ロマ 8:35-39)

(ロ) ダニエルは，ベルシャザルと大官たちに向かって話した時，強い勇気をどのように示しましたか。(ダニ 5:17, 18, 22, 26-28。使徒 4:29)

(ハ) ダニエル書 5章はエホバの宇宙主権をどのように強調していますか。(ダニ 4:17, 25; 5:21)

第79話

ライオンの穴に入れられたダニエル

1. ダリウス(ダリヨス)はどんな人ですか。ダニエルのことをどう思っていますか。

2. ダニエルをねたむ人たちはダリウスに何をさせますか。

3. ダニエルは新しい法律のことを知ったとき，どうしますか。

4. 心がさわいでダリウスがねむれなかったのはなぜですか。翌朝，王はどうしますか。

5. ダニエルはダリウスに何と答えますか。

6. ダニエルを殺そうとした悪者たちはどうなりますか。ダリウスは国民すべてにどのようなことを書き送りますか。

付加的な質問：

1. ***ダニエル 6:1-28を読んでください。***

（イ）ダニエルに対する陰謀は，反対者たちが現代のエホバの証人の業をやめさせようとして行なったこととどのように似ていますか。（ダニ 6:7。詩 94:20。イザ 10:1。ロマ 8:31）

（ロ）今日の神の僕は，「上位の権威」に服する点でどのようにダニエルに見倣えますか。（ダニ 6:5, 10。ロマ 13:1。使徒 5:29）

（ハ）エホバに「常に」仕えたダニエルの手本にどのように見倣えますか。（ダニ 6:16, 20。フィリ 3:16。啓 7:15）

第80話

神の民はバビロンを去る

1. このさし絵は，イスラエル人がどんな行動を取っているところですか。

2. キュロス（クロス）はイザヤを通して語られたエホバの預言をどのように成就しましたか。

3. キュロスはエルサレムへもどれないイスラエル人に何と言いますか。

4. キュロスは，エルサレムへ持って帰らせようと，人々に何をわたしますか。

5. イスラエル人がエルサレムへもどるのに，どれほど長くかかりますか。

6. エルサレムの地に人が全くいなくなってから何年たっていますか。

付加的な質問：

1. ***イザヤ 44:28; 45:1-4を読んでください。***

（イ）エホバはキュロスに関する預言が確かに成就することをどのように強調なさいましたか。（イザ 55:10, 11。ロマ 4:17）

（ロ）キュロスに関するイザヤの預言は，将来を予告するエホバ神の能力について何を示していますか。（イザ 42:9; 45:21; 46:10, 11。ペテ二 1:20）

2. ***エズラ 1:1-11を読んでください。***

今日，エルサレムへもどれなかった人々の模範に倣って，どうすれば全時間奉仕に入ることのできる人々の『手を強める』ことができますか。（エズ 1:4, 6。ロマ 12:13。コロ 4:12）

第81話

神の助けによりたのむ

1. どれほどの数の人がバビロンからエルサレムまでの長い旅をしましたか。しかし，着いてみると，どんなことが分かりますか。

2. イスラエル人は到着してから，何を建て始めますか。ところが，敵たちは何をしますか。

3. ハガイとゼカリヤはどんな人ですか。二人は何を始めるよう人々に言いますか。

4. タテナイがバビロンへ手紙を送ったのはなぜですか。どんな返事がとどきましたか。

5. エズラは神殿を修理する必要があることを知って，どうしますか。

6. さし絵の中でエズラは何を祈っていますか。その祈りはどのように聞きとどけられますか。そのことから，どんなことが分かりますか。

付加的な質問：

1. ***エズラ 3:1-13を読んでください。***

神の民の会衆がない所にいても，何を行ない続けるべきですか。（エズ 3:3, 6。使徒 17:16, 17。ヘブ 13:15）

2. ***エズラ 4:1-7を読んでください。***

ゼルバベルは信仰合同に関してエホバの民にどんな模範を示しましたか。（出 34:12。コリ一 15:33。コリ二 6:14-17）

3. ***エズラ 5:1-5, 17; 6:1-22を読んでください。***

（イ）反対者たちが神殿の建築工事をとどめることができなかったのはなぜですか。（エズ 5:5。イザ 54:17）

（ロ）ユダヤ人の年長者たちの行動は，クリスチャンの長老が反対に直面したときエホバの導きを求めるうえで，どのように励みになりますか。（エズ 6:14。詩 32:8。ロマ 8:31。ヤコ 1:5）

4. ***エズラ 8:21-23, 28-36を読んでください。***

何らかの行動を起こす前に，エズラのどんな模範に倣うとよいでしょうか。（エズ 8:23。詩 127:1。箴 10:22。ヤコ 4:13-15）

第82話

モルデカイとエステル

1. モルデカイとエステルは，それぞれどんな人ですか。

2. アハシュエロス王が新しい妻をむかえたいと思ったのはなぜですか。だれを選びましたか。

3. ハマンはどんな人ですか。どんなことで，とてもおこりますか。

4. どんな法律が作られますか。エステルはモルデカイの伝言を聞いて，どうしますか。

5. ハマンはどうなりますか。しかし，モルデカイはどうなりますか。

6. イスラエル人はどのように敵から救われますか。

付加的な質問：

1. ***エステル 2:12-18を読んでください。***

エステルは「もの静かで温和な霊」を培うことの価値をどのように実証しましたか。（エス 2:15。ペテ一 3:1-5）

2. ***エステル 4:1-17を読んでください。***

エステルが真の崇拝のために行動する機会を与えられたように，わたしたちも今日，エホバに対する専心と忠節を表わすどんな機会を与えられていますか。（エス 4:13, 14。マタ 5:14-16; 24:14）

3. **エステル 7:1-6を読んでください。**
今日，神の民の多くはエステルと同様，迫害を覚悟のうえでどのように行動しましたか。（エス 7:4。マタ 10:16-22。ペテ一 2:12）

第83話

エルサレムの城へぎ

1. イスラエル人はエルサレムの都に城へぎがないことをどう感じていましたか。

2. ネヘミヤはどんな人ですか。

3. ネヘミヤの仕事は何ですか。その仕事がたいせつなのはなぜですか。

4. ネヘミヤはどんな知らせを聞いて悲しくなりますか。それで，どうしますか。

5. アルタクセルクセス（アルタシャスタ）王はネヘミヤにどのような親切を示しますか。

6. ネヘミヤはイスラエル人の建築が敵によって止められないよう，どのように作業を進めますか。

付加的な質問：

1. **ネヘミヤ 1:4-6; 2:1-20を読んでください。**
ネヘミヤはどのようにエホバの導きを求めましたか。（ネヘ 2:4, 5。ロマ 12:12。ペテ一 4:7）

2. **ネヘミヤ 3:3-5を読んでください。**
長老と奉仕の僕は，普通のテコア人とテコア人の中の「威光のある者たち」の態度が対照的だったことから何を学べますか。（ネヘ 3:5, 27。テサ二 3:7-10。ペテ一 5:5）

3. **ネヘミヤ 4:1-23を読んでください。**
（イ）激しい反対にめげず工事を続けるようイスラエル人を動かしたものは何ですか。（ネヘ 4:6, 8, 9。詩 50:15。イザ 65:13, 14）
（ロ）イスラエル人の模範は今日のわたしたちにとってどのように励みとなりますか。

4. **ネヘミヤ 6:15を読んでください。**
エルサレムの城壁が2か月足らずで完成したことは，信仰の力に関して何を実証していますか。（詩 56:3, 4。マタ 17:20; 19:26）

第84話

み使いがマリアに現われる

1. さし絵の女の人はだれですか。

2. ガブリエルはマリアに何を告げますか。

3. ガブリエルはマリアに対して，男の人とくらしたことがないのに子供が産まれることをどのように説明しますか。

4. マリアが親族のエリサベツのところに行くと，どんなことがありますか。

5. ヨセフはマリアに子供が産まれることを知ったとき，どう思いましたか。しかし，考え直したのはなぜですか。

付加的な質問：

1. **ルカ 1:26-56を読んでください。**
（イ）神の子の命が霊の領域から移された時にマリアの卵子にあったアダムに起因する不完全さについて，ルカ 1章35節は何を示唆していますか。（ハガ 2:11-13。ヨハ 6:69。ヘブ 7:26; 10:5）
（ロ）イエスは生まれる前からどのように誉れを受けていましたか。（ルカ 1:41-43）
（ハ）マリアは，特別な奉仕の特権を与えられている今日のクリスチャンにとって，どんなりっぱな手本を残しましたか。（ルカ 1:38, 46-49; 17:10。箴 11:2）

2. **マタイ 1:18-25を読んでください。**
イエスはインマヌエルという人名を与えられなかったものの，人間としての役割によってその名の意味を成就したとどうして言えますか。（マタ 1:22, 23。ヨハ 14:8-10。ヘブ 1:1-3）

第85話

イエスは家畜小屋で生まれる

1. さし絵のかわいい赤ちゃんはだれですか。マリアはその子をどこにねかせようとしていますか。

2. イエスはどうして動物のいる家畜小屋で生まれたのですか。

3. さし絵の中で家畜小屋にはいろうとしている人たちはだれですか。この人たちはみ使いからどんなことを聞いてやって来ましたか。

4. イエスはなぜ特別な方ですか。

5. イエスを神の子と呼べるのはなぜですか。

付加的な質問：

1. **ルカ 2:1-20を読んでください。**
（イ）カエサル・アウグスツス（アウグスッス）はイエスの誕生に関する預言の成就においてどんな役割を果たしましたか。（ルカ 2:1-4。ミカ 5:2）
（ロ）どうすれば，「善意の人々」と呼ばれる人の一人になれますか。（ルカ 2:14。マタ 16:24。ヨハ 17:3。使徒 3:19。ヘブ 11:6）
（ハ）ユダヤの謙遜な羊飼いたちが救い主の誕生を喜んで当然だったのであれば，今日の神の僕には喜ぶことのできる，もっと強いどんな理由がありますか。（ルカ 2:10, 11。エフェ 3:8, 9。啓 11:15; 14:6）

第86話

星に導かれて来た人たち

1. さし絵の人たちはだれですか。ひとりの人が明るい星を指差しているのはなぜですか。

2. ヘロデ王はなぜ心がおだやかでなくなりましたか。それで，どうしますか。

3. 明るい星はこの人たちをどこへ導きますか。しかし，かれらが別の道を通って自分の国へ帰って行ったのはなぜですか。

4. ヘロデはどんな命令を出しますか。なぜですか。

5. エホバはヨセフにどうするようお命じになりますか。

6. 新しい星を輝かせたのはだれでしたか。そうしたのはなぜですか。

付加的な質問:

1. *マタイ 2:1-23を読んでください。*

占星術者の訪問を受けたとき，イエスは何歳でしたか。また，どこに住んでいましたか。（マタ 2:1, 11, 16）

第87話

神殿の中の少年イエス

1. さし絵のイエスは何歳ですか。この場所はどこですか。
2. ヨセフは毎年，家族といっしょに何をしますか。
3. ヨセフとマリアが家に帰りはじめて一日歩いたあと，エルサレムにもどって行ったのはなぜですか。
4. ヨセフとマリアはイエスをどこで見つけましたか。そこにいた人々がおどろいているのはなぜですか。
5. イエスは母親のマリアに何と言いますか。
6. 神について学ぶうえで，どのようにイエスにならえますか。

付加的な質問:

1. *ルカ 2:41-52を読んでください。*

（イ）律法によれば，年ごとの祭りに出席するよう求められたのは男子だけでしたが，ヨセフとマリアは今日の親たちにどんな優れた手本を残しましたか。（ルカ 2:41。申 16:16; 31:12。箴 22:6）

（ロ）イエスは，今日の若者が親に従う点でどんな良い手本となっていますか。（ルカ 2:51。申 5:16。箴 23:22。コロ 3:20）

2. *マタイ 13:53-56を読んでください。*

イエスの実の兄弟のうち聖書に出ている四人の名前は何といいますか。そのうちの二人は，後にクリスチャン会衆でどのように用いられましたか。（マタ 13:55。使徒 12:17; 15:6, 13; 21:18。ガラ 1:19。ヤコ 1:1。ユダ 1）

第88話

ヨハネはイエスにバプテスマをほどこす

1. さし絵のふたりはだれですか。
2. バプテスマはどのように行なわれますか。
3. ヨハネはふつう，どのような人にバプテスマをほどこしますか。
4. イエスがヨハネに，バプテスマをほどこしてほしい，とたのんだのは，どんな特別な理由があったからですか。
5. 神は，イエスのバプテスマを喜んでおられることを，どのように表わされましたか。
6. イエスがさびしい場所へ行って，40日のあいだそこにいるときに，どんなことが起きますか。
7. イエスの最初の追随者，つまり弟子にはどんな人たちがいますか。イエスが最初に行なった奇跡はどんなものでしたか。

付加的な質問:

1. *マタイ 3:13-17を読んでください。*

イエスは，弟子たちのバプテスマに関してどんな手本を残されましたか。（詩 40:7, 8。マタ 28:19, 20。ルカ 3:21, 22）

2. *マタイ 4:1-11を読んでください。*

イエスが聖書を巧みに用いたことは，聖書を定期的に研究するうえで，どのように励みとなりますか。（マタ 4:5-7。ペテ二 3:17, 18。ヨハ一 4:1）

3. *ヨハネ 1:29-51を読んでください。*

バプテスマを施す人ヨハネは，自分の弟子たちをだれのもとに導きましたか。今日わたしたちは，どのようにヨハネに見倣えますか。（ヨハ 1:29, 35, 36; 3:30。マタ 23:10）

4. *ヨハネ 2:1-12を読んでください。*

イエスの最初の奇跡は，エホバがご自分の僕に良いものを何も差し控えておられないことを，どのように示していますか。（ヨハ 2:9, 10。詩 84:11。ヤコ 1:17）

第89話

イエスは神殿を清める

1. 神殿で動物が売られているのはなぜですか。
2. イエスはなぜおこっているのですか。
3. この絵にあるように，イエスはどんなことを行ないますか。はとを売っている者たちに何とお命じになりますか。
4. イエスの弟子たちはイエスがなさることを見て，何を思い出しますか。
5. イエスは，ガリラヤにもどる途中，どの地方を通りますか。

付加的な質問:

1. *ヨハネ 2:13-25を読んでください。*

神殿にいた両替屋にイエスがひどく腹を立てたことからすれば，王国会館での商業活動をどう見るべきですか。（ヨハ 2:15, 16。コリ一 10:24, 31-33）

第90話

井戸のそばで女の人に

1. イエスがサマリアの井戸のそばで足を止めたのはなぜですか。そこに来た女の人に何と言っておられますか。
2. 女の人が驚いたのはなぜですか。イエスはその人に何と言いますか。なぜですか。
3. 女の人はイエスがどんな水のことを言っていると思いますか。しかし，イエスが実際に言っておられたのは，どんな水のことですか。
4. 女の人がイエスに自分のことを言われて，おどろいたのはなぜですか。イエスはその情報をどのようにして得ましたか。
5. 井戸のそばの女の人についての記述から，どんな教訓を学べますか。

付加的な質問:

1. *ヨハネ 4:5-43を読んでください。*

（イ）イエスの模範に倣い，人種的・社会的背景が自分と異なる人に対して，どんな態度を示すべきですか。（ヨハ 4:9。コリ一 9:22。テモ一 2:3, 4。テト 2:11）

(ロ) イエスの弟子になる人には，どんな霊的益がもたらされますか。（ヨハ 4:14。イザ 58:11。コリ二 4:16）

(ハ) 学んだことを熱心に伝えたサマリア人の女に見倣い，どのように感謝を表わすことができますか。（ヨハ 4:7, 28。マタイ 6:33。ルカ 10:40-42）

第91話

山の上で教えるイエス

1. このさし絵の，イエスが教えを説いておられる場所はどこですか。イエスのすぐ近くにすわっている人たちはだれですか。
2. 十二使徒はそれぞれ何という名前ですか。
3. イエスが宣べ伝えていた王国とは何ですか。
4. イエスはどんなことを祈るよう人々に教えますか。
5. イエスは，人がおたがいにどう接するべきかについて何とおっしゃいますか。

付加的な質問：

1. ***マタイ 5:1-12を読んでください。***

霊的な必要を自覚していることを，どのように示せますか。（マタ 5:3。ロマ 10:13-15。テモ一 4:13, 15, 16）

2. ***マタイ 5:21-26を読んでください。***

マタイ 5章23, 24節は，兄弟たちとの関係がエホバとの関係に影響を与えることを，どのように強調していますか。（マタ 6:14, 15。詩 133:1。コロ 3:13。ヨハ一 4:20）

3. ***マタイ 6:1-8を読んでください。***

クリスチャンが避けるべき独善にはどのようなものがありますか。（ルカ 18:11, 12。コリ一 4:6, 7。コリ二 9:7）

4. ***マタイ 6:25-34を読んでください。***

イエスは，物質面でエホバに依り頼むことの必要性について，どんなことを教えましたか。（出 16:4。詩 37:25。フィリ 4:6）

5. ***マタイ 7:1-11を読んでください。***

マタイ 7章5節の強烈な例えから何が学べますか。（箴 26:12。ロマ 2:1; 14:10。ヤコ 4:11, 12）

第92話

イエスは死者を生き返らせる

1. さし絵の少女の父親はどういう人ですか。父親と母親がひどく心配したのはなぜですか。
2. ヤイロはイエスを見つけて，どんなことをしますか。
3. イエスがヤイロの家に向かっているとき，どんなことがありますか。そのとき，ヤイロはどんな知らせを受けますか。
4. ヤイロの家にいた人々がイエスをばかにして笑ったのはなぜですか。
5. イエスは三人の使徒，それに少女の父親と母親を連れて少女の部屋にはいり，何をしますか。
6. イエスはほかにだれを生き返らせたことがありますか。このことから何がわかりますか。

付加的な質問：

1. ***ルカ 8:40-56を読んでください。***

イエスは，血の流出を患っていた女性に対してどのように同情心を示し，道理にかなった態度で接しましたか。今日のクリスチャンの長老は，そのことから何を学べますか。（ルカ 8:43, 44, 47, 48。レビ 15:25-27。マタ 9:12, 13。コロ 3:12-14）

2. ***ルカ 7:11-17を読んでください。***

愛する家族を亡くした人にとって，ナインのやもめを見たときのイエスの反応はなぜ大きな慰めになりますか。（ルカ 7:13。コリ二 1:3, 4。ヘブ 4:15）

3. ***ヨハネ 11:17-44を読んでください。***

イエスは，愛する家族を亡くして悲嘆するのが異常ではないことをどのように示しましたか。（ヨハ 11:33-36, 38。サム二 18:33; 19:1-4）

第93話

イエスは多くの人に食物をあたえる

1. バプテスマを施す人ヨハネの身にどんなひどいことが起きますか。そのために，イエスはどんな気持ちになりますか。
2. イエスは，後をついて来た群衆にどうやって食物をあたえますか。食物はどれだけ残りましたか。
3. 夜になって，弟子たちがおそれたのはなぜですか。ペテロはどんな経験をしますか。
4. イエスはもう一度，どうやって何千人もの人に食物をあたえますか。
5. イエスが神から任命された王として地球を支配するときはすばらしい，となぜ言えますか。

付加的な質問：

1. ***マタイ 14:1-32を読んでください。***

(イ) マタイ 14章23-32節の記述から，ペテロの性格についてどんなことを洞察できますか。

(ロ) 聖書の記録は，ペテロが円熟し，衝動的な行動を制御できるようになったことを，どのように示していますか。（マタ 14:27-30。ヨハ 18:10; 21:7。使徒 2:14, 37-40。ペテ一 5:6, 10）

2. ***マタイ 15:29-38を読んでください。***

イエスは，み父によって備えられた物質的なものをどのように大切にしましたか。（マタ 15:37。ヨハ 6:12。コロ 3:15）

3. ***ヨハネ 6:1-21を読んでください。***

今日のクリスチャンは政府に関して，どのようにイエスの手本に倣えますか。（ヨハ 6:15。マタ 22:21。ロマ 12:2; 13:1-4）

第94話

幼子たちを愛したイエス

1. 使徒たちは，長い旅から帰る道々，何を言い合っていましたか。
2. イエスが幼子を呼んで，使徒たちの真ん中に立たせたのはなぜですか。
3. 使徒たちはどんな点で子供のようになるべきですか。

4. 何か月か後にイエスは，子供たちを愛していることをどのように示しますか。

付加的な質問：

1. *マタイ 18:1-4を読んでください。*

イエスが例えを用いて教えたのはなぜですか。（マタ 13:34，36。マル 4:33，34）

2. *マタイ 19:13-15を読んでください。*

王国の祝福にあずかるには，幼子のどんな特質に見倣う必要がありますか。（詩 25:9；138:6。コリ一 14:20）

3. *マルコ 9:33-37を読んでください。*

イエスは，目立った地位を望むことについて弟子たちにどんなことを教えましたか。（マル 9:35。マタ 20:25，26。ガラ 6:3。フィリ 2:5-8）

4. *マルコ 10:13-16を読んでください。*

イエスはどれほど近づきやすい人でしたか。クリスチャンの長老はその模範から何を学べますか。（マル 6:30-34。フィリ 2:1-4。テモ一 4:12）

第95話
イエスの教え方

1. ひとりの男はイエスにどんな質問をしますか。なぜですか。

2. イエスは時々，何を用いて教えますか。ユダヤ人とサマリア人については，すでにどんなことを学びましたか。

3. イエスが述べた物語に出て来るユダヤ人は，エリコへ向う道で，どんな目にあいますか。

4. その道をやって来たユダヤ人の祭司とレビ人は，それぞれどうしますか。

5. さし絵の中で，傷を負ったユダヤ人を助けているのはだれですか。

6. イエスは話し終えると，どんな質問をしますか。男はどのように答えますか。

付加的な質問：

1. *ルカ 10:25-37を読んでください。*

（イ）イエスは直接の答えを述べず，律法に通じた男性が問題について推論するようどのように助けましたか。（ルカ 10:26。マタ 16:13-16）

（ロ）イエスは，聞き手の偏見を取り除くために，どのように例えを用いましたか。（ルカ 10:36，37；18:9-14。テト 1:9）

第96話
イエスは病人を治す

1. イエスは国中をまわりながら何を行ないますか。

2. イエスは，バプテスマを受けてから三年ほどして，使徒たちに何をお話しになりますか。

3. さし絵のこの人たちはだれですか。イエスはこの女の人のために何をなさいますか。

4. 文句を言った宗教指導者たちは，イエスに何と言われて恥じ入りますか。

5. イエスは，使徒たちとエリコの近くにいたとき，目の見えないふたりのこじきのために何をなさいますか。

6. イエスが奇跡を行なわれたのはなぜですか。

付加的な質問：

1. *マタイ 15:30，31を読んでください。*

イエスを通して，エホバの力のどんなすばらしい表明が行なわれましたか。そのことは，新しい世についてのエホバの約束に対する理解にどう影響するはずですか。（詩 37:29。イザ 33:24）

2. *ルカ 13:10-17を読んでください。*

イエスが安息日に幾度か行なわれた非常に目覚ましい奇跡は，どのように，イエスが千年支配の期間中に人類にもたらす解放を予示していますか。（ルカ 13:10-13。詩 46:9。マタ 12:8。コロ 2:16，17。啓 21:1-4）

3. *マタイ 20:29-34を読んでください。*

この記述は，イエスは忙しすぎて人を助けられないなどということがなかったことを，どのように示していますか。そのことから何を学べますか。（申 15:7。ヤコ 2:15，16。ヨハ一 3:17）

第97話
イエスは王として来る

1. イエスはエルサレムの近くの小さな村に来ると，どうすることを弟子たちに命じますか。

2. さし絵にあるように，イエスがエルサレムの町に近づいた時，どんなことが行なわれますか。

3. 幼い子供たちは，イエスが目の見えない人や足の不自由な人をいやすのを見て，どうしますか。

4. イエスは，腹を立てた祭司たちに何と言いますか。

5. わたしたちは，イエスをほめたたえた子供たちにどのようになられますか。

6. 弟子たちは何を知りたいと思っていますか。

付加的な質問：

1. *マタイ 21:1-17を読んでください。*

（イ）王としてエルサレムに入ったイエスは，ローマ時代の，戦勝者となった将軍とどのように異なっていましたか。（マタ 21:4，5。ゼカ 9:9。フィリ 2:5-8。コロ 2:15）

（ロ）若い人は，イエスが神殿に入った時に詩編 118編を引用したイスラエルの少年たちからどんな教訓を学べますか。（マタ 21:9，15。詩 118:25，26。テモ二 3:15。ペテ二 3:18）

2. *ヨハネ 12:12-16を読んでください。*

イエスを歓呼して迎えた人々がやしの枝を用いたことは何のしるしでしたか。（ヨハ 12:13。フィリ 2:10。啓 7:9，10）

第98話
オリーブ山の上で

1. さし絵の中のどの人がイエスですか。イエスといっしょにいる人たちはだれですか。

2. 祭司たちは神殿でイエスをどうしようとしましたか。イエスは彼らに何とおっしゃいましたか。

3. 使徒たちはイエスに何をたずねますか。

4. イエスが，天で王として治めるときに地上で起きる事柄をいくつか使徒たちに話されるのはなぜですか。

5. イエスによると，イエスが地上の悪すべてを終わらせる前にどんなことが起きますか。

付加的な質問:

1. *マタイ 23:1-39を読んでください。*

(イ) 聖書は世俗の称号を用いても構わないことを示していますが，マタイ 23章8-11節のイエスの言葉から，クリスチャン会衆内でへつらいの称号を用いることについては何が分かりますか。(使徒 26:25。ロマ 13:7。ペテ一 2:13, 14)

(ロ) パリサイ人は，人々がクリスチャンにならないようにするためにどんな手段を用いましたか。今日の宗教指導者たちは同様の手段をどのように用いてきましたか。(マタ 23:13。ルカ 11:52。ヨハ 9:22; 12:42。テサ一 2:16)

2. *マタイ 24:1-14を読んでください。*

(イ) マタイ 24章13節で忍耐の大切さがどのように強調されていますか。

(ロ) マタイ 24章13節にある「終わり」とは，どういう意味ですか。(マタ 16:27。ロマ 14:10-12。コリ二 5:10)

3. *マルコ 13:3-10を読んでください。*

良いたよりの伝道が急を要することは，マルコ 13章10節のどの表現から分かりますか。イエスの言葉はわたしたちにどんな影響を及ぼすはずですか。(ロマ 13:11, 12。コリ一 7:29-31。テモ二 4:2)

第99話
二階の部屋で

1. さし絵にあるように，イエスと十二使徒が上の階の大広間にいるのはなぜですか。

2. 部屋を出て行くのはだれですか。何をするつもりですか。

3. イエスは，過ぎ越しの食事のあと，どんな特別な食事をお始めになりますか。

4. 過ぎ越しはイスラエル人に何を思い出させましたか。今度の特別な食事はイエスの弟子たちに何を思い出させるものですか。

5. 主の晩さんのあと，イエスは弟子たちに何と言いますか。それから，みなで何をしますか。

付加的な質問:

1. *マタイ 26:14-30を読んでください。*

(イ) マタイ 26章15節は，イエスに対するユダの裏切りが故意の行動であったことを，どのように示していますか。

(ロ) イエスの流した血はどんな二重の目的を果たしていますか。(マタ 26:27, 28。エレ 31:31-33。エフェ 1:7。ヘブ 9:19, 20)

2. *ルカ 22:1-39を読んでください。*

サタンは，どのような意味でユダに入り込みましたか。(ルカ 22:3。ヨハ 13:2。使徒 1:24, 25)

3. *ヨハネ 13:1-20を読んでください。*

(イ) ヨハネ 13章2節の記述を考えるとき，ユダの行動の責任をユダ本人に問うことはできますか。そのことは，神の僕にとってどんな教訓になりますか。(創 4:7。コリ二 2:11。ガラ 6:1。ヤコ 1:13, 14)

(ロ) イエスは実例を示して，どんな効果的な教育を行ないましたか。(ヨハ 13:15。マタ 23:11。ペテ一 2:21)

4. *ヨハネ 17:1-26を読んでください。*

イエスは，どのような意味で追随者たちが「一つになる」ことを祈られましたか。(ヨハ 17:11, 21-23。ロマ 13:8; 14:19。コロ 3:14)

第100話
園の中のイエス

1. イエスと使徒たちは上の階の部屋を出てから，どこへ行きますか。イエスは使徒たちに何をしているようにと言いますか。

2. イエスがもどったとき，使徒たちはどんなようすでしたか。そのようなことが何回ありますか。

3. だれが園にはいって来ますか。さし絵にあるように，ユダ・イスカリオテは何をしますか。

4. ユダがイエスに口づけをしたのはなぜですか。ペテロは何をしましたか。

5. イエスはペテロに何と言いますか。しかしイエスが，み使いをつかわしてくださるよう神にお願いしないのはなぜですか。

付加的な質問:

1. *マタイ 26:36-56を読んでください。*

(イ) 弟子たちに対するイエスの助言の与え方は，今日のクリスチャンの長老にとってどのように優れた手本ですか。(マタ 20:25-28; 26:40, 41。ガラ 5:17。エフェ 4:29, 31, 32)

(ロ) 仲間の人間に対して肉的な武器を使うことをイエスはどう考えていましたか。(マタ 26:52。ルカ 6:27, 28。ヨハ 18:36)

2. *ルカ 22:39-53を読んでください。*

み使いがイエスを強めるためゲッセマネの園でイエスに現われたということは，イエスの信仰がぐらついていたということでしょうか。説明してください。(ルカ 22:41-43。イザ 49:8。マタ 4:10, 11。ヘブ 5:7)

3. *ヨハネ 18:1-12を読んでください。*

イエスは弟子たちをどのように反対者から守りましたか。その模範から何を学べますか。(ヨハ 10:11, 12; 18:1, 6-9。ヘブ 13:6。ヤコ 2:25)

第101話
イエスは殺される

1. イエスの死に対して，おもな責任を負っているのはだれですか。

2. イエスが宗教指導者に連れていかれるとき，使徒たちはどうしましたか。

3. 大祭司カヤファの家で，何がありますか。

4. ペテロが出て行って泣いたのはなぜですか。

5. イエスがピラトのところへ送り返されると，祭司長たちは何とさけびますか。

6. 金曜日の午後早く，イエスはどうなりますか。イエスは，となりのくいにかけられた犯罪者にどんな約束をしますか。

7. イエスはどこにあるパラダイスのことを言っておられたのですか。

付加的な質問：

1. ***マタイ 26:57-75を読んでください。***

ユダヤ人の高等法廷の成員は，心の邪悪さをどのように示しましたか。（マタ 26:59, 67, 68）

2. ***マタイ 27:1-50を読んでください。***

ユダの悔恨の情は心からのものでなかったと，どうして言えますか。（マタ 27:3, 4。マル 3:29; 14:21。コリ二 7:10, 11）

3. ***ルカ 22:54-71を読んでください。***

イエスが裏切られて捕縛された夜，ペテロがイエスを否認したことから，どんな教訓を学べますか。（ルカ 22:60-62。マタ 26:31-35。コリ一 10:12）

4. ***ルカ 23:1-49を読んでください。***

イエスは不公正な仕打ちにどう反応しましたか。そのことから，どんな教訓を学べますか。（ルカ 23:33, 34。ロマ 12:17-19。ペテ一 2:23）

5. ***ヨハネ 18:12-40を読んでください。***

人への恐れで一時的に萎縮してしまったペテロが立ち直って立派な使徒になったことから，どんなことが分かりますか。（ヨハ 18:25-27。コリ一 4:2。ペテ一 3:14, 15; 5:8, 9）

6. ***ヨハネ 19:1-30を読んでください。***

（イ）イエスは物質的なものに対してどんな平衡の取れた見方をしておられましたか。（ヨハ 2:1, 2, 9, 10; 19:23, 24。マタ 6:31, 32; 8:20）

（ロ）イエスが死ぬ間際に語った言葉は，どのように，エホバの主権を擁護したという勝利宣言となっていますか。（ヨハ 16:33; 19:30。ペテ二 3:14。ヨハ一 5:4）

第102話

イエスは生きている

1. さし絵の女の人はだれですか。ふたりの男の人は実際にはだれですか。彼らがいる場所はどこですか。

2. ピラトが，イエスの墓に番兵を送るよう祭司たちに命じたのはなぜですか。

3. イエスの死から三日めの朝早く，み使いは何をしますか。しかし，祭司たちはどうしますか。

4. いく人かの女の人がイエスの墓に行っておどろいたのはなぜですか。

5. ペテロとヨハネはなぜイエスの墓に走って行きましたか。そこで何を見ますか。

6. イエスのからだはどうなりましたか。しかし，イエスは，ご自分が生きていることを弟子たちに示すために何を行ないますか。

付加的な質問：

1. ***マタイ 27:62-66; 28:1-15を読んでください。***

イエスの復活の際，祭司長とパリサイ人と年長者たちはどのように聖霊に対して罪をおかしましたか。（マタ 12:24, 31, 32; 28:11-15）

2. ***ルカ 24:1-12を読んでください。***

イエスの復活についての記述は，エホバが女性を信頼できる証人とみなしておられることをどのように示していますか。（ルカ 24:4, 9, 10。マタ 28:1-7）

3. ***ヨハネ 20:1-12を読んでください。***

聖書預言の成就について十分な理解が得られないときは辛抱強い態度が必要であることを，ヨハネ 20章8, 9節はどのように教えてくれますか。（箴 4:18。マタ 17:22, 23。ルカ 24:5-8。ヨハ 16:12）

第103話

かぎのかかった部屋の中へ

1. マリアは，園丁だと思った男の人に何と言いますか。しかし，その人が実はイエスであることを何から知りますか。

2. エマオという村に向って歩いていたふたりの弟子はどんな経験をしますか。

3. ふたりの弟子がイエスに会ったことを使徒たちに話していると，どんなおどろくべきことが起こりますか。

4. イエスは弟子たちに何度，姿を現わしますか。

5. トマスは，弟子たちが主を見たという話を聞いて，何と言いますか。しかし，八日後にどんなことがありますか。

付加的な質問：

1. ***ヨハネ 20:11-29を読んでください。***

イエスはヨハネ 20章23節で，人間は罪を許す権限を与えられていると言われたのですか。説明してください。（詩 49:2, 7。イザ 55:7。テモ一 2:5, 6。ヨハ一 2:1, 2）

2. ***ルカ 24:13-43を読んでください。***

どのように心を定めれば，聖書の真理を受け入れやすくなりますか。（ルカ 24:32,33。エズ 7:10。マタ 5:3。使徒 16:14。ヘブ 5:11-14）

第104話

イエスは天にもどる

1. あるときには，何人の弟子がイエスを見ましたか。イエスはその人たちにどんなことをお話しになりますか。

2. 神の王国とは何ですか。イエスが1,000年間，王として支配されるとき，地上の生活はどのようになりますか。

3. イエスは何日間，弟子たちに姿を現わされますか。しかし，今やどうする時が来ましたか。

4. イエスは弟子たちのもとを去ろうとするとき，何とおっしゃいますか。

5. このさし絵は，どんなことが起きているところですか。イエスはどのように見えなくなりますか。

付加的な質問:

1. ***コリント第一 15:3-8を読んでください。***

使徒パウロがイエスの復活について，強い確信を込めて話せたのはなぜですか。今日のクリスチャンは何について確信を込めて話せますか。（コリ一 15:4，7，8。イザ 2:2，3。マタ 24:14。テモ二 3:1-5）

2. ***使徒 1:1-11を読んでください。***

使徒 1章8節で予告されていたように，宣べ伝える業はどれほど広まりましたか。（使徒 6:7；9:31；11:19-21。コロ 1:23）

第105話

エルサレムで待つ

1. さし絵にあるとおり，エルサレムで待っていたイエスの弟子たちに何が起きますか。

2. エルサレムに来ていた人たちは，どんなおどろくべき経験をしますか。

3. ペテロは人々に何と言って説明しますか。

4. 人々はペテロの説明を聞いて，どんな気持ちになりますか。ペテロから，何をするようにと言われますか。

5. 西暦33年のペンテコステの日にバプテスマを受けたのは，何人ですか。

付加的な質問:

1. ***使徒 2:1-47を読んでください。***

（イ）使徒 2章23，36節のペテロの言葉は，ユダヤ国民全体がイエスの死に対して責任を負っていることをどのように示していますか。（テサ一 2:14，15）

（ロ）聖書から論じる点で，ペテロはどのように良い手本を残しましたか。（使徒 2:16，17，29，31，36，39。コロ 4:6）

（ハ）ペテロは，イエスから与えると約束されていた「天の王国のかぎ」の最初のものをどのように用いましたか。（使徒 2:14，22-24，37，38。マタ 16:19）

第106話

ろう屋から出されて自由になる

1. ある日の午後，神殿にはいって行こうとしたペテロとヨハネは，どんなことに出くわしますか。

2. ペテロは足のわるい男に何と言いますか。そして，お金よりも価値のあるどんな物をあたえますか。

3. 宗教指導者たちがおこったのはなぜですか。ペテロとヨハネにどんなことをしますか。

4. ペテロは宗教指導者たちに何と言いますか。使徒たちはどんなことを命じられますか。

5. 宗教指導者たちがねたんだのはなぜですか。使徒たちがもう一度ろう屋に入れられた時，どんなことが起きますか。

6. 使徒たちは，サンヘドリン広間に連れて行かれた時，何と答えましたか。

付加的な質問:

1. ***使徒 3:1-10を読んでください。***

今日，わたしたちは奇跡を行なう力を与えられていませんが，使徒 3章6節にあるペテロの言葉は，王国の音信の価値を認識するうえでどのように役立ちますか。（ヨハ 17:3。コリ二 5:18-20。フィリ 3:8）

2. ***使徒 4:1-31を読んでください。***

野外宣教で反対に直面する場合，1世紀のクリスチャンの兄弟たちにどのように見倣うことができますか。（使徒 4:29，31。エフェ 6:18-20。テサ一 2:2）

3. ***使徒 5:17-42を読んでください。***

エホバの証人ではない一部の人たちは，昔も今も，どのように，宣べ伝える業に対して道理にかなった態度を示してきましたか。（使徒 5:34-39）

第107話

ステファノは石打ちにされる

1. ステファノとはどんな人ですか。神はステファノにどんなことを行なわせてきましたか。

2. ステファノがどんなことを言ったので，宗教指導者たちはたいへんおこりますか。

3. 人々は，ステファノを町の外へひきずり出してどんなことをしますか。

4. さし絵の中で，上着のそばに立っている若者はだれですか。

5. ステファノは死ぬ前，どのようにエホバに祈りましたか。

6. だれかから悪いことをされたときは，ステファノにならって，どうするべきですか。

付加的な質問:

1. ***使徒 6:8-15を読んでください。***

宗教指導者たちは，エホバの証人の宣べ伝える業をやめさせようとして，どんな欺瞞的な方法を用いてきましたか。（使徒 6:9，11，13）

2. ***使徒 7:1-60を読んでください。***

（イ）ステファノがサンヘドリンの前で良いたよりを効果的に擁護するうえで，役立ったものは何ですか。その模範から何を学べますか。（使徒 7:51-53。ロマ 15:4。テモ二 3:14-17。ペテ一 3:15）

（ロ）わたしたちの業に反対する人々に対してどんな態度を培うべきですか。（使徒 7:58-60。マタ 5:44。ルカ 23:33，34）

第108話

ダマスカスへの道で

1. サウロは，ステファノが殺されたあと，どんなことを行ないますか。

2. サウロがダマスカスに向かう途中，どんなおどろくべきことが起きますか。

3. イエスはサウロに何をするよう命じますか。

4. イエスはアナニアにどんな指示をおあたえになりますか。どのようなことがあって，サウロの目は再び見えるようになりますか。

5. サウロは何という名前で知られるようになり，どのように用いられますか。

付加的な質問:

1. ***使徒 8:1-4を読んでください。***

設立されたばかりのクリスチャン会衆を襲った迫害の波は，どのようにキリスト教の拡大につながりましたか。今日でも，それに似たどんなことが生じてきましたか。（使徒 8:4。イザ 54:17）

2. ***使徒 9:1-20を読んでください。***

イエスは，サウロに担わせるどんな三つの使命を啓示されましたか。（使徒 9:15; 13:5; 26:1; 27:24。ロマ 11:13）

3. ***使徒 22:6-16を読んでください。***

どんな点でアナニアに倣えますか。それはなぜ大切なことですか。（使徒 22:12。テモ一 3:7。ペテ一 1:14-16; 2:12）

4. ***使徒 26:8-20を読んでください。***

サウロがキリスト教に転向したことは，今日，信者でない配偶者を持つ人にとってどんな励みとなりますか。（使徒 26:11。テモ一 1:14-16。テモ二 4:2。ペテ一 3:1-3）

第109話

ペテロはコルネリオを訪ねる

1. さし絵の中でひざまずいているのはだれですか。

2. み使いはコルネリオに何と言いますか。

3. ペテロがヨッパにあるシモンの家の屋根の上にいたとき，神はペテロに何を見させますか。

4. ペテロがコルネリオに，わたしの前でひざまずきわたしを崇拝してはいけない，と言ったのはなぜですか。

5. ペテロといっしょにいた弟子のユダヤ人たちがおどろいたのはなぜですか。

6. ペテロがコルネリオを訪ねたことから，どんな大切な教訓を学べますか。

付加的な質問:

1. ***使徒 10:1-48を読んでください。***

使徒 10章42節のペテロの言葉から，王国の良いたよりを宣べ伝える業について何が分かりますか。（マタ 28:19。マル 13:10。使徒 1:8）

2. ***使徒 11:1-18を読んでください。***

異邦人に関するエホバの指示が明らかになった時，ペテロはどんな態度を示しましたか。その模範にどのように見倣えますか。（使徒 11:17, 18。コリ二 10:5。エフェ 5:17）

第110話

テモテ — パウロの新しい助け手

1. さし絵の青年はだれですか。どこに住んでいますか。青年の母親と祖母はそれぞれ何という名前ですか。

2. パウロから，わたしとシラスは遠くの人たちに伝道するので，いっしょに行ってほしいと言われたとき，テモテは何と答えますか。

3. イエスの弟子が初めてクリスチャンと呼ばれたのはどこですか。

4. パウロとシラスとテモテがルステラを出発してから訪問したところにはどんな都市がふくまれていますか。

5. テモテはどのようにパウロを助けますか。今の若い人たちはどんなことを自問する必要がありますか。

付加的な質問:

1. ***使徒 9:19-30を読んでください。***

使徒パウロは，良いたよりに対する反対に直面したとき，どのように思慮深さを示しましたか。（使徒 9:22-25, 29, 30。マタ 10:16）

2. ***使徒 11:19-26を読んでください。***

使徒 11章19-21, 26節の記述は，宣べ伝える業において神の霊による導きと指示が与えられていることをどのように示していますか。

3. ***使徒 13:13-16, 42-52を読んでください。***

使徒 13章51, 52節は，弟子たちが反対に遭っても気落ちしなかったことをどのように示していますか。（マタ 10:14。使徒 18:6。ペテ一 4:14）

4. ***使徒 14:1-6, 19-28を読んでください。***

『彼らをエホバにゆだねた』という表現は，新しい人を援助する際に過度の心配を抱かないようにするうえで，どのように役立ちますか。（使徒 14:21-23; 20:32。ヨハ 6:44）

5. ***使徒 16:1-5を読んでください。***

テモテが進んで割礼を受けたことは，「良いたよりのためにすべての事をする」大切さをどのように強調していますか。（使徒 16:3。コリ一 9:23。テサ一 2:8）

6. ***使徒 18:1-11, 18-22を読んでください。***

使徒 18章9, 10節は，宣べ伝える業の指導にイエスご自身が関与することについて，何を示唆していますか。それは今日のわたしたちにどんな確信を与えてくれますか。（マタ 28:20）

第111話

ねむりこんだ少年

1. さし絵の中の，地面にたおれている少年はだれですか。少年に何があったのでしょうか。

2. パウロは，少年が死んでいるのを見て，どうしますか。

3. パウロとテモテ，そしてふたりといっしょに旅をしている人々はどこへ向かいますか。ミレトスに寄ったとき，どんなことがありますか。

4. 預言者アガボはパウロにどんな警告をあたえますか。その預言者の言葉はどのように的中しますか。

付加的な質問:

1. ***使徒 20:7-38を読んでください。***

(イ) 使徒 20章26, 27節に記されているパウロの言葉によると，どうすれば「すべての人の血について潔白で」いることができますか。（エゼ 33:8。使徒 18:6, 7）

(ロ) 長老はなぜ，教える際に「信ずべき言葉を堅く守る」必要がありますか。（使徒 20:17, 29, 30。テト 1:7-9。テモ二 1:13）

2. ***使徒 26:24-32を読んでください。***

パウロは，イエスから与えられた宣べ伝える任務を果たすに当たり，ローマの市民権をどのように用いましたか。（使徒 9:15; 16:37, 38; 25:11, 12; 26:32。ルカ 21:12, 13）

第112話

難破して島につく

1. パウロの乗った船がクレタという島の近くを通ったとき，どんなことが起きますか。
2. パウロは船に乗っていた人々に何と言いますか。
3. どんなことがあって船はこわれてばらばらになりますか。
4. 責任者の士官はどんな指示をあたえますか。何人が無事に岸に着きますか。
5. 人々が上陸したのは何という島ですか。天気がよくなってから，パウロはどうなりますか。

付加的な質問:

1. ***使徒 27:1-44を読んでください。***

パウロが経験したローマへの航海の記述を読むと，聖書の記録の正確さに対する確信はどのように強まりますか。（使徒 27:16-19，27-32。ルカ 1:3。テモ二 3:16，17）

2. ***使徒 28:1-14を読んでください。***

マルタに住む異教徒が，難船した使徒パウロやその仲間たちに「人間味のある親切を一方ならず」示すよう心を動かされたのであれば，クリスチャンは何を，特にどんな方法で示すよう動かされるはずですか。（使徒 28:1，2。ヘブ 13:1，2。ペテ一 4:9）

第113話

ローマにいるパウロ

1. パウロは，囚人となってローマにいるあいだ，どんな人たちに伝道しますか。
2. さし絵の中で，机に向かっている訪問者はだれですか。その人はパウロのために何をしていますか。
3. エパフロデトとはだれですか。フィリピにもどるときに，何を持って行きますか。
4. パウロが親しい友人のフィレモンに手紙を書くのはなぜですか。
5. パウロは釈放されてから何をしますか。のちに，どうなりますか。
6. エホバは，だれを用いて聖書の最後の本を書かせますか。啓示の書は何について述べていますか。

付加的な質問:

1. ***使徒 28:16-31，フィリピ 1:13を読んでください。***

パウロはローマで投獄されていた間，どのように時間を活用しましたか。その揺るぎない信仰はクリスチャン会衆にどんな影響を及ぼしましたか。（使徒 28:23，30。フィリ 1:14）

2. ***フィリピ 2:19-30を読んでください。***

パウロは，テモテとエパフロデトに対する感謝をどのように表わしていますか。パウロの模範にどのように見倣えますか。（フィリ 2:20，22，25，29，30。コリ一 16:18。テサ一 5:12，13）

3. ***フィレモン 1-25を読んでください。***

（イ）パウロは何に基づいて，フィレモンが行なうべき事柄を当人に伝えましたか。それは，今日の長老にとって，どのように行動の指針となりますか。（フィレ 9。コリ二 8:8。ガラ 5:13）

（ロ）フィレモン 13，14節のパウロの言葉は，パウロが会衆内の他の人の良心を尊重していたことをどのように示していますか。（コリ一 8:7，13；10:31-33）

4. ***テモテ第二 4:7-9を読んでください。***

どうすれば，終わりまで忠実であり続ける人にエホバが報いてくださることを，使徒パウロのように確信できますか。（マタ 24:13。ヘブ 6:10）

第114話

すべての悪の終わり

1. 聖書が天の馬について述べているのはなぜですか。
2. 地上の悪い人々に対する神の戦争は何と呼ばれていますか。その戦争の目的は何ですか。
3. さし絵を見ると，戦いの先頭に立っているのはだれですか。その方が王冠をつけているのはなぜですか。つるぎは何を意味していますか。
4. 第10話，第15話，第33話を見返すと分かりますが，神が悪い人々をほろぼされることになぜおどろくべきではありませんか。
5. 第36話と第76話は，神を崇拝すると言う人でも悪い人であれば神によってほろぼされることを，どのように示していますか。

付加的な質問:

1. ***啓示 19:11-16を読んでください。***

（イ）聖書は，イエス・キリストが白い馬の乗り手であることをどのように明らかにしていますか。（啓 1:5；3:14；19:11。イザ 11:4）

（ロ）イエスの外衣に振り掛かった血は，イエスの勝利が決定的かつ完全であることをどのように証拠立てていますか。（啓 14:18-20；19:13）

（ハ）白い馬に乗ったイエスに従う軍勢の中には，だれが含まれていると思われますか。（啓 12:7；19:14。マタ 25:31，32）

第115話

地上の新しい楽園

1. 聖書は，地上の楽園でどのようなすばらしいことが起こると述べていますか。
2. 聖書は楽園に住む人々に何を約束していますか。
3. イエスは，このようなすばらしい変化がいつ起きるようにしてくださいますか。
4. イエスは地上におられたとき，神の王国の王となって行なう事柄を示すため，何をされましたか。
5. イエスと天の仲間の支配者たちは，天から地を支配するとき，どんなことが必ず起こるようにされますか。

付加的な質問:

1. ***啓示 5:9，10を読んでください。***

千年統治の期間中，同情と憐れみに富む王また祭司が地を支配するという確信が持てるのはなぜですか。（エフェ 4:20-24。ペテ一 1:7；3:8；5:6-10）

2. *啓示 14:1-3を読んでください。*

父の名と子羊の名が14万4,000人の額に記されていることにはどんな意味がありますか。(コリ一 3:23。テモ二 2:19。啓 3:12)

第116話

どうすれば永遠に生きられますか

1. 永遠に生きたいなら, だれについて知らなければなりませんか。

2. さし絵の少女とその友だちがしているように, どうすれば, エホバ神とイエスについて学べますか。

3. さし絵の中には, ほかにどんな本が見えますか。その本をいつも読む必要があるのはなぜですか。

4. 永遠の命を得るには, エホバとイエスについて学ぶだけでなく, どんなことも必要ですか。

5. 第69話から, どんな教訓を得られますか。

6. 第55話に出ていた幼いサムエルの良い手本から何がわかりますか。

7. イエス・キリストの模範にどのようにならえますか。そうすれば, 将来どんなことが実現しますか。

付加的な質問:

1. *ヨハネ 17:3を読んでください。*

エホバ神とイエス・キリストについての知識を取り入れるとは, 単に事実を記憶することではないという点を, 聖書はどのように示していますか。(マタ 7:21。ヤコ 2:18-20。ヨハ一 2:17)

2. *詩編 145:1-21を読んでください。*

(イ) エホバを賛美する理由はたくさんありますが, そのうちの幾つかを挙げてください。(詩 145:8-11。啓 4:11)

(ロ) エホバはどのように,「すべてのものに対して善良」ですか。このことは, どのようにわたしたちをいっそうエホバに引き寄せるものとなりますか。(詩 145:9。マタ 5:43-45)

(ハ) エホバを心から敬愛していたら, 何をしたいと思うようになりますか。(詩 119:171, 172, 175; 145:11, 12, 21)

さらに情報を得たいと思われますか。

www.jw.org/ja からエホバの証人に連絡することができます。